

工 事 設 計 書 等

工事設計書等のダウンロードにあたって

知り得た情報は、関東地方整備局以外の者の権利を含む場合があるため、ダウンロードを行った個人又は法人における1次利用に限るものとし、有償無償に関わらず「第三者への提供行為※」を行わないでください。

※「他の第三者への提供行為」・・・PDFデータのまま、あるいは、紙に出力して等の手段に関わらず、ダウンロードを行った個人又は法人以外の他者による2次利用につながる一切の行為を指します。

国土交通省 関東地方整備局
常陸河川国道事務所

鏡

1. 工事名

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事
工事地名	茨城県北茨城市磯原町本町地先他 3 箇所

2. 工事内容

1) 発注年月	令和 8 年 6 月	1 2) 設 計 年 月	令和 8 年 7 月
2) 事務所名	常陸河川国道事務所 道路管理第二課	1 3) 機械損料一括補正	0 労務費一括割増 0%
3) 工事番号	2026060008	1 4) 単価適用年月	2026 年 7 月
4) 契約区分	単年度（繰越を含む）の分任官	1 5) 歩掛適用年月	2026 年 7 月
5) 変更回数	0 回	1 6) 前請負工事費	0
6) 主 工 種	橋梁保全工事	1 7) 前請負代金額	0
7) 工 事 量	一式	1 8) 調 整 区 分	0
8) 工 期	225 日間 自 令和 8 年 8 月 17 日 (当初) 至 令和 9 年 3 月 29 日 (0 回変更) 至 年 月 日	1 9) 共通仮設費対象額	
9) 施 工 県	茨城県	2 0) 現場管理費対象額	
1 0) 地 区	日立地区	2 1) 一般管理費等対象額	
1 1) 河川・路線	一般国道 6 号	2 2) 処 分 費 等	63,450
		2 3) 公 告 日	令和 8 年 6 月 15 日
		2 4) 入 札 締 切 日	年 月 日
舗装工	一式	防護柵補修工	一式
区画線工	一式	現場塗装工	一式
横断歩道橋工	一式	構造物撤去工	一式
橋梁付属物工	一式	仮設工	一式
橋梁補修工	一式		

3. 予算科目

1) 予算科目：	2) 目：	3) 目の細分：	4) 事業名：

設計内訳書

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事 (当 初)					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
橋梁保全工事 (北茨城市磯原地区) 磯原歩道橋			式	1		35,640,142			
舗装工			式	1		817,904			
橋面防水工			式	1		99,280			
橋面防水		塗膜防水							単-1号
			m2	34	2,920	99,280			
薄層カー舗装工			式	1		505,818			
薄層カー舗装		樹脂モルタル舗装 舗装厚10mm							単-2号
			m2	34	11,700	397,800			
セメントモルタル敷設		普通 1 : 3							単-3号
			m2	34	3,177	108,018			
シール材設置工			式	1		212,806			
シール材設置 (通路部)		シーリング系							単-4号
			m	46	3,556	163,576			
シール材充填		シール材 バックアップ材							単-5号
			m	3	16,410	49,230			
橋梁付属物工			式	1		6,319,800			
橋梁用高欄工			式	1		6,319,800			

設計内訳書

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事 (当 初)					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
高欄取替			式	1		6,319,800			内-1号
横断歩道橋工			式	1		14,358,702			
横断歩道橋工			式	1		104,202			
目隠し板撤去・設置 【再利用】		ファイロン板 t=3	m2	1	7,443	7,443			単-6号
側板撤去・設置 【再利用】		ファイロン板 t=3	m2	13	7,443	96,759			単-7号
階段取替工			式	1		14,254,500			
階段撤去			t	6.5	300,000	1,950,000			単-8号
階段設置			t	6.5	1,893,000	12,304,500			単-9号
橋梁補修工			式	1		340,780			
紫外線硬化型FRPシート工			式	1		340,780			
紫外線硬化型FRPシート		0.15m2以上/枚	m2	2	115,700	231,400			単-10号
部分塗装		RC-Ⅱ 素地調整 中塗り 上塗り	m2	2	54,690	109,380			単-11号

設計内訳書

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事 (当 初)					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
現場塗装工			式	1		9, 576, 738			
橋梁塗装工			式	1		4, 899, 718			
塗替塗装		RC- I	m2	250	19, 430	4, 857, 500			単-12号
張紙防止塗装			m2	19	2, 222	42, 218			単-13号
塗膜除去工			式	1		4, 677, 020			
塗膜除去		塗膜剥離剤塗布 (2回) 塗膜除去	m2	250	13, 910	3, 477, 500			単-14号
廃材の回収・積込			m2	510	2, 352	1, 199, 520			単-15号
構造物撤去工			式	1		201, 348			
構造物取壊し工			式	1		201, 348			
既設舗装はぎ取り			m2	34	5, 922	201, 348			単-16号
仮設工			式	1		4, 024, 870			
仮設工			式	1		805, 750			

設計内訳書

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事 (当 初)					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
足場 (1)【夜間】		吊足場	m2	50	11,550	577,500			単-17号
足場 (2)【夜間】		両側朝顔	m2	50	1,748	87,400			単-18号
防護 【夜間】		板張防護	m2	50	2,817	140,850			単-19号
ばく露防止対策工			式	1		1,539,720			
鉛対応環境対策資機材費			式	1		1,539,720			内-2号
交通管理工			式	1		1,679,400			
交通誘導警備員 (1)		誘導員B	人日	36	18,500	666,000			単-20号
交通誘導警備員 (2)【夜間】		誘導員A	人日	12	28,950	347,400			単-21号
交通誘導警備員 (3)【夜間】		誘導員B	人日	24	27,750	666,000			単-22号
直接工事費			式	1		35,640,142			
共通仮設費			式	1		6,403,485			
共通仮設費			式	1		500,485			

設計内訳書

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事 (当 初)					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
安全費		式	1		168,260				
鉛等呼吸用保護具等費用		式	1		168,260			内-3号	
技術管理費		式	1		64,225				
道路施設基本データ作成費用		式	1		64,225			内-4号	
現場環境改善費（率計上）		式	1		268,000				
共通仮設費（率計上）		式	1		5,903,000				
純工事費		式	1		42,043,627				
現場管理費		式	1		18,961,000				
工事原価		式	1		143,767,546				
一般管理費等		式	1		21,962,454				
工事価格		式	1		165,730,000				
消費税相当額		式	1		16,573,000				

設計内訳書

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（鮎川橋）（当 初）					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
橋梁保全工事 （日立市鮎川地区） 鮎川橋			式	1		17,889,880			
舗装工			式	1		4,287,925			
橋面防水工			式	1		788,975			
橋面防水 【夜間】		塗膜防水							単-1号
			m2	209	3,775	788,975			
橋面舗装工			式	1		3,498,950			
橋面舗装 【夜間】		路面切削～橋面防水(除外)～舗装							単-2号
			m2	209	16,340	3,415,060			
殻運搬(路面切削) 現場→仮置き【夜間】		切削殻							単-3号
			m3	12	553.8	6,645			
積込(ルース) 【昼間】		土砂 土量50,000m3未満							単-4号
			m3	12	252.1	3,025			
殻運搬(路面切削) 仮置き→処分場 【昼間】		切削殻							単-5号
			m3	12	1,250	15,000			
殻処分 【昼間】		切削殻							単-6号
			m3	12	4,935	59,220			
区画線工			式	1		60,341			
区画線工			式	1		60,341			

設計内訳書

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（鮎川橋）（当 初）					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
溶融式区画線 (1)		溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装 無	m	66	436.2	28,789			単-7号
溶融式区画線 (2)		溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装 無	m	22	521.8	11,479			単-8号
溶融式区画線 (3)		溶融式手動 ゼブラ 15c m 厚1.5mm 排水性舗装 無	m	27	485.6	13,111			単-9号
溶融式区画線 (4)		溶融式手動 矢印・記号 ・文字 15cm換算 厚1.5 mm 排水性舗装無	m	7	994.7	6,962			単-10号
橋梁付属物工			式	1		3,076,650			
橋梁用高欄工			式	1		3,076,650			
橋梁用高欄 【夜間】		アルミ製 橋梁用高欄(組 立式)	m	43	71,550	3,076,650			単-11号
橋梁補修工			式	1		3,189,478			
橋梁地覆補修工			式	1		1,276,440			
現場打地覆 【夜間】		300×300	m	44	29,010	1,276,440			単-12号
断面修復工			式	1		1,913,038			

設計内訳書

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（鮎川橋）（当 初）					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
左官工法 (1)		1構造物当り修復延べ 体積 0.519m3 ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・ 鉄筋防錆処理無	構造物	1	197,200	197,200			単-13号
左官工法 (2)		1構造物当り修復延べ 体積 0.519m3 ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・ 鉄筋防錆処理有	構造物	1	1,711,000	1,711,000			単-14号
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)			m3	0.5	5,447	2,723			単-15号
殻処分		コンクリート殻(無筋)	m3	0.5	4,230	2,115			単-16号
構造物撤去工			式	1		9,506			
運搬処理工			式	1		9,506			
現場発生品運搬		鋼管	t	0.49	19,400	9,506			単-17号
仮設工			式	1		7,265,980			
仮設工			式	1		2,424,180			
足場 (1)【夜間】		吊足場	m2	220	9,426	2,073,720			単-18号
足場 (2)【夜間】		両側朝顔	m2	220	1,296	285,120			単-19号

設計内訳書

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（鮎川橋）（当 初）					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
防護 【夜間】		シート防護							単-20号
			m2	220	297	65,340			
交通管理工									
			式	1		4,841,800			
交通誘導警備員 (1)		誘導員A							単-21号
			人日	8	19,300	154,400			
交通誘導警備員 (2)		誘導員B							単-22号
			人日	16	18,500	296,000			
交通誘導警備員 (3)【夜間】		誘導員A							単-23号
			人日	52	28,950	1,505,400			
交通誘導警備員 (4)【夜間】		誘導員B							単-24号
			人日	104	27,750	2,886,000			
直接工事費									
			式	1		17,889,880			
共通仮設費									
			式	1		5,283,500			
共通仮設費									
			式	1		645,500			
運搬費									
			式	1		205,500			
建設機械運搬費									単-25号
			台	1	205,500	205,500			
現場環境改善費（率計上）									
			式	1		440,000			

設計内訳書

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（鮎川橋）（当 初）					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
共通仮設費（率計上）		式	1		4,638,000				
純工事費		式	1		23,173,380				
現場管理費		式	1		14,476,000				
工事原価		式	1		37,649,380				

設計内訳書

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（稲村橋側道橋）（当 初）					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
橋梁保全工事 （高萩市石滝地区） 稲村橋側道橋			式	1		13,231,404			
橋梁付属物工			式	1		262,000			
排水装置補修工			式	1		262,000			
排水装置取替			基	2	131,000	262,000			単-1号
橋梁補修工			式	1		2,012,104			
当て板補修工			式	1		173,360			
当て板補修 （1）		SM400A, SS400	箇所	1	45,100	45,100			単-2号
当て板補修 （2）		SS400	箇所	1	52,480	52,480			単-3号
当て板補修 （3）		SS400	箇所	1	75,780	75,780			単-4号
ひび割れ補修工			式	1		171,800			
低圧注入工法		25m以下 球°キ	構造物	1	171,800	171,800			単-5号
断面修復工			式	1		1,666,944			

設計内訳書

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（稲村橋側道橋）（当 初）					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
左官工法 (1)		1構造物当り修復延べ 体積 0.445m3 ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・ 鉄筋防錆処理無	構造物	1	35,020	35,020			単-6号
左官工法 (2)		1構造物当り修復延べ 体積 0.445m3 ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・ 鉄筋防錆処理有	構造物	1	1,625,000	1,625,000			単-7号
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)			m3	0.4	13,080	5,232			単-8号
殻処分		コンクリート殻(無筋)	m3	0.4	4,230	1,692			単-9号
現場塗装工			式	1		7,228,360			
橋梁塗装工			式	1		3,691,700			
塗替塗装		Rc- I	m2	190	19,430	3,691,700			単-10号
塗膜除去工			式	1		3,536,660			
塗膜除去		塗膜剥離剤塗布(2回) 塗膜除去	m2	190	13,910	2,642,900			単-11号
廃材の回収・積込			m2	380	2,352	893,760			単-12号
仮設工			式	1		3,728,940			

設計内訳書

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（稲村橋側道橋）（当 初）					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
仮設工			式	1		1, 125, 540			
足場 (1)【夜間】		吊足場	m2	130	6, 023	782, 990			単-13号
足場 (2)【夜間】		両側朝顔	m2	130	1, 795	233, 350			単-14号
防護 【夜間】		シート防護	m2	130	840	109, 200			単-15号
ばく露防止対策工			式	1		1, 590, 000			
鉛対応環境対策資機材費			式	1		1, 590, 000			内-1号
交通管理工			式	1		1, 013, 400			
交通誘導警備員 (1)【夜間】		誘導員A	人日	12	28, 950	347, 400			単-16号
交通誘導警備員 (2)【夜間】		誘導員B	人日	24	27, 750	666, 000			単-17号
直接工事費			式	1		13, 231, 404			
共通仮設費			式	1		4, 122, 320			
共通仮設費			式	1		308, 320			

設計内訳書

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（稲村橋側道橋）（当 初）					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
安全費		式	1		153,320				
鉛等呼吸用保護具等費用		式	1		153,320			内-2号	
現場環境改善費（率計上）		式	1		155,000				
共通仮設費（率計上）		式	1		3,814,000				
純工事費		式	1		17,353,724				
現場管理費		式	1		11,457,000				
工事原価		式	1		28,810,724				

設計内訳書

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（細田橋）（当 初）					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
橋梁保全工事 （北茨城市大津地区） 細田橋			式	1		6,762,815			
橋梁補修工			式	1		833,485			
ひび割れ補修工			式	1		171,800			
低圧注入工法		25m以下 エポキシ							単-1号
			構造物	1	171,800	171,800			
断面修復工			式	1		661,685			
左官工法 (1)		1構造物当り修復延べ 体積 0.178m3 ポリマーセメ ントモルタル 鉄筋ケレン・ 鉄筋防錆処理無	構造物	1	41,250	41,250			単-2号
左官工法 (2)		1構造物当り修復延べ 体積 0.178m3 ポリマーセメ ントモルタル 鉄筋ケレン・ 鉄筋防錆処理有	構造物	1	618,100	618,100			単-3号
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)			m3	0.1	19,120	1,912			単-4号
殻処分		コンクリート殻(無筋)	m3	0.1	4,230	423			単-5号
防護柵補修工			式	1		1,780,600			
橋梁塗装工			式	1		1,780,600			

設計内訳書

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（細田橋）（当 初）					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
塗替塗装		RC- I	m2	58	30,700	1,780,600			単-6号
仮設工									
			式	1		4,148,730			
仮設工			式	1		2,065,630			
足場 (1)【夜間】		吊足場	m2	230	7,480	1,720,400			単-7号
足場 (2)【夜間】		両側朝顔	m2	230	1,246	286,580			単-8号
防護 【夜間】		シート防護	m2	230	255	58,650			単-9号
交通管理工			式	1		2,083,100			
交通誘導警備員 (1)		誘導員A	人日	4	19,300	77,200			単-10号
交通誘導警備員 (2)		誘導員B	人日	8	18,500	148,000			単-11号
交通誘導警備員 (3)【夜間】		誘導員A	人日	22	28,950	636,900			単-12号
交通誘導警備員 (4)【夜間】		誘導員B	人日	44	27,750	1,221,000			単-13号
直接工事費			式	1		6,762,815			

設計内訳書

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（細田橋）（当 初）					事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
共通仮設費		式	1		2,569,000				
共通仮設費		式	1		91,000				
現場環境改善費（率計上）		式	1		91,000				
共通仮設費（率計上）		式	1		2,478,000				
純工事費		式	1		9,331,815				
現場管理費		式	1		6,971,000				
工事原価		式	1		16,302,815				

一式当たり内訳書

高欄取替
第 1号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
高欄取替		式	1		6, 319, 800			
合 計					6, 319, 800			

一式当たり内訳書

[茨城県北茨城市磯原町本町地先他 3 箇所]

鉛対応環境対策資機材費

第 2号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
負圧集塵装置基本料	MDFU-7Z (S)	台	1	30, 000	30, 000			
負圧集塵装置賃料	MDFU-7Z (S)	月	1. 27	90, 000	114, 300			
一次フィルター	負圧集塵装置用 MDFU-7Z (S) 用	枚	2	1, 200	2, 400			
二次フィルター	負圧集塵装置用 MDFU-7Z (S) 用	枚	1	2, 400	2, 400			
HEPAフィルター	負圧集塵装置用 MDFU-7Z (S) 用	枚	1	75, 000	75, 000			
チャコールフィルター	負圧集塵装置用 MDFU-7Z (S) 用	枚	1	12, 500	12, 500			
ペットクリタクト	φ 250 吸引側 L=10m	本	1	20, 000	20, 000			
タクトバント	φ 250	個	1	1, 500	1, 500			
集塵専用掃除機基本料	CTH26E	台	1	40, 000	40, 000			
集塵専用掃除機賃料	CTH26E	月	1. 27	66, 000	83, 820			
一次フィルター	真空掃除機用 CTH26E用	枚	1	3, 600	3, 600			
HEPAフィルター	真空掃除機用 CTH26E用	枚	1	84, 000	84, 000			

一式当たり内訳書

[茨城県北茨城市磯原町本町地先他 3 箇所]

鉛対応環境対策資機材費

第 2号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	数量増減	金額増減	摘 要
チャコールフィルター	真空掃除機用 CTH26E用	枚	1	3, 000	3, 000			
セキュリティールーム		箇所	1	440, 000	440, 000			
セキュリティールーム用シート		箇所	1	112, 000	112, 000			
エアシャワー基本料	SS-AS-10T(S)	台	1	60, 000	60, 000			
エアシャワー賃料	SS-AS-10T(S)	月	1. 27	240, 000	304, 800			
一次フィルター	エアシャワー用 SS-AS-10T(S) 用	枚	1	4, 000	4, 000			
HEPAフィルター	エアシャワー用 SS-AS-10T(S) 用	枚	1	80, 000	80, 000			
チャコールフィルター	エアシャワー用 SS-AS-10T(S) 用	枚	1	35, 000	35, 000			
危険物容器	200L鋼製オープンドラム	缶	1	25, 000	25, 000			
危険物容器	18L ペール缶	缶	1	6, 400	6, 400			
合 計					1, 539, 720			

一式当たり内訳書

[茨城県北茨城市磯原町本町地先他 3 箇所]

鉛等呼吸用保護具等費用

第 3号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
電動ファン付呼吸用保護具		個	1	103, 000	103, 000			
呼吸用保護具フィルター		個	12	2, 440	29, 280			
CFカーボークラス		袋	2	2, 750	5, 500			
使い捨て化学防護服	シューズカバー含む	着	12	2, 000	24, 000			
防護手袋	ニトリル	双	12	540	6, 480			
合 計					168, 260			

一式当たり内訳書

[茨城県北茨城市磯原町本町地先他 3 箇所]

道路施設基本データ作成費用
第 4号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
道路施設基本データ作成費用		式	1		64, 225			
合 計					64, 225			

一式当たり内訳書

[茨城県高萩市石滝地先]

鉛対応環境対策資機材費

第 1号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
負圧集塵装置基本料	MDFU-7Z (S)	台	1	30, 000	30, 000			
負圧集塵装置賃料	MDFU-7Z (S)	月	1. 4	90, 000	126, 000			
一次フィルター	負圧集塵装置用 MDFU-7Z (S) 用	枚	1	1, 200	1, 200			
二次フィルター	負圧集塵装置用 MDFU-7Z (S) 用	枚	1	2, 400	2, 400			
HEPAフィルター	負圧集塵装置用 MDFU-7Z (S) 用	枚	1	75, 000	75, 000			
チャコールフィルター	負圧集塵装置用 MDFU-7Z (S) 用	枚	1	12, 500	12, 500			
ペットクリタクト	φ 250 吸引側 L=10m	本	1	20, 000	20, 000			
タクトバント	φ 250	個	1	1, 500	1, 500			
集塵専用掃除機基本料	CTH26E	台	1	40, 000	40, 000			
集塵専用掃除機賃料	CTH26E	月	1. 4	66, 000	92, 400			
一次フィルター	真空掃除機用 CTH26E用	枚	1	3, 600	3, 600			
HEPAフィルター	真空掃除機用 CTH26E用	枚	1	84, 000	84, 000			

一式当たり内訳書

[茨城県高萩市石滝地先]

鉛対応環境対策資機材費

第 1号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
チャコールフィルター	真空掃除機用 CTH26E用	枚	1	3, 000	3, 000			
セキュリティールーム		箇所	1	440, 000	440, 000			
セキュリティールーム用シート		箇所	1	112, 000	112, 000			
エアシャワー基本料	SS-AS-10T(S)	台	1	60, 000	60, 000			
エアシャワー賃料	SS-AS-10T(S)	月	1. 4	240, 000	336, 000			
一次フィルター	エアシャワー用 SS-AS-10T(S) 用	枚	1	4, 000	4, 000			
HEPAフィルター	エアシャワー用 SS-AS-10T(S) 用	枚	1	80, 000	80, 000			
チャコールフィルター	エアシャワー用 SS-AS-10T(S) 用	枚	1	35, 000	35, 000			
危険物容器	200L鋼製オープンドラム	缶	1	25, 000	25, 000			
危険物容器	18L ペール缶	缶	1	6, 400	6, 400			
合 計					1, 590, 000			

一式当たり内訳書

[茨城県高萩市石滝地先

]

鉛等呼吸用保護具等費用

第 2号内訳書

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
電動ファン付呼吸用保護具		個	1	103, 000	103, 000			
呼吸用保護具フィルター		個	9	2, 440	21, 960			
CFカーボークラス		袋	2	2, 750	5, 500			
使い捨て化学防護服	シューズカバー含む	着	9	2, 000	18, 000			
防護手袋	ニトリル	双	9	540	4, 860			
合 計					153, 320			

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一1号	橋面防水	塗膜防水	単位	m2	数量	1	単価	2, 920
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
塗膜系防水		補修 無 無 無	m 2	1	2, 920	2, 920		
計						2, 920		
単価						2, 920	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一2号	薄層ｶｰ舗装	樹脂ﾓﾙﾀﾙ舗装 舗装厚10mm	単位	m2	数量	1	単価	11, 700
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
樹脂ﾓﾙﾀﾙ舗装工・景観透水性舗装工		樹脂ﾓﾙﾀﾙ舗装工 厚8mm超え10mm以下 無 50m2未満 無 無	m 2	1	11, 700	11, 700		
計						11, 700		
単価						11, 700	円／m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一3号	セメントモルタル敷設	普通 1 : 3	単位	m2	数量	1	単価	3, 177
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
モルタル練		普通 全ての費用	m 3	0. 03	105, 900	3, 177		
計						3, 177		
単価						3, 177	円／m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一4号	シール材設置 (通路部)	シーリング系	単位	m	数量	1	単価	3, 556
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【材料】								
シール材		シリコン系 プライマー含む	L	0. 24	6, 000	1, 440		
【労務】								
シーリング材塗布		通路部 シリコン系	m	1	2, 116	2, 116		
計						3, 556		
単価						3, 556	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一5号	シール材充填	シール材 バックアップ 材	単位	m	数量	1	単価	16, 410
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
シール材充填		バックアップ 材, シール材充填含む	m	1	16, 410	16, 410		
計						16, 410		
単価						16, 410	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一6号	目隠し板撤去・設置 【再利用】	77107板 t=3	単位	m2	数量	1	単価	7, 443
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【撤去】								
横断歩道橋側板工（裾隠し板・目隠し板）		取外し	m 2	1	1, 338	1, 338		
【設置】								
横断歩道橋側板工（裾隠し板・目隠し板）		取付 180組	m 2	1	6, 105	6, 105		
計						7, 443		
単価						7, 443	円／m2	

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数		2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一7号	側板撤去・設置 【再利用】	ファイロン板 t=3	単位	m2	数量	1	単価	7, 443	
名 称		規 格	単位	数量	単価	金 額	摘 要		
【撤去】									
横断歩道橋側板工（裾隠し板・目隠し板）		取外し							
			m 2	1	1, 338	1, 338			
【設置】									
横断歩道橋側板工（裾隠し板・目隠し板）		取付 199組							
			m 2	1	6, 105	6, 105			
計						7, 443			
単価						7, 443	円／m2		

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一8号	階段撤去		単位	t	数量	1	単価	300, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
階段撤去			t	1	300, 000	300, 000		
計						300, 000		
単価						300, 000	円／t	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一9号	階段設置		単位	t	数量	1	単価	1, 893, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【材料】								
工場製作材料費 (t)			t	1	1, 480, 000	1, 480, 000		
【労務】								
階段設置			t	1	412, 615	412, 615		
計						1, 892, 615		
単価						1, 893, 000	円／t	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一10号	紫外線硬化型FRPシート	0. 15m2以上/枚	単位	m2	数量	1	単価	115, 700
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
紫外線硬化型FRPシート設置		無し 無し 紫外線照射 有 0. 15m2/枚以上 無し	m 2	1	115, 700	115, 700		
計						115, 700		
単価						115, 700	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0
単一11号	部分塗装	RC-II 素地調整 中塗り 上塗り	単位	m2	数量	100	単価 54, 690
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【材料】							
弱溶剤形ふっ素樹脂用塗料中塗り			k g	14	1, 910	26, 740	
弱溶剤形ふっ素樹脂用塗料上塗り			k g	12	5, 930	71, 160	
【労務】							
素地調整		2種ケレン	m 2	100	20, 810	2, 081, 000	
現場塗装		RC-II 中塗り 上塗り	m 2	100	32, 900	3, 290, 000	
計						5, 468, 900	
単価						54, 690	円／m2

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0
単一12号	塗替塗装	RC- I	単位	m2	数量	1	単価 19, 430
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装		素地調整 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 1種ケレン(プラスチック処理) 有り	m 2	1	13, 210	13, 210	
塗替塗装		下塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 有機ソノクリッチェント(1層)スプレー	m 2	1	1, 921	1, 921	
塗替塗装		下塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層)スプレー	m 2	1	1, 942	1, 942	
塗替塗装		中塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 スプレー 淡彩	m 2	1	884	884	
塗替塗装		上塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 スプレー 淡彩	m 2	1	1, 470	1, 470	
計						19, 427	
単価						19, 430	円/m2

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単－13号	張紙防止塗装		単位	m2	数量	1	単価	2, 222
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
張紙防止塗装		有り	m 2	1	2, 222	2, 222		
計						2, 222		
単価						2, 222	円／m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一14号	塗膜除去	塗膜剥離剤塗布(2回) 塗膜除去	単位	m2	数量	1	単価	13, 910
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【1回目塗布】								
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去		無し 無し 横断歩道橋・側道橋・鋼製シェッド 0. 5kg/m2	m 2	1	6, 951	6, 951		
【2回目塗布】								
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去		無し 無し 横断歩道橋・側道橋・鋼製シェッド 0. 5kg/m2	m 2	1	6, 951	6, 951		
計						13, 902		
単価						13, 910	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一15号	廃材の回収・積込		単位	m2	数量	1	単価	2, 352
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
廃材の回収・積込		無し 無し	m 2	1	2, 352	2, 352		
計						2, 352		
単価						2, 352	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一16号	既設舗装はぎ取り		単位	m2	数量	1	単価	5, 922
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
既設舗装はぎ取り工			m 2	1	5, 922	5, 922		
計						5, 922		
単価						5, 922	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一17号	足場 (1)【夜間】	吊足場	単位	m2	数量	1	単価	11, 550
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
足場工（吊足場）		59m2 59日	m 2	1	11, 550	11, 550		
計						11, 550		
単価						11, 550	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一18号	足場 (2)【夜間】	両側朝顔	単位	m2	数量	1	単価	1, 748
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
朝顔		プレートカーター・ボックスカーター 設置・撤去・賃料 1. 8月 両側朝顔	m 2	1	1, 748	1, 748		
計						1, 748		
単価						1, 748	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一19号	防護 【夜間】	板張防護	単位	m2	数量	1	単価	2, 817
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
板張防護工		設置・撤去・賃料 1. 8月 両側朝顔	m 2	1	2, 817	2, 817		
計						2, 817		
単価						2, 817	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一20号	交通誘導警備員 (1)	誘導員B	単位	人日	数量	1	単価	18, 500
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B			人日	1	18, 500	18, 500		
計						18, 500		
単価						18, 500	円／人日	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一21号	交通誘導警備員 (2)【夜間】	誘導員A	単位	人日	数量	1	単価	28, 950
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 A			人日	1	28, 950	28, 950		
計						28, 950		
単価						28, 950	円／人日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一22号	交通誘導警備員 (3)【夜間】	誘導員B	単位	人日	数量	1	単価	27, 750
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 B			人日	1	27, 750	27, 750		
計						27, 750		
単価						27, 750	円／人日	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	塗膜系防水	補修 無 無 無	単位	m 2	数量	100	単価	2, 920
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋面防水工	塗膜系防水（アスファルト系）	補修	m 2	100	2, 920	292, 000		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						292, 000		
単価						2, 920	円／m 2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	樹脂モルタル舗装工・景観透水性舗装工	樹脂モルタル舗装工 厚8mm超え10mm以下 無 50m2未満 無 無	単位	m 2	数量	1	単価	11, 700
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
樹脂モルタル舗装工		厚 8 mm超え 1 0 mm以下	m 2	1	11, 700	11, 700		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						11, 700		
単価						11, 700	円／m 2	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	シーリング 材塗布	通路部 シリコン系	単位	m	数量	10	単価	2, 116
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役			人	0. 18	32, 200	5, 796		
特殊作業員			人	0. 36	27, 200	9, 792		
普通作業員			人	0. 18	25, 400	4, 572		
諸雑費（率＋まるめ） 5%			式	1		1, 000		
計						21, 160		
単価						2, 116	円／m	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	シール材充填	バックアップ 材, シール材充填含む	単位	m	数量	10	単価	16, 410
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役			人	1. 33	32, 200	42, 826		
特殊作業員			人	2. 67	27, 200	72, 624		
普通作業員			人	1. 33	25, 400	33, 782		
諸雑費（率＋まるめ） 10%			式	1		14, 868		
計						164, 100		
単価						16, 410	円／m	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	高欄取替		単位	式	数量	1	単価	6, 319, 800
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	16	40, 800	652, 800		
	橋りょう特殊工		人	50	36, 400	1, 820, 000		
	橋りょう塗装工		人	50	36, 300	1, 815, 000		
	普通作業員		人	80	25, 400	2, 032, 000		
	計					6, 319, 800		
	単価					6, 319, 800	円／式	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	横断歩道橋側板工（裾隠し板・目隠し板）	取外し	単位	m 2	数量	10	単価	1, 338
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役			人	0. 1	32, 200	3, 220		
普通作業員			人	0. 4	25, 400	10, 160		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						13, 380		
単価						1, 338	円／m 2	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	横断歩道橋側板工（裾隠し板・目隠し板）	取付 180組	単位	m 2	数量	10	単価	6, 105
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	0. 4	32, 200	12, 880		
	特殊作業員		人	0. 7	27, 200	19, 040		
	普通作業員		人	1. 1	25, 400	27, 940		
	合成樹脂板(再利用)		m 2	10. 3	0	0		
	ボルト・ナット(再利用)		組	180	0	0		
	諸雑費（率＋まるめ） 2%		式	1		1, 190		
	計					61, 050		
	単価					6, 105	円／m 2	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0
	横断歩道橋側板工（裾隠し板・目隠し板）	取付 199組	単位	m 2	数量	10	単価 6, 105
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役		人	0. 4	32, 200	12, 880		
特殊作業員		人	0. 7	27, 200	19, 040		
普通作業員		人	1. 1	25, 400	27, 940		
合成樹脂板(再利用)		m 2	10. 3	0	0		
ボルト・ナット(再利用)		組	199	0	0		
諸雑費（率＋まるめ） 2%		式	1		1, 190		
計					61, 050		
単価					6, 105	円／m 2	

参考資料（１）

参考資料（1）						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数		2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	工場製作材料費（t）			単位	t	数量	1	単価	1, 480, 000
名称			規格		単位	数量	単価	金額	摘要
階段製作			工場塗装含む		t	1	1, 480, 000	1, 480, 000	
計								1, 480, 000	
単価								1, 480, 000	円／t

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	紫外線硬化型FRPシート設置	無し 無し 紫外線照射 有 0.15m2/枚以上 無	単位	m 2	数量	1	単価	115, 700
名 称		規 格	単位	数量	単価	金 額	摘 要	
紫外線硬化型FRPシート設置(照射有) 昼間		時間制約無 区分C 固定足場	m 2	1	115, 700	115, 700		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						115, 700		
単 価						115, 700	円／m 2	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	素地調整	2種ケレン	単位	m 2	数量	10	単価	20, 810
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう塗装工			人	5. 26	36, 300	190, 938		
諸雑費（率＋まるめ） 9%			式	1		17, 162		
計						208, 100		
単価						20, 810	円／m 2	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	塗替塗装	素地調整 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 1種ケレン(フラスト処理) 有り	単位	m 2	数量	100	単価	13, 210
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工	塗替塗装	昼間 素地調整 1 種ケレン 制約無	m 2	100	9, 095	909, 500		
橋梁塗装工	塗替塗装	昼間 素地調整研削材及びケレンかす 制約無	m 2	100	4, 109	410, 900		
諸雑費（まるめ）			式	1		600		
計						1, 321, 000		
単価						13, 210	円／m 2	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	塗替塗装	下塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 有機シンクリッチェント(1層)スプレー	単位	m 2	数量	100	単価	1, 921
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工	塗替塗装 下塗り	昼間 有機シンクリッチ(1層) スプレー 制約無	m 2	100	1, 920. 96	192, 096		
諸雑費（まるめ）			式	1		4		
計						192, 100		
単価						1, 921	円／m 2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	塗替塗装	下塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層)スプレー	単位	m 2	数量	100	単価	1, 942
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工	塗替塗装 下塗り	昼間 弱溶剤形変性エポキシ(2層)スプレー 制約無	m 2	100	1, 941. 84	194, 184		
諸雑費（まるめ）			式	1		16		
計						194, 200		
単価						1, 942	円／m 2	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	塗替塗装	中塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 スプレー 淡彩	単位	m 2	数量	100	単価	884
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工	塗替塗装 中塗り	昼間 弱溶剤形ふっ素 スプレー淡彩 制約無	m 2	100	883. 92	88, 392		
諸雑費（まるめ）			式	1		8		
計						88, 400		
単価						884	円／m 2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	塗替塗装	上塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 スプレー 淡彩	単位	m 2	数量	100	単価	1, 470
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工	塗替塗装 上塗り	昼間 弱溶剤形ふっ素 スプレー淡彩 制約無	m 2	100	1, 469. 72	146, 972		
諸雑費（まるめ）			式	1		28		
計						147, 000		
単価						1, 470	円／m 2	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	無し 無し 横断歩道橋・側道橋・鋼製シェッド 0. 5kg/m2	単位	m 2	数量	1	単価	6, 951
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	塗膜剥離剤塗布・塗膜除去 昼間	歩道橋・側道橋・鋼製シェッド 時間制約無	m 2	1	5, 807	5, 807		
	塗膜剥離剤		k g	0. 575	1, 990	1, 144		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					6, 951		
	単価					6, 951	円／m 2	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	廃材の回収・積込	無し 無し	単位	m 2	数量	1	単価	2, 352
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	廃材の回収・積込 昼間	時間制約無	m 2	1	2, 352	2, 352		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					2, 352		
	単価					2, 352	円／m 2	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	既設舗装はぎ取り工		単位	m 2	数量	1	単価	5, 922
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	0. 04	32, 200	1, 288		
	特殊作業員		人	0. 08	27, 200	2, 176		
	普通作業員		人	0. 09	25, 400	2, 286		
	諸雑費（率＋まるめ） 3%		式	1		172		
	計					5, 922		
	単価					5, 922	円／m 2	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	足場工（吊足場）	59m2 59日	単位	m 2	数量	1	単価	11, 550
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう特殊工		人	0. 201	54, 600	10, 974		
	足場材損料		日	59	9. 69	571		
	諸雑費（まるめ）		式	1		5		
	計					11, 550		
	単価					11, 550	円／m 2	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	朝顔	プレートカーター・ボックスカーター 設置・撤去・賃料 1.8月 両側朝顔	単位	m 2	数量	1	単価	1, 748
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう特殊工			人	0. 027	54, 600	1, 474		
朝顔賃料			月	1. 8	152. 44	274		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						1, 748		
単価						1, 748	円／m 2	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	板張防護工	設置・撤去・賃料 1.8月 両側朝顔	単位	m 2	数量	1	単価	2,817
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう特殊工		人	0.043	54,600	2,347		
	防護材質料		月	1.8	261.55	470		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					2,817		
	単価					2,817	円／m 2	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	交通誘導警備員 B		単位	人日	数量	1	単価	18, 500
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 B			人	1	18, 500	18, 500		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						18, 500		
単価						18, 500	円／人日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
	交通誘導警備員 A		単位	人日	数量	1	単価	28, 950
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 A			人	1	28, 950	28, 950		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						28, 950		
単価						28, 950	円／人日	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
	交通誘導警備員B		単位	人日	数量	1	単価	27, 750
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B			人	1	27, 750	27, 750		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						27, 750		
単価						27, 750	円／人日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	道路施設基本データ作成費用		単位	式	数量	1	単価	64, 225
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
技術員			人	1. 75	36, 700	64, 225		
計						64, 225		
単価						64, 225	円／式	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一1号	橋面防水 【夜間】	塗膜防水	単位	m2	数量	1	単価	3, 775
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
塗膜系防水		補修 有 31. 483m/100m2 無 有	m 2	1	3, 775	3, 775		
計						3, 775		
単価						3, 775	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50
単一2号	橋面舗装 【夜間】	路面切削～橋面防水(除外)～舗装	単位	m2	数量	100	単価 16, 340
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【材料】							
アスファルト混合物(夜間割増含む)		改質Ⅱ型 密粒度(20)	t	12. 5	19, 600	245, 000	
アスファルト混合物(夜間割増含む)		改質Ⅱ型 密粒度(13)	t	2. 4	19, 600	47, 040	
【労務】							
橋面舗装		路面切削～橋面防水(除外)～舗装	m 2	100	13, 410	1, 341, 000	
計						1, 633, 040	
単価						16, 340	円／m2

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一3号	殻運搬(路面切削) 現場→仮置き【夜間】	切削殻	単位	m3	数量	1	単価	553. 8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬（路面切削）		有り 1. 0km以下 全ての費用	m 3	1	553. 8	553. 8		
計						553. 8		
単価						553. 8	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一4号	積込(ルーズ) 【昼間】	土砂 土量50, 000m3未満	単位	m3	数量	1	単価	252. 1
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
積込（ルーズ）		土砂 土量50, 000m3未満	m 3	1	252. 1	252. 1		
計						252. 1		
単価						252. 1	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一5号	殻運搬(路面切削) 仮置き→処分場 【昼間】	切削殻	単位	m3	数量	1	単価	1, 250
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬（路面切削）		有り 5. 0km以下 全ての費用	m 3	1	1, 250	1, 250		
計						1, 250		
単価						1, 250	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一6号	殻処分 【昼間】	切削殻	単位	m3	数量	1	単価	4, 935
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費（m 3）			m 3	1	4, 935	4, 935		
計						4, 935		
単価						4, 935	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一7号	溶融式区画線 (1)	溶融式手動 実線 15cm 厚1. 5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	436. 2
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		無し 溶融式手動 無し 実線 15cm 無し 1. 5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	436. 2	436. 2		
計						436. 2		
単価						436. 2	円／m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一8号	溶融式区画線 (2)	溶融式手動 実線 15cm 厚1. 5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	521. 8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		無し 溶融式手動 無し 実線 15cm 無し 1. 5mm 無し 無し 含有量15～18% 黄 鉛・クロムフリー アスファルト舗装 全ての費用	m	1	521. 8	521. 8		
計						521. 8		
単価						521. 8	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0
単一9号	溶融式区画線 (3)	溶融式手動 ゼブラ 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価 485. 6
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置		無し 溶融式手動 無し ゼブラ 15cm 無し 1. 5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	485. 6	485. 6	
計						485. 6	
単価						485. 6	円／m

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0
単一10号	溶融式区画線 (4)	溶融式手動 矢印・記号・文字 15cm換算 厚1. 5mm 排水 性舗装無	単位	m	数量	1	単価 994. 7
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置		無し 溶融式手動 無し 矢印・記号・文字 15cm換算 無し 1. 5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装	m	1	994. 7	994. 7	
計						994. 7	
単価						994. 7	円／m

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単-11号	橋梁用高欄 【夜間】	アルミ製 橋梁用高欄(組立式)	単位	m	数量	1	単価	71, 550
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁用高欄		組立式	m	1	71, 550	71, 550		
計						71, 550		
単価						71, 550	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単-12号	現場打地覆 【夜間】	300×300	単位	m	数量	44	単価	29, 010
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
とりこわし		全ての費用	m 3	5. 2	140, 800	732, 160		
鉄筋		SD345 D13 全ての費用	t	0. 29	546, 100	158, 369		
コンクリート		24-12-25(20) (高炉) 有り 全ての費用	m 3	3. 9	98, 860	385, 554		
計						1, 276, 083		
単価						29, 010	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一13号	左官工法 (1)	1構造物当り修復延べ体積 0.519m ³ ポリマーセメントモルタル 鉄 筋ケレン・鉄筋防錆処理無	単位	構造物	数量	1	単価	197, 200
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
断面修復工（左官工法）		無し 0.1m ³ を超える 0.062m ³	構造物	1	197, 200	197, 200		
計						197, 200		
単価						197, 200	円／構造物	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一14号	左官工法 (2)	1構造物当り修復延べ体積 0.519m ³ ポリマーセメントモルタル 鉄 筋ケレン・鉄筋防錆処理有	単位	構造物	数量	1	単価	1, 711, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
断面修復工（左官工法）		有り 0.1m ³ を超える 0.457m ³	構造物	1	1, 711, 000	1, 711, 000		
計						1, 711, 000		
単価						1, 711, 000	円／構造物	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一15号	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)		単位	m3	数量	1	単価	5, 447
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート殻積込・運搬（断面修復工）		有り 5.5k m以下 良好	m 3	1	5, 447	5, 447		
計						5, 447		
単価						5, 447	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一16号	殻処分	コンクリート殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	4, 230
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費（m 3）			m 3	1	4, 230	4, 230		
計						4, 230		
単価						4, 230	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一17号	現場発生品運搬	鋼管	単位	t	数量	1	単価	19, 400
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場発生品及び支給品運搬		トラック[クレーン装置付]通称2t積級 吊能力2.9t 有り 17.0km以下	t	1	9, 647	9, 647		
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し		トラック[クレーン装置付]通称2t積級 吊能力2.9t	t	1	9, 750	9, 750		
計						19, 397		
単価						19, 400	円／t	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一18号	足場 (1)【夜間】	吊足場	単位	m2	数量	1	単価	9, 426
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
足場工（床版補強工用）		桁高1.5m以上 1.9月	m 2	1	9, 426	9, 426		
計						9, 426		
単価						9, 426	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一19号	足場 【夜間】	両側朝顔	単位	m2	数量	1	単価	1, 296
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
朝顔（床版補強工用）		両側朝顔 1.9月	m 2	1	1, 296	1, 296		
計						1, 296		
単価						1, 296	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一20号	防護 【夜間】	シート防護	単位	m2	数量	1	単価	297
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
防護工（床版補強工用）		両側朝顔 シート張防護 1.9月	m 2	1	297	297		
計						297		
単価						297	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一21号	交通誘導警備員 (1)	誘導員A	単位	人日	数量	1	単価	19, 300
名称			単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 A			人日	1	19, 300	19, 300		
計						19, 300		
単価						19, 300	円／人日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一22号	交通誘導警備員 (2)	誘導員B	単位	人日	数量	1	単価	18, 500
名称			単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 B			人日	1	18, 500	18, 500		
計						18, 500		
単価						18, 500	円／人日	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一23号	交通誘導警備員 (3)【夜間】	誘導員A	単位	人日	数量	1	単価	28, 950
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 A			人日	1	28, 950	28, 950		
計						28, 950		
単価						28, 950	円／人日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一24号	交通誘導警備員 (4)【夜間】	誘導員B	単位	人日	数量	1	単価	27, 750
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 B			人日	1	27, 750	27, 750		
計						27, 750		
単価						27, 750	円／人日	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一25号	建設機械運搬費		単位	台	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	貨物自動車による運搬（1車1回）	路面切削機(ホイール式・廃材積込装置付) 2.0m 36.3km 無 有 21000円	台	1	108,000	108,000		205,500
	貨物自動車による運搬（1車1回）	路面切削機(ホイール式・廃材積込装置付) 2.0m 35.7km 無 有 10500円	台	1	97,500	97,500		
	計					205,500		
	単価					205,500	円／台	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	塗膜系防水	補修 有 31.483m/100m2 無 有	単位	m 2	数量	100	単価	3, 775
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋面防水工	塗膜系防水（アスファルト系）	補修	m 2	100	3, 358	335, 800		
導水パイプ		φ 18	m	33. 057	1, 260	41, 651		
諸雑費（まるめ）			式	1		49		
計						377, 500		
単価						3, 775	円／m 2	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50
	橋面舗装	路面切削～橋面防水(除外)～舗装	単位	m 2	数量	100	単価 13, 410
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役		人	0. 96	48, 300	46, 368		
特殊作業員		人	2. 88	40, 800	117, 504		
普通作業員		人	4. 81	38, 100	183, 261		
路面切削機[ホイル式・廃材積込装置付・排対3型]運転	切削幅2. 0×深さ23cm	日	0. 96	318, 100	305, 376		
路面清掃車[ブラシ・四輪式]運転	ホッパ 容量1. 5m3	日	0. 96	135, 200	129, 792		
アスファルトフィニッシャ[ホイル型・排対型 2014年規制]運転	舗装幅2. 3～6. 0m	日	0. 96	235, 800	226, 368		
ロードローラ[マカダム・排出ガス対策型(2014年規制)]運転	運転質量10t締固め幅2. 1m	日	0. 96	86, 740	83, 270		
タイヤローラ[マカダム・排出ガス対策型(2014年規制)]運転	運転質量13～14t	日	0. 96	88, 140	84, 614		
諸雑費（率＋まるめ） 14%		式	1		164, 447		
計					1, 341, 000		
単価					13, 410	円／m 2	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	処分費（m 3）		単位	m 3	数量	100	単価	4, 935
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	処分費(切削殻)	(有)川西碎石	m 3	100	4, 935	493, 500		
	計					493, 500		
	単価					4, 935	円／m 3	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0
	区画線設置	無し 溶融式手動 無し 実線 15cm 無し 1. 5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1, 000	単価 436. 2
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	区画線設置（溶融式）	昼間 豪雪無 実線15cm 制約無	m	1, 000	256	256, 000	
	トラフィックペイント	3 種 1 号 ビーズ 1 5 ～ 1 8 白 溶融型	k g	570	252	143, 640	
	ガラスビーズ	0. 1 0 6 ～ 0. 8 5 0 mm	k g	25	187	4, 675	
	接着用プライマー	区画線用	k g	25	655	16, 375	
	軽油		L	47	148	6, 956	
	諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		8, 554	
	計					436, 200	
	単価					436. 2	円／m

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0
	区画線設置	無し 溶融式手動 無し 実線 15cm 無し 1. 5mm 無し 無し 含有量15～18% 黄 鉛・クロムフリー アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1, 000	単価 521. 8
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	区画線設置（溶融式）	昼間 豪雪無 実線15cm 制約無	m	1, 000	256	256, 000	
	トラフィックペイント	3 種 1 号 ビーズ 1 5 ～ 1 8 黄 鉛・フリー 溶融	k g	570	395	225, 150	
	ガラスビーズ	0. 1 0 6 ～ 0. 8 5 0 mm	k g	25	187	4, 675	
	接着用プライマー	区画線用	k g	25	655	16, 375	
	軽油		L	47	148	6, 956	
	諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		12, 644	
	計					521, 800	
	単価					521. 8	円／m

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0
	区画線設置	無し 溶融式手動 無し ゼブラ 15cm 無し 1. 5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	単位	m	数量	1, 000	単価 485. 6
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	区画線設置（溶融式）	昼間 豪雪無 ゼブラ15cm 制約無	m	1, 000	304	304, 000	
	トラフィックペイント	3 種 1 号 ビーズ 1 5 ～ 1 8 白 溶融型	k g	570	252	143, 640	
	ガラスビーズ	0. 1 0 6 ～ 0. 8 5 0 mm	k g	25	187	4, 675	
	接着用プライマー	区画線用	k g	25	655	16, 375	
	軽油		L	56	148	8, 288	
	諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		8, 622	
	計					485, 600	
	単価					485. 6	円／m

参考資料（１）

参考資料（１）						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0
	区画線設置	無し 溶融式手動 無し 矢印・記号・文字 15cm換算 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装	単位	m	数量	1, 000	単価 994. 7
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置（溶融式）	昼間 豪雪無 矢印・記号・文字 制約無	m	1, 200	638	765, 600		
トラフィックペイント	3種1号 ビーズ15～18 白 溶融型	k g	684	252	172, 368		
ガラスビーズ	0. 106～0. 850mm	k g	30	187	5, 610		
接着用プライマー	区画線用	k g	30	655	19, 650		
軽油		L	139. 2	148	20, 601		
諸雑費（率＋まるめ） 5%		式	1		10, 871		
計					994, 700		
単価					994. 7	円／m	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	断面修復工（左官工法）	無し 0.1m3を超える 0.062m3	単位	構造物	数量	1	単価	197, 200
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	1. 488	32, 200	47, 913		
	特殊作業員		人	2. 79	27, 200	75, 888		
	普通作業員		人	1. 426	25, 400	36, 220		
	ホ リマセメントモルタル		m 3	0. 073	379, 000	27, 667		
	諸雑費（率＋まるめ） 6%		式	1		9, 512		
	計					197, 200		
	単価					197, 200	円／構造物	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0
	断面修復工（左官工法）	有り 0.1m3を超える 0.457m3	単位	構造物	数量	1	単価 1,711,000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	土木一般世話役		人	12.796	32,200	412,031	
	特殊作業員		人	24.221	27,200	658,811	
	普通作業員		人	12.796	25,400	325,018	
	ホリマセメントモルタル		m ³	0.539	379,000	204,281	
	諸雑費（率＋まるめ） 8%		式	1		110,859	
	計					1,711,000	
	単価					1,711,000	円／構造物

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	コンクリート殻積込・運搬（断面修復工）	有り 5.5k m以下 良好	単位	m 3	数量	10	単価	5, 447
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
普通作業員			人	1. 3	25, 400	33, 020		
ダンプトラック運転		良好	日	0. 61	35, 150	21, 441		
諸雑費（まるめ）			式	1		9		
計						54, 470		
単価						5, 447	円／m 3	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	処分費（m 3）		単位	m 3	数量	100	単価	4, 230
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	処分費 (Co殻 (無筋))	(有)川西碎石	m 3	100	4, 230	423, 000		
	計					423, 000		
	単価					4, 230	円／m 3	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	足場工（床版補強工用）	桁高1.5m以上 1.9月	単位	m ²	数量	1	単価	9,426
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう特殊工		人	0.153	54,600	8,353		
	足場材損料		月	1.9	565	1,073		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					9,426		
	単価					9,426	円／m ²	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	朝顔（床版補強工用）	両側朝顔 1.9月	単位	m 2	数量	1	単価	1, 296
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう特殊工		人	0. 022	54, 600	1, 201		
	足場材損料		月	1. 9	50	95		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					1, 296		
	単価					1, 296	円／m 2	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	防護工（床版補強工用）	両側朝顔 シート張防護 1. 9月	単位	m 2	数量	1	単価	297
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう特殊工		人	0. 004	54, 600	218		
	シート張防護材損料		月	1. 9	42	79		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					297		
	単価					297	円／m 2	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	交通誘導警備員A		単位	人日	数量	1	単価	19, 300
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員A			人	1	19, 300	19, 300		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						19, 300		
単価						19, 300	円／人日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	交通誘導警備員B		単位	人日	数量	1	単価	18, 500
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B			人	1	18, 500	18, 500		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						18, 500		
単価						18, 500	円／人日	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50
	交通誘導警備員A		単位	人日	数量	1	単価 28, 950
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員A			人	1	28, 950	28, 950	
諸雑費（まるめ）			式	1		0	
計						28, 950	
単価						28, 950	円／人日

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50
	交通誘導警備員B		単位	人日	数量	1	単価 27, 750
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B			人	1	27, 750	27, 750	
諸雑費（まるめ）			式	1		0	
計						27, 750	
単価						27, 750	円／人日

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0
	貨物自動車による運搬（１車１回）	路面切削機（ホール式・廃材積込装置付）2. 0m 36. 3km 無 有 21000円	単位	台	数量	1	単価 108, 000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	貨物自動車基本運賃	20t車以上30t車まで 50kmまで	台	1	87, 000	87, 000	
	貨物自動車運送料金	運搬中の賃料（損料）K（K'）	台	1	21, 000	21, 000	
	諸雑費（まるめ）		式	1		0	
	計					108, 000	
	単価					108, 000	円／台

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	貨物自動車による運搬（１車１回）	路面切削機（ホール式・廃材積込装置付）2. 0m 35. 7km 無 有 10500円	単位	台	数量		単価	
						1		97, 500
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	貨物自動車基本運賃	20t車以上30t車まで 50kmまで						
			台	1	87, 000	87, 000		
	貨物自動車運送料金	運搬中の賃料（損料）K（K’）						
			台	1	10, 500	10, 500		
	諸雑費（まるめ）							
			式	1		0		
	計					97, 500		
	単価					97, 500	円／台	

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	路面切削機[ホイール式・廃材積込装置付 ・排対3型]運転	切削幅2. 0×深さ23cm	単位	日	数量	1	単価	318, 100
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	運転手（特殊）		人	1	45, 450	45, 450		
	軽油		L	315	148	46, 620		
	路面切削機 [ホイール式・廃材積込装置付]	排ガス型（第3次）切削幅×深さ2. 0×0. 23m	供用日	1. 43	158, 000	225, 940		
	諸雑費（まるめ）		式	1		90		
	計					318, 100		
	単価					318, 100	円／日	

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	路面清掃車[ブラシ・四輪式]運転	ホッパ 容量1.5m3	単位	日	数量	1	単価	135, 200
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	運転手（特殊）		人	1	45, 450	45, 450		
	軽油		L	77	148	11, 396		
	路面清掃車 [ブラシ・四輪式・路面切削工事用]	ホッパ収集容量1. 5 m 3	供用日	1. 78	44, 000	78, 320		
	諸雑費（まるめ）		式	1		34		
	計					135, 200		
	単価					135, 200	円／日	

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	アスファルトフィニッシャ[ホイール型・排対型 2014 年規制]運転	舗装幅2. 3～6. 0m	単位	日	数量	1	単価	235, 800
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手（特殊）			人	1	45, 450	45, 450		
軽油			L	68	148	10, 064		
アスファルトフィニッシャ [ホイール型]		排ガス対策 2 0 1 4 年規制 舗装幅 2. 3 ～ 6. 0 m	供用日	1. 75	103, 000	180, 250		
諸雑費（まるめ）			式	1		36		
計						235, 800		
単価						235, 800	円／日	

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	ロードローラ[マカダム・排出ガス対策型(2014年規制)]運転	運転質量10t締固め幅2. 1m	単位	日	数量	1	単価	86, 740
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	運転手（特殊）		人	1	45, 450	45, 450		
	軽油		L	35	148	5, 180		
	ロードローラ [マカダム]	排出ガス対策型（2014年規制） 運転質量10t	供用日	1. 57	23, 000	36, 110		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					86, 740		
	単価					86, 740	円／日	

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	タイヤローラ[マカダム・排出ガス対策型(2014年規制)]運転	運転質量13～14t	単位	日	数量	1	単価	88, 140
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手（特殊）			人	1	45, 450	45, 450		
軽油			L	27	148	3, 996		
タイヤローラ [普通型・排ガス対策2014年規制]		運転質量13～14t	供用日	1. 86	20, 800	38, 688		
諸雑費（まるめ）			式	1		6		
計						88, 140		
単価						88, 140	円／日	

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	ダンプトラック運転	良好	単位	日	数量	1	単価	35, 150
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	運転手（一般）		人	0. 89	24, 800	22, 072		
	軽油		L	19. 2	148	2, 841		
	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	通称 4 t 積級	供用日	1. 02	9, 760	9, 955		
	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	タイヤ(供用日当り)	供用日	1. 02	268	273		
	諸雑費（まるめ）		式	1		9		
	計					35, 150		
	単価					35, 150	円／日	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一1号	排水装置取替		単位	基	数量	1	単価	131, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【材料】								
天板プレート一体装置		新設支持金具, アンカーボルト, 取付金具, EPDM含む	組	1	77, 500	77, 500		
【労務】								
排水装置取替		既設排水装置撤去, 天板プレート一体型排水装置, アンカ	基	1	53, 480	53, 480		
計						130, 980		
単価						131, 000	円／基	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0
単一2号	当て板補修 (1)	SM400A, SS400	単位	箇所	数量	1	単価 45, 100
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【材料】							
工場製作材料費 (k g)			k g	3	1, 800	5, 400	
工場製作材料費 (k g)			k g	2	1, 710	3, 420	
摩擦接合用高力ボルト (トルシア)		S 1 0 T M 2 2 × 6 5	組	1	215. 7	215. 7	
摩擦接合用高力ボルト (トルシア)		S 1 0 T M 2 2 × 7 0	組	2	222. 2	444. 4	
ジンクリッチ ペイント		有機厚膜	k g	0. 007	1, 810	12. 67	
弱溶剤形変性球状樹脂下塗			k g	0. 012	1, 660	19. 92	
弱溶剤形ふっ素樹脂用塗料中塗り			k g	0. 004	1, 910	7. 64	
弱溶剤形ふっ素樹脂用塗料上塗り			k g	0. 003	5, 930	17. 79	
【労務】							
芯出し調整工			m 2	0. 101	37, 840	3, 821. 84	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一2号	当て板補修 (1)	SM400A, SS400	単位	箇所	数量	1	単価	45, 100
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
補修塗装工（素地調整）			m 2	0. 101	25, 910	2, 616. 91		
鋼桁孔明工		400N鋼	本	3	2, 299	6, 897		
補強部材取付工		W≦20	部材	1	15, 070	15, 070		
高力ボルト本締め工		トルシア形高力ボルト	本	3	2, 029	6, 087		
継手部下塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）		ミストコート 変性エポキシ樹脂塗料(1層) 無し 無し	m 2	0. 069	1, 114	76. 86		
継手部下塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）		超厚膜形エポキシ樹脂塗料(2回塗り/層) 無し 無し	m 2	0. 069	5, 002	345. 13		
中塗り・上塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）		新橋継手部現場塗装 中塗り 無し 無し ふっ素樹脂塗料用 淡彩	m 2	0. 069	1, 278	88. 18		
中塗り・上塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）		新橋継手部現場塗装 上塗り 無し 無し ふっ素樹脂塗料 淡彩	m 2	0. 069	1, 927	132. 96		
現場塗装		RC-II	m 2	0. 031	13, 500	418. 5		
計						45, 092. 5		
単価						45, 100	円／箇所	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一3号	当て板補修 (2)	SS400	単位	箇所	数量	1	単価	52, 480
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【材料】								
工場製作材料費（k g）			k g	5	1, 710	8, 550		
摩擦接合用高力ボルト（六角）		F 1 0 T M 2 2 × 7 5	組	5	248	1, 240		
ジンクリッチ ペイント		有機厚膜	k g	0. 001	1, 810	1. 81		
弱溶剤形変性エポキシ樹脂下塗			k g	0. 003	1, 660	4. 98		
弱溶剤形ふっ素樹脂用塗料中塗り			k g	0. 001	1, 910	1. 91		
弱溶剤形ふっ素樹脂用塗料上塗り			k g	0. 001	5, 930	5. 93		
【労務】								
芯出し調整工			m 2	0. 099	37, 840	3, 746. 16		
補修塗装工（素地調整）			m 2	0. 099	25, 910	2, 565. 09		
鋼桁孔明工		400N鋼	本	5	2, 299	11, 495		

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0
単-3号	当て板補修 (2)	SS400	単位	箇所	数量	1	単価 52, 480
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
補強部材取付工		W≦20	部材	1	15, 070	15, 070	
高力ボルト本締め工		高力六角ボルト					
継手部下塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）		ミストコート 変性エポキシ樹脂塗料(1層) 無し 無し	m ²	0. 091	1, 114	101. 37	
継手部下塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）		超厚膜形エポキシ樹脂塗料(2回塗り/層) 無し 無し					
中塗り・上塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）		新橋継手部現場塗装 中塗り 無し 無し ふっ素樹脂塗料用 淡彩	m ²	0. 091	1, 278	116. 29	
中塗り・上塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）		新橋継手部現場塗装 上塗り 無し 無し ふっ素樹脂塗料 淡彩					
現場塗装		RC-II	m ²	0. 008	13, 500	108	
計							
単価						52, 480	円／箇所

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一4号	当て板補修 (3)	SS400	単位	箇所	数量	1	単価	75, 780
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【材料】								
工場製作材料費（k g）			k g	8	1, 710	13, 680		
摩擦接合用高力ボルト（トルシア）		S 1 0 T M 2 2 × 6 5	組	7	215. 7	1, 509. 9		
ジンクリッチ ペイント		有機厚膜	k g	0. 012	1, 810	21. 72		
弱溶剤形変性エポキシ樹脂下塗り			k g	0. 02	1, 660	33. 2		
弱溶剤形ふっ素樹脂用塗料中塗り			k g	0. 007	1, 910	13. 37		
弱溶剤形ふっ素樹脂用塗料上塗り			k g	0. 006	5, 930	35. 58		
【労務】								
芯出し調整工			m 2	0. 204	37, 840	7, 719. 36		
補修塗装工（素地調整）			m 2	0. 204	25, 910	5, 285. 64		
鋼桁孔明工		400N鋼	本	7	2, 299	16, 093		

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0
単一4号	当て板補修 (3)	SS400	単位	箇所	数量	1	単価 75, 780
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
補強部材取付工		W≦20	部材	1	15, 070	15, 070	
高力ボルト本締め工		トルシア形高力ボルト					
継手部下塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）		ミストコート 変性エポキシ樹脂塗料(1層) 無し 無し	m ²	0. 153	1, 114	170. 44	
継手部下塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）		超厚膜形エポキシ樹脂塗料(2回塗り/層) 無し 無し					
中塗り・上塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）		新橋継手部現場塗装 中塗り 無し 無し ふっ素樹脂塗料用 淡彩	m ²	0. 153	1, 278	195. 53	
中塗り・上塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）		新橋継手部現場塗装 上塗り 無し 無し ふっ素樹脂塗料 淡彩					
現場塗装		RC-II	m ²	0. 051	13, 500	688. 5	
計							
単価						75, 780	円／箇所

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一5号	低圧注入工法	25m以下 ｺﾝｸﾚｯﾄ	単位	構造物	数量	1	単価	171, 800
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
ひび割れ補修工（低圧注入工法）		25m以下 0.198kg 0.168kg 4個	構造物	1	171, 800	171, 800		
計						171, 800		
単価						171, 800	円／構造物	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一6号	左官工法 (1)	1構造物当り修復延べ体積 0.445m3 ｺﾝｸﾚｯﾄ・モﾙﾀﾙ 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理無	単位	構造物	数量	1	単価	35, 020
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
断面修復工（左官工法）		無し 0.1m3を超える 0.011m3	構造物	1	35, 020	35, 020		
計						35, 020		
単価						35, 020	円／構造物	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一7号	左官工法 (2)	1構造物当り修復延べ体積 0.445m ³ ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有	単位	構造物	数量	1	単価	1,625,000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
断面修復工（左官工法）		有り 0.1m ³ を超える 0.434m ³	構造物	1	1,625,000	1,625,000		
計						1,625,000		
単価						1,625,000	円／構造物	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一8号	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)		単位	m ³	数量	1	単価	13,080
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート殻積込・運搬（断面修復工）		有り 25 k m以下 良好	m ³	1	13,080	13,080		
計						13,080		
単価						13,080	円／m ³	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一9号	殻処分	コンクリート殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	4, 230
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 (m 3)			m 3	1	4, 230	4, 230		
計						4, 230		
単価						4, 230	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0
単一10号	塗替塗装	Rc- I	単位	m2	数量	1	単価 19, 430
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装		素地調整 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 1種ケレン(フラスト処理) 有り	m 2	1	13, 210	13, 210	
塗替塗装		下塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 有機ソノクリッチェント(1層)スプレー	m 2	1	1, 921	1, 921	
塗替塗装		下塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層)スプレー	m 2	1	1, 942	1, 942	
塗替塗装		中塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 スプレー 淡彩	m 2	1	884	884	
塗替塗装		上塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 スプレー 淡彩	m 2	1	1, 470	1, 470	
計						19, 427	
単価						19, 430	円/m2

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単－11号	塗膜除去	塗膜剥離剤塗布(2回) 塗膜除去	単位	m2	数量	1	単価	13, 910
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【1回目塗布】								
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去		無し 無し 横断歩道橋・側道橋・鋼製シェッド 0. 5kg/m2	m 2	1	6, 951	6, 951		
【2回目塗布】								
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去		無し 無し 横断歩道橋・側道橋・鋼製シェッド 0. 5kg/m2	m 2	1	6, 951	6, 951		
計						13, 902		
単価						13, 910	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一12号	廃材の回収・積込		単位	m2	数量	1	単価	2, 352
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
廃材の回収・積込		無し 無し	m 2	1	2, 352	2, 352		
計						2, 352		
単価						2, 352	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一13号	足場 (1)【夜間】	吊足場	単位	m2	数量	1	単価	6, 023
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
足場工（吊足場）		132m2 76日	m 2	1	6, 023	6, 023		
計						6, 023		
単価						6, 023	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一14号	足場 (2)【夜間】	両側朝顔	単位	m2	数量	1	単価	1, 795
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
朝顔		プレートカーター・ボックスカーター 設置・撤去・賃料 2.4月 両側朝顔	m 2	1	1, 795	1, 795		
計						1, 795		
単価						1, 795	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一15号	防護 【夜間】	シート防護	単位	m2	数量	1	単価	840
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
シート張防護工		設置・撤去・賃料 2.4月 両側朝顔	m 2	1	840	840		
計						840		
単価						840	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一16号	交通誘導警備員 (1)【夜間】	誘導員A	単位	人日	数量	1	単価	28, 950
名称			単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 A			人日	1	28, 950	28, 950		
計						28, 950		
単価						28, 950	円／人日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一17号	交通誘導警備員 (2)【夜間】	誘導員B	単位	人日	数量	1	単価	27, 750
名称			単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 B			人日	1	27, 750	27, 750		
計						27, 750		
単価						27, 750	円／人日	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	排水装置取替	既設排水装置撤去, 天板プレート一体型排水装置, アカ	単位	基	数量	1	単価	53, 480
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
排水装置撤去			箇所	1	26, 740	26, 740		
排水装置設置			箇所	1	26, 740	26, 740		
計						53, 480		
単価						53, 480	円／基	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	工場製作材料費（k g）		単位	k g	数量	1	単価	1, 800
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
当て板		SM400A 工場塗装含む	k g	1	1, 800	1, 800		
計						1, 800		
単価						1, 800	円／k g	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	工場製作材料費（k g）		単位	k g	数量	1	単価	1, 710
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
当て板		SS400 工場塗装含む	k g	1	1, 710	1, 710		
計						1, 710		
単価						1, 710	円／k g	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	芯出し調整工		単位	m 2	数量	10	単価	37, 840
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	1. 2	40, 800	48, 960		
	橋りょう特殊工		人	5. 4	36, 400	196, 560		
	普通作業員		人	4. 8	25, 400	121, 920		
	諸雑費（率＋まるめ） 3%		式	1		10, 960		
	計					378, 400		
	単価					37, 840	円／m 2	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	補修塗装工（素地調整）		単位	m 2	数量		単価	
						10		25, 910
	名 称	規 格	単位	数量	単価	金額	摘 要	
	橋 り よ う 塗 装 工							
			人	6. 8	36, 300	246, 840		
	諸 雑 費 （ 率 ＋ ま る め ）							
	5%		式	1		12, 260		
	計					259, 100		
	単 価					25, 910	円／m 2	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	鋼桁孔明工	400N鋼	単位	本	数量	100	単価	2, 299
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	1. 1	40, 800	44, 880		
	橋りょう特殊工		人	3. 4	36, 400	123, 760		
	普通作業員		人	1. 1	25, 400	27, 940		
	諸雑費（率＋まるめ） 17%		式	1		33, 320		
	計					229, 900		
	単価					2, 299	円／本	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	補強部材取付工	W≤20	単位	部材	数量	10	単価	15, 070
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	0. 9	40, 800	36, 720		
	橋りょう特殊工		人	2. 5	36, 400	91, 000		
	普通作業員		人	0. 9	25, 400	22, 860		
	補強部材	※別途計上	部材	10	0	0		
	諸雑費（率＋まるめ） 0. 1%		式	1		120		
	計					150, 700		
	単価					15, 070	円／部材	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	高力ボルト本締め工	トルシア形高力ボルト	単位	本	数量	100	単価	2, 029
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	1. 2	40, 800	48, 960		
	橋りょう特殊工		人	3. 3	36, 400	120, 120		
	普通作業員		人	1. 1	25, 400	27, 940		
	高力ボルト	※別途計上	組	100	0	0		
	諸雑費（率＋まるめ） 3%		式	1		5, 880		
	計					202, 900		
	単価					2, 029	円／本	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	継手部下塗り（新橋現場・新橋継手 部現場塗装）	ミストコート 変性エポキシ樹脂塗料(1層) 無し	単位	m 2	数量	100	単価	1, 114
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工 新橋塗装 下塗り		昼間 ミストコート 変性エポキシ樹脂(1層) 制約無	m 2	100	1, 113. 12	111, 312		
諸雑費（まるめ）			式	1		88		
計						111, 400		
単価						1, 114	円／m 2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	継手部下塗り（新橋現場・新橋継手 部現場塗装）	超厚膜形エポキシ樹脂塗料(2回塗り/層) 無し	単位	m 2	数量	100	単価	5, 002
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工 新橋塗装 下塗り		昼間 超厚膜形エポキシ(2回塗り/層) 制約無	m 2	100	5, 001. 12	500, 112		
諸雑費（まるめ）			式	1		88		
計						500, 200		
単価						5, 002	円／m 2	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	中塗り・上塗り（新橋現場・新橋継 手部現場塗装）	新橋継手部現場塗装 中塗り 無し 無し ふっ素樹脂塗料用 淡彩	単位	m 2	数量	100	単価	1, 278
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工 新橋塗装 中塗り		昼間 ふっ素樹脂塗料用 淡彩 制約無	m 2	100	1, 277. 28	127, 728		
諸雑費（まるめ）			式	1		72		
計						127, 800		
単価						1, 278	円／m 2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	中塗り・上塗り（新橋現場・新橋継 手部現場塗装）	新橋継手部現場塗装 上塗り 無し 無し ふっ素樹脂塗料 淡彩	単位	m 2	数量	100	単価	1, 927
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工 新橋塗装 上塗り		昼間 ふっ素樹脂 淡彩 制約無	m 2	100	1, 926. 72	192, 672		
諸雑費（まるめ）			式	1		28		
計						192, 700		
単価						1, 927	円／m 2	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	高力ボルト本締め工	高力六角ボルト	単位	本	数量	100	単価	1, 767
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	1. 1	40, 800	44, 880		
	橋りょう特殊工		人	2. 9	36, 400	105, 560		
	普通作業員		人	0. 9	25, 400	22, 860		
	高力ボルト	※別途計上	組	100	0	0		
	諸雑費（率＋まるめ） 2%		式	1		3, 400		
	計					176, 700		
	単価					1, 767	円／本	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0
	ひび割れ補修工（低圧注入工法）	25m以下 0. 198kg 0. 168kg 4個	単位	構造物	数量	1	単価 171, 800
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	土木一般世話役		人	1. 5	32, 200	48, 300	
	特殊作業員		人	2. 4	27, 200	65, 280	
	普通作業員		人	1. 8	25, 400	45, 720	
	注入材	エポキシ	k g	0. 198	3, 400	673	
	シーリング材	エポキシ	k g	0. 23	2, 630	604	
	低圧注入器具		個	4	420	1, 680	
	諸雑費（率＋まるめ） 6%		式	1		9, 543	
	計					171, 800	
	単価					171, 800	円／構造物

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	断面修復工（左官工法）	無し 0.1m3を超える 0.011m3	単位	構造物	数量	1	単価	35, 020
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役			人	0. 264	32, 200	8, 500		
特殊作業員			人	0. 495	27, 200	13, 464		
普通作業員			人	0. 253	25, 400	6, 426		
ホ° リマセメントモルタル			m 3	0. 013	379, 000	4, 927		
諸雑費（率＋まるめ） 6%			式	1		1, 703		
計						35, 020		
単価						35, 020	円／構造物	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	断面修復工（左官工法）	有り 0.1m3を超える 0.434m3	単位	構造物	数量	1	単価	1,625,000
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	12.152	32,200	391,294		
	特殊作業員		人	23.002	27,200	625,654		
	普通作業員		人	12.152	25,400	308,660		
	ホ リマセメントモルタル		m 3	0.512	379,000	194,048		
	諸雑費（率＋まるめ） 8%		式	1		105,344		
	計					1,625,000		
	単価					1,625,000	円／構造物	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	コンクリート殻積込・運搬（断面修復工）	有り 25 k m以下 良好	単位	m 3	数量	10	単価	13, 080
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
普通作業員			人	1. 3	25, 400	33, 020		
ダンプトラック運転		良好	日	2. 78	35, 150	97, 717		
諸雑費（まるめ）			式	1		63		
計						130, 800		
単価						13, 080	円／m 3	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	処分費（m 3）		単位	m 3	数量	100	単価	4, 230
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	処分費 (Co殻 (無筋))	(有)川西碎石	m 3	100	4, 230	423, 000		
	計					423, 000		
	単価					4, 230	円／m 3	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	塗替塗装	素地調整 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 1種ケレン(フラスト処理) 有り	単位	m 2	数量	100	単価	13, 210
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工	塗替塗装	昼間 素地調整 1 種ケレン 制約無	m 2	100	9, 095	909, 500		
橋梁塗装工	塗替塗装	昼間 素地調整研削材及びケレンかす 制約無	m 2	100	4, 109	410, 900		
諸雑費（まるめ）			式	1		600		
計						1, 321, 000		
単価						13, 210	円／m 2	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	塗替塗装	下塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 有機シンクリッチェント(1層)スプレー	単位	m ²	数量	100	単価	1, 921
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工	塗替塗装 下塗り	昼間 有機シンクリッチ(1層)スプレー 制約無	m ²	100	1, 920. 96	192, 096		
諸雑費（まるめ）			式	1		4		
計						192, 100		
単価						1, 921	円／m ²	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	塗替塗装	下塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層)スプレー	単位	m ²	数量	100	単価	1, 942
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工	塗替塗装 下塗り	昼間 弱溶剤形変性エポキシ(2層)スプレー 制約無	m ²	100	1, 941. 84	194, 184		
諸雑費（まるめ）			式	1		16		
計						194, 200		
単価						1, 942	円／m ²	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	塗替塗装	中塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 スプレー 淡彩	単位	m 2	数量	100	単価	884
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工 塗替塗装 中塗り		昼間 弱溶剤形ふっ素 スプレー淡彩 制約無	m 2	100	883. 92	88, 392		
諸雑費（まるめ）			式	1		8		
計						88, 400		
単価						884	円／m 2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	塗替塗装	上塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 スプレー 淡彩	単位	m 2	数量	100	単価	1, 470
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工 塗替塗装 上塗り		昼間 弱溶剤形ふっ素 スプレー淡彩 制約無	m 2	100	1, 469. 72	146, 972		
諸雑費（まるめ）			式	1		28		
計						147, 000		
単価						1, 470	円／m 2	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	無し 無し 横断歩道橋・側道橋・鋼製シェッド 0.5kg/m2	単位	m 2	数量	1	単価	6, 951
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	塗膜剥離剤塗布・塗膜除去 昼間	歩道橋・側道橋・鋼製シェッド 時間制約無	m 2	1	5, 807	5, 807		
	塗膜剥離剤		k g	0. 575	1, 990	1, 144		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					6, 951		
	単価					6, 951	円／m 2	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	廃材の回収・積込	無し 無し	単位	m 2	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	1 金額	2, 352 摘要	
	廃材の回収・積込 昼間	時間制約無	m 2	1	2, 352	2, 352		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					2, 352		
	単価					2, 352	円／m 2	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	足場工（吊足場）	132m2 76日	単位	m 2	数量	1	単価	6, 023
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう特殊工		人	0. 098	54, 600	5, 350		
	足場材損料		日	76	8. 86	673		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					6, 023		
	単価					6, 023	円／m 2	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	朝顔	プレートカーター・ボックスカーター 設置・撤去・賃料 2.4月 両側朝顔	単位	m 2	数量	1	単価	1, 795
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう特殊工			人	0. 027	54, 600	1, 474		
朝顔賃料			月	2. 4	133. 83	321		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						1, 795		
単価						1, 795	円／m 2	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	シート張防護工	設置・撤去・賃料 2.4月 両側朝顔	単位	m 2	数量	1	単価	840
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう特殊工		人	0. 011	54, 600	600		
	シート張防護材賃料		月	2. 4	100. 41	240		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					840		
	単価					840	円／m 2	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
	交通誘導警備員A		単位	人日	数量	1	単価	28, 950
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員A			人	1	28, 950	28, 950		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						28, 950		
単価						28, 950	円／人日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
	交通誘導警備員B		単位	人日	数量	1	単価	27, 750
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B			人	1	27, 750	27, 750		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						27, 750		
単価						27, 750	円／人日	

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	排水装置撤去		単位	箇所	数量	10	単価	26, 740
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	1. 25	40, 800	51, 000		
	橋りょう特殊工		人	3. 75	36, 400	136, 500		
	普通作業員		人	1. 25	25, 400	31, 750		
	諸雑費（率＋まるめ） 22%		式	1		48, 150		
	計					267, 400		
	単価					26, 740	円／箇所	

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	排水装置設置		単位	箇所	数量	10	単価	26, 740
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう世話役		人	1. 25	40, 800	51, 000		
	橋りょう特殊工		人	3. 75	36, 400	136, 500		
	普通作業員		人	1. 25	25, 400	31, 750		
	諸雑費（率＋まるめ） 22%		式	1		48, 150		
	計					267, 400		
	単価					26, 740	円／箇所	

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	ダンプトラック運転	良好	単位	日	数量	1	単価	35, 150
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	運転手（一般）		人	0. 89	24, 800	22, 072		
	軽油		L	19. 2	148	2, 841		
	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	通称 4 t 積級	供用日	1. 02	9, 760	9, 955		
	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	タイヤ(供用日当り)	供用日	1. 02	268	273		
	諸雑費（まるめ）		式	1		9		
	計					35, 150		
	単価					35, 150	円／日	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一1号	低圧注入工法	25m以下 ｺﾝｸﾚｯﾄ	単位	構造物	数量	1	単価	171, 800
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
ひび割れ補修工（低圧注入工法）		25m以下 0. 198kg 0. 168kg 4個	構造物	1	171, 800	171, 800		
計						171, 800		
単価						171, 800	円／構造物	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一2号	左官工法 (1)	1構造物当り修復延べ体積 0. 178m3 ｺﾝｸﾚｯﾄ・ﾓﾙﾀﾙ 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理無	単位	構造物	数量	1	単価	41, 250
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
断面修復工（左官工法）		無し 0. 1m3を超える 0. 013m3	構造物	1	41, 250	41, 250		
計						41, 250		
単価						41, 250	円／構造物	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一3号	左官工法 (2)	1構造物当り修復延べ体積 0.178m ³ ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有	単位	構造物	数量	1	単価	618, 100
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
断面修復工（左官工法）		有り 0.1m ³ を超える 0.165m ³	構造物	1	618, 100	618, 100		
計						618, 100		
単価						618, 100	円／構造物	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一4号	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)		単位	m ³	数量	1	単価	19, 120
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート殻積込・運搬（断面修復工）		有り 40.5k m以下 良好	m ³	1	19, 120	19, 120		
計						19, 120		
単価						19, 120	円／m ³	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単-5号	殻処分	コンクリート殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	4, 230
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 (m 3)			m 3	1	4, 230	4, 230		
計						4, 230		
単価						4, 230	円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一6号	塗替塗装	RC- I	単位	m2	数量	1	単価	30, 700
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
塗替塗装		素地調整 高欄部単独施工 無し 無し 1種ケレン(プラスチック処理) 有り	m 2	1	22, 600	22, 600		
塗替塗装		下塗り 高欄部単独施工 無し 無し 有機ソノクリッチェント(1層)スプレー	m 2	1	2, 501	2, 501		
塗替塗装		下塗り 高欄部単独施工 無し 無し 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層)スプレー	m 2	1	2, 528	2, 528		
塗替塗装		中塗り 高欄部単独施工 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 スプレー 淡彩	m 2	1	1, 151	1, 151		
塗替塗装		上塗り 高欄部単独施工 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 スプレー 淡彩	m 2	1	1, 914	1, 914		
計						30, 694		
単価						30, 700	円/m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一7号	足場 (1)【夜間】	吊足場	単位	m2	数量	1	単価	7, 480
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
足場工（床版補強工用）		桁高1. 5m未満 0. 9月	m 2	1	7, 480	7, 480		
計						7, 480		
単価						7, 480	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一8号	足場 (2)【夜間】	両側朝顔	単位	m2	数量	1	単価	1, 246
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
朝顔（床版補強工用）		両側朝顔 0. 9月	m 2	1	1, 246	1, 246		
計						1, 246		
単価						1, 246	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単一9号	防護 【夜間】	シート防護	単位	m2	数量	1	単価	255
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
防護工（床版補強工用）		両側朝顔 シート張防護 0.9月	m 2	1	255	255		
計						255		
単価						255	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単一10号	交通誘導警備員 (1)	誘導員A	単位	人日	数量	1	単価	19, 300
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員A			人日	1	19, 300	19, 300		
計						19, 300		
単価						19, 300	円／人日	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
単－11号	交通誘導警備員 (2)	誘導員B	単位	人日	数量	1	単価	18, 500
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 B			人日	1	18, 500	18, 500		
計						18, 500		
単価						18, 500	円／人日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
単－12号	交通誘導警備員 (3) 【夜間】	誘導員A	単位	人日	数量	1	単価	28, 950
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 A			人日	1	28, 950	28, 950		
計						28, 950		
単価						28, 950	円／人日	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

単一13号	交通誘導警備員 (4)【夜間】	誘導員B	単位	人日	数量	1	単価	27, 750
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 B			人日	1	27, 750	27, 750		
計						27, 750		
単価						27, 750	円／人日	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0
	ひび割れ補修工（低圧注入工法）	25m以下 0. 198kg 0. 168kg 4個	単位	構造物	数量	1	単価 171, 800
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役		人	1. 5	32, 200	48, 300		
特殊作業員		人	2. 4	27, 200	65, 280		
普通作業員		人	1. 8	25, 400	45, 720		
注入材	エポキシ	k g	0. 198	3, 400	673		
シーリング材	エポキシ	k g	0. 23	2, 630	604		
低圧注入器具		個	4	420	1, 680		
諸雑費（率＋まるめ） 6%		式	1		9, 543		
計					171, 800		
単価					171, 800	円／構造物	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0
	断面修復工（左官工法）	無し 0.1m3を超える 0.013m3	単位	構造物	数量	1	単価 41,250
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	土木一般世話役		人	0.312	32,200	10,046	
	特殊作業員		人	0.585	27,200	15,912	
	普通作業員		人	0.299	25,400	7,594	
	ホ [○] リマセメントモルタル		m ³	0.015	379,000	5,685	
	諸雑費（率＋まるめ） 6%		式	1		2,013	
	計					41,250	
	単価					41,250	円／構造物

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	断面修復工（左官工法）	有り 0.1m3を超える 0.165m3	単位	構造物	数量	1	単価	618, 100
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	4. 62	32, 200	148, 764		
	特殊作業員		人	8. 745	27, 200	237, 864		
	普通作業員		人	4. 62	25, 400	117, 348		
	ホ [○] リマセメントモルタル		m 3	0. 195	379, 000	73, 905		
	諸雑費（率＋まるめ） 8%		式	1		40, 219		
	計					618, 100		
	単価					618, 100	円／構造物	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	コンクリート殻積込・運搬（断面修復工）	有り 40.5 k m以下 良好	単位	m 3	数量	10	単価	19, 120
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
普通作業員			人	1. 3	25, 400	33, 020		
ダンプトラック運転		良好	日	4. 5	35, 150	158, 175		
諸雑費（まるめ）			式	1		5		
計						191, 200		
単価						19, 120	円／m 3	

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	処分費（m 3）		単位	m 3	数量	100	単価	4, 230
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	処分費 (Co殻 (無筋))	(有)川西碎石	m 3	100	4, 230	423, 000		
	計					423, 000		
	単価					4, 230	円／m 3	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	塗替塗装	素地調整 高欄部単独施工 無し 無し 1種ケレン(フﾟラスト処理) 有り	単位	m 2	数量	100	単価	22, 600
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工	塗替塗装	昼間 素地調整 1 種ケレン 制約無	m 2	100	18, 481. 04	1, 848, 104		
橋梁塗装工	塗替塗装	昼間 素地調整研削材及びケレンかす 制約無	m 2	100	4, 109	410, 900		
諸雑費（まるめ）			式	1		996		
計						2, 260, 000		
単価						22, 600	円／m 2	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	塗替塗装	下塗り 高欄部単独施工 無し 無し 有機ジンクリッチ [®] イント(1層)スプレー	単位	m ²	数量	100	単価	2, 501
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工	塗替塗装 下塗り	昼間 有機ジンクリッチ(1層) スプレー 制約無	m ²	100	2, 500. 56	250, 056		
諸雑費（まるめ）			式	1		44		
計						250, 100		
単価						2, 501	円／m ²	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	塗替塗装	下塗り 高欄部単独施工 無し 無し 弱溶剤形変性 [®] ポキシ樹脂塗料(2層)スプレー	単位	m ²	数量	100	単価	2, 528
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工	塗替塗装 下塗り	昼間 弱溶剤形変性 [®] ポキシ(2層)スプレー 制約無	m ²	100	2, 527. 74	252, 774		
諸雑費（まるめ）			式	1		26		
計						252, 800		
単価						2, 528	円／m ²	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	塗替塗装	中塗り 高欄部単独施工 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 スプレー 淡彩	単位	m 2	数量	100	単価	1, 151
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工 塗替塗装 中塗り		昼間 弱溶剤形ふっ素 スプレー淡彩 制約無	m 2	100	1, 150. 62	115, 062		
諸雑費（まるめ）			式	1		38		
計						115, 100		
単価						1, 151	円／m 2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	塗替塗装	上塗り 高欄部単独施工 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 スプレー 淡彩	単位	m 2	数量	100	単価	1, 914
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工 塗替塗装 上塗り		昼間 弱溶剤形ふっ素 スプレー淡彩 制約無	m 2	100	1, 913. 17	191, 317		
諸雑費（まるめ）			式	1		83		
計						191, 400		
単価						1, 914	円／m 2	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	足場工（床版補強工用）	桁高1.5m未満 0.9月	単位	m 2	数量	1	単価	7,480
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう特殊工		人	0.13	54,600	7,098		
	足場材損料		月	0.9	425	382		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					7,480		
	単価					7,480	円／m 2	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	朝顔（床版補強工用）	両側朝顔 0.9月	単位	m ²	数量	1	単価	1,246
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう特殊工		人	0.022	54,600	1,201		
	足場材損料		月	0.9	50	45		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					1,246		
	単価					1,246	円／m ²	

参考資料（１）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-50

	防護工（床版補強工用）	両側朝顔 シート張防護 0.9月	単位	m 2	数量	1	単価	255
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋りょう特殊工		人	0. 004	54, 600	218		
	シート張防護材損料		月	0. 9	42	37		
	諸雑費（まるめ）		式	1		0		
	計					255		
	単価					255	円／m 2	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	交通誘導警備員A		単位	人日	数量	1	単価	19, 300
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員A			人	1	19, 300	19, 300		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						19, 300		
単価						19, 300	円／人日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-0	
	交通誘導警備員B		単位	人日	数量	1	単価	18, 500
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B			人	1	18, 500	18, 500		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						18, 500		
単価						18, 500	円／人日	

参考資料（１）

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
	交通誘導警備員A		単位	人日	数量	1	単価	28, 950
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員A			人	1	28, 950	28, 950		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						28, 950		
単価						28, 950	円／人日	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 07 2026. 07 1. 000-00-00-2-50	
	交通誘導警備員B		単位	人日	数量	1	単価	27, 750
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B			人	1	27, 750	27, 750		
諸雑費（まるめ）			式	1		0		
計						27, 750		
単価						27, 750	円／人日	

参考資料（２）

単価使用年月	2026. 07
歩掛使用年月	2026. 07
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

	ダンプトラック運転	良好	単位	日	数量	1	単価	35, 150
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手（一般）			人	0. 89	24, 800	22, 072		
軽油			L	19. 2	148	2, 841		
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	通称 4 t 積級		供用日	1. 02	9, 760	9, 955		
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	タイヤ(供用日当り)		供用日	1. 02	268	273		
諸雑費（まるめ）			式	1		9		
計						35, 150		
単価						35, 150	円／日	

共通仮設費

主たる工種						
単独（追加工事）： 橋梁保全工事			合算工事： 0			
対象工事費	73, 524, 241	直接工事費	73, 524, 241	準備費	0	事業損失 0
対象工事費に含まれる全処分費額	単独（追加工事）	63, 450	現工事	0	合算工事	0
非対象額計（－）		9, 651, 050				
管理費区分 1		0	（橋梁、P C 桁、門扉、ポンプ等購入費）			
管理費区分 2， 7		0	（工場原価）			
管理費区分 5		9, 651, 050	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分 9		0	（間接費非対象額）			
管理費区分 T		0	（全処分費等のうち 3 %または 3 0 0 0 万円を超える額）			
対象額 支 給 品（＋）		0				
無償貸付機械評価額（＋）		0				
共通仮設費対象額						
単独（追加工事）		63, 873, 191	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く 共通仮設費対象額		63, 809, 741		0		0
共通仮設費（率分）						
率（補正前）		11. 78 %		0 %		
施工地域等補正		1. 4	ICT施工補正	1		
率（補正後）		16. 49 %				
計上額		10, 532, 000		0		0
比較結果						
当該追加工事		A				
0		0			調整工事計上額	0

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	63,809,741	直接工事費	73,524,241		
非対象額計（－）	9,714,500				
管理費区分1	0	（橋梁、P C 桁、門扉、ポンプ等購入費）			
管理費区分2、7	0	（工場原価）			
管理費区分5	9,651,050	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分9	0	（間接費非対象額）			
管理費区分T	63,450	（直接工事費に含まれる処分費等）			
対象額 支 給 品（＋）	0				
無償貸付機械評価額（＋）	0				
現場環境改善費対象額（P i）					
単独（追加工事）	63,809,741	現工事	0	合算工事	0
現場環境改善費					
率（補正前）	0.86 %		0 %		0 %
施工地域等補正	市街地以外				
率（補正後）	0.86 %				
計上額	548,000		0		0
比較結果	当該追加工事	A		調整工事計上額	0
	0	0			

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	591,305				
運搬費	205,500	準備費	0	事業損失防止施設費	0
安全費	321,580	役務費	0	技術管理費	64,225
営繕費	0	現場環境改善費	0		
共通仮設費計					11,671,305

共通仮設費

主たる工種						
単独（追加工事）： 橋梁保全工事			合算工事： 0			
対象工事費	35,640,142	直接工事費	35,640,142	準備費	0	事業損失 0
対象工事費に含まれる全処分費額	単独（追加工事）	0	現工事	0	合算工事	0
非対象額計（－）		9,620,000				
管理費区分 1		0（橋梁、P C 桁、門扉、ポンプ等購入費）				
管理費区分 2， 7		0（工場原価）				
管理費区分 5		9,620,000（一般管理費等のみ対象額）				
管理費区分 9		0（間接費非対象額）				
管理費区分 T		0（全処分費等のうち 3 % または 3 0 0 0 万円を超える額）				
対象額 支 給 品（＋）		0				
無償貸付機械評価額（＋）		0				
共通仮設費対象額						
単独（追加工事）		26,020,142	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く共通仮設費対象額		26,020,142		0		0
共通仮設費（率分）						
率（補正前）		16.21 %		0 %		
施工地域等補正		1.4	ICT施工補正	1		
率（補正後）		22.69 %				
計上額		5,903,000		0		0
比較結果						
当該追加工事		A				
0		0			調整工事計上額	0

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	26,020,142	直接工事費	35,640,142		
非対象額計（－）	9,620,000				
管理費区分 1	0	（橋梁、P C 桁、門扉、ポンプ等購入費）			
管理費区分 2, 7	0	（工場原価）			
管理費区分 5	9,620,000	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分 9	0	（間接費非対象額）			
管理費区分 T	0	（直接工事費に含まれる処分費等）			
対象額 支 給 品（＋）	0				
無償貸付機械評価額（＋）	0				
現場環境改善費対象額（P i）					
単独（追加工事）	26,020,142	現工事	0	合算工事	0
現場環境改善費					
率（補正前）	1.03 %	0	%	0	%
施工地域等補正	市街地以外				
率（補正後）	1.03 %				
計上額	268,000	0		0	
比較結果	当該追加工事	A		調整工事計上額	0
	0	0			

共通仮設費

主たる工種						
単独（追加工事）： 橋梁保全工事			合算工事： 0			
対象工事費	17,889,880	直接工事費	17,889,880	準備費	0	事業損失 0
対象工事費に含まれる全処分費額		単独（追加工事）	61,335	現工事	0	合算工事 0
非対象額計（－）		0				
管理費区分 1		0	（橋梁、P C 桁、門扉、ポンプ等購入費）			
管理費区分 2， 7		0	（工場原価）			
管理費区分 5		0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分 9		0	（間接費非対象額）			
管理費区分 T		0	（全処分費等のうち 3 % または 3 0 0 0 万円を超える額）			
対象額 支 給 品（＋）		0				
無償貸付機械評価額（＋）		0				
共通仮設費対象額						
単独（追加工事）		17,889,880		現工事	0	合算工事 0
全処分費等を除く共通仮設費対象額		17,828,545			0	0
共通仮設費（率分）						
率（補正前）		18.52 %		0	%	
施工地域等補正		1.4	ICT施工補正	1		
率（補正後）		25.93 %				
計上額		4,638,000		0		0
比較結果						
当該追加工事		A				
	0	0			調整工事計上額	0

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	17,828,545	直接工事費	17,889,880		
非対象額計（－）	61,335				
管理費区分1	0	(橋梁、P C 桁、門扉、ポンプ等購入費)			
管理費区分2、7	0	(工場原価)			
管理費区分5	0	(一般管理費等のみ対象額)			
管理費区分9	0	(間接費非対象額)			
管理費区分T	61,335	(直接工事費に含まれる処分費等)			
対象額 支 給 品（＋）	0				
無償貸付機械評価額（＋）	0				
現場環境改善費対象額（P i）					
単独（追加工事）	17,828,545	現工事	0	合算工事	0
現場環境改善費					
率（補正前）	2.47 %	0	%	0	%
施工地域等補正	市街地				
率（補正後）	2.47 %				
計上額	440,000	0		0	
比較結果	当該追加工事	A		調整工事計上額	0
	0	0			

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	205,500				
運搬費	205,500	準備費	0	事業損失防止施設費	0
安全費	0	役務費	0	技術管理費	0
営繕費	0	現場環境改善費	0		
共通仮設費計					5,283,500

共通仮設費

主たる工種						
単独（追加工事）： 橋梁保全工事			合算工事： 0			
対象工事費	13, 231, 404	直接工事費	13, 231, 404	準備費	0	事業損失 0
対象工事費に含まれる全処分費額	単独（追加工事）	1, 692	現工事	0	合算工事	0
非対象額計（－）		31, 050				
管理費区分 1		0（橋梁、P C 桁、門扉、ポンプ等購入費）				
管理費区分 2， 7		0（工場原価）				
管理費区分 5		31, 050（一般管理費等のみ対象額）				
管理費区分 9		0（間接費非対象額）				
管理費区分 T		0（全処分費等のうち 3 % または 3 0 0 0 万円を超える額）				
対象額 支 給 品（＋）		0				
無償貸付機械評価額（＋）		0				
共通仮設費対象額						
単独（追加工事）		13, 200, 354	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く 共通仮設費対象額		13, 198, 662		0		0
共通仮設費（率分）						
率（補正前）		20. 64 %		0 %		
施工地域等補正		1. 4	ICT施工補正	1		
率（補正後）		28. 9 %				
計上額		3, 814, 000		0		0
比較結果						
当該追加工事		A				
0		0			調整工事計上額	0

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	13, 198, 662	直接工事費	13, 231, 404		
非対象額計（－）	32, 742				
管理費区分 1	0	(橋梁、P C 桁、門扉、ポンプ等購入費)			
管理費区分 2, 7	0	(工場原価)			
管理費区分 5	31, 050	(一般管理費等のみ対象額)			
管理費区分 9	0	(間接費非対象額)			
管理費区分 T	1, 692	(直接工事費に含まれる処分費等)			
対象額 支 給 品（＋）	0				
無償貸付機械評価額（＋）	0				
現場環境改善費対象額（P i）					
単独（追加工事）	13, 198, 662	現工事	0	合算工事	0
現場環境改善費					
率（補正前）	1. 18 %	0	%	0	%
施工地域等補正	市街地以外				
率（補正後）	1. 18 %				
計上額	155, 000	0		0	
比較結果	当該追加工事	A		調整工事計上額	0
	0	0			

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	153,320				
運搬費	0	準備費	0	事業損失防止施設費	0
安全費	153,320	役務費	0	技術管理費	0
営繕費	0	現場環境改善費	0		
共通仮設費計					4,122,320

共通仮設費

主たる工種						
単独（追加工事）： 橋梁保全工事			合算工事： 0			
対象工事費	6,762,815	直接工事費	6,762,815	準備費	0	事業損失 0
対象工事費に含まれる全処分費額		単独（追加工事）	423	現工事	0	合算工事 0
非対象額計（－）		0				
管理費区分 1		0	（橋梁、P C 桁、門扉、ポンプ等購入費）			
管理費区分 2， 7		0	（工場原価）			
管理費区分 5		0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分 9		0	（間接費非対象額）			
管理費区分 T		0	（全処分費等のうち 3 % または 3 0 0 0 万円を超える額）			
対象額 支 給 品（＋）		0				
無償貸付機械評価額（＋）		0				
共通仮設費対象額						
単独（追加工事）		6,762,815		現工事	0	合算工事 0
全処分費等を除く共通仮設費対象額		6,762,392			0	0
共通仮設費（率分）						
率（補正前）		26.18 %			0 %	
施工地域等補正		1.4	ICT施工補正		1	
率（補正後）		36.65 %				
計上額		2,478,000			0	0
比較結果						
	当該追加工事	A				
	0	0			調整工事計上額	0

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	6,762,392	直接工事費	6,762,815		
非対象額計（－）	423				
管理費区分1	0	（橋梁、PC桁、門扉、ポンプ等購入費）			
管理費区分2、7	0	（工場原価）			
管理費区分5	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分9	0	（間接費非対象額）			
管理費区分T	423	（直接工事費に含まれる処分費等）			
対象額 支給品（＋）	0				
無償貸付機械評価額（＋）	0				
現場環境改善費対象額（P i）					
単独（追加工事）	6,762,392	現工事	0	合算工事	0
現場環境改善費					
率（補正前）	1.36 %	0	%	0	%
施工地域等補正	市街地以外				
率（補正後）	1.36 %				
計上額	91,000	0		0	
比較結果	当該追加工事	A		調整工事計上額	0
	0	0			

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	0				
運搬費	0	準備費	0	事業損失防止施設費	0
安全費	0	役務費	0	技術管理費	0
営繕費	0	現場環境改善費	0		
共通仮設費計					2, 569, 000

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	85,195,546	単独（追加工事）直接工事費	73,524,241	単独（追加工事）共通仮設費	11,671,305
非対象額計（一）	9,651,050				
管理費区分2, 7	0	（工場原価）			
管理費区分5	9,651,050	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分9	0	（間接費非対象額）			
管理費区分T	0	（全処分費等のうち3%または3000万円を超える額）			
対象額　支　給　品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	75,544,496	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	75,481,046		0		0
現場管理費対象純工事費（調整工事入力で使用）					
率（補正前）	41.25%		0%		0%
施工地域等補正	1.2				
施工時期補正	0%	熱中症補正	0%	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0%				
砂防・地すべり補正	0%		0%		
率（補正後）	49.5%		0%		
計上額	37,394,000		0		0
			6,098,864（工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）		
比較結果　当該追加工事	A				
0	0			調整工事計上額	0

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	42,043,627	単独（追加工事）直接工事費	35,640,142	単独（追加工事）共通仮設費	6,403,485
非対象額計（一）	9,620,000				
管理費区分 2, 7	0	（工場原価）			
管理費区分 5	9,620,000	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分 9	0	（間接費非対象額）			
管理費区分 T	0	（全処分費等のうち 3 % または 3 0 0 0 万円を超える額）			
対象額　支　給　品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	32,423,627	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	32,423,627		0		0
現場管理費対象純工事費（調整工事入力で使用）					
率（補正前）	48.73 %		0 %		0 %
施工地域等補正	1.2				
施工時期補正	0 %	熱中症補正	0 %	ICT 施工補正	1
緊急工事補正	0 %				
砂防・地すべり補正	0 %		0 %		
率（補正後）	58.48 %		0 %		
計上額	18,961,000		0		0
				（工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）	
比較結果　当該追加工事	A				
0	0			調整工事計上額	0

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	23,173,380	単独（追加工事）直接工事費	17,889,880	単独（追加工事）共通仮設費	5,283,500
非対象額計（－）	0				
管理費区分2, 7	0	（工場原価）			
管理費区分5	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分9	0	（間接費非対象額）			
管理費区分T	0	（全処分費等のうち3％または3000万円を超える額）			
対象額　支　給　品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	23,173,380	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	23,112,045		0		0
現場管理費対象純工事費（調整工事入力で使用）					
率（補正前）	52.06％		0％		0％
施工地域等補正	1.2				
施工時期補正	0％	熱中症補正	0％	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0％				
砂防・地すべり補正	0％		0％		
率（補正後）	62.47％		0％		
計上額	14,476,000		0		0
				（工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）	
比較結果　当該追加工事	A				
0	0			調整工事計上額	0

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	17,353,724	単独（追加工事）直接工事費	13,231,404	単独（追加工事）共通仮設費	4,122,320
非対象額計（一）	31,050				
管理費区分2, 7	0	（工場原価）			
管理費区分5	31,050	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分9	0	（間接費非対象額）			
管理費区分T	0	（全処分費等のうち3%または3000万円を超える額）			
対象額　支　給　品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	17,322,674	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	17,320,982		0		0
現場管理費対象純工事費（調整工事入力で使用）					
率（補正前）	55.12 %		0 %		0 %
施工地域等補正	1.2				
施工時期補正	0 %	熱中症補正	0 %	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0 %				
砂防・地すべり補正	0 %		0 %		
率（補正後）	66.14 %		0 %		
計上額	11,457,000		0		0
				（工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）	
比較結果　当該追加工事	A				
0	0			調整工事計上額	0

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	9,331,815	単独（追加工事）直接工事費	6,762,815	単独（追加工事）共通仮設費	2,569,000
非対象額計（－）	0				
管理費区分2, 7	0	（工場原価）			
管理費区分5	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分9	0	（間接費非対象額）			
管理費区分T	0	（全処分費等のうち3％または3000万円を超える額）			
対象額　支　給　品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	9,331,815	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	9,331,392		0		0
現場管理費対象純工事費（調整工事入力で使用）					
率（補正前）	62.26％		0％		0％
施工地域等補正	1.2				
施工時期補正	0％	熱中症補正	0％	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0％				
砂防・地すべり補正	0％		0％		
率（補正後）	74.71％		0％		
計上額	6,971,000		0		0
				（工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）	
比較結果　当該追加工事	A				
0	0			調整工事計上額	0

一般管理費等（当初）

事務所名 常陸河川国道事務所 道路管理第二課

工事番号 2026060008

第 0 回変更

発注年月 令和08年06月

契約区分

単年度（繰越を含む）の分任官

主工種

橋梁保全工事

工事原価	122, 589, 546				
純工事費	85, 195, 546	現場管理費	37, 394, 000	工期延長等に伴う現場維持費	0
非対象額計（一）	0				
管理費区分 9	0	（支給品を除く間接費非対象額）			
管理費区分 T	0	（全処分費等のうち 3 %または 3 0 0 0 万円を超える額）			
一般管理費等対象工事原価					
単独（追加工事）	122, 589, 546	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く					
一般管理費等対象工事原価	122, 526, 096	現工事	0	合算工事	0
（調整工事入力で使用）					
前払金支出割合による補正係数	1	現工事			
財団法人等による補正係数	1				
契約保証に係る一般管理費対象工事原価	122, 589, 546				
契約保証に係る補正值	0. 04 %				
一般管理費率					
単独（追加工事）	17. 88 %	現工事	0 %	合算工事	0 %
一般管理費	21, 962, 454				
業務委託料等	0				
調査基準価格	164, 417, 000				
調査基準価格の100/110	149, 470, 000	（ 90. 19 %）			

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名 R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事

国土交通省 関東地方整備局
常陸河川国道事務所 道路管理第二課

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
橋梁保全工事 (北茨城市磯原地区) 磯原歩道橋		式		1		
舗装工		式		1		
橋面防水工		式		1		
橋面防水	塗膜防水	m2		34		
薄層カー舗装工		式		1		
薄層カー舗装	樹脂モルタル舗装 舗装厚10mm	m2		34		
セメントモルタル敷設	普通 1 : 3	m2		34		
シール材設置工		式		1		
シール材設置 (通路部)	シーリング系	m		46		
シール材充填	シール材 バックアップ材	m		3		
橋梁付属物工		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
橋梁用高欄工		式		1		
高欄取替		式		1		
横断歩道橋工		式		1		
横断歩道橋工		式		1		
目隠し板撤去・設置 【再利用】	ファイロン板 t=3	m2		1		
側板撤去・設置 【再利用】	ファイロン板 t=3	m2		13		
階段取替工		式		1		
階段撤去		t		6.5		
階段設置		t		6.5		
橋梁補修工		式		1		
紫外線硬化型FRPシート工		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
紫外線硬化型FRPシート	0.15m2以上/枚	m2		2		
部分塗装	RC-Ⅱ 素地調整 中塗り 上塗り	m2		2		
現場塗装工		式		1		
橋梁塗装工		式		1		
塗替塗装	RC-Ⅰ	m2		250		
張紙防止塗装		m2		19		
塗膜除去工		式		1		
塗膜除去	塗膜剥離剤塗布(2回) 塗膜除去	m2		250		
廃材の回収・積込		m2		510		
構造物撤去工		式		1		
構造物取壊し工		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
既設舗装はぎ取り		m2		34		
仮設工		式		1		
仮設工		式		1		
足場 (1) 【夜間】	吊足場	式		1		
足場 (2) 【夜間】	両側朝顔	式		1		
防護 【夜間】	板張防護	式		1		
ばく露防止対策工		式		1		
鉛対応環境対策資機材費		式		1		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員 (1)	誘導員B	式		1		
交通誘導警備員 (2) 【夜間】	誘導員A	式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
交通誘導警備員 (3) 【夜間】	誘導員B	式		1		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
安全費		式		1		
鉛等呼吸用保護具等費用		式		1		
技術管理費		式		1		
道路施設基本データ作成費用		式		1		
現場環境改善費 (率計上)		式		1		
共通仮設費 (率計上)		式		1		
純工事費		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（鮎川橋） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
橋梁保全工事 （日立市鮎川地区） 鮎川橋		式		1		
舗装工		式		1		
橋面防水工		式		1		
橋面防水 【夜間】	塗膜防水	m2		209		
橋面舗装工		式		1		
橋面舗装 【夜間】	路面切削～橋面防水(除外)～舗装	m2		209		
殻運搬(路面切削) 現場→仮置き【夜間】	切削殻	m3		12		
積込(ルース) 【昼間】	土砂 土量50,000m3未満	m3		12		
殻運搬(路面切削) 仮置き→処分場 【昼間】	切削殻	m3		12		
殻処分 【昼間】	切削殻	m3		12		
区画線工		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（鮎川橋） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
区画線工		式		1		
溶融式区画線 (1)	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水 性舗装無	m		66		
溶融式区画線 (2)	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水 性舗装無	m		22		
溶融式区画線 (3)	溶融式手動 ゼブラ 15cm 厚1.5mm 排 水性舗装無	m		27		
溶融式区画線 (4)	溶融式手動 矢印・記号・文字 15cm換 算 厚1.5mm 排水性舗装無	m		7		
橋梁付属物工		式		1		
橋梁用高欄工		式		1		
橋梁用高欄 【夜間】	アルミ製 橋梁用高欄(組立式)	m		43		
橋梁補修工		式		1		
橋梁地覆補修工		式		1		
現場打地覆 【夜間】	300×300	m		44		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（鮎川橋） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
断面修復工		式		1		
左官工法 (1)	1構造物当り修復延べ体積 0.519m3 ホ リマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆 処理無	構造物		1		
左官工法 (2)	1構造物当り修復延べ体積 0.519m3 ホ リマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆 処理有	構造物		1		
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)		m3		0.5		
殻処分	コンクリート殻(無筋)	m3		0.5		
構造物撤去工		式		1		
運搬処理工		式		1		
現場発生品運搬	鋼管	式		1		
仮設工		式		1		
仮設工		式		1		
足場 (1)【夜間】	吊足場	m2		220		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（鮎川橋） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
足場 (2)【夜間】	両側朝顔	m2		220		
防護 【夜間】	シート防護	m2		220		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員 (1)	誘導員A	式		1		
交通誘導警備員 (2)	誘導員B	式		1		
交通誘導警備員 (3)【夜間】	誘導員A	式		1		
交通誘導警備員 (4)【夜間】	誘導員B	式		1		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
運搬費		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（鮎川橋） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
建設機械運搬費		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（稲村橋側道橋） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
橋梁保全工事 （高萩市石滝地区） 稲村橋側道橋		式		1		
橋梁付属物工		式		1		
排水装置補修工		式		1		
排水装置取替		基		2		
橋梁補修工		式		1		
当て板補修工		式		1		
当て板補修 （1）	SM400A, SS400	箇所		1		
当て板補修 （2）	SS400	箇所		1		
当て板補修 （3）	SS400	箇所		1		
ひび割れ補修工		式		1		
低圧注入工法	25m以下 珪砂	構造物		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（稲村橋側道橋） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
断面修復工		式		1		
左官工法 (1)	1構造物当り修復延べ体積 0.445m3 ホ リマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆 処理無	構造物		1		
左官工法 (2)	1構造物当り修復延べ体積 0.445m3 ホ リマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆 処理有	構造物		1		
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)		m3		0.4		
殻処分	コンクリート殻(無筋)	m3		0.4		
現場塗装工		式		1		
橋梁塗装工		式		1		
塗替塗装	Rc- I	m2		190		
塗膜除去工		式		1		
塗膜除去	塗膜剥離剤塗布(2回) 塗膜除去	m2		190		
廃材の回収・積込		m2		380		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（稲村橋側道橋） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
仮設工		式		1		
仮設工		式		1		
足場 (1)【夜間】	吊足場	m2		130		
足場 (2)【夜間】	両側朝顔	m2		130		
防護 【夜間】	シート防護	m2		130		
ばく露防止対策工		式		1		
鉛対応環境対策資機材費		式		1		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員 (1)【夜間】	誘導員A	式		1		
交通誘導警備員 (2)【夜間】	誘導員B	式		1		
直接工事費		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（稲村橋側道橋） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
安全費		式		1		
鉛等呼吸用保護具等費用		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（細田橋） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
橋梁保全工事 （北茨城市大津地区） 細田橋		式		1		
橋梁補修工		式		1		
ひび割れ補修工		式		1		
低圧注入工法	25m以下 珪素樹脂	構造物		1		
断面修復工		式		1		
左官工法 （1）	1構造物当り修復延べ体積 0.178m3 ホ °リマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆 処理無	構造物		1		
左官工法 （2）	1構造物当り修復延べ体積 0.178m3 ホ °リマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆 処理有	構造物		1		
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)		m3		0.1		
殻処分	コンクリート殻(無筋)	m3		0.1		
防護柵補修工		式		1		
橋梁塗装工		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（細田橋） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
塗替塗装	RC- I	m2		58		
仮設工		式		1		
仮設工		式		1		
足場 (1) 【夜間】	吊足場	m2		230		
足場 (2) 【夜間】	両側朝顔	m2		230		
防護 【夜間】	シート防護	m2		230		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員 (1)	誘導員A	式		1		
交通誘導警備員 (2)	誘導員B	式		1		
交通誘導警備員 (3) 【夜間】	誘導員A	式		1		
交通誘導警備員 (4) 【夜間】	誘導員B	式		1		

工事数量総括表

工事名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事（細田橋） （ 当 初 ）					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		

R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事

(当 初) 請負工事費計算書

(1) 直接工事費 -----	73, 524, 241
(2) 共通仮設費 -----	18, 378, 305
(3) 純工事費 -----	91, 902, 546

(1)+(2)

(4) 現場管理費 -----	51, 865, 000
(5) 工期延長等に伴う現場維持等の費用 -----	0

(6) 工事原価 -----	143, 767, 546
-----------------	---------------

(3)+(4)+(5)+(18)

(7') 一般管理費等(計上額) -----	21, 962, 454
------------------------	--------------

(8') その他費目計 -----	0
-------------------	---

(9) 業務委託料等 -----	0
-------------------	---

(10) 工事価格 -----	165, 730, 000
-----------------	---------------

(6)+(7')+(8')+(9) (万円未満切り捨て)

(11) 消費税相当額 -----	16, 573, 000
-------------------	--------------

(12) 請負工事価格 -----	182, 303, 000
-------------------	---------------

(10)+(11)

(13) 入札書比較価格 -----	165, 730, 000
--------------------	---------------

(請負工事費の100/110)

(14) 調査基準価格 -----	164, 417, 000
-------------------	---------------

(15) 調査基準価格の100/110 -----	149, 470, 000
---------------------------	---------------

(万円未満切り捨て)

(16) 工場製作純工事費 -----	0
---------------------	---

(17) 工場管理費 -----	0
------------------	---

(18) 工場製作原価 -----	0
-------------------	---

(16)+(17)

((7) 一般管理費等(計算額) -----	21, 968, 046
-------------------------	--------------

R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他
歩道橋補修工事

特 記 仕 様 書

令和 8 年 6 月

国土交通省関東地方整備局
常陸河川国道事務所
道路管理第二課

■ 第 1 編 共通編

第 1 章 総則

第 1 条 適用

1. この特記仕様書は、関東地方整備局土木工事共通仕様書（令和 8 年度版）（以下「共通仕様書」という。）でいう特記仕様書で、本工事の施工に適用する。
2. この工事の施工にあたっての一般的事項は、共通仕様書によるものとする。
3. この特記仕様書に添付されていない別紙様式等については以下 URL よりダウンロードするものとする。

URL <https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/index00000015.html>

4. 本工事における「条件明示」については、別紙－1「明示項目および明示事項」に記載のとおりとする。

第 2 条 主任技術者等（契約書第 10 条）

本工事の主任技術者又は監理技術者は、次に掲げる基準を満たす者を専任で配置することとする。

- (1) 主任技術者は、1 級土木施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者であること。なお、「これと同等以上の資格を有する者」とは、次のとおりである。
 - ① 1 級建設機械施工技士の資格を有する者
 - ② 技術士（建設部門、農業部門（選択科目を「農業農村工学」とするものに限る。）、森林部門（選択科目を「森林土木」とするものに限る。）又は総合技術監理部門（選択科目を「建設」、「農業－農業農村工学」又は「森林－森林土木」とするものに限る。））の資格を有する者
 - ③ これらと同等以上の資格を有するものと国土交通大臣が認定した者
 - ④ 本発注工事の工事種別に対応した登録基幹技能者講習修了証を有する者
- (2) 監理技術者は、1 級土木施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者であること。なお、「これと同等以上の資格を有する者」とは、次のとおりである。
 - ① 1 級建設機械施工技士の資格を有する者
 - ② 技術士（建設部門、農業部門（選択科目を「農業農村工学」とするものに限る。）、森林部門（選択科目を「森林土木」とするものに限る。）又は総合技術監理部門（選択科目を「建設」、「農業－農業農村工学」又は「森林－森林土木」とするものに限る。））の資格を有する者
 - ③ これらと同等以上の資格を有するものと国土交通大臣が認定した者

第 3 条 主任技術者等の専任期間

1. 契約締結日の翌日から工事の始期までの期間については、主任技術者又は監理技術者の設置を要しない。
2. 契約締結日の翌日から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。
3. 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除

く。）、事務手続後、後片付け等のみが残っている期間については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日（例：「完成通知書」等における日付）とする。

4. 主任技術者又は監理技術者が技術研鑽のための研修、講習、試験等で短期間工事現場を離れる場合は、適切な施工ができる体制を確保したうえで、監督職員の承諾を得るものとする。

第4条 専任特例2号の場合の監理技術者の配置

1. 本工事において、建設業法第26条第3項第二号の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「専任特例2号の場合の監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下の（1）～（8）の要件を全て満たさなければならない。

- （1）建設業法第26条第3項第二号による監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。
- （2）監理技術者補佐は、一級施工管理技士補又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、専任特例2号の場合の監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。
- （3）監理技術者補佐は、直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。
- （4）同一の専任特例2号の場合の監理技術者が配置できる工事は、本工事を含め同時に2件までとする。なお、専任特例1号の場合の監理技術者又は主任技術者を活用した工事と兼務することは出来ない。

（ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるものについては、これら複数の工事を一の工事とみなす。）

- （5）専任特例2号の場合の監理技術者が兼務できる工事は茨城県内の工事ではない。
- （6）専任特例2号の場合の監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。
- （7）専任特例2号の場合の監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。
- （8）監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。

2. 現場の安全管理体制について、平成7年4月21日付基発第267号の2「元方事業者による建設現場安全管理指針」において、「統括安全衛生責任者の選任を要するときには、その事業場に専属の者としてすること。」とされていることから、施工体制に留意すること。

3. 本工事の監理技術者が専任特例2号の場合の監理技術者として兼務し、本工事に監理技術者補佐を配置する事を予定している場合、以下の書類を提出すること。

- 1) 監理技術者補佐の資格を有する書類（一級施工管理技士等の国家資格者の合格証の写しなど）
- 2) 監理技術者補佐の直接的かつ恒常的な雇用関係を証明する書類（監理技術者資格者証、市区町村が作成する住民税特別徴収税額通知書、健康保険・厚生年金被保険者標準報酬決定通知書、所属会社の雇用証明書又はこれらに準ずる資料

(いずれも写し可)

- 3) 専任特例 2 号の場合の監理技術者が兼務する工事の箇所、内容を示す書類 (CORINS の写し)
4. 本工事の監理技術者が専任特例 2 号の場合の監理技術者として兼務し、本工事に監理技術者補佐を配置する事となった場合、第 1 項 (5) ~ (8) について施工計画書へ記載し、提出すること。
5. 本工事において、専任特例 2 号の場合の監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は、コリンズ (CORINS) への登録・修正を適切に行うこと。

第 5 条 コリンズ (CORINS) への登録

1. 工事カルテの作成、登録については、土木工事共通仕様書「1-1-1-7 コリンズ (CORINS) への登録」によるものとする。
2. 受注者は、工事受注後又は施工中において当該工事に係る悪質で不誠実な行為 (一括下請負等) が発覚し、指名停止の措置を受けた場合は、登録済みの工事カルテの取り下げを行うものとする。
3. 技術者の従事期間は、工期をもって登録するものとする。(余裕期間を含まないことに留意するものとする。)

第 6 条 コリンズ (CORINS) への位置情報の入力

土木工事共通仕様書 1-1-1-7 コリンズ (CORINS) への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、位置情報については以下のとおりとし、工事場所および座標 (緯度、経度) を記載するものとする。なお、座標は、世界測地系 (JGD2024) に準拠する。

起点 茨城県北茨城市磯原町本町地先 緯度 36° 47' 24" 経度 140° 44' 54"
終点 茨城県北茨城市磯原町本町地先 緯度 36° 47' 23" 経度 140° 44' 55"

第 7 条 コリンズへの工事概要の入力

土木工事共通仕様書 1-1-1-7 コリンズ (CORINS) への登録に定める「登録のための確認のお願い」を受注時に作成するにあたり、工事概要について必須登録とし、記載例を参考にすること。

記載例)

本工事は、日立国道出張所管内において橋梁 2 橋、側道橋 1 橋、横断歩道橋 1 橋の補修工事を行うものである。

主な工種は磯原歩道橋における舗装工、横断歩道橋工、橋梁補修工、現場塗装工、構造物撤去工他であり、鏡面防水工 1 式、横断歩道橋工 1 式、現場塗装工 1 式、塗膜除去工 1 式他を予定している。

第 8 条 コリンズへの設計業務名およびテクリス番号の入力

土木工事共通仕様書 1-1-1-7 コリンズ (CORINS) への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、設計業務名およびテクリス番号を登録すること。設計業務名およびテクリス番号については以下のとおりとする。

コリンズへ登録する業務名およびテクリス番号

業務名	テクリス番号
R 5 常陸河川国道管内橋梁補修設計業務	4054120857

R 6 常陸河川国道管内橋梁補修設計（その２）業務	4057768655
R 7 常陸河川国道管内橋梁補修設計（その２）業務	4062403507

第 9 条 施工体制台帳

工事成績優秀企業に認定され、認定有効期限内に、工事発注の契約を行った工事の監理技術者、主任技術者（工事成績優秀企業に認定された下請負を含む）は、工事成績優秀企業認定マークの使用や金色帯線（黄色もしくは橙色の帯線でも可）を名札上部に印刷することが出来るものとする。

監理（主任）技術者	
写真 2cm×3cm 程 度	氏名 ○○ ○○ 工事名 ○○改良工事 工期 自○○年○○月○○日 至○○年○○月○○日 会社 ◇◇建設株式会社 印



注意 1）用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。

注意 2）所属会社の写真とする。

第 10 条 調査・試験に対する協力(低入札価格調査制度調査対象工事について)

1. 契約担当官等が工事の中間において技術検査の必要を認めた場合は、速やかに監督職員の指示に従い、検査を受けなければならない。なお、検査は工事請負契約書及び共通仕様書に適用する条項に準じて行うものとする。
2. 予算決算及び会計令第 85 条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、受注者は下記の調査に協力しなければならない。
 - 1) 受注者は、下請負者の協力を得て間接工事費等諸経費動向調査票(営繕工事においては共通費実態調査票)の作成を行い、工事完了後、速やかに発注者に提出するものとする。
 - 2) 受注者は、提出された間接工事費等諸経費動向調査票(営繕工事においては共通費実態調査票)の費用の内訳についてヒアリング調査に応じるものとする。この場合において、受注者は下請負者についてもヒアリングに参加させるものとする。
 - 3) 工事コスト調査（調査結果でも可）に係る資料は、下記のとおりとし、関東地方整備局又は常陸河川国道事務所のホームページにより公表する。
 - 4) 低入札価格調査と工事コスト調査の結果に大きな乖離がある場合、又は、工事コスト調査資料の提出が無い場合には、工事成績評点を減点する場合がある。なお、低入札価格調査対象工事については、工事コスト調査終了後に、工事成績評点を通知する。

公表資料は以下のとおり。

資料名	内 訳
低価格理由とその詳細	当該工事が低価格で施工可能となる理由を示した資料
比較表－ 1	積算内訳書の発注者と元請における当初と実績の比較表

比較表－２	積算内訳書に対する明細書の発注者と元請における当初と実績の比較表
比較表－３	元請の手持ち資材の当初と実績の比較表
比較表－４	元請の資材購入先一覧の当初と実績の比較表
比較表－５	手持ち機械の当初と実績の比較表
比較表－６	労務者確保計画の当初と実績の比較表
比較表－７	工種別労務者配置計画の当初と実績の比較表
比較表－８	建設副産物の搬出の当初と実績の比較表
諸経費動向調査(工事費)	元請、下請の工事費内訳

※別紙様式－００参照

第１１条 低入札契約におけるモニターカメラの設置

本工事は、予算決算及び会計令第８５条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、工事の監督補助としてモニターカメラの設置を行う対象工事とする。

なお、モニターカメラの設置費用については、発注者の負担によるものとする。

第１２条 不可視部分の出来形管理について

予算決算及び会計令第８５条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、以下に示す工種の不可視部分について、ビデオカメラを用いた出来形管理を行うこととし、撮影した映像については監督職員に提出するものとする。

全ての工種

第１３条 不具合等発生時の措置

受注者は、工事施工途中に工事目的物や工事材料等の不具合等が発生した場合、又は公益通報者等から当該工事に関する情報が寄せられた場合には、その内容を監督職員に直ちに通知しなければならない。

第１４条 工事書類の作成について

- １．工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事書類作成マニュアル（令和８年３月）」に基づき実施するものとする。
- ２．工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事電子書類スリム化ガイド（令和８年３月）」を参考に書類の電子化、受発注者間での作成書類の役割分担の明確化、書類の削減等に留意すること。
- ３．「工事関係電子書類一覧表」（別紙様式－１５）により、工事着手前に「作成書類の役割分担」、「作成書類の位置付け」に関して「協議」するものとする。また、「協議」の内容を変更する場合は、改めて、受発注者で協議を行うものとする。
- ４．電子により提出、提示した書類については、検査時その他の場合においても紙での提示、提出は行わないものとする。

第１５条 設計図書の照査

発注者は、設計図書の照査の範囲を超える資料の作成については、監督職員の指示とし、その作成費用は、設計変更の対象とする。なお、設計変更の対象について

は、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和7年3月」によるものとする。

第16条 情報共有システムの活用

1. 本工事は、監督職員及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの活用対象工事である。なお、活用にあたっては「土木工事・業務の情報共有システム活用ガイドライン」（令和7年3月版）に基づき実施すること。
2. 受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、使用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。
 - ・工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件（Rev5.7）令和7年3月版 国土交通省(国土技術政策総合研究所)
3. 監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数、ディスク容量等の仕様やワークフロー機能の対象者等については、監督職員の確認を得た上で決定すること。
4. 受注者は、サービス提供者と次の内容を含めた契約を締結するものとする。
 - ①情報共有システムに関する障害を適正に処理、解決できる体制を整える旨
 - ②サービス提供者が善良なる管理者の注意をもってしても防御し得ない不正アクセス等により、情報漏洩、データ破壊、システム停止等があった場合、速やかに受注者に連絡を行い適正な処置を行う旨
 - ③②の場合において、サービス提供者に重大な管理瑕疵があると監督職員若しくは受注者が判断した場合、又は復旧若しくは処理対応が不適切な場合には、受注者はサービス提供者と協議の上情報共有システムの利用を停止することができる旨
5. 受注者は、監督職員等から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第17条 設計・施工技術連絡会議(三者会議)の設置

本工事は、公共工事の品質確保及び円滑な事業執行を目的として、発注者、設計者、施工者（工事受注者）の三者が工事着手前等において一堂に会して、事業目的、設計思想・条件等の情報の共有及び施工上の課題、新たな技術提案に対する意見交換等を行う「設計・施工技術連絡会議（三者会議）」（以下、「三者会議」という。）の設置対象工事であり、工事着手前に1回以上開催するものとする。

「三者会議」の運用にあたっては、「設計・施工技術連絡会議（「三者会議」）運用方針」（<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html>）によるものとする。

第18条 設計審査会の設置

本工事は、発注者と受注者が一堂に会して、現場着手前（準備期間内）に工事工程クリティカルパスの共有及び工事工程の照合（クロスチェック）を実施し、併せて協議資料作成等の受発注者間の役割分担を明確にする場、また、設計変更手続きの透明性及び公正性の向上及び迅速化のため、設計変更の妥当性の審議及び設計変更等に伴う工事中止等の判断等を行う場として開催する「設計審査会」（以下、「審査会」という。）の設置対象工事である。

「審査会」の運用にあたっては、「設計審査会設置運用方針」（<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html>）によるものとする。

第19条 工事環境の改善

本工事の実施にあたっては、工事環境の改善に取り組むウィークリースタンスを考慮するものとする。

ウィークリースタンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページ <https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html> に掲載している工事環境改善実施要領に基づき、監督職員と確認・調整した内容について取り組むものとする。

第20条 ワンデーレスポンスについて

1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。

「ワンデーレスポンス」とは

受注者からの質問、協議等への回答は、基本的に「その日のうち」に指示、通知等行うよう対応する。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」に通知することである。

2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。

3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。

4. ワンデーレスポンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページ <https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html> に掲載しているワンデーレスポンス実施の手引き（令和5年12月）に基づき、取り組むものとする。

5. 効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。

第21条 契約内容の変更手続きについて

本工事における契約内容の変更は、以下によるものとする。

1. 本工事における設計変更や契約変更は書面に基づき行うことを徹底し、指示書・協議書があるもののみを契約変更の対象とする。

2. 受注者は、工事期間中及び工事完成後において、監督職員から契約図書の規定に違反する等の不適切な指示を受けたと思料されるときは、当該監督職員を経由せずに、事務所長へ直接又は契約担当課長経由で書面により、その旨を報告することができる。

第22条 設計図書の変更

設計変更等については、契約書第18条から第25条及び共通仕様書共通編1-1-1-17から1-1-1-19に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和7年3月」によることとする。

第23条 スライド条項

工事請負契約書第26条（スライド条項）については、物価水準の変動により請負代金が不適当となったと認められた時に、相手方に請負代金の変更を請求することができる条項となっている。

単品スライドについては、鋼材類・燃料油の他、コンクリート類、購入土などの主要工事材料も対象となるので、物価水準の変動により請負代金が不適当となった場

合には、相手方に対して請負代金額の変更を請求することができる。

第24条 工事現場発生品

1. 本工事から発生する下記の材料の引き渡し場所は、伊師資材置き場とする。
2. 現場発生品は下表のとおりとする。

品目	規格	単位	数量	引渡場所	運搬距離 (km)	摘 用
鋼管	STK400	t	0.49	伊師資材置き場	15.1	鮎川橋

なお、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

第25条 公共建設工事における分別解体等・再資源化等及び再生資源活用工事実施要領 (土木)

1. 特定建設資材の分別解体等の再資源化等

- ① 本工事は建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（(平成12年法律第104号 最終改正令和4年6月17日法律68号)）。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「8 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により予定した条件により難い場合は監督職員と協議するものとする。

(1) 分別解体等の方法

工程 ご と の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	工程	作業内容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑥その他	その他の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用

(2) 再資源化等をする施設の名称及び所在地

- 1) コンクリート塊の搬出については以下のとおりとする。

特定建設資材 廃棄物の種類	施設の名称	所在地	運搬距離	摘要
アスファルト切削殻	(有)川西採石	茨城県日立市諏訪町12 75-2	L=4.9km (DID有り)	鮎川橋 夜間仮置き, 昼間処分
コンクリート無筋殻	(有)川西採石	茨城県日立市諏訪町12 75-2	L=4.9km (DID有り)	鮎川橋
コンクリート無筋殻	(有)川西採石	茨城県日立市諏訪町12 75-2	L=22.7km (DID有り)	稲村橋側道橋(下り)
コンクリート無筋殻	(有)川西採石	茨城県日立市諏訪町12 75-2	L=39.9km (DID無し)	細田橋

※上記の処理施設については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項については、監督職員と協議の上、契約変更の対象とすることができる。

2) 受入時間

(有)川西採石：8時00分～17時00分

(3) その他

夜間作業における仮置き場までの運搬距離はL=1.0kmを見込むものとする。

- ② 受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン（平成14年5月）」に定めた様式1〔再生資源利用計画書（実施書）〕及び様式2〔再生資源利用促進計画書（実施書）〕を兼ねるものとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

2. その他

工事発注後に明らかになった事情により予定していた条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第26条 建設リサイクル法第11条通知の徹底

受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号）第11条に基づく、都道府県知事に対する通知を行った旨の書面を監督職員より受領した後に、工事着手（建設リサイクル法第10条第1項に規定する工事着手をいう。）するものとする。なお、これによりがたい場合は監督職員と協議の上決定するものとする。

第27条 コンクリート副産物から再生された資源について

1. コンクリート副産物から再生された資材を利用する場合には、「コンクリート副産物の再生利用に関する用途別品質基準」によるものとする。
2. 受注者は、コンクリート副産物から再生された資材の利用を希望する場合は、工事着手時にその適用の有無を監督職員と協議するものとする。
3. 受注者は、工場が発行する再生骨材コンクリートの配合計画書及び納入書を整

備および管理し、監督職員または検査職員からの請求があった場合は速やかに提示しなければならない。

4. 受注者は、再生骨材コンクリートの品質を確かめるための検査を JIS A 5022（再生骨材Mを用いたコンクリート）、JIS A 5023（再生骨材Lを用いたコンクリート）により実施しなければならない。

また、再生骨材Mを用いたプレキャストコンクリート製品の検査については、JIS A 5365（プレキャストコンクリート製品－検査方法通則）により実施しなければならない。

なお、生産者等に検査のため試験を代行させる場合は受注者がその試験に臨場しなければならない。

5. 再生骨材コンクリートの配合については、「土木工事共通仕様書第1編3－3－3 配合」に従うものとする。

第28条 工事完成図等の作成について

本工事は、道路工事完成図等作成要領（第2版）（国土技術政策総合研究所資料、平成20年12月）に基づく電子納品の対象工事である。

http://www.nilim-cdrw.jp/dl_std.html

第29条 施工管理

1. 本工事の施工管理は、関東地方整備局土木工事施工管理基準及び規格値（令和8年度版）によるものとする。なお、この管理基準により難しい場合及び基準、規格値が定められていない工種については、監督職員と協議の上、施工管理を行うものとする。
2. 本工事の写真管理は、関東地方整備局土木工事写真管理基準（令和8年度版）によるものとする。なお、「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。

第30条 デジタル工事写真の黒板情報電子化について

デジタル工事写真の黒板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における黒板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

本工事では、以下の1. から4. の全てを実施することとする。

1. 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以降、「使用機器」と称する）については、関東地方整備局土木工事写真管理基準（令和8年度版）（以下、写真管理基準）「2-2 撮影方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例を以下に示す。

【使用機器の事例】

デジタル工事写真の黒板情報電子化対応ソフトウェア、（一社）施工管理ソフ

トウェア産業協会、<<https://www.jcomsia.org/kokuban>>.

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない

2. デジタル工事写真における小黑板情報の電子的記入

受注者は、同条1.の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黑板情報の電子的記入を行う項目は、写真管理基準「2-2 撮影方法」による。

ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

3. 小黑板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、写真管理基準及びデジタル写真管理情報基準(令和5年3月)(以下、デジタル写真管理情報基準)に準ずるが、同条2.に示す小黑板情報の電子的記入については、写真管理基準「2-5 写真編集等」及びデジタル写真管理情報基準「6. 写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。

4. 小黑板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、同条2.に示す小黑板情報の電子的記入を行った写真(以下、「小黑板情報電子化写真」と称する。)を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。なお納品時に、受注者は改ざん検知機能(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黑板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。

また、下記のチェックツールを使用して信憑性確認を行い、結果を出力したものでもよい。

【チェックツールの事例】

信憑性チェックツール(一社)施工管理ソフトウェア産業協会
<<https://www.jcomsia.org/kokuban>>.

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではないなお、デジタル工事写真の小黑板情報電子化を実施しない工事写真がある場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得ること。

第31条 現場環境改善(快適トイレの設置)

1. 内容

受注者は、現場に以下の(1)～(11)の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

(12)～(17)については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

- (1) 洋式(洋風)便器
- (2) 水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置付き含む)
- (3) 臭い逆流防止機能
- (4) 容易に開かない施錠機能
- (5) 照明設備
- (6) 衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等(耐荷重を5kg以上とする)

【付属品として備えるもの】

- (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- (8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫

- (9) サニタリーボックス（女性用トイレに必ず設置）
- (10) 鏡と手洗器
- (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品
- 【推奨する仕様、付属品】
- (12) 室内寸法 900mm×900mm 以上（面積ではない）
- (13) 擬音装置（機能を含む）
- (14) 着替え台
- (15) 臭気対策機能の多重化
- (16) 室内温度の調整が可能な設備
- (17) 小物置き場（トイレトペーパー予備置き場等）

2. 快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。【快適トイレに求める機能】（1）～（6）及び【付属品として備えるもの】（7）～（11）の費用については、従来品相当を差し引いた後、57,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量は、現場毎に必要性を協議の上、決定する。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、積算上限額を超える費用については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わない。

3. 快適トイレの「質の向上」に要する費用

快適トイレの「質の向上」として、積算上限額を超える費用について現場環境改善費（率）を充当することができる。現場環境改善費（率）の充当を希望する場合は、上記2.の協議時に見積書を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとする。

なお、現場環境改善費（率）を充当することにより、特記仕様書に明示されたその他の費目の実施が困難な場合には、実施費目数の変更を合わせて協議することとする。

4. その他

快適トイレの手配が困難の場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。

第32条 BIM/CIM 活用工事

本工事は、BIM/CIM 適用工事（発注者指定型）である。

少なくとも以下に示す義務項目について、BIM/CIM を適用する。さらに、発注者が示す課題や効率化等を求める内容を踏まえ、BIM/CIM 取扱要領「附属資料1 推奨項目一覧」や過去の取組事例等を参考にして、受発注者で実施内容や納品方法について協議し決定する。

受注者が希望する場合、発注者が示す活用内容以外の活用内容を提案することができる。

BIM/CIM 適用工事に要する費用については、当初は計上していない。3次元モデルを作成または加工する場合は、受発注者間の協議に基づき、設計変更を行うものとする。

(例)

活用内容	活用内容の詳細
------	---------

〔義務項目〕	
施工計画の検討補助	詳細設計等で作成された３次元モデルを閲覧し、施工計画を検討する際の参考にする。
２次元図面の理解補助	詳細設計等で作成された３次元モデルを閲覧し、２次元図面を理解する際の参考にする。
現場作業員等への説明	詳細設計等で作成された３次元モデルを用いて、現場作業員等に工事の完成イメージ等を説明し、現場作業員等の理解促進を図る。
〔推奨項目〕	
重ね合わせによる確認	３次元モデルに複数の情報を重ね合わせて表示することにより、位置関係にずれ、干渉等がないか等を確認する。 (例) 本工事では、建築限界及び構造物等と官民境界の位置を確認する。
現場条件の確認	３次元モデルに建機等を配置し、近接物の干渉等、施工に支障がないか確認する。 (例) 本工事では、建機の搬出入経路及び旋回範囲を確認する。
施工ステップの確認	一連の施工工程のステップごとの３次元モデルで施工可能かどうかを確認する。 (例) 本工事では、交通規制を伴う部分の切り替え、作業スペース等を確認する。 (例) 本工事では、工事進捗に伴い変化する仮設及び建機等の作業スペース等を確認する。
施工管理での活用	３次元モデル上で施工手順等を区分し、施工範囲の明確化や進捗管理等に活用する。 (例) 本工事では、護岸工の打設日毎に色分けをし、進捗確認を行う。
〔３次元モデル作成の目安〕	
詳細度	２００～３００程度※１ ※１ 構造形式がわかるモデル～主構造の形状がわかるモデル
属性情報※２ ※２ 部材等の名称、規格、仕様等の情報	３次元形状データが何を表すかを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報として設定する。(BIM/CIM取扱要領「附属資料３ オブジェクト分類」を参照)

１．BIM/CIM 実施計画書の作成

受発注者において、BIM/CIM の実施内容や、納品方法等を協議し決定した結果を「BIM/CIM 実施計画書」として整理し、提出する内容に変更が生じた場合は、受発注者間で協議し、BIM/CIM 実施（変更）計画書を作成する。

また、作成した BIM/CIM 実施計画書（変更含む）に基づき、本工事を実施する。

- １）工事概要
- ２）整理すべき課題
- ３）BIM/CIM の実施内容（３次元モデルの活用内容、期待する効果等）
- ４）３次元モデルの作成仕様（作成範囲、詳細度、属性情報、別業務等で作成された３次元モデルの仕様等）
- ５）３次元モデルの作成に用いるソフトウェア、オリジナルデータの種類
- ６）３次元モデルの閲覧、データ共有ができるソフトウェアの種類、成果物の納品ファイル形式
- ７）３次元モデルの作成担当者

- 8) 3次元モデルの作成・活用に要する費用
2. BIM/CIM 実施報告書の作成

BIM/CIM 実施計画書に基づき実施した内容について、BIM/CIM 実施報告書を作成する。以下の内容を BIM/CIM 実施計画書に追記して作成する。

 - 1) 後段階への引継事項（データ活用時の留意点、更なる検討が必要な内容、2次元図面との整合等）
 - 2) 省人化の効果（前段階から引き継いだデータの活用により省人化した効果、3次元での検討により省人化した効果等）
3. 成果の納品

以下の内容を納品する。様式については別添資料を参照すること。

 - 1) BIM/CIM 実施計画書・見積書（変更含む）
 - 2) BIM/CIM 実施報告書（3次元モデル作成引継書シート、3次元モデル照査時チェックシートを含む）
 - 3) 作成した3次元モデル（オリジナルデータ、標準的なデータ形式（J-Land XML 形式、IFC 形式）、統合モデル、動画等）
4. その他

最新の情報は BIM/CIM ポータルサイト（<https://www.nilim.go.jp/lab/qbg/bimcim/bimcimindex.html>）で提供されているので、適宜参照すること。

第33条 工事中の安全確保

1. 工事の施工にあたっては、関東地方整備局長が定める「重点的安全対策」について留意し、工事事故の防止を図らなければならない。なお、令和8年度における重点安全対策項目は以下の7項目である。
 - I. 架空線等上空施設の損傷事故防止
 - II. 建設機械等の稼働に関連した人身事故防止
 - III. 資機材等の下敷きによる人身事故防止
 - IV. 足場・法面等からの墜落事故防止
 - V. 地下埋設物の損傷事故防止
 - VI. 第三者の負傷・第三者車両等に対する損害
 - VII. 事故防止
2. 受注者は、工事に従事する就業制限業務及び作業主任者を選任する業務における資格者のうち、資格取得後一定期間経過した資格者に対し、次に掲げる再教育の受講が推進されるよう努めるものとする。
 - I. 労働安全衛生法第19条の2に基づく足場組立等作業主任者等に対する能力向上教育
 - II. 労働安全衛生法第60条の2に基づく車両系建設機械運転従事者、移動式クレーン運転士、玉掛業務従事者等に対する危険有害業務従事者教育
 - III. 厚生労働省通達に基づくドラグ・ショベル運転業務従事者等に対する危険再認識教育
3. 工事の施工にあたっては、工事等の時期、工事等の概要及び工事等を行う場合における道路交通に対する措置について、「道路工事保安施設設置基準（案）（令和6年2月）」に基づき監督職員へ確認を行うものとする。
4. 工事中看板、工事情報看板及び工事説明看板の記載内容及び設置箇所については監督職員の承諾を得るものとする。
5. 工事期間中は、夜間における安全確保のため保安要員を巡回させ、道路灯、バリケード等保安施設の保安点検を行うものとする。

6. 工事期間中に配置する交通誘導警備員は、以下のとおり計上するものとする。
ただし、交通管理者等との協議条件など社会的要件、現地精査に基づき配置人員の変更が必要になった場合は、監督職員と協議するものとする。

施工箇所	作業区分	交通誘導警備員	備 考
日立地区(磯原歩道橋)	昼間作業	36人(うち有資格誘導員 0人)	交代要員含む
	夜間作業	36人(うち有資格誘導員12人)	
日立地区(鮎川橋)	昼間作業	24人(うち有資格誘導員 8人)	交代要員含む
	夜間作業	156人(うち有資格誘導員52人)	
日立地区(稲村橋側道橋(下り))	昼間作業	0人(うち有資格誘導員 0人)	交代要員含む
	夜間作業	36人(うち有資格誘導員12人)	
日立地区(細田橋)	昼間作業	12人(うち有資格誘導員 4人)	交代要員含む
	夜間作業	66人(うち有資格誘導員22人)	
合 計	昼間作業	72人(うち有資格誘導員12人)	交代要員含む
	夜間作業	294人(うち有資格誘導員98人)	

7. 交通規制の認識対策

路上工事で、交通規制を行う場合、保安施設の設置、撤去に先がけ、発煙筒を使用するなど、規制帯内への一般車の飛び込み事故の防止に努めること。(参考図参照)

8. UAV 等を使用する際の安全面への配慮について

受注者は、起工測量等において UAV 等を使用する場合、安全面への配慮として下記 URL に基づいて UAV 等を使用すること。

URL <https://www.gsi.go.jp/KOUKYOU/sokuryosidou41042.html>

第34条 熱中症対策に資する現場管理費の補正

1. 本工事は、夏季における真夏日などの気候状況を考慮し、工事現場の熱中症対策に掛かる経費に関して「熱中症対策に資する現場管理費の補正」を行う試行工事である。

2. 真夏日の考え方は下記のとおりである。

1) 真夏日の定義

日最高気温が30℃以上の日を指す。

ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が30℃以上の場合とする。

2) 試行にあたっての真夏日の計上の考え方

下記①～③のいずれかに該当する場合、真夏日として計上する。

- ①環境省が公表している暑さ指数(WBGT)が日最高25℃以上の場合。

施工現場から最寄りの環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)が25℃以上となる日を真夏日とみなす。

- ②気象庁が公表している地上気象観測所の日最高気温が30℃以上の場合。

施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温が30℃以上の日を真夏日とする。

- ③夜間工事については、作業時間帯の最高気温が30℃以上の場合。

施工現場から最寄りの観測地点における作業時間帯の最高気温が30℃以上、又はWBGTが25℃以上の場合を真夏日とする。

なお、休工日においては、上記に該当した場合でも真夏日としては計上しない。

上記①～③によりがたい場合は、監督職員と協議すること。

3) 工期

工事着手から工事完成日までの期間を指す。なお、年末年始休暇6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。

4) 基準日

受発注者協議により、「基準日」を定めるものとする。「基準日」は工事着手日を基本とする。

当該「基準日」より工期末までの期間のうち、真夏日にあたる日数を算出する。

なお、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、現場休工日は含まないものとする。

5) 真夏日率

以下の式により算出された率をいう。

・真夏日率 = 基準日から工期末までの真夏日 ÷ 工期

6) 現場管理費の補正

現場管理費の補正は、工期中の日最高気温の状況に応じて補正値を算出し、現場管理費率に加算する。なお、補正は変更契約において行うものとする。

・補正値(%) = 真夏日率 × 補正係数※

※ 真夏日補正係数：1. 2

第35条 安全管理推進技術査等認定について

1. 概要

関東地方整備局（港湾・空港部・営繕部関係を除く）が発注した工事（以下、「直轄工事」という）において、無事故で完成させた技術者に対して、「安全管理推進技術者」（以下、「認定技術者」という）として認定する

2. 認定条件

対象とする技術者は、以下の条件によって認定する。

- ・直轄工事において、無事故にて完成させた「安全管理担当者」として、施工期間中、全ての工事（準備工を除く）に従事した者。なお、「安全管理担当者」とは、施工体制上、受注者が配置する「統括安全衛生責任者」、「元方安全衛生管理者」、「ずい道等救護技術管理者」、「店社安全衛生管理者」、「工事現場責任者」として安全管理に従事した者で、現場代理人または、主任（監理）技術者が兼務した場合も認定するものとする。
- ・直轄工事にて、認定技術者として過去5回認定された者については、「優秀安全管理推進技術者」（以下、「優秀認定技術者」という）として認定する。

3. 認定技術者の認証

- ・認定技術者及び優秀認定技術者に認定された者については、「安全管理推進技術者認定ロゴマーク」（以下、「認定ロゴマーク」という）を「企業の名刺」、「ヘルメット貼付」等に使用（印刷、シール）することができる。
- ・紛失等による認定書の再発行は行わない。
- ・「認定ロゴマーク」については、当該地方整備局管内で行う直轄工事のみに使用でき、それに要する費用は、当該企業が負担するものとする。

4. 認定技術者の認証期間

認定技術者へ授与した認証については、その使用期間に制限を設けないものとする。

5. 不適切事項への措置による認証の取り扱い

認定技術者が関係する工事にて、粗雑工事等の発覚より、関東地方整備局から措

置（指名停止、文書注意、口頭注意）を受けた場合であっても、過去の認証の取り消しは行わない。ただし、工事完成後、安全管理に関して不適切な事象が発覚した場合、または、不正による認定取得が確認された場合については、認定を取り消す。

第36条 交通誘導警備員の資格

交通誘導警備員については、資格者（警備業法第23条に規定する都・県公安委員会の行う1級又は2級検定に合格した者）1名以上を充て、他は経験1年以上の者を配置すること。

なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第37条 路上工事の縮減等

受注者は、路上工事による交通への影響の緩和を図るため、施工方法・規制時間帯・施工日数の短縮等の検討を行い、監督職員に提出するとともに工事完了時に実施結果を提出するものとし、路上工事の縮減等に努めるものとする。

第38条 交通規制日数の報告

道上での（改築・維持修繕）工事等により交通規制を実施した場合には、月毎に実交通規制日数を監督職員へ提出するものとする。

第39条 環境対策

受注者は、工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等）のため、下記によらなければならない。

1. 工種

橋梁補修工

仮設工

2. 建設機械・設備

低騒音・低振動認定機械

騒音防止を施した機械

3. 施工にあたり現地状況を十分把握し、安全性、経済性等の検討を行い、施工方法に変更が生じた場合、又は上記により難しい場合は、監督職員と協議しなければならない。

第40条 環境対策（特定調達品目の調達実績の調査について）

受注者は、本工事の資材、建設機械の使用にあたっては、必要とされる強度や耐久性、機能の確保等に留意しつつ、環境物品等の調達の推進に関する基本方針に定められた国土交通省の特定調達品目（以下、「特定調達品目」という）の使用を積極的に推進するものとする。設計図書に定めがあるものについて、特定調達品目への変更が可能である場合は、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。ただし、東日本大震災の影響により、特定調達品目の使用が困難な場合には、監督職員と協議するものとする。

受注者は、特定調達品目の調達実績の集計を行い、工事完了後に、電子データにより監督職員に提出するものとする。集計の方法については、監督職員より指示する。

第41条 環境対策(建設機械の使用)

受注者は、本工事において「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（昭和62年3月30日建設省経機第58号）に基づき、低騒音型建設機械の使用原則を図られた場合は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年建設省告示第1536号、最終改正 平成13年国土交通省告示487号）に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。

第42条 交通安全管理

受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

1. 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
2. さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
3. 過積載車輛、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。
4. 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行った場合、さし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
5. 建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
6. 以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。

第43条 工事現場の現場環境改善

1. 現場環境改善として実施する内容は、下記のとおりとするが、現場条件等により実施が困難になった場合は、監督職員と協議するものとする。
 - (1) 仮設備関係
昇降設備の充実を実施するものとする。
 - (2) 営繕関係
現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む）を実施するものとする。
現場休憩所の快適化。
 - (3) 安全関係
工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等）を実施するものとする。
 - (4) 地域連携
社会貢献を実施するものとする。
2. 現場環境改善については具体的な内容、実施時期について施工計画書に含め提出するものとする。
3. 主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策については、工事契約後、監督職員と協議するものとし、現場環境改善費（率計上）の100%を上限として設計変更の対象とする。

第44条 工期変更

1. 工期は、雨天、休日等61日を見込み、契約の翌日から令和9年3月29日までとする。
なお、休日には、日曜日、祝日、年末年始及び夏季休暇の他、作業期間内の全ての土曜日を含んでいる。
工期には、施工に必要な日数（実働日数）以外に以下の事項を見込んでいる。

①準備期間	60日間
②後片付け期間	20日間
③雨休率 (実働工期日数に休日と悪天候により作業が 出来ない日数を見込むための係数 実働日数×係数)	0.76 ※茨城県：猛暑日補正有り
④余裕期間	任意で設定可能

雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日は以下の通りである。

(当該工事の作業不能日ではない。)

イ) 1日の降雨・降雪量が10mm/日以上の日：27日間

ロ) 8時から17時までのWBGT値が31以上の時間を足し合わせた日数：6日間

(少数第1位を四捨五入(整数止め)し、日数換算した日数)

過去5か年(2021年～2025年)の気象庁(水戸観測所)及び環境省(水戸地点)のデータより年間の平均発生日数を算出(雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日)

2. 著しい悪天候や気象状況より工程(官積算)で見込んでいる「天候等による作業不能日」以上に作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

3. 後片付け期間に検査に要する各種電子データの作成を行うことを想定しているが、更なる期間が必要な場合は、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

4. 本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間と実工事期間を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定できる。なお、契約を締結するまでの間に、別紙様式－16により、工事の始期及び終期を通知すること。

余裕期間内は、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入、仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

全体工期：契約締結日の翌日から令和9年3月29日

※ 契約締結後において、工期の始期の変更の必要が生じた場合は、監督職員と協議の上、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。なお、条件の変更がない場合において、契約時に設定した工期の変更は行わない。

また、工期には下表の所要日数を含んでいる。

内 容	日 数	備 考
年度末抑制期間	令和9年3月1日～令和9年3月31日	詳細設計は対象外

第45条 工事工程クリティカルパスの共有

受注者は、現場着手前(準備期間内)に設計図書等を踏まえた工事工程表(クリティカルパスを含む)を作成し、監督職員と共有すること。工程に影響する事項がある場合は、その事項の処理対応者(「発注者」又は「受注者」)を明確にすること。

施工中に工事工程表のクリティカルパスに変更が生じた場合は、適切に受発注者間

で共有することとし、工程の変更理由が以下の①～⑤に示すような受注者の責によらない場合は、工期の延長が可能となる場合があるので協議すること。

- ① 受発注者間で協議した工事工程の条件に変更が生じた場合
- ② 著しい悪天候や気象状況より「天候等による作業不能日」が工程（官積算）で見込んでいる日数から著しく乖離し、かつ、作業を休止せざるを得なかった場合
- ③ 工事中止や工事一部中止により全体工程に影響が生じた場合
- ④ 資機材や労働需要のひっ迫により、全体工程に影響が生じた場合
- ⑤ その他特別な事情により全体工程に影響が生じた場合

第46条 工事工程表の開示試行工事

1. 本工事は、工期設定の根拠とした工事に必要な関係機関との調整、住民合意、用地確保、法定手続きなどの進捗状況を踏まえた工事工程表を開示するとともに、設計審査会等において工事工程クリティカルパスの共有や発注者が作成する工程と受注者が作成する工事工程の照合（クロスチェック）を行うことにより、適切な工期設定の取組を行う「工事工程表の開示試行工事」である。
2. 工事契約後、設計審査会等において、「前条 工事工程クリティカルパスの共有」により作成した工事工程表を確認し、受注者・発注者間でクリティカルパスの共有を行うものとする。
3. 設計審査会等において、発注者が開示した工事工程表（別紙－5）との照合（クロスチェック）を実施し、必要に応じて工期延伸の判断について審査を行うなど、適正な工事工程の確保に努めるものとする。
4. 本試行に関するアンケート調査を実施する場合は、これに協力すること。

第47条 悪天候等により工期変更が必要となる場合の協議を簡素化する試行

1. 受注者は、著しい悪天候により作業不稼働日が多く発生し、工期内に工事を完成することが困難な場合はその理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。

著しい悪天候とは、当該工事の工期月の雨休率が、直近5カ年における工期月の雨休率の平均値を超える場合をいう。

工期月とは、工事着手日から工事完成予定日までの期間のうちの、工期の延長変更請求時までにかかる月（ただし、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は除く）をいう。

なお、本工事の降雨降雪日は、水戸観測所（気象庁のデータ）における1日の降雨・降雪量雨が10mm以上/日の日を想定している。

2. アンケート調査を行う場合は、これに協力すること。

第48条 施工時期及び施工時間の変更（作業区分）

本工事の作業区分は下記によるものとする。

作業区分	施工区分	標準作業時間
昼間作業	下記を除くすべての工事	8：00 ～ 17：00
夜間作業	(日立地区)磯原歩道橋 足場(1)、足場(2)、防護 (日立地区)鮎川橋	20：00 ～ 5：00

	橋面防水、橋面舗装、殻運搬(路面切削) 現場→仮置き 橋梁用高欄、現場打地覆、足場(1)、足場(2)、防護 (日立地区) 稲村橋側道橋(下り) 足場(1)、足場(2)、防護 (日立地区) 細田橋 足場(1)、足場(2)、防護	
--	---	--

上記については、積算上の条件明示であり、作業時間を指定するものではない。
各々の標準作業時間には、日々の作業準備、後片付け、KY等安全活動なども含まれる。

ただし、上記区分に変更を要する場合は監督職員と協議するものとする。

第49条 施工時期及び施工時間の変更（他機関との協議）

本工事は下記に示す内容等について関係機関と協議が必要である。

1. 協議機関

茨城県高萩工事事務所

2. 協議箇所（協議内容）

鮎川橋（仮設足場の設置）

稲村橋側道橋(下り)（仮設足場の設置）

細田橋（仮設足場の設置）

3. 制約を受ける施工内容

鮎川橋（全ての作業）

稲村橋側道橋(下り)（全ての作業）

細田橋（全ての作業）

仮設工及び施工ヤードに関する占有協議が必要であるため、占有協議に必要な仮設計画を監督職員へ提出するものとする。

第50条 他工事との調整

1. 下記工事の受注業者とは、現場が連続し施工が輻輳することから、施工手順・工程については十分な打ち合わせを行い、工事の円滑な進捗に努めるものとする。

2. 本工事との調整工事は以下のとおりとする。

工事名	施工範囲	工期（予定）
R 7・R 8 日立国道管内維持工事	日立国道出張所管内	平成7年4月～平成9年3月
R 7 R 8 日立国道管内緑地管理工事	日立国道出張所管内	平成7年7月～平成9年2月

第51条 工事支障物件

本工事区間においては、工事支障物件を見込んでいない。なお、施工条件に変更を要する場合には、監督職員と協議するものとする。

第52条 概算・概略数量

1. 磯原歩道橋及び鮎川橋の補修内容は概略構造及び概略数量を示したものであり、詳細については監督職員の指示によるものとする。

2. 磯原歩道橋の階段撤去と階段設置は概略数量を示したものであり、各単価については当初下記のものを見込むものとし、契約後に監督職員と協議のうえ変更するものとする。

・階段撤去：300,000 円／t

・階段設置

【材料】工場製作材料費(t) 階段製作 工場塗装含む：1,480,000 円／t

【労務】階段設置：412,615 円／t

3. 磯原歩道橋の高欄取替の歩掛は、(別紙様式—21)を概算で見込んでいるため、契約後、監督職員と協議のうえ変更するものとする。
4. 磯原歩道橋及び鮎川橋の詳細設計については、現在、別途行われているところであり、この成果の引き渡しは令和8年9月を予定している。
5. 現地調査後、補修対象箇所以外に損傷や腐食の著しい箇所及び腐食の原因となる要素等が発見された場合には、監督職員に報告するものとする。

上記について、本工事での補修の有無について監督職員と協議するものとし、補修を行う場合は設計変更の対象とする。なお、補修方法については監督職員と協議の上決定するものとする。

第53条 新技術の活用「新技術の定義」

1. 本工事は、新技術活用の促進を図ることを目的とした、新技術活用工事である。

2. 新技術の定義

新技術活用の原則化における新技術の定義は以下による。

- ① 技術の成立性が技術を開発した民間事業者等により実験等の方法で確認されている技術
- ② 公共工事等において実用段階に達している技術
- ③ 当該技術の適用範囲において従来技術に比べて活用の効果が同程度以上の技術又は同程度以上と見込まれる技術
- ④ 実用段階に達していない技術又は要素技術など研究開発段階にある技術であって国により導入促進を図る技術

3. 対象とする新技術

新技術活用の原則義務化の対象とする新技術は以下のとおりとする。

- 1) 新技術情報提供システム (NETIS) 登録技術

URL <http://www.netis.mlit.go.jp>

- 2) NETIS のテーマ設定型の技術比較表に掲載されている技術

- 3) 新技術導入促進 (Ⅱ) 型により活用する技術

- 4) 新技術のニーズ・シーズマッチングにより現場実証し、従来技術と同等以上と確認できた技術

対象とする技術は、NETIS「マッチング」に掲載された技術のうち、「普及促進技術」に該当するものとする。

なお、NETIS 掲載期間終了技術は対象外とする。

第54条 新技術の活用

1. 本工事は、施工者が原則1技術以上を選択したうえで活用を図る新技術活用工事である。
2. 本工事において第53条 新技術の活用「新技術の定義」3. 対象とする新技術に示す1)～4)の技術が選定されていない場合、受注者は施工に先立ち、当該工事内容について十分把握の上、新技術を原則一つ以上選定し、監督職員の承諾を得た上で活用するものとし、活用する新技術の名称及び内容等を施工計画書に記載するものとする。活用する新技術が NETIS 登録技術の場合は新技術活用計画書も提出

するものとする。

3. 受注者は、選定した新技術が第53条 新技術の活用「新技術の定義」に示す1)～4)のいずれの新技術であるか確認できるよう、施工計画書に記載する。
4. 当該技術については、設計図書等で定められた事項に係る部分でない場合は、設計変更の対象としない。
5. 受注者は、試行現場照会中の技術を活用する場合において当該技術の施工にあたり NETIS 申請者が実施する「試行調査」に協力するものとする。なお、試行調査に係る費用は NETIS 申請者が負担する。
6. 試行現場照会中の技術を活用する場合、当該工事の実施箇所において標準的に使用される技術の施工費相当額を超える費用については、試行調査に係る費用とみなし、NETIS 申請者の負担とする。
7. 受注者は、活用する新技術が情報種別記号「－V E」以外の NETIS 登録技術の場合は、当該技術の施工にあたり「活用効果調査」を行うものとする。「活用効果調査」は、「新技術情報提供システム(NETIS)」より作成し、監督職員に提出するものとする。
8. 受注者は、本工事によって知り得た当該技術に係わる情報は、監督職員の許可なく公表してはならない。

第55条 建設現場の遠隔臨場の実施

1. 建設現場における遠隔臨場の実施

「建設現場における遠隔臨場の実施」は、受注者における「段階確認に伴う待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）と Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものとする。

なお、遠隔臨場の実施にあたっては「建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）R5.3」を参考に実施するものとする。

URL <https://www.mlit.go.jp/tec/content/001594449.pdf>

2. 遠隔臨場を適用する工種、確認項目

現場での適用・不適用については、受発注者間にて協議の上、適用する工種・確認項目を選定することとする。

3. 実施内容

（1）段階確認・材料確認、立会での確認

① 受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により取得した映像及び音声を Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」を行うものとする。

② 確認実施者が現場技術員の場合、現場技術員は使用する PC にて遠隔臨場の映像（実施状況）を画面キャプチャ等で記録し、情報共有システム（ASP）等に記録して保管する。（従来の立会資料の管理と同様とする。）

（2）動画撮影

動画撮影は、撮影者の安全を確保するため、撮影者が移動の際に横転等が考えられるいわゆる「歩きスマホ」（カメラを手を持って歩きながら撮影）での撮影はしないこと。

動画撮影は、静止して撮影又は撮影者のヘルメットや胸ポケットに付ける等の安全に配慮するものとする。

（3）機器の準備

遠隔臨場に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員等と協議し決定するものとする。

なお、配信に利用するシステムは、「パッケージ化したシステム」、「情報共有システム（ASP）」、「Web 会議システム（teams、zoom 等）」等、何れのシステムを利用してよい。

（４）遠隔臨場を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で協議を行うものとする。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。

なお、本項目は受発注者間で協議し、別日の現場臨場に変更することを妨げるものではない。

（５）フォローアップ調査

工事完了時に別紙様式-19 を監督職員へ提出するものとする。

また、遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示によるものとする。

（６）費用

遠隔臨場にかかる費用については、工事実施に必要な施工管理費として、全必要額を技術管理費に積み上げ計上し、設計変更するものとする。

なお、機器の手配は基本的にリースとし、その賃料を計上するものとするが、やむを得ず購入せざるを得ない機器がある場合は、その購入費に、機器の耐用年数に対する使用期間（日単位）割合を乗じた分を計上するものとする。また、受注者が所持する機器を使用する場合も、基本的には同様の考え方とするものとする。

（７）不正行為

遠隔臨場において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、「建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準 令和7年12月12日（国不建第121号）」等に従い、監督処分を実施する場合がある。

（８）通信環境

遠隔臨場の実施にあたり、現場の通信環境が不良と確認された場合は、対応策を検討の上、監督職員と協議を行うものとする。

第56条 建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施

1. 建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施

「遠隔臨場を活用した工事検査」は、受注者における「工事検査に伴う移動時間の削減や工事関係書類の簡素化」や発注者（監督職員・検査職員）における「現場実地（現場臨場）の削減による効率的な時間の活用」等を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360度カメラ等）と Web 会議システム等を介して工事実施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査項目を遠隔で行うものである。なお、遠隔臨場による工事検査は、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』の内容に従い実施する。

2. 遠隔臨場を活用した工事検査の対象

遠隔臨場を活用した工事検査は、完成検査、中間技術検査、既済部分検査、完済部分検査における、工事実施状況、出来形、品質、出来ばえの各検査項目を対象とし、以下の表に示す。また、全ての検査を対象とするが、現場条件や、『遠隔臨場

による工事検査に関する実施要領（案）』「7.3 検査項目の適応性」を踏まえ、従来方法（対面書類検査、現場実地検査）を選択することも可能である。

凡例 ○：遠隔臨場による工事検査の対象

	工事実施 状況	出来形		品質		出来ばえ	
	書類	書類	実施	書類	実施	書類	実施
完成検査	○	○	○	○	○	○	○
中間技術検査	○	○	○	○	○	○	○
既済部分検査	○	○	○	○	○	○	○
完済部分検査	○	○	○	○	○	○	○

3. 遠隔臨場を活用した工事検査を適用する検査項目

現場条件により遠隔臨場による工事検査の適応性が一致しない場合も想定されることから、検査項目での適用・不適用については、監督職員が検査職員と調整・決定し、受注者に遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目を連絡する。遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目については、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』「7.3 検査項目の適応性」を踏まえ判断する。

4. 実施内容

(1) 技術検査、工事検査での実施

受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360 度カメラ等）により取得した映像及び音声を Web 会議システム等を介して工事実施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査を実施するものである。

(2) 機器の準備

遠隔臨場による工事検査に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360 度カメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員と協議し決定するものとする。

(3) 遠隔臨場による工事検査を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場による工事検査が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で予備日を取り決めて検査日を連絡する。

(4) 効果の検証

遠隔臨場による工事検査を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

(5) 費用

遠隔臨場による工事検査にかかる費用については、受発注者間の協議を踏まえ、技術管理費に積上げ計上する。なお、監督業務で遠隔臨場を実施する工事については、遠隔検査を行うために追加で要する費用が生じた場合に監督職員と協議するものとする。

(6) 不正行為

遠隔臨場による工事検査において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、『建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準 令和 7 年 12 月 12 日（国不建第 121 号）』等に従い、監督処分を実施する場合がある。

第 57 条 契約後 V E 方式

1. 定義について

「V E 提案」とは、契約書第 19 条の 2 の規定に基づき、設計図書に定める工事の目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする工事材料、施工方法等に係る設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案である。

2. V E 提案の意義及び範囲について

- (1) 受注者が V E 提案を行う範囲は、設計図書に定められている内容のものとする。
- (2) 以下の提案は、V E 提案の範囲に含まないものとする。
 - 1) 施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案。
 - 2) 契約書第 18 条に規定された条件変更等に該当する事実との関係が認められる提案。
 - 3) 提案の実施に当たり、関係機関協議等、第三者との調整等を要する提案。

3. V E 提案書の提出について

- (1) 受注者は、前項の V E 提案を行う場合は、次に掲げる事項を V E 提案書(別紙様式－1～4)に記載し、発注者に提出しなければならない。
 - 1) 設計図書に定める内容と V E 提案の内容の対比及び提案理由
 - 2) V E 提案の実施方法に関する事項(当該提案に係る施工上の条件等を含む)
 - 3) V E 提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠
 - 4) 発注者が別途発注する関連工事との関係
 - 5) 工業所有権等の排他的権利を含む V E 提案である場合、その取扱いに関する事項
 - 6) その他 V E 提案が採用された場合に留意すべき事項
- (2) 発注者は、提出された V E 提案書に関する追加的資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。
- (3) 受注者は、前項の V E 提案を契約の締結日より、当該 V E 提案に係る部分の施工に着手する 35 日前までに、発注者に提出できるものとする。
- (4) V E 提案の提出費用は、受注者の負担とする。

4. V E 提案の審査について

提出された V E 提案は、施工の確実性、安全性が確保され、かつ設計図書に定める工事の目的物と比較し、機能、性能等が同等以上で経済性が優位であると判断されるものについては、V E 提案として採用することを原則として審議を行い、当該提案の採否を決定するものとする。

5. V E 提案の採否について

V E 提案の採否について、原則として、V E 提案の受領後 14 日以内に書面(別紙様式－5)により通知するものとする。ただし、受注者の同意を得た上でこの期間を延長することができるものとする。また、V E 提案を採用しなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。

6. V E 提案を採用した場合の設計変更等について

- (1) V E 提案を採用した場合において、必要があるときは、発注者は設計図書の変更を行わなければならない。
- (2) 前項の規定により設計図書の変更が行われた場合において、発注者は、必要があるときは請負代金額を変更しなければならない。
- (3) 前項の変更を行う場合においては、V E 提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の 10 分の 5 に相当する金額(以下「V E 管理費」という。)を削減しないものとする。

(4) V E 提案を採用した後、契約書第 18 条の条件変更が生じた場合、発注者が V E 提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。なお、V E 管理費については、原則として変更しないものとする。

7. V E 提案の活用と保護について

評価の結果、当該 V E 提案内容の活用が効果的であると認められた場合は、他の工事においても積極的に活用を図るものとする。その場合、工業所有権等の排他的権利を有する提案については、当該権利の保護に留意するものとする。

8. 責任の所在について

発注者が V E 提案等を採用し、設計図書の変更を行った場合においても、V E 提案を行った受注者の責任が否定されるものではない。

第 5 8 条 生産性向上チャレンジ工事

1. 試行の実施

本工事は、受注者の発案による施工手順の工夫等の創意工夫による生産性向上の取り組みを推進する「生産性向上チャレンジ」の試行対象工事である。

2. 試行の内容

工事契約後、受注者は、当該工事において、省人化等の生産性向上に資する取り組みを実施することができる。

本取り組みを実施する場合、施工計画書に「生産性向上チャレンジ工事」の項目を設け、①取組内容、②期待される効果等を明記するものとし、完成検査までに実施内容及び効果を報告するものとする。また、期待される効果等について、人員削減や作業時間削減等の定量的な効果を記載できる場合は記載することとする。

なお、「技術提案で提案済みの内容」及び「特記仕様書第 5 3 条 新技術活用「新技術の定義」」において採用した取組については本試行の対象外とする。

3. 工事成績評価

施工計画書で位置づけられた「生産性向上チャレンジ工事」の取組の履行が確認できた場合は加点を行うこととする。

4. 本試行に係る費用については、原則、受注者負担によるものとする。

第 5 9 条 出来高部分払方式

本工事の部分払は、短い間隔で出来高に応じた部分払や設計変更協議を実施し、円滑かつ速やかな工事代金の流通を確保することによって、より双務性及び質の高い施工体制の確保を目指すため、「出来高部分払方式実施要領」〔国土交通省 HP http://www.mlit.go.jp/tec/tec_tk_000052.html 参照〕に基づき行うものとする。

第 6 0 条 施工箇所が点在する工事の適用

本工事は、施工箇所が点在する工事であり、北茨城市磯原地区（磯原歩道橋）、日立市鮎川地区（鮎川橋）、高萩市石滝地区（稲村橋側道橋）、北茨城市大津地区（細田橋）で施工を行う工事である。

第 6 1 条 直轄土木工事における賃金・労働時間等の実態調査(試行)(受注者希望方式)

1. 本工事は、受注者の協力の下、賃金・労働時間・労務費（以下「賃金・労働時間等」という。）の実態を調査する試行工事である。

2. 受注者は、契約締結後、賃金・労働時間等の実態調査に協力する意向がある場合には、実態調査に協力する工種・種別・細別（以下、「工種等」という。）を発注者へ報告するものとする。

3. 発注者は、実態調査に協力する工種等の報告を受けた工種等より調査対象を選定するとともに、調査対象工種等の施工が完了した後、受注者は、別途監督職員より通知される実態調査要領に基づき資料を提出するものとする。
4. 発注者は、提出された資料をもとに賃金、労働時間等の実施率・達成率を算出後、積算上の作業時間を示した資料を提出するとともに、賃金、労働時間等の実施率・達成率を工事完成検査後に受注者、下請業者（注文者）、下請業者（使用者）に通知するものとする。

第62条 情報管理体制の確保

受注者は、本工事に関して発注者から貸与された情報その他知り得た情報であつて、発注者が保護を要さないことを同意していない一切の非公表情報（以下「要保護情報」という。）を取り扱う場合は、当該情報を適切に管理するため、土木工事共通仕様書 1-1-1-6 に基づく施工計画書の現場組織表において、別紙様式－18を参考に、情報取扱者名簿及び情報管理体制図を記載し、発注者の同意を得なければならない。また、記載内容に変更が生じた場合も、同様に作成の上、あらかじめ発注者の同意を得なければならない。

- ・受注者は、要保護情報を情報取扱者以外には秘密とし、また、本工事の施工以外の目的に使用してはならない。
- ・受注者は、要保護情報を本工事の終了後においても第三者に漏らしてはならない。
- ・要保護情報は、アクセス制限、パスワード管理等により適切に管理するとともに、発注者の許可なく複製・転送等しないこと。
- ・受注者は、本工事完了時に、要保護情報について、発注者への返却若しくは消去又は破棄を確実に行うこと。
- ・受注者は、要保護情報の外部への漏えい若しくは目的外利用が認められ又そのおそれがある場合には、これを速やかに発注者に報告すること。なお、報告がない場合でも、情報の漏えい等の懸念がある場合は、発注者が行う報告徴収や調査に応じること。

第2章 無筋・鉄筋コンクリート

第63条 モルタル

モルタルに使用するセメントの種類は、普通ポルトランドセメントで、セメント量は530kg/m³（又は、1：3）以上とする。

第3章 個人情報の取り扱いについて

第64条 基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務を処理するための個人情報の取扱いに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第57号）第66条第2項第1号の規定に基づき、個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じなければならない

第 6 5 条 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

第 6 6 条 取得の制限

受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示しなければならない。また、当該利用目的の達成に必要な範囲内で、適正かつ公正な手段で個人情報を取得しなければならない。

第 6 7 条 利用及び提供の制限

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための利用目的以外の目的のために個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。

第 6 8 条 複写等の禁止

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するために発注者から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

第 6 9 条 再委託の禁止

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための個人情報については自ら取り扱うものとし、第三者にその取り扱いを伴う事務を再委託してはならない。なお、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）には、受注者は当該第三者に対して、個人情報の保護に関する法律（平成 15 年 5 月 30 日法律第 57 号）第 66 条第 2 項第 4 号に基づく個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じさせなければならない。

第 7 0 条 事案発生時における報告

受注者は、個人情報の漏えい等の事案が発生し、又は発生するおそれがあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

第 7 1 条 資料等の返却等

1. 受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から貸与され、又は受注者が収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等を、この契約の終了後又は解除後速やかに発注者に返却し、又は引き渡さなければならない。ただし、発注者が、廃棄又は消去など別の方法を指示したときは、当該指示に従うものとする。なお、発注者の指示又は承諾により個人情報が記録された資料等を複写等した場合には、確実にそれらを廃棄又は消去するとともに、証明書（別紙－ 2）を発注者に提出しなければならない。
2. 前項の規定は、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴

う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）において準用する。

第72条 管理の確認等

発注者は、受注者における個人情報の管理の状況について適時確認することができる。また、発注者は必要と認めるときは、受注者に対し個人情報の取り扱い状況について報告を求め、又は検査することができる。

第73条 管理体制の整備

受注者は、この契約による事務に係る個人情報の管理に関する責任者を特定するなど管理体制を定めなければならない。

第74条 従事者への周知

受注者は、従事者に対し、在職中及び退職後においてもこの契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならないことなど、個人情報の保護に関して必要な事項を周知しなければならない。

■ 第2編 材料編

第1章 土木工事材料

第75条 区画線

1. 塗装厚は下表のとおりとする。

溶融式（又は常温式）

幅(cm)	厚(mm)	摘 要
15	1.5	夜間の視認性が優れたもの。
20		
30		
45		
90		

2. 設置様式は下記のとおりとする。

（別添－2：区画線設置様式参照）

■ 第3編 土木工事共通編

第1章 総則

第76条 現場技術員

本工事は、現場技術員の配置対象工事であり、現場技術業務を関東建設マネジメント株式会社に委託している。

第 77 条 施工体制調査員

本工事は、現場における施工体制の点検補助を関東建設マネジメント株式会社に委託している。また、本工事は施工体制の点検を担当する施工体制調査員の氏名は、別途監督職員より通知する。

なお、施工体制調査員は、工事の情報共有システム（ＡＳＰ）により電子書類を閲覧し、点検を行うため、施工体制調査員を情報共有システム（ＡＳＰ）のユーザーに登録するものとする。（「閲覧のみ可能」で登録）

第 78 条 施工体制の点検

1. 受注者は「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成 12 年法律第 127 号 最終改正令和 6 年 12 月 13 日）第 15 条 3 により発注者から施工体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。
2. 施工体制の点検員は当該工事の監督職員、施工体制調査員及び発注担当事務所の職員である。
3. 施工体制調査員は、業務証明書を携帯し、胸に委託業務名、委託先、業務職（施工体制調査員）、氏名、顔写真の入った名札を着用している。
4. 当該工事の監督職員及び発注担当事務所の職員は、所属、氏名、顔写真の入った名札を着用している。
5. 施工体制調査員は、施工体制の点検を行う者で、指示等の権限は有しない。
6. 施工体制調査員は、電子書類の点検を工事の情報共有システム（ＡＳＰ）により「閲覧」し、点検する。
7. 施工体制調査員は、第 1 回目の現地点検は現地で点検するが、以降の点検は、映像により点検が可能な項目は、必要に応じ、工事の受注者が導入しているWEB会議や遠隔臨場システムを活用し、点検することを可能とする。
ただし、立会や打合せ等においてWEB会議や遠隔臨場システムを導入していない工事や現地での点検を希望する工事は、従来通り、現地で点検する。

第 79 条 品質証明

本工事は、品質証明対象工事とする。なお、提出様式は別紙様式－12によるものとする。

第 80 条 工事完成図書の納品

1. 本工事は電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「工事完成図書の電子納品等要領(令和 5 年 3 月)：(以下「要領」という。)」に基づいて作成した電子データを指す。
「要領」で特に記載がない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決定する。
なお、電子納品の運用にあたっては、「電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】(令和 6 年 3 月)」を参考とするものとする。
2. 本工事は「オンライン電子納品実施要領」に基づき、オンライン電子納品を行うものとする。
オンライン電子納品は、発注者が用意した電子納品保管管理サーバへのオンラインによる納品を原則とする。

なお、オンラインによる納品が実施できない場合は、監督職員と協議の上、電子媒体に格納して納品するものとする。

3. 成果品の提出の際には、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで提出すること。

第81条 技術検査

1. 本工事は、中間技術検査対象工事とし、実施回数は2回以上を原則とする。なお、工事成績優秀企業の適用工事にあたっては、減免することが出来るものとする。但し、低入札価格調査制度対象工事となった工事及び監督強化価格対象工事については、減免の適用の対象外とする。
2. 中間技術検査の実施時期は、完成、既済部分(完済を含む)の検査時期及び当該工事の主要工種を考慮し、施工上の重要な変化点で行うことを原則とする。実施時期は、監督職員が選定するものとし、監督職員は、受注者に対して書面をもって検査日及び検査職員名を通知するものとする。
3. 中間技術検査は、上記を標準として実施することとするが、中間技術検査の主旨を踏まえ、現場条件、工事規模、内容、工期等を考慮して、実施時期、実施回数を変更することが出来る。

第82条 書類限定検査

1. 本工事は、検査に必要な書類を限定し、監督職員と技術検査官の重複確認廃止の徹底及び受注者における説明用資料等の書類削減により効率化を図る「書類限定検査」の対象である。
2. 書類限定検査とは、検査時に下記の10書類に限定して資料検査を行うものとする。

①施工計画書	⑥出来形管理図表
②施工体制台帳（下請引取検査書類を含む）	⑦品質管理図表
③工事打合せ簿（協議）	⑧品質規格証明資料
④工事打合せ簿（提出）	⑨品質証明書
⑤工事打合せ簿（承諾）	⑩工事写真

なお、以下の工事については対象外とする。

- ・「低入札価格対象工事」又は「監督体制強化工事」は対象外
 - ・施工中、監督職員より文書等により改善指示が発出された工事は対象外
3. 実施状況や改善点等を把握するためのアンケートに協力する。

第83条 ウイルス対策

受注者は、電子納品時のみならず、監督職員に工事に関する事項について電子データを提出する際には、ウイルス対策を実施した上で提出しなければならない。また、ウイルスチェックソフトは常に最新データに更新（アップデート）しなければならない。

第2章 一般施工

第 8 4 条 仮設工

図面等で指定している仮設工は、その標準を示したものであり、現地の状況を十分に把握し安全性、細部構造等の検討を行い、工事の施工については、受注者の責任において実施しなければならない。なお、現地の状況に変更が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

第 8 5 条 廃棄物の処理について

1. 塗膜剥離剤、ケレン等の廃材の運搬処分は当初計上していないため、監督職員と協議のうえ、設計変更の対象とする。
2. 橋面防水に伴う廃材の運搬処分は当初計上していないため、監督職員と協議のうえ、設計変更の対象とする。
3. 既設舗装剥ぎ取りに伴う廃材の運搬処分は当初計上していないため、監督職員と協議のうえ、設計変更の対象とする。

第 8 6 条 高架橋下への搬入

運搬路に使用した既設道路の舗装等に破損が生じた場合は、速やかに監督職員と協議し、補修しなければならない。なお、補修は設計変更の対象とする。

■ 第 4 編 道路編

第 1 章 舗装

第 8 7 条 材料

1. 加熱アスファルト混合物の示方アスファルト量及び骨材の最大粒径は下記のとおりとする。

呼び名	混合物の種類	最大粒径 (mm)	アスファルト量 (%)	摘要
改Ⅱ A ②	改質密粒度アスコン	2 0	5 . 5	表層（鮎川橋）
改Ⅱ A ②	改質密粒度アスコン	1 3	5 . 5	レベリング層（鮎川橋）

第 8 8 条 加熱アスファルト混合物

受注者は、本工事に使用する加熱アスファルト混合物（以下「混合物」という。）で、アスファルト混合物事前審査の認定を受けた混合所の混合物を使用する場合は、「アスファルト混合物事前審査における土木工事仕様書」及び「アスファルト混合物前審査における品質管理基準」によるものとする。

第 2 章 道路修繕

第 8 9 条 橋梁塗装工

塗装の種類、塗装回数及び各層毎の標準使用量は下表のとおりとする。

外面 塗装仕様（RC-I 塗装系）

磯原歩道橋、稲村橋側道橋（下り）、細田橋：塗替塗装

塗装区分	工程	塗装種類	塗装回数	標準使用量 標準膜厚	摘要
前処理	素地調整	1 種ケレン	—	—	
現場塗装	下塗り	有機ジンクリッチペイント	1 回	600g/m ² 75 μm	スプレー
	下塗り	弱溶剤形変成エポキシ樹脂塗料	2 回	240g/m ² 60 μm	スプレー
	中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	1 回	170g/m ² 30 μm	スプレー
	上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	1 回	140g/m ² 25 μm	スプレー

外面 塗装仕様（RC-Ⅱ 塗装系）

磯原歩道橋：部分塗装

塗装区分	工程	塗装種類	塗装回数	標準使用量 標準膜厚	摘要
橋梁塗装	素地調整	2 種ケレン	—	—	
	防食下地	有機ジンクリッチペイント	1 回	600g/m ²	スプレー
	下塗り	弱溶剤形変成エポキシ樹脂塗料	2 回	240g/m ² 240g/m ²	スプレー
	中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	1 回	170g/m ²	スプレー
	上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	1 回	140g/m ²	スプレー

第 90 条 橋面防水工

1. プライマーは瀝青ゴム系接着剤とし、塗布量は 0.4 kg/m² を標準とする。
2. 目地材の試験は舗装調査・試験法便覧に準ずる。
3. 目地材は使用以前に品質証明書を監督職員に提出し、承諾を得なければならない。
4. 防水工の材料は、塗膜系防水材とし、一般事項、試験及び施工方法については「道路橋床版防水便覧」（平成 19 年 3 月日本道路協会）によるものとする。
5. アスファルト塗膜系防水材の標準的な品質は下表のとおりとする。

項目	標準値	試験方法
針入度（円すい針） mm	1～5	舗装試験法便覧 4-12-2
軟化点 ℃	80以上	JIS K 2207
引張強さ (23℃) N/mm ²	0.35以上	JIS A 6021
破断時の伸び率 %	300以上	JIS A 6021
耐アルカリ性 (23℃)	異常のないこと	JIS K 5600-6-1
耐塩水性 (23℃)	異常のないこと	JIS K 5600-6-1

6. 目地材の標準的な品質は、下表のとおりとする。なお、試験は「舗装調査・試験法便覧」（日本道路協会平成 19 年 6 月改訂）によるものとする。

項目	標準値	試験方法
針入度（円すい針）mm	6 以下	舗装調査・試験 法便覧
流動 mm	5 以下	
引張量 mm	3 以上	

第 9 1 条 塗膜剥離

1. 塗装の剥離作業

当該塗料の成分について鉛等の有害物質が確認された場合は、当該塗料の剥離等作業を行う業者は、鉛中毒障害予防規則等関係法令に従い、湿式による作業の実施、作業主任者の選任と適切な作業指揮の実施、有効な保護具の着用等を実施すること。

2. 剥離作業における近隣環境への措置

- 1) 剥離等作業は必ず湿潤化して行う。
- 2) 隔離区域等内作業場に粉塵する集塵するため適切な除塵機能を有する集塵排気装置を設ける。
- 3) 隔離区域等内作業場に粉塵を外部に持ち出さないよう洗身や作業衣等の洗浄等を徹底する。
- 4) 隔離区域等内作業場については、関係者以外の立ち入りを禁じ、区域内で作業や監視を行う労働者について、電動ファン付き呼吸用保護具又はこれと同等以上の性能を有する作業マスクを着用する。
- 5) 呼吸用保護具については、隔離区域等内作業場より離れる都度、付着した粉塵を十分に払い、隔離区域等内作業場とは離れた汚染されていない場所に保管する。
- 6) 隔離区域等内作業場の粉塵を運搬し、又は貯蔵する時は、当該粉塵が発散するおそれがないよう堅固な容器を使用し、又は確実な包装をする。また、保管については、一定の場所を定めておく。

3. 塗膜剥離技術

新技術活用システムの活用方式「テーマ設定型（技術公募）」により試験を実施した、「土木鋼構造物用塗膜剥離技術」より選定を行うこととする。また、橋梁塗膜剥離剤の選定にあたっては、上記技術の中から現場適用条件や現場試験等の結果により選定することとする。

塗膜剥離技術は「バイオハクリ X-WB 工法（NETIS 番号：KK-160043-A）」を見込んでいるが、選定した塗膜剥離技術は設計変更の対象とするため、監督職員と協議し承諾を得るものとする。

第 9 2 条 色彩

塗装色については、淡彩系を標準とする。これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第 9 3 条 鉛対応環境対策機材費

鉛対応環境対策機材費の数量は下表のとおりとする。

（磯原歩道橋）

名称	規格	単位	数量
負圧集塵装置	基本料	台	1

負圧集塵装置	賃料	月	1. 27
一次フィルター	負圧集塵装置用	枚	2
二次フィルター	負圧集塵装置用	枚	1
H E P Aフィルター	負圧集塵装置用	枚	1
チャコールフィルター	負圧集塵装置用	枚	1
ペットクリアダクト	φ 250 吸込側 L=10m	本	1
ダクトバンド	φ 250	個	1
集塵専用掃除機	基本料	台	1
集塵専用掃除機	賃料	月	1. 27
一次フィルター	集塵専用掃除用	枚	1
H E P Aフィルター	集塵専用掃除用	枚	1
チャコールフィルター	集塵専用掃除用	枚	1
セキュリティルーム	W1500×L4500×H2000	箇所	1
セキュリティルーム用シート		箇所	1
エアシャワー	基本料	台	1
エアシャワー	賃料	月	1. 27
一次フィルター	エアシャワー用	枚	1
H E P Aフィルター	エアシャワー用	枚	1
チャコールフィルター	エアシャワー用	枚	1
危険物容器	200L 鋼製オープンドラム	缶	1
危険物容器	18L ペール缶	缶	1

(稲村橋側道橋(下り))

名称	規格	単位	数量
負圧集塵装置	基本料	台	1
負圧集塵装置	賃料	月	1. 4
一次フィルター	負圧集塵装置用	枚	1
二次フィルター	負圧集塵装置用	枚	1
H E P Aフィルター	負圧集塵装置用	枚	1
チャコールフィルター	負圧集塵装置用	枚	1
ペットクリアダクト	φ 250 吸込側 L=10m	本	1
ダクトバンド	φ 250	個	1
集塵専用掃除機	基本料	台	1
集塵専用掃除機	賃料	月	1. 4
一次フィルター	集塵専用掃除用	枚	1
H E P Aフィルター	集塵専用掃除用	枚	1
チャコールフィルター	集塵専用掃除用	枚	1
セキュリティルーム	W1500×L4500×H2000	箇所	1
セキュリティルーム用シート		箇所	1
エアシャワー	基本料	台	1
エアシャワー	賃料	月	1. 4
一次フィルター	エアシャワー用	枚	1
H E P Aフィルター	エアシャワー用	枚	1

チャコールフィルター	エアシャワー用	枚	1
危険物容器	200L 鋼製オープンドラム	缶	1
危険物容器	18L ペール缶	缶	1

これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとし、数量については設計変更の対象とする。

第94条 安全費

1. 鉛等呼吸用保護具等費用の数量は下表のとおりとする。

(磯原歩道橋)

名称	規格	単位	数量
電動ファン付呼吸用保護具		台	1
呼吸用保護具フィルター		個	12
C F カバーグラス	1 袋当たり 5 枚入り	袋	2
使い捨て化学防護服	シューズカバー含む	着	12
防護手袋	ニトリル	双	12

(稲村橋側道橋(下り))

名称	規格	単位	数量
電動ファン付呼吸用保護具		台	1
呼吸用保護具フィルター		個	9
C F カバーグラス	1 袋当たり 5 枚入り	袋	2
使い捨て化学防護服	シューズカバー含む	着	9
防護手袋	ニトリル	双	9

これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとし、数量については設計変更の対象とする。

第95条 塗装塗膜性状調査

施工に先立ち、塗装塗膜性状調査（溶出試験、含有試験）を実施し、有害物質の含有を確認すること。塗装塗膜性状調査は設計変更の対象とする。

第96条 橋梁補修に伴う資材及び歩掛

下記に記載の資材及び歩掛に関して、本工事にて施工するものとするが、当初計上していないため、監督職員と協議のうえ、設計変更の対象とする。

【磯原歩道橋】

資材 橋面防水における成形目地(W=10, t=5mm)、導水パイプ、高欄取替、変形補修、張り紙防止塗装(塗装材)、ブラスト養生シート、湿式塗膜剥離剤工用養生シート

歩掛 変形補修、変形補修における発生品運搬、構造物取壊しにおける殻運搬(人力)及び殻処分、ブラスト養生シート、湿式塗膜剥離剤工用養生シート

【鮎川橋】

資材 橋面防水における成形目地(W=25 t=5mm)、場所打地覆における現場塗装、

歩掛 場所打地覆における現場塗装、現場打地覆取壊しにおける殻運搬及び殻処分、登り栈橋

【稲村橋側道橋(下り)】

資材 当て板補修(金属パテ(セラミック系金属補修材))、紫外線硬化型FRPシー

- ト・部分塗替、ナット取替(P1)、ナット取替(P4)、ブラスト養生シート、湿式塗膜剥離剤工用養生シート
- 歩掛 当て板補修(金属パテ(セラミック系金属補修材))、紫外線硬化型FRPシート・部分塗替、ナット取替(P1)、ナット取替(P4)、ブラスト養生シート、湿式塗膜剥離剤工用養生シート

【細田橋】

- 資材 グラウト充填、植生撤去(A2)、キャップ(φ90, t=6mm)、ブラスト養生シート
- 歩掛 グラウト充填、植生撤去(A2)、ボルト再設置ボルト締付(M18×35, 1w, 1sw)、キャップ(φ90, t=6mm)、ブラスト養生シート

第3章 その他

第97条 震災対策

- 地震発生等の天災に備えて、あらかじめその対応策を定めておくものとする。
- 地震注意情報等が発令された場合は、直ちに工事を中断し、その情報に応じた適切な保全処置等を講ずるものとする。
- 工事箇所において震度4以上の地震が発生した場合は、土・日曜日、祭日及び天候等による休工日に係わらず、ただちに現場及び工事関連施設の状況確認を行い、概ね1時間以内に異常の有無を監督職員に報告するものとする。

第98条 道路施設基本データの作成

本工事完成時には、以下に示す『道路施設基本データ』を作成し、監督職員に提出するものとする。ただし、本工事に該当しない施設の基本データは作成しないものとする。

なお、完成後でも、発注者は受注者に対して、『道路施設基本データ』の内容について説明を求めることがある。

1. 道路施設基本データの種類

区分	施設番号	施設名	区分	施設番号	施設名
道路構造	C020	縦断勾配	付属物および付属施設	E060	道路情報板
	C030	平面線形		E070	交通遮断機
	C050	舗装		E080	I . T . V
	C060	道路交差点		E090	車両感知器
	C070	鉄道交差点		E100	車両諸元計測施設
	C080	歩道及び自転車歩行車道		E110	気象観測施設
	C090	独立専用自歩道		E120	災害予知装置
	C100	中央帯		E130	自転車駐車場等
	C110	環境施設帯		E140	自転車駐車場
構造物	D010	橋梁	付属物および付属施設	E150	雪崩防止施設
	D020	橋側歩道橋		E160	落石防止施設
	D030	横断歩道橋		E170	消雪パイプ
	D040	トンネル		E180	ロードヒーティング

D050	洞門	E190	除雪ステーション
D060	スノーシェッド	E200	防災備蓄
D070	地下横断歩道	E210	共同溝
D080	道路BOX等	E220	CAB電線共同溝
D090	横断BOX等	E230	植栽
D100	パイプカルバート	E240	遮音施設
D120	擁壁	E250	遮光フェンス
D130	スノーシェルター	E270	流雪溝
E010	防護柵	E310	防雪林
E020	道路照明	E320	路側放送
E030	視線誘導標（反射式）	E330	光ケーブル施設
E040	視線誘導標（自光式）	E340	道路反射鏡
E050	道路標識	E350	ビーコン

2. 道路施設基本データの作成は、別に定める『道路管理データベースデータ作成マニュアル（案）』によるものとする。
3. 道路施設基本データは、『道路施設基本データ作成システム』で作成する。
4. 道路施設基本データ作成にあたって工事番号は、CORINS登録時の「工事契約コード番号」とする。
5. 道路施設基本データに係わる以下のものを電子データにて提出すること。
 - ①道路施設台長作成総括表
 - ②道路施設基本データ総括表
 - ③道路施設基本データ一覧表
 - ④道路施設台帳チェックシート
 - ⑤「道路工事完成図等チェックプログラム」によるチェック結果
 - ⑥「電子納品チェックプログラム」によるチェック結果
 - ⑦工事数量総括表

第99条 道路橋維持管理資料の作成

1. 本工事において施工した橋梁について、施工に関する記録などを保存するため「道路橋関連資料の保存要領（案）」に基づき電子媒体を作成し、監督職員に提出すること。
2. 本工事において作成する資料の対象は、「道路橋関連資料の保存要領（案）」に基づき監督職員の指示によるものとする。なお、作成に要する費用については、当初は計上していないため、設計変更の対象とする。

第100条 全国道路施設点検データベース（道路橋）への登録について

1. 受注者は、必要に応じ管理運営団体の定める方法によりユーザー登録を行った上で、施工結果等のデータを、全国道路施設点検データベース（道路橋）（以下「点検DB（道路橋）」）に登録する。
登録するデータは以下の通りとし、事前に監督職員と協議しなければならない。登録するデータに係る権利は、第101条に定めるとおりとする。なお、点検DB（道路橋）の管理運営団体に支払う登録料については設計変更の対象とする。
【全国道路施設点検データベース（道路橋）への登録データ】
「補修・補強工事調書の記入要領（案）」に示される補修・補強工事調書デー

タ、および「道路管理データベース データ作成マニュアル（案）」の塗装歴（D019）、補修歴（D01A）データ

- 2 受注者は、状況写真や地形図を含む一般図などの画像データ等において、個人情報が表示されないよう加工を施したものを使用するとともに、点検 DB（道路橋）へ登録するデータに個人情報が含まれないことを確認しなければならない。また、登録するデータに個人情報が含まれないことを確認する手法について施工計画書に明記し、個人情報が含まれないことを確認した書類として「別紙－7」に示すチェックリストを提出すること。

なお、受注者と発注者の双方がチェックリストにより、個人情報が含まれないことを確認した後でなければ、データ登録を行ってはならない。

第101条 登録するデータに係る権利について

1. 本工事の成果として点検 DB（道路橋）へ登録されるデータ及びこれに係る特許、実用新案登録、意匠登録等を受ける権利及び当該権利に基づき取得する産業財産権並びに著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条に定める権利を含む。）その他の知的財産権（ノウハウ等に関する権利を含む。）は、すべて登録・確定と同時に発注者に帰属する。
2. 点検 DB（道路橋）へ登録されるデータに係る知的財産権のうち、受注者又は第三者が従前から保有していた知的財産権が含まれる場合、受注者は、発注者、発注者が指定する者及び点検 DB（道路橋）を利用する者（以下「発注者等」という。）に対し、当該知的財産権の利用を許諾し、又は許諾させるものとする。
3. 受注者は、自ら（受注者に所属する者を含む。）又は第三者をして、発注者等に対し、点検 DB（道路橋）へ登録されるデータを構成する著作物に係る著作権人格権を行使せず又は行使させない。
4. 前三項の場合において、受注者は、発注者に知的財産権を帰属させ若しくは発注者が適法に知的財産権を行使するため、又は発注者等による点検 DB（道路橋）の運用及び利用のために必要となる一切の手続（第三者からの許諾取得を含む。）を履践するものとする。
5. 発注者及び受注者は、前四項に定める権利の帰属及び不行使並びに手続履践の対価が委託料に含まれることを相互に確認する。
6. 受注者は、点検 DB（道路橋）へ登録されるデータが知的財産権を含む第三者の権利を侵害しないことを表明及び保証し、受注者がかかる表明保証に違反したことにより発注者が第三者から訴訟を提起され又は権利を主張される等の紛争が生じた場合には当該紛争の解決に協力するとともに、発注者に生じた損害、損失及び費用（合理的な範囲の弁護士費用を含む。）について、発注者に対してこれを補償するものとする。

第102条 「問合せ番号」及び「路上規制情報システム」

受注者は、「路上規制情報提供システム」への入力を行うものとし、別途監督職員が通知する「問合せ番号」を工事情報看板及び工事説明看板に掲示するものとする。

なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第103条 工事現場における説明性の向上

受注者は、事業名、事業の目的・内容・効果、工事名、工事内容、連絡先を記した工事説明書を作成し、近隣住民等から事業内容等の説明を求められた場合は、工

事の安全確保に支障のない範囲において、当該工事説明書を配布する等、工事現場の説明性の向上を図るものとする。

また、受注者は、工事現場作業員に対し、工事内容及び事業目的・効果を周知するものとする。（別紙様式－２０）

明示項目及び明示事項

明示項目	明示事項	記載条項
工程関係	■ 施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合は、制限される施工内容、施工時期、施工時間及び施工方法。 ■ 当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合は、制約を受ける内容及びその協議内容、成立見込み時期。 ■ 余裕工期を設定して発注する工事については、工事の着手時期。 ■ 設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数。	第 4 8 条 第 4 9 条 第 4 4 条 第 4 4 条
公害関係	■ 工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等）のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等を指定する必要がある場合は、その内容。	第 3 9 条
建設副産物関係	■ 建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合は、その処理方法、処理場等の処理条件。 なお、再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合は、その受入場所、距離、時間等の処分条件。	第 2 5 条
工事支障物件等	■ 地上、地下等の占用物件の有無及び占用物件等で工事支障物が存在する場合は、支障物件名、管理者、位置、移設時期、工事方法、防護等。	第 5 1 条
その他	■ 工事現場発生品がある場合は、その品名、数量、現場内での再使用の有無、引き渡し場所等。	第 2 4 条

概略工事工程表

工事名：Ｒ７日立国道出張所管内橋梁他歩道橋補修工事

工 種		単位	数量	令和8年度							備考		
				8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月	
準備		式	1										・ 60日間
【鮎川橋】		式	1										
舗装打換え工		式	1										・ 橋面防水工 ・ 区画線工
橋梁用高欄工		式	1										・ 橋梁付属物工
断面修復工		式	1										・ 断面修復工
構造物撤去工		式	1										
仮設工		式	1										
【細田橋】													
断面修復工		式	1										・ 断面修復工 ・ ひび割れ補修工
塗装塗替工		式	1										・ 防護柵補修工
仮設工		式	1										
【稲村橋側道橋（下り）】		式	1										
塗装塗替工		式	1										・ 橋梁塗装工 ・ 塗膜除去工
当て板補修工		式	1										・ 当て板補修工
断面修復工		式	1										・ 断面修復工 ・ ひび割れ補修工
仮設工		式	1										
【磯原歩道橋】		式	1										
舗装工		式	1										・ 薄層カラー舗装工 ・ 橋面防水工
塗装塗替工		式	1										・ 塗膜除去工 ・ 現場塗装工
制作工		式	1										・ 階段制作工 ・ 高欄制作工
階段取替工		式	1										・ 構造物撤去工 ・ 構造物設置工
橋梁用高欄工		式	1										・ 構造物撤去工 ・ 構造物設置工
仮設工		式	1										
後片付け		式	1										・ 20日間
	関係機関協議	—											・ 8月～10月 警察協議、河川協議
	年末年始												・ 12月下旬～1月上旬
雨休率の適用			準備・後片付けを除く、雨休率（猛暑日補正有り）を適用										

全国道路施設点検データベースにおける個人情報掲載のチェックリスト

1. 業務等名称

2. 受注者名

3. 個人情報掲載の確認結果【受注者】

☐ 個人情報の掲載がないこと／記載された個人情報のすべての削除を確認済

4. 発注担当課

5. 個人情報掲載の確認結果【発注者】

☐ 個人情報の掲載がないこと／記載された個人情報のすべての削除を確認済

〇〇〇〇工事説明書

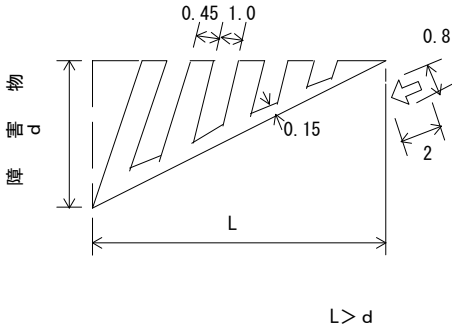
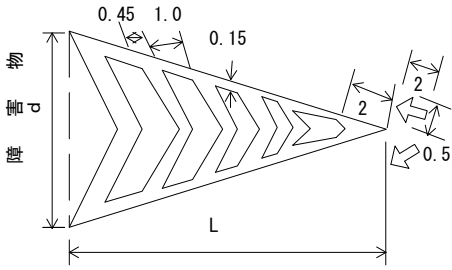
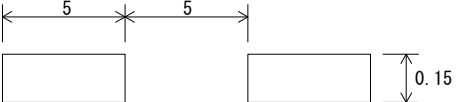
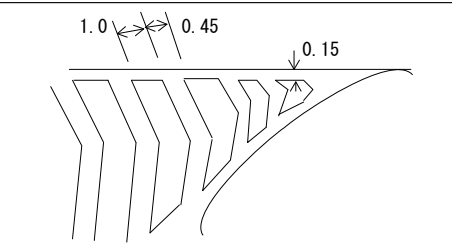
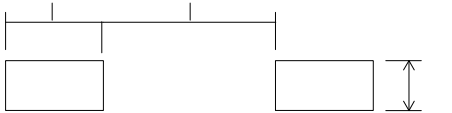
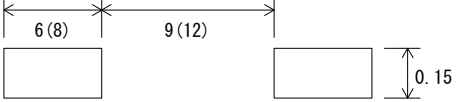
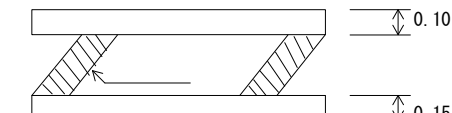
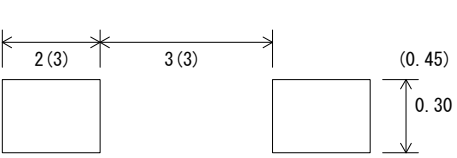
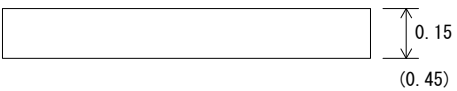
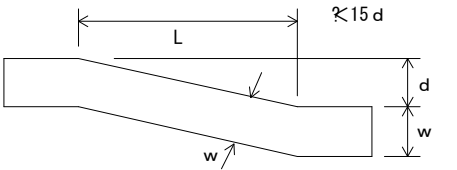
工 事 名	〇〇〇〇工事
発注者名	国土交通省 関東地方整備局 常陸河川国道事務所
受注者名	株式会社 △△建設
工 期	令和〇年〇月〇日～ 令和〇年〇月〇日
事 業 名	〇〇整備事業
事業の概要及び整備効果	
当該事業は、・・・を目的に、・・・・・・	
工事内容	
当該工事は、上記〇〇整備事業（延長〇〇k m）の内、〇〇k mを整備する工事であり、主な工事内容としては、・・・・・・ なお、〇〇工の施工においては、〇時～〇時まで片側 1 車線規制により・・・	
連絡先	
発 注 者	受 注 者
関東地方整備局 常陸河川国道事務所 道路管理第二課 TEL：029－240－4073	株式会社 △△建設 〇〇現場事務所 TEL：〇〇〇－〇〇〇－〇〇〇〇

(日立地区) 磯原歩道橋

名 称	規 格	単位	数量	適 用
高欄取替	橋りょう世話役	人	16	
	橋りょう特殊工	人	50	
	橋りょう塗装工	人	50	
	普通作業員	人	80	

区画線設置様式（例）

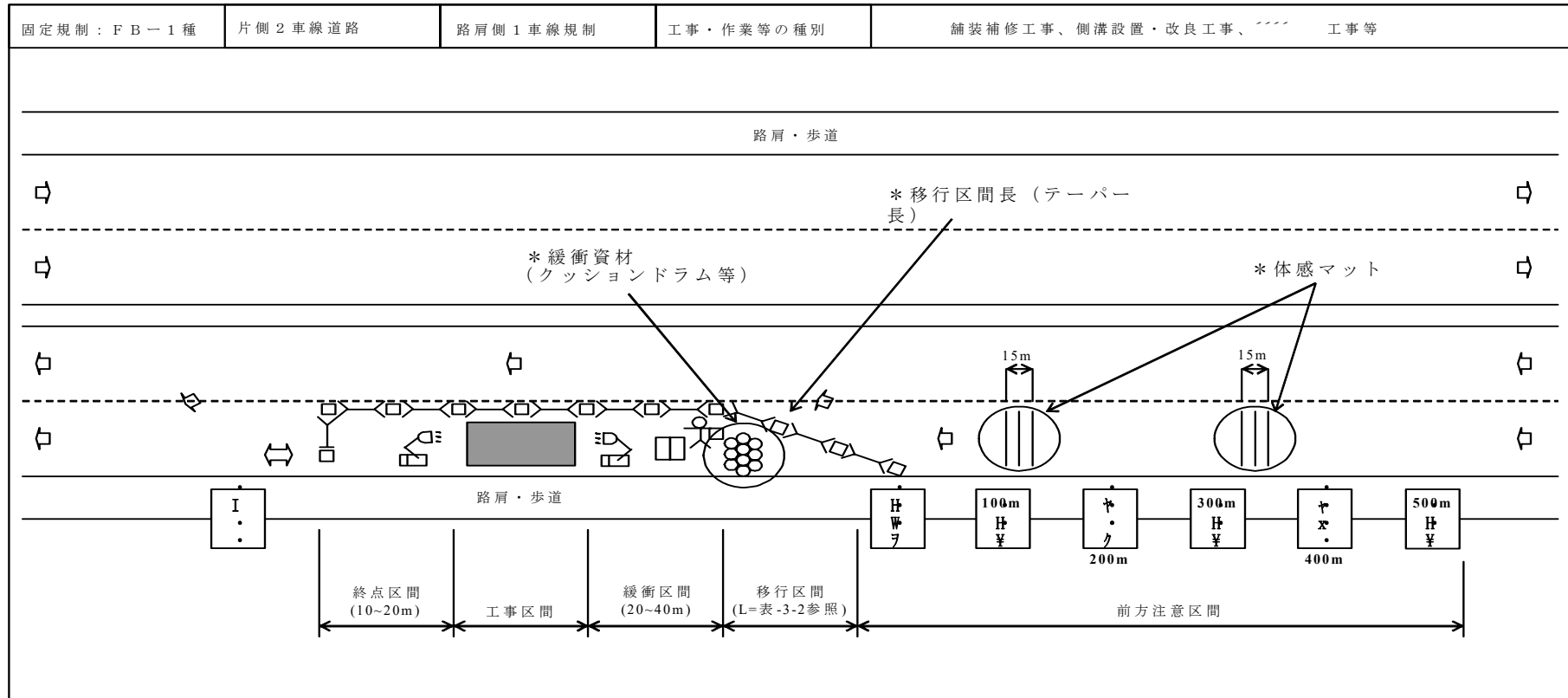
（単位：m）

区 分		幅 ・ 長 さ ・ 間 隔	区 分	幅 ・ 長 さ ・ 間 隔
車 道 中 央 線 (101)	実 線 1 本		路 の 上 障 害 物 近 接 (106)	
	実 線 2 本			
	破 線			
車 道 境 界 線 (102)	実 線		導 流 帯 (107)	
	破 線			
	登 坂 加 減 速 パ ス 停			
車 道 外 側 線 (103)			路 駐 車 場 (108)	
車 道 の 幅 員 変 更 (105)			チャ ー ジ ン グ 場 (109)	

（ ）内は自動車専用道路に適用

保安施設設置標準図：参考例

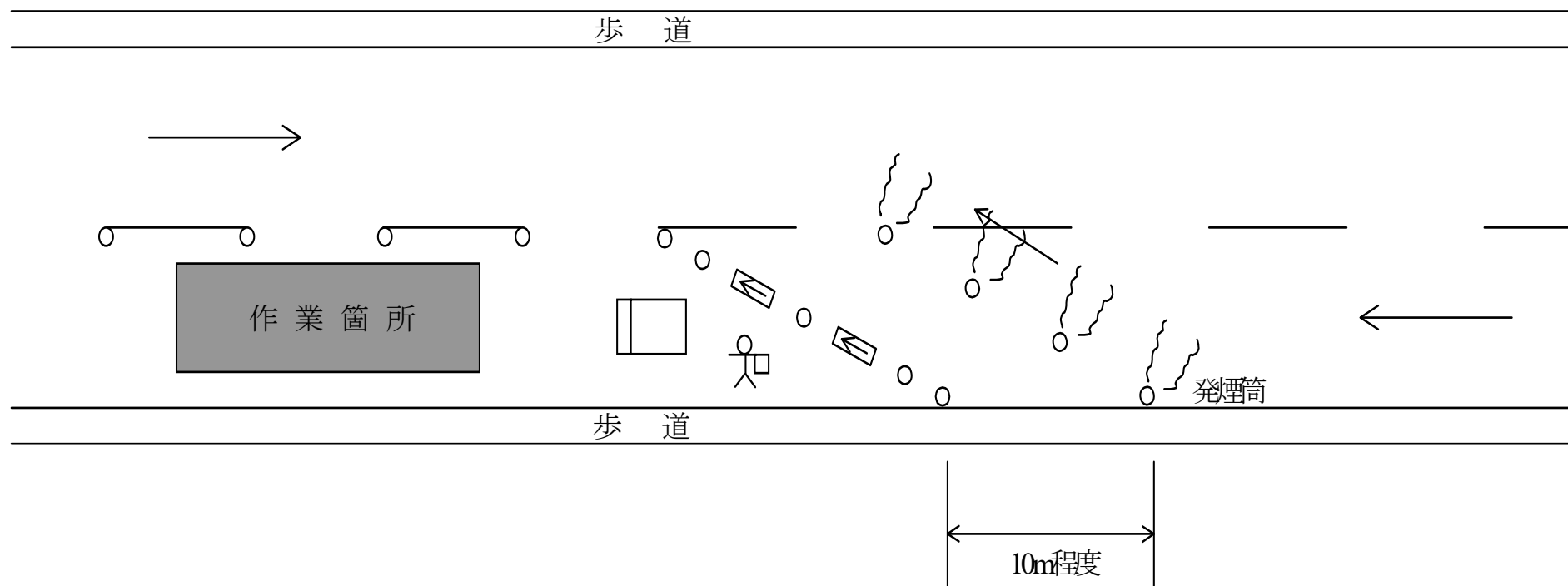
保安施設設置標準図：参考例



- ？ 1 「交通誘導ロボット」、「標識車の追加」については必要に応じ設置する。
- ？ 2 「道路工事の安全施設設置要領(案)平成 8 年 3 月(財)道路保全技術センター」より抜粋

参考図

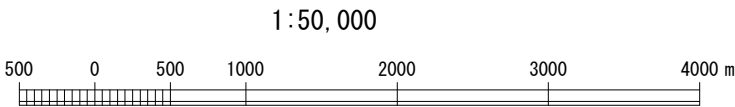
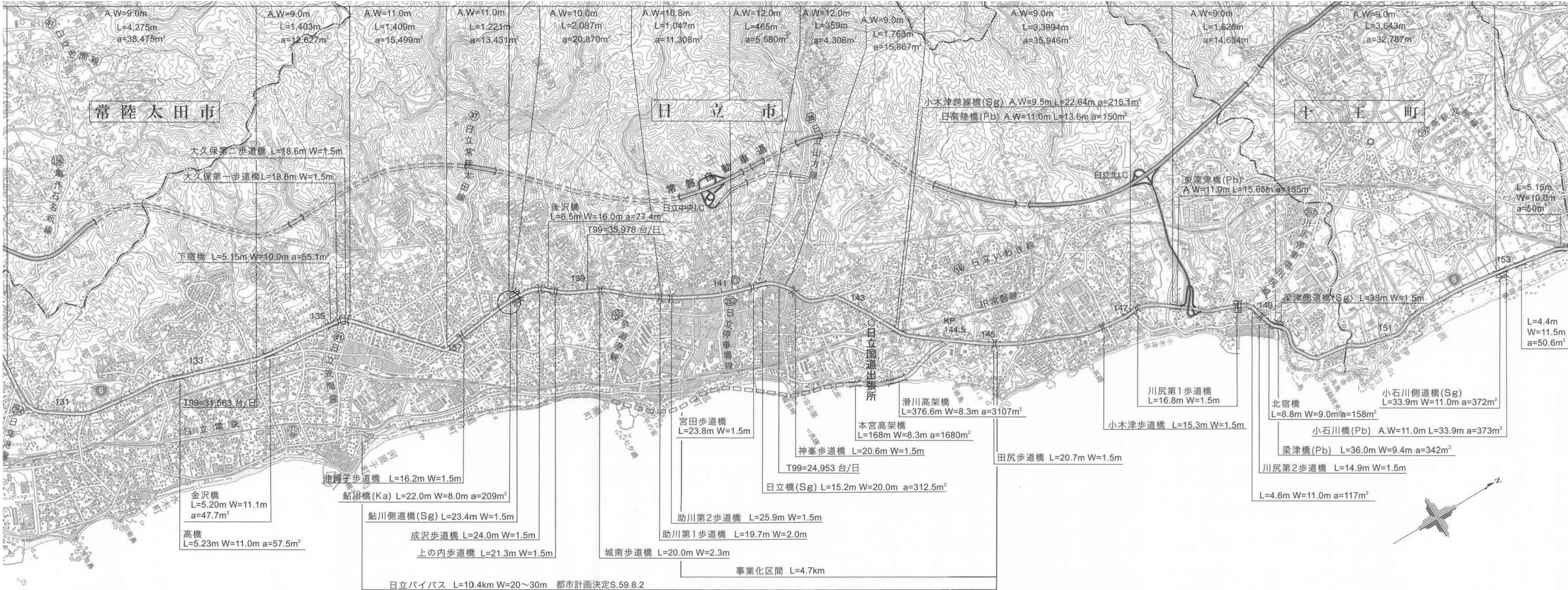
規制区間と発煙筒との関係



位置図(1)

S=1:50,000

鮎川橋
137.96~138.0kp



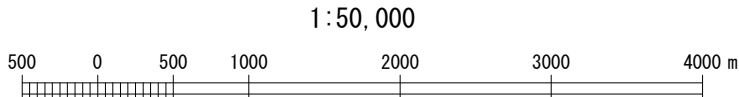
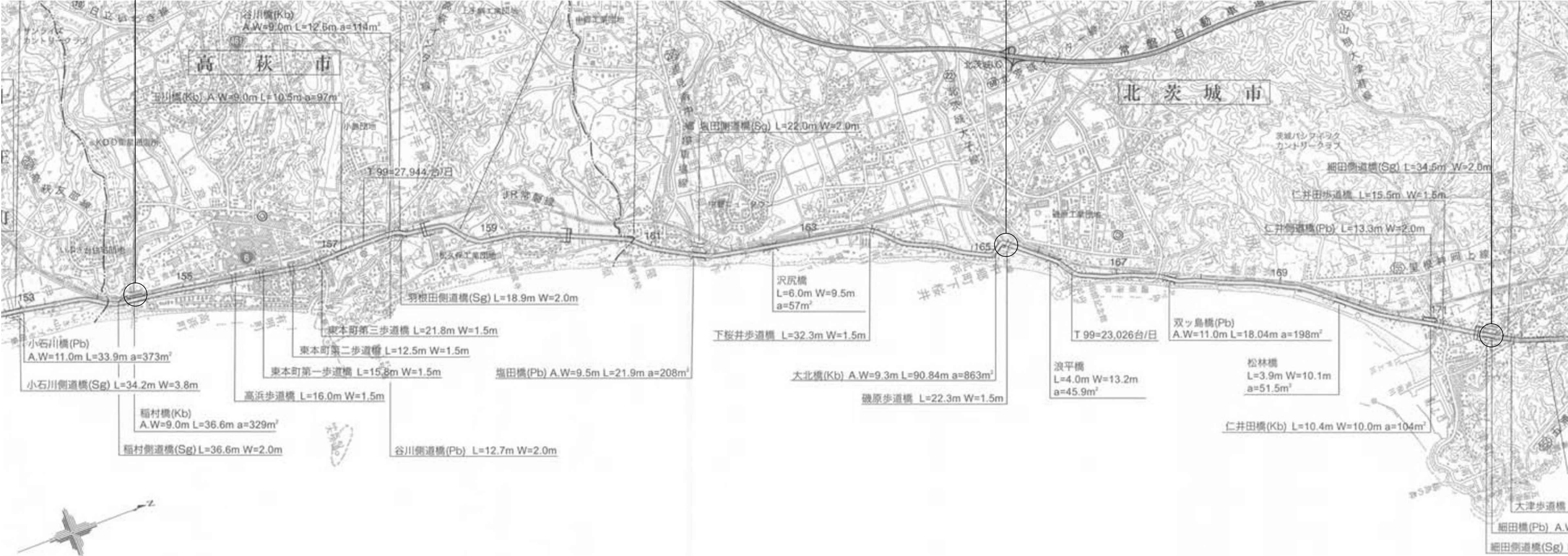
工 事 名			R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事							
図 面 名			位置図(1)							
縮 尺			1:50,000		図面番号		36 の 1			
年 月 日			令和 8 年 6 月 日							
設計会社名			八千代エンジニアリング株式会社 株式会社 エイト日本技術開発							
所		副		課		保		係		担
長		所長		長		全 対 策 官		長		当
事務所名			国土交通省 常陸河川国道事務所							

位置図（2）
S=1:50,000

稲村側道橋(下り)
154.46~154.5kp

磯原歩道橋
165.5kp

細田橋
171.64~171.7kp

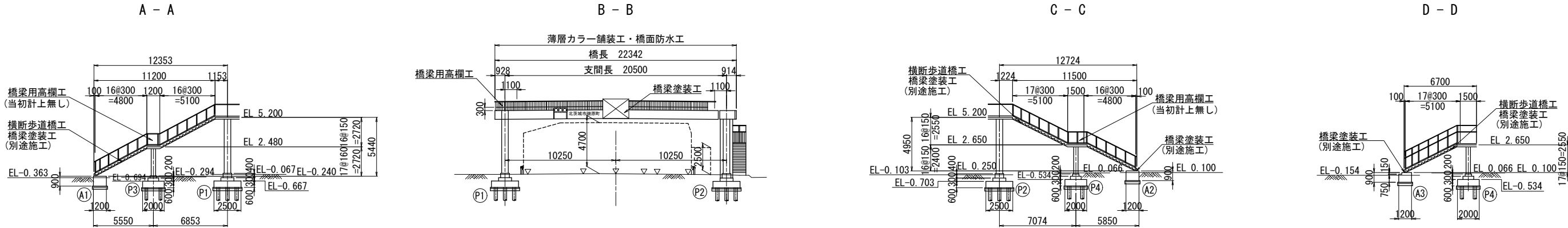


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

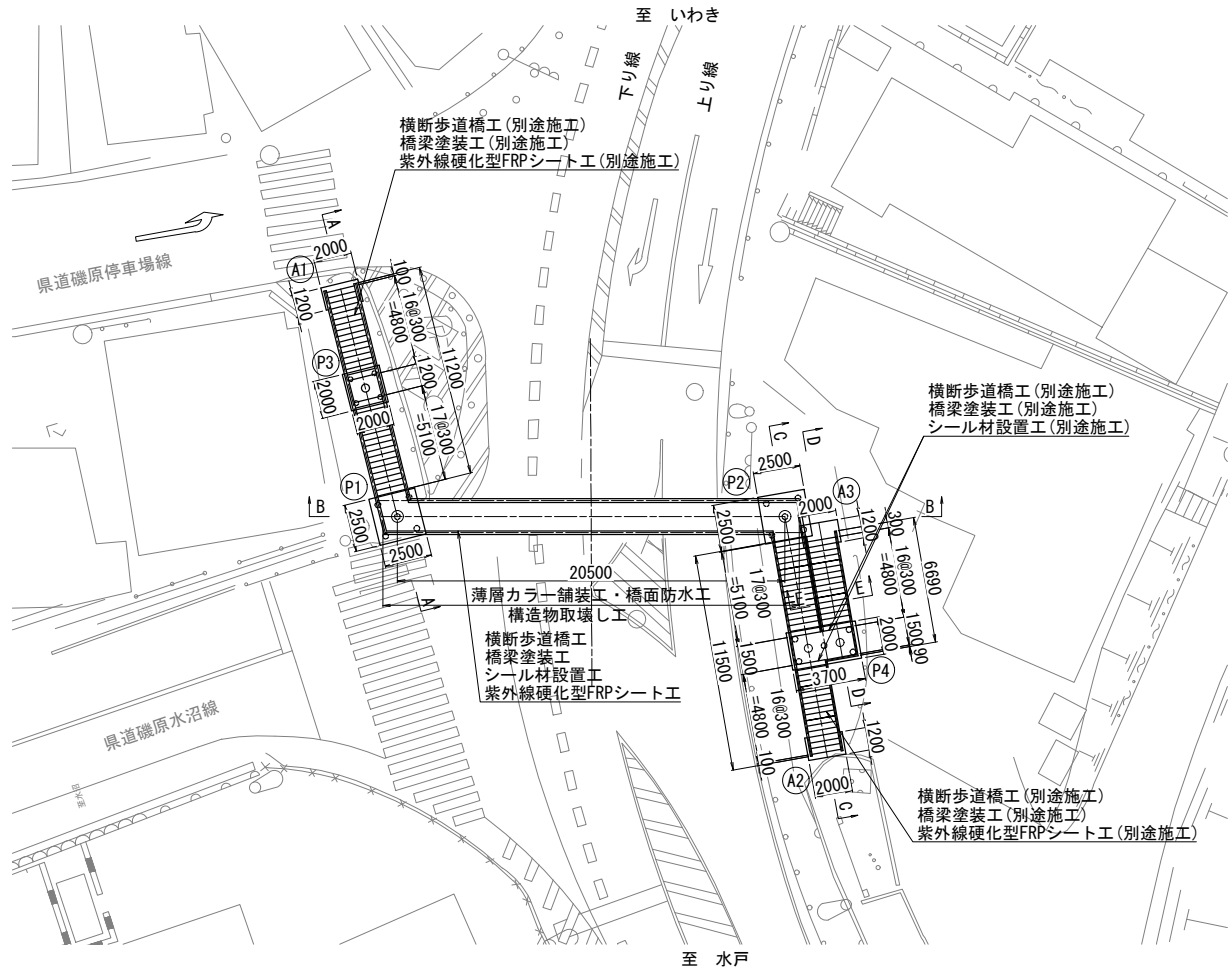
工事名	R7国道6号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事		
図面名	位置図（2）		
縮尺	S=1:50,000	図面番号	36の2
年月日	令和8年6月日		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社 株式会社 エイト日本技術開発		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

磯原歩道橋 補修一般図(1)

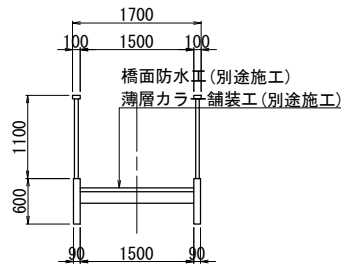
側面図 S=1:200



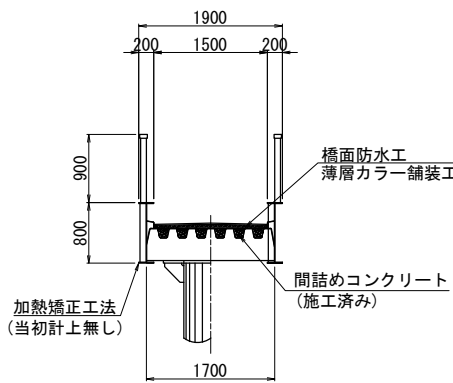
平面図 S=1:200



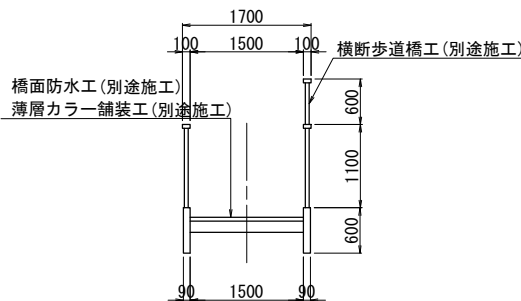
階段部断面図 S=1:50



通路部断面図 S=1:50



階段部断面図 (E-E) S=1:50
(目隠し板あり)



補修工一覧表

補修部材	補修箇所	対象損傷	対策区分		対策工
			点検	本業務	
			R2	R6	
主桁	第1径間	腐食、防食機能の劣化	C2	C2	塗膜除去工
		変形・欠損	C1	C1	矯正補修工(当初計上無し)
下横構	第1径間	腐食	C1	C1	橋梁塗装工(別途施工)
床版	第1径間	腐食、防食機能の劣化	C1	C1	橋梁塗装工(別途施工)、橋面防水工
主桁	第3径間	腐食	C1	C1	橋梁塗装工
蹴上げ	第2・3径間	腐食、防食機能の劣化、変形・欠損	C1	C1	橋梁塗装工(別途施工)
接合部	第1・2径間	腐食、防食機能の劣化	C2	C2	橋梁塗装工(別途施工)、シーリング材設置工
橋脚	第3径間	腐食	C1	C1	橋梁塗装工(別途施工)
支承本体	第2径間	腐食	C1	C1	橋梁塗装工(別途施工)
アンカーボルト	第2径間	腐食	C1	C1	橋梁塗装工(別途施工)
支承本体	第3径間	腐食、防錆機能の劣化	C1	C1	橋梁塗装工(別途施工)
排水管	第1径間	腐食、防食機能の劣化 変形・欠損	C1	C1	排水施設工(当初計上無し)
高欄 支柱	第1・2・3径間	腐食	C1	C1	橋梁用高欄工(当初計上無し)
据隠し板	第1・2径間	腐食、防食機能の劣化 変形・欠損	C1	C1	横断歩道橋工
地覆	第1・3径間	腐食、防食機能の劣化 変形・欠損	C1	C1	橋梁塗装工(別途施工)、シーリング材設置工、 紫外線硬化型FRPシート工

【特記事項】

- ・詳細寸法は現地確認後決定とする。
- ・新たな損傷が発見された場合は、補修の実施について監督員と協議を行い決定すること。

現場制約事項		・関係機関協議：道路(茨城県道22号(北茨城大子線)、300号(磯原停車場線))公安委員会[高萩警察署](国道6号) ・地元関係機関：民地借地 ・交通規制：車線規制(夜間：有) ・橋梁添加物：道路標識、信号機、照明、管路 ・支障物件：なし ・架空線：なし ・作業スペース：作業ヤード・資材仮置き場の確保 ・近隣住民：騒音・振動への配慮
有	無	

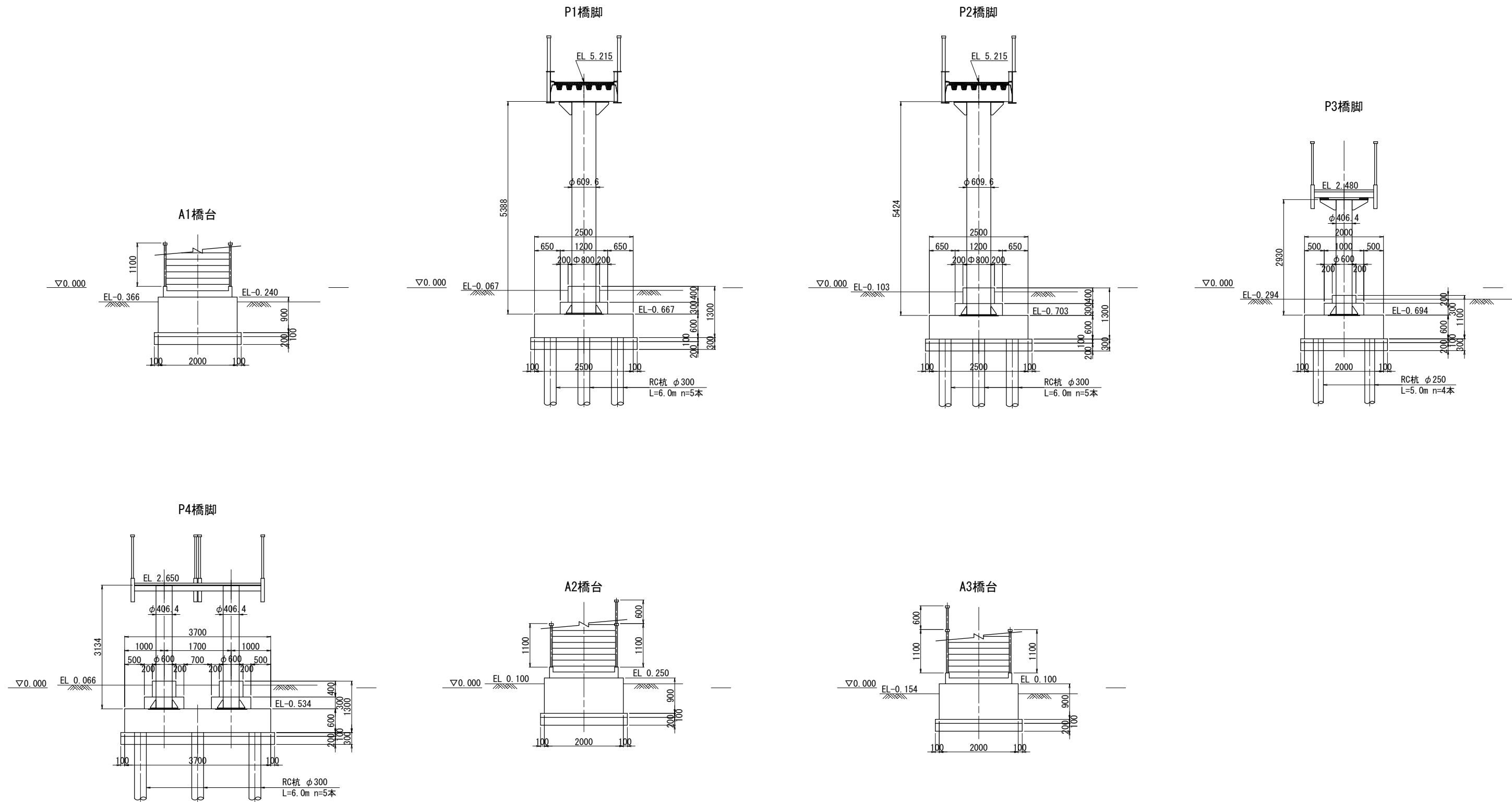
※ 上記、現場制約事項は、施工条件のうち、特に留意すべき事項を記載しているものであり、工事着手にあたり、工事監理連絡会等において受発注者間で厳格に確認する。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事		
図 面 名	磯原歩道橋 補修一般図(1)		
縮 尺	図 示	図面番号	36 の 3
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

磯原歩道橋 補修一般図(2) S=1:50

下部工正面図

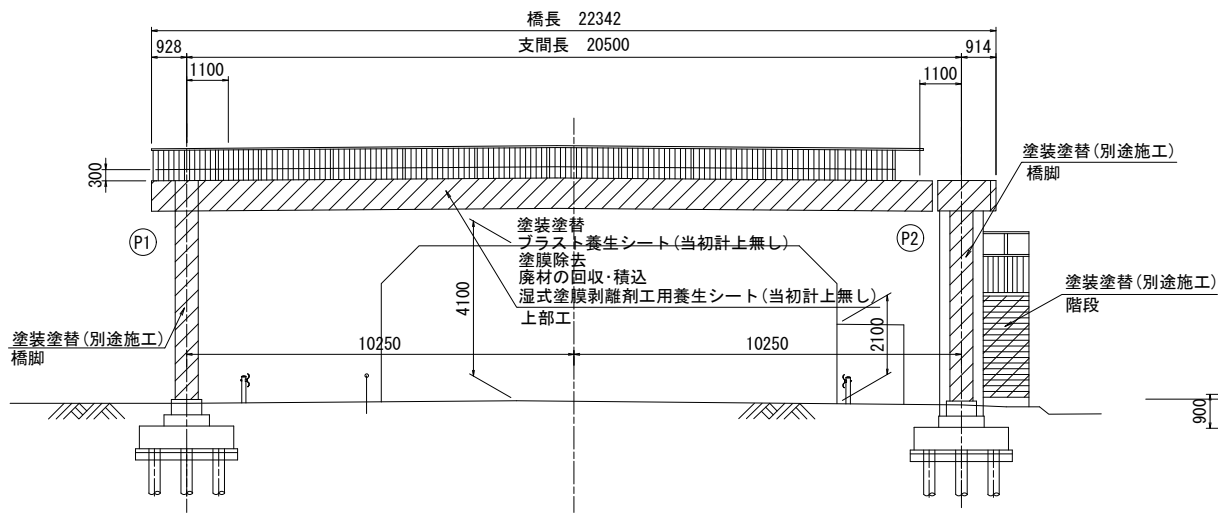


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

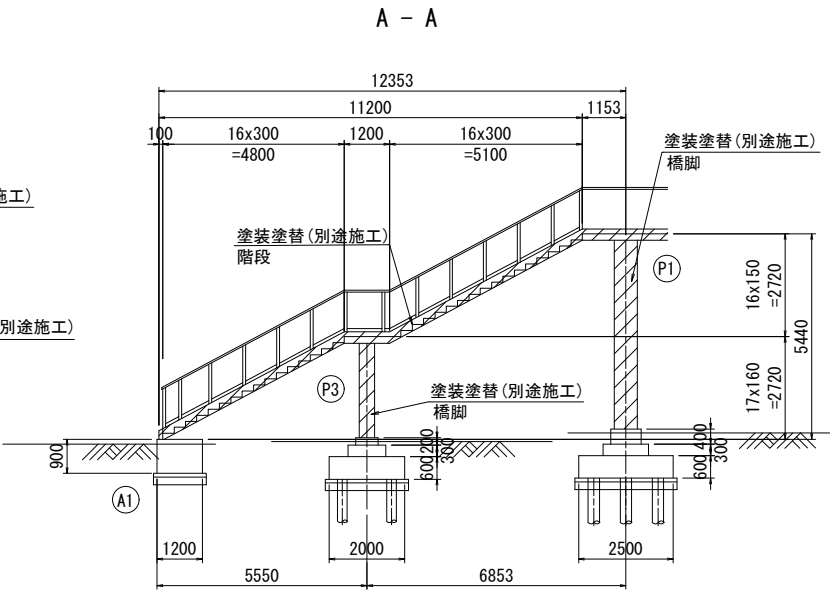
工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	磯原歩道橋 補修一般図(2)		
縮 尺	S=1:50	図面番号	36 の 4
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

磯原歩道橋 橋梁塗装図

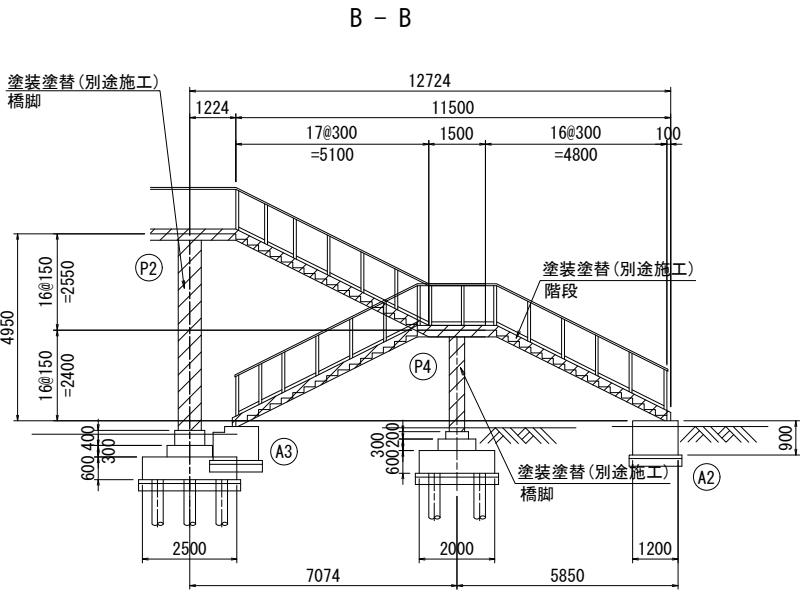
正面図 S=1:100



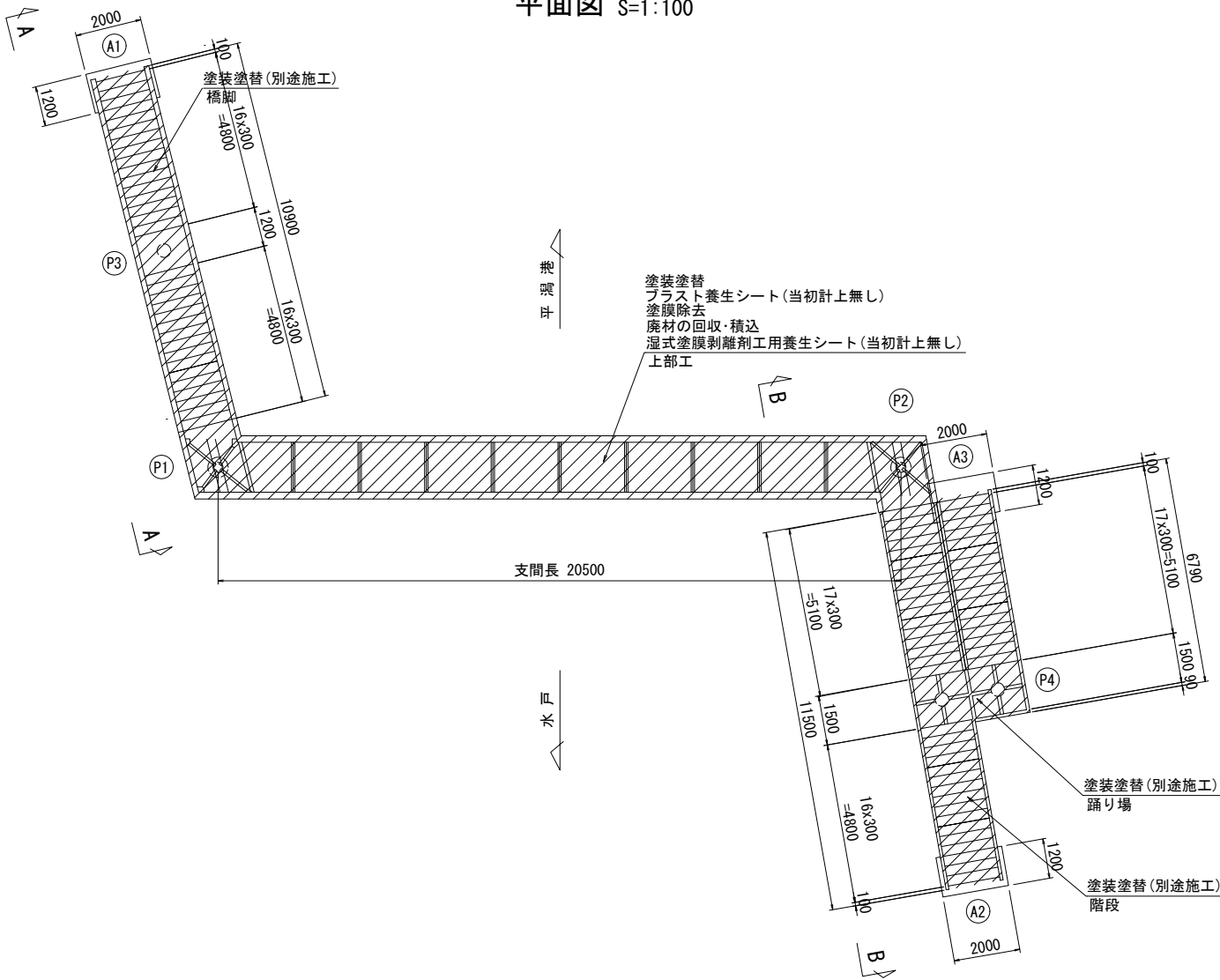
側面図 S=1:100



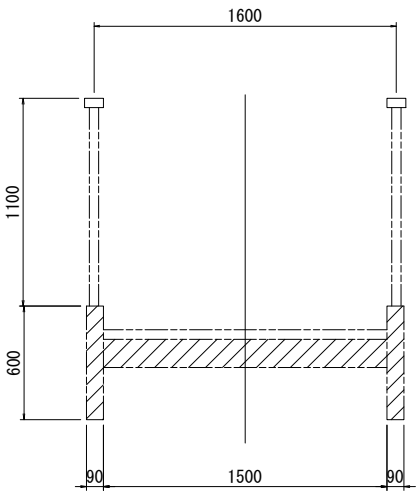
側面図 S=1:100



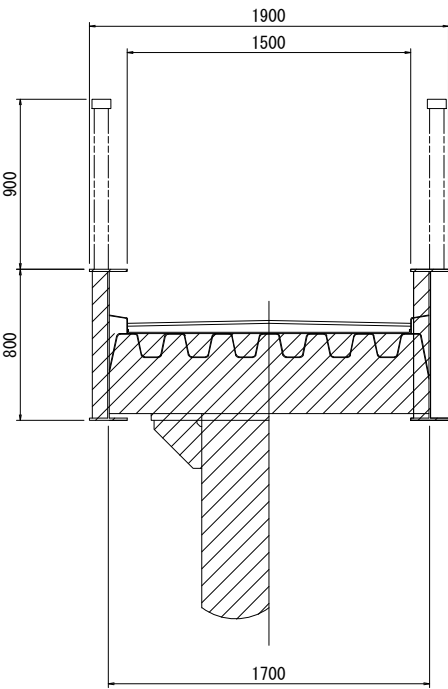
平面図 S=1:100



階段部断面図 S=1:20



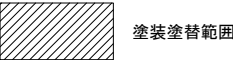
通路部断面図 S=1:20



Rc- I 塗装系

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
塗膜除去工	塗膜剥離剤	-	-
素地調整	素地調整程度1種	-	4時間以内
下塗	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

凡例



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

注記)
1. 施工にあたっては現地計測を行い、
施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。

工事名	R7国道6号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図面名	磯原歩道橋 橋梁塗装図		
縮尺	図示	図面番号	36の5
年月日	令和8年6月日		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

磯原歩道橋 橋梁塗装数量表 S=1:30

Rc- I 塗装系

塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/㎡)	塗装間隔
塗膜除去工	塗膜剥離剤	-	-
素地調整	素地調整程度1種	-	4時間以内
下塗	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

塗替塗装 数量表 (1橋当り)

名 称	規 格	塗 装 部 位	面積(㎡)
塗装塗替面積	Rc- I	上部工	258.0
素地調整	1種ケレン	上部工	258.0
張紙防止塗装		橋脚(材料：当初計上無し)	19.2

ブラスト養生シート 数量表 (1橋当り)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
建築工事用シート	3.6m×5.4m×0.4mm	m2	161.1	当初計上無し

塗膜除去 数量表 (1橋当り)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
塗膜除去	塗膜剥離剤塗布(2回)	m2	258.0	
廃材の回収・積込		m2	516.0	

湿式塗膜剥離剤工用養生シート 数量表 (1橋当り)

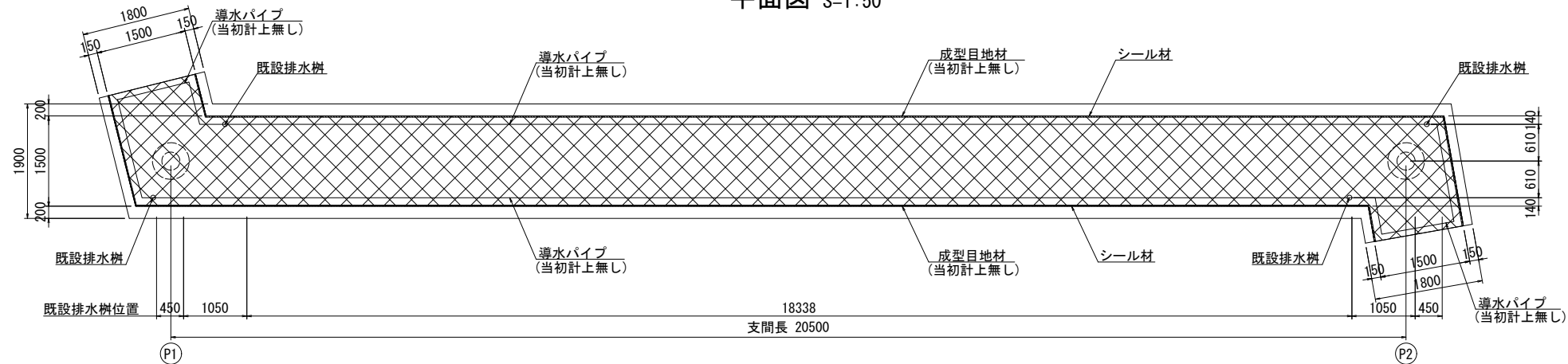
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
建築工事用シート	3.6m×5.4m×0.32mm	m2	161.1	当初計上無し

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

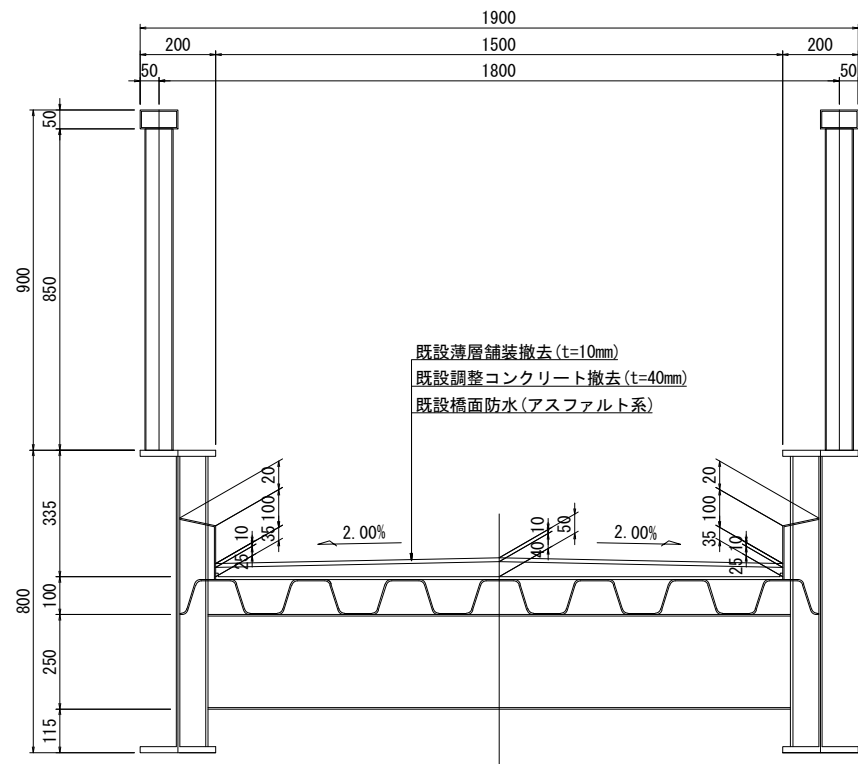
工 事 名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	磯原歩道橋 橋梁塗装数量表		
縮 尺	S=1:30	図面番号	36 の 6
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名			
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

磯原歩道橋 橋面防水・薄層カラー舗装・シール材詳細図

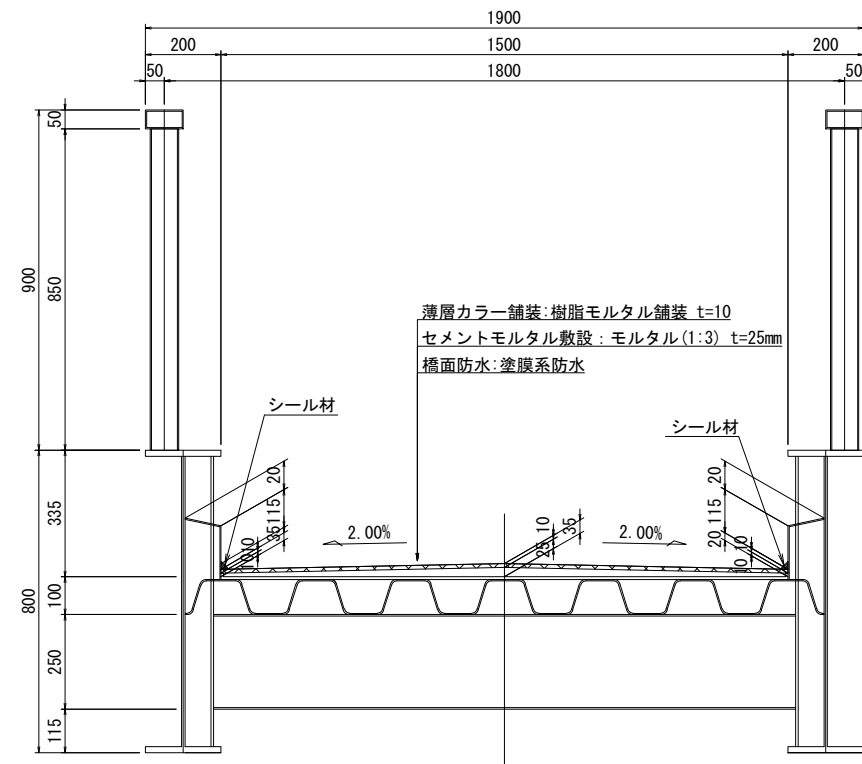
平面图 S=1:5



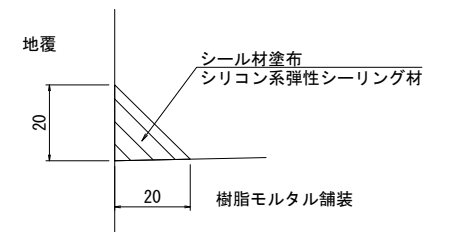
現況断面図 S=1:10



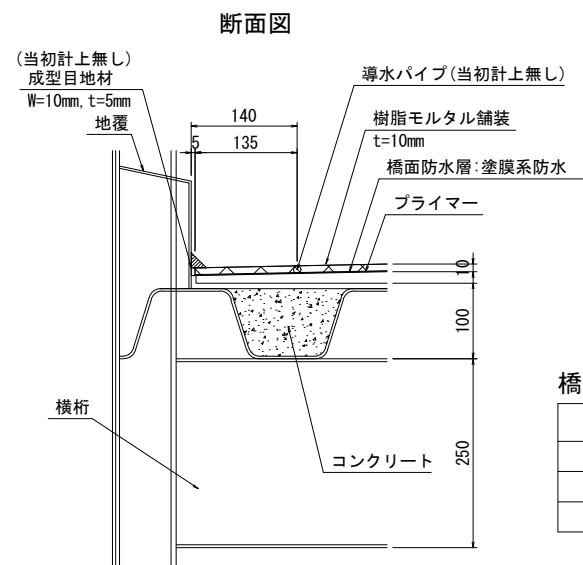
打換後断面図 S=1:10



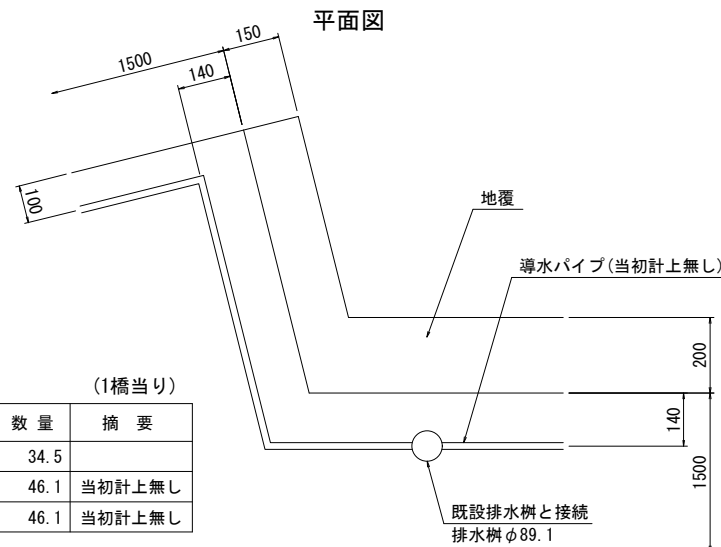
シール材詳細図 S=1:1



橋面防水詳細図 S=1:5



導水パイプ接続詳細図 S=1:10



橋面防水 数量表 (1橋当り)

	規格・寸法	単 位	数 量	摘 要
橋面防水	塗膜系防水	m ²	34.5	
成型目地材	W=10, t=5	m	46.1	当初計上無し
導水パイプ		m	46.1	当初計上無し

薄層カラー舗装 数量表 (1橋当り)

	規格・寸法	単 位	数 量	摘 要
薄層カラー舗装	樹脂モルタル舗装(t=10)	m2	34.5	
セメントモルタル敷設	1:3	m2	34.5	

シー ル材設置 数量表 (1橋当り)

	規格・寸法	単位	数量	摘要
シール設置	シリコン系弾性シーリング材 (20x20)	m	46.1	

既設舗装剥取り 数量表 (1橋当り)

	規格・寸法	単 位	数 量	摘 要
既設舗装剥取り	薄層舗装(t=10)	m2	34.5	
	調整コンクリート(t=40)	m2	34.5	
	殻運搬	m3	1.7	当初計上無し

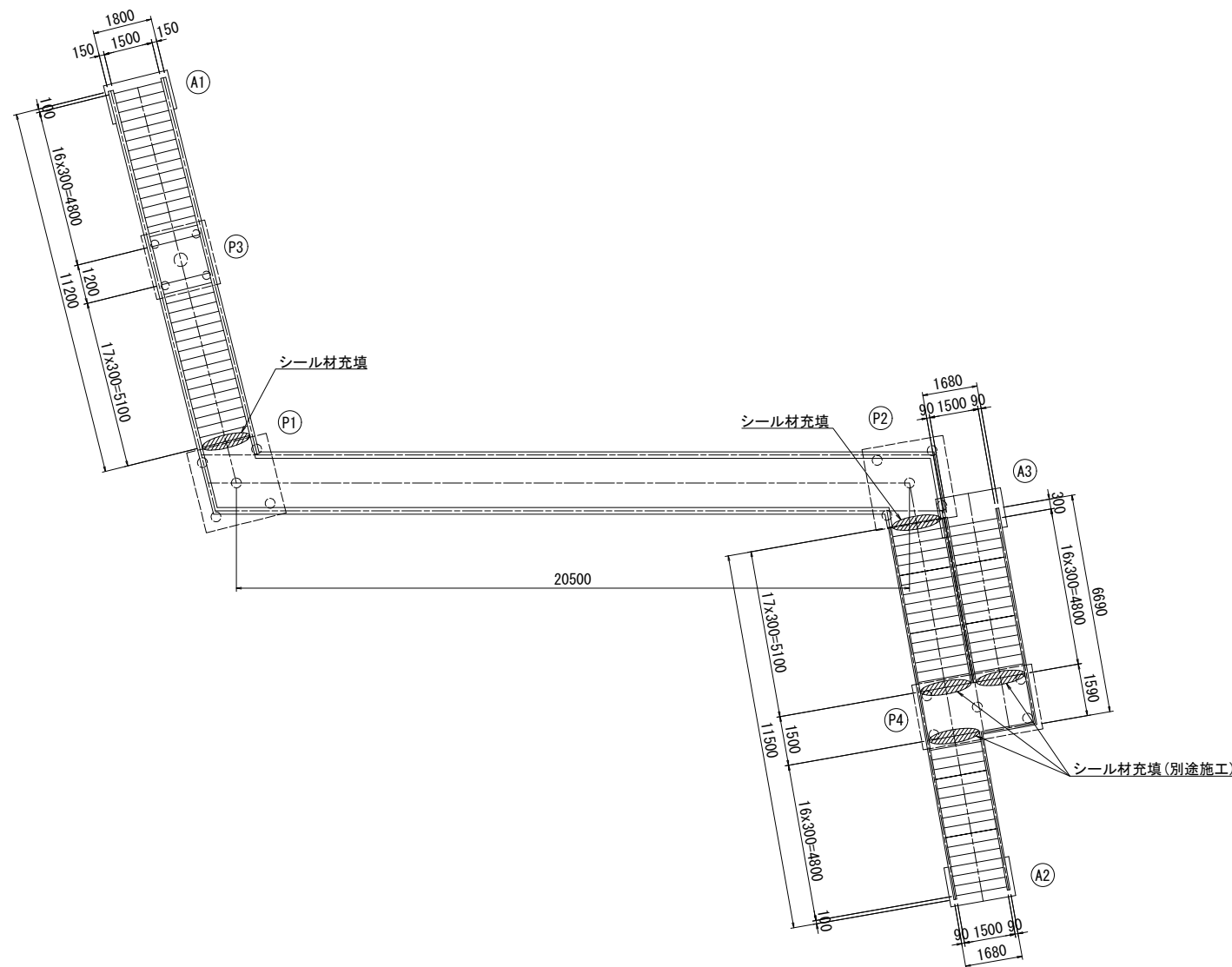
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

注記)
1. 施工にあたっては現地計測を行い、
施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。

工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	磯原歩道橋 橋面防水・薄層舗装・護装・シール材詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	36 の 7
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

磯原歩道橋 目地取替図

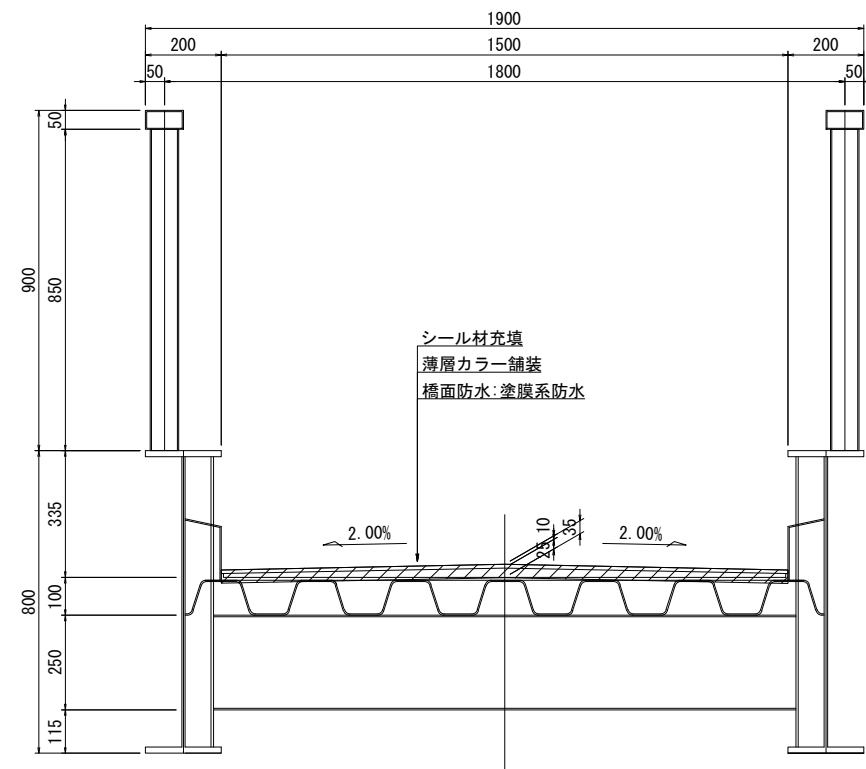
平面図 S=1:100



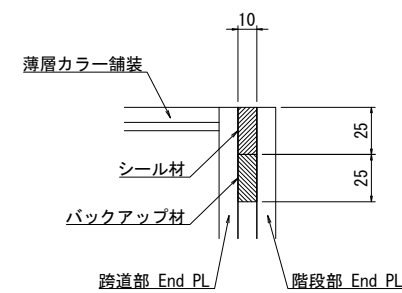
シーリング材充填 数量表 (1橋当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
シーリング材充填	シーリング材 バックアップ材	m	3.0	

断面図 S=1:10



シーリング材充填詳細図 S=1:2

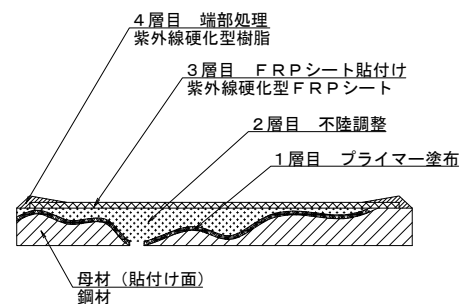
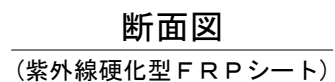
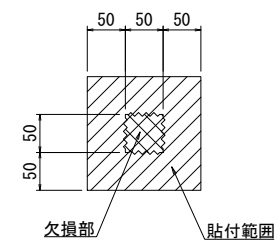
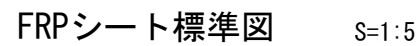
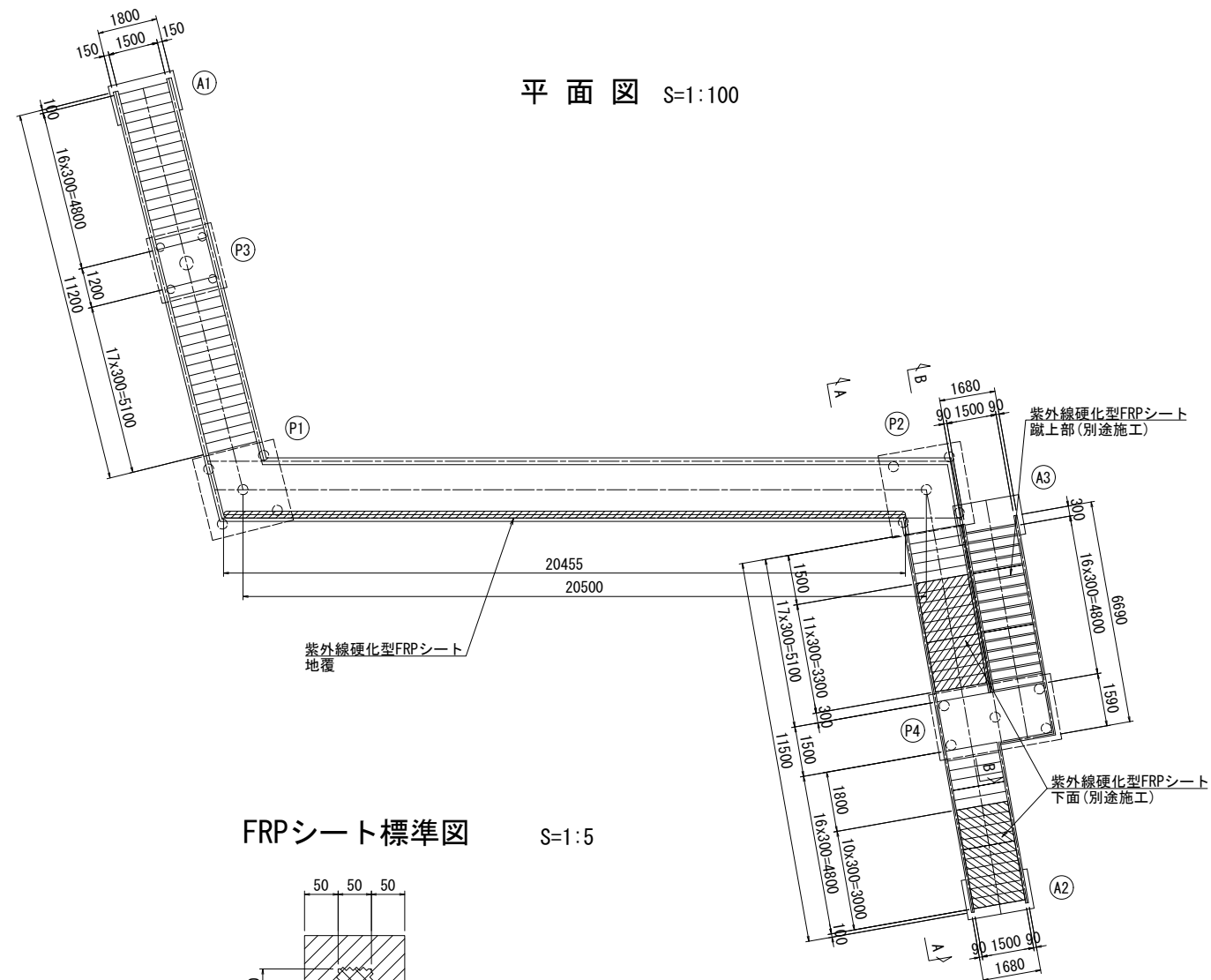


注記)
1. 施工にあたっては現地計測を行い、
施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

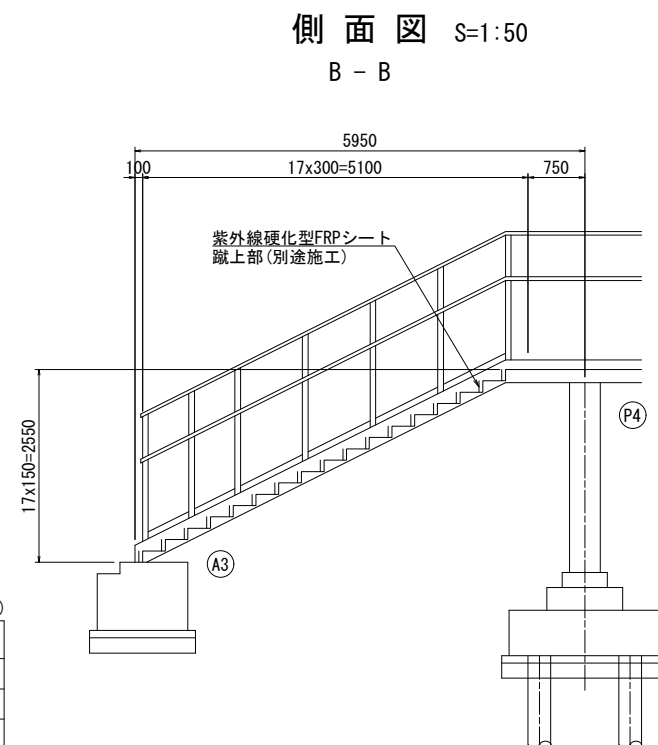
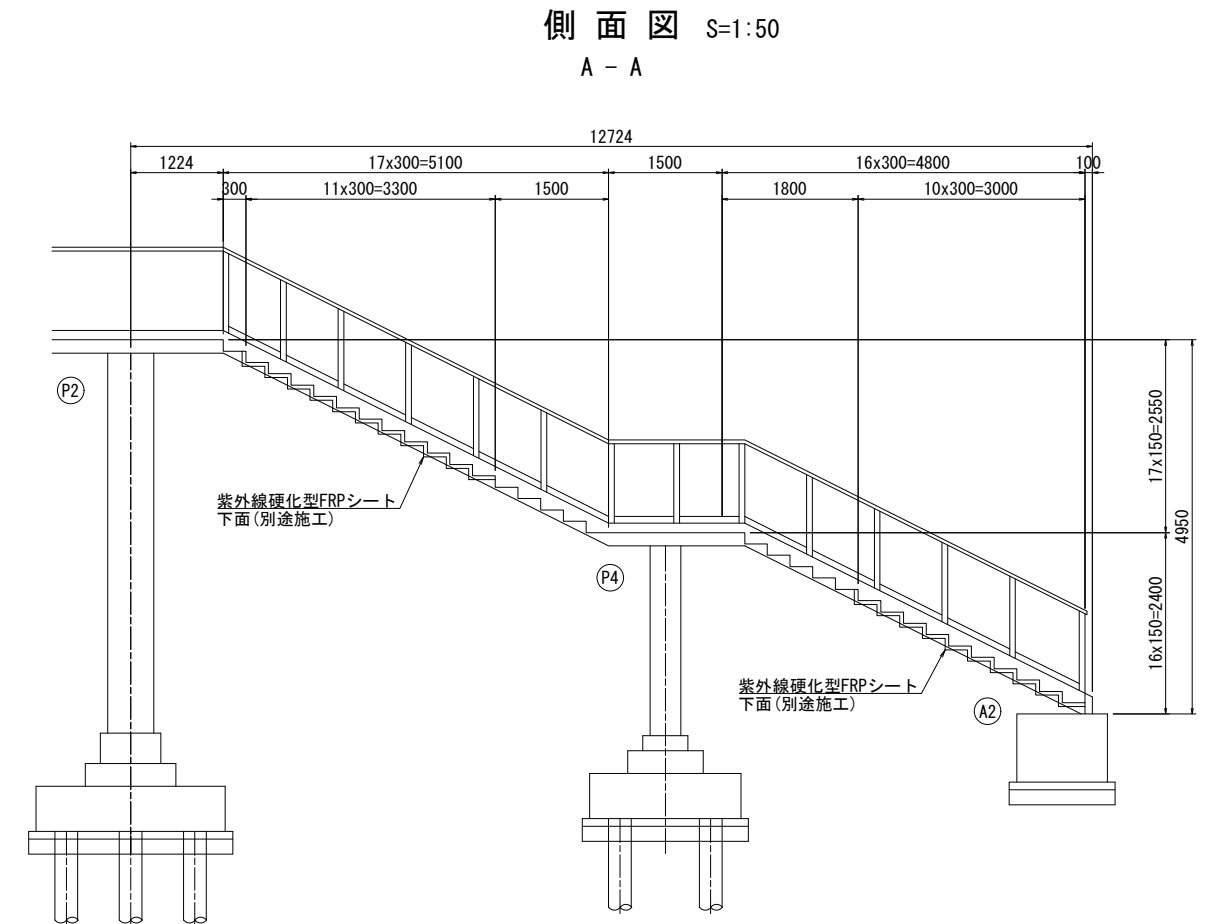
工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	磯原歩道橋 目地取替図		
縮 尺	図 示	図面番号	36 の 8
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

磯原歩道橋 紫外線硬化型FRPシート図



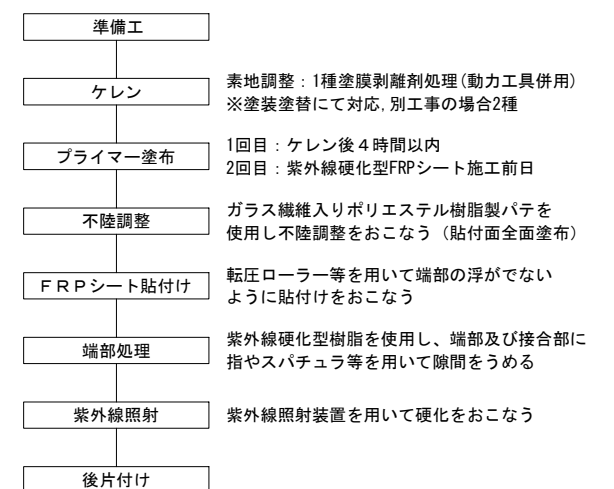
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
素地調整	素地調整	m2	2.046	
現場塗装	中塗り 上塗り	m2	2.046	

設置箇所		規 格	単位	数 量	摘 要
P1-P2間	地覆	区分:C 0.15m2以上/枚	m2	2.046	
P2-P4間	下面	〃	m2	7.425	当初計上無し
P4-A2間	下面	〃	m2	6.750	〃
P4-A3間	蹴上部	〃	m2	3.825	〃
			合計	20.046	〃



施工手順

(紫外線硬化型FRPシート)



注記)
1. 施工にあたっては現地計測を行い、
施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。

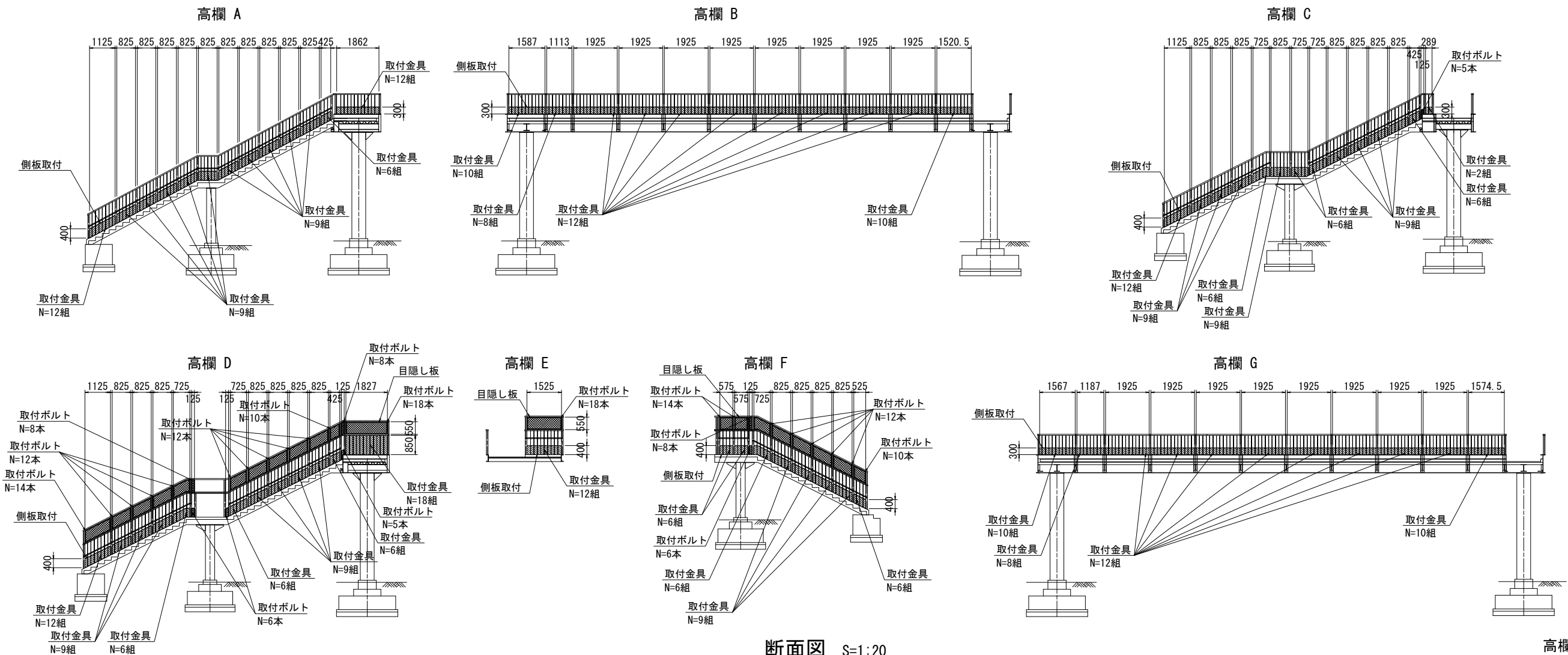
工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	礪原歩道橋 紫外線硬化型FRPシート図		
縮 尺	図 示	図面番号	36 の 9
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

磯原歩道橋 目隠し板・側板設置図

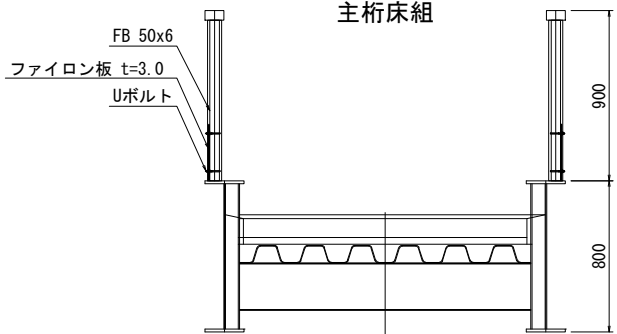
S=1:100

側面図



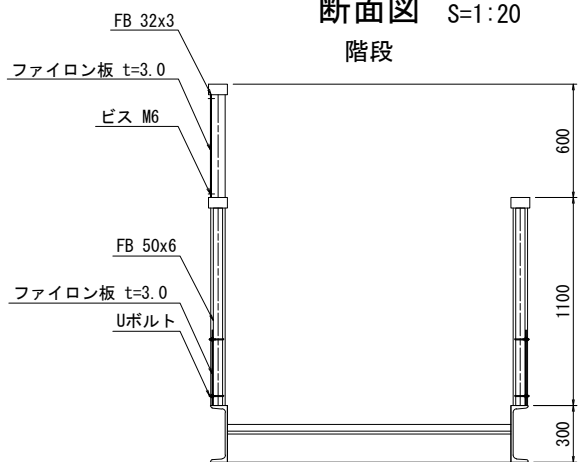
断面図 S=1:20

主桁床組

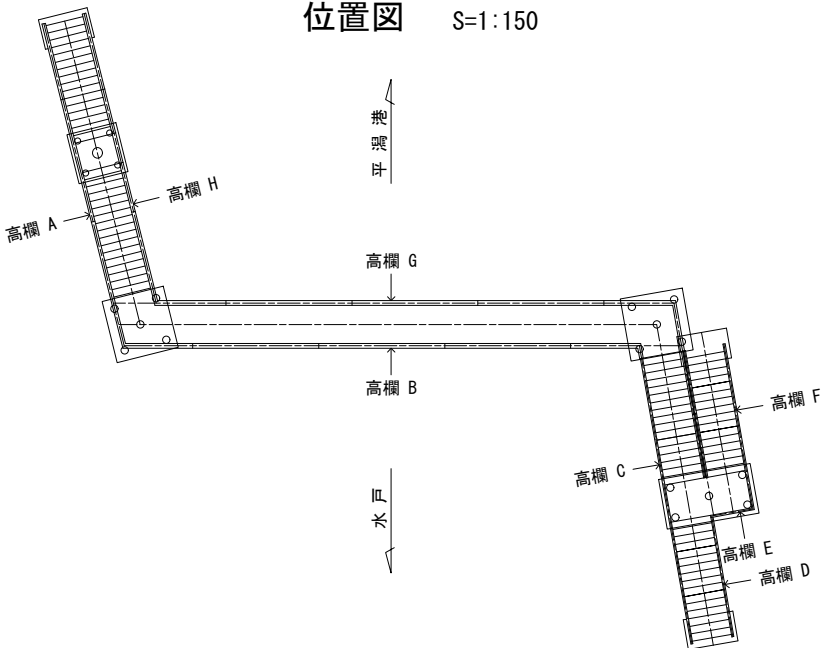


断面図 S=1:20

階段



位置図 S=1:150



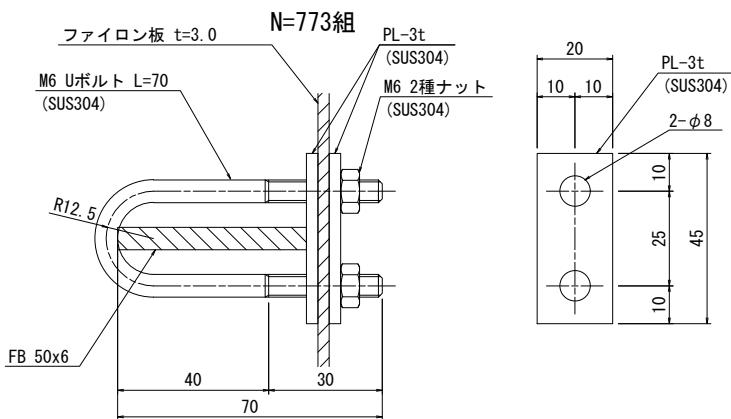
目隠し板撤去・設置 数量表

(1橋当り)				
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
目隠し板	ファイロン板 t=3	m2	1.005	再利用

側板撤去・設置 数量表

(1橋当り)				
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
側板	ファイロン板 t=3	m2	13.917	再利用

裾隠し板取付詳細図 S=1:1



注記)

- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 補修工事にあたり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 目隠し板・側板は通路部のみ施工する。

工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事		
図 面 名	磯原歩道橋 目隠し板・側板設置図	図面番号	36 の 10
縮 尺	図 示	年月日	令和 8 年 6 月 日
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

磯原歩道橋 数量総括表

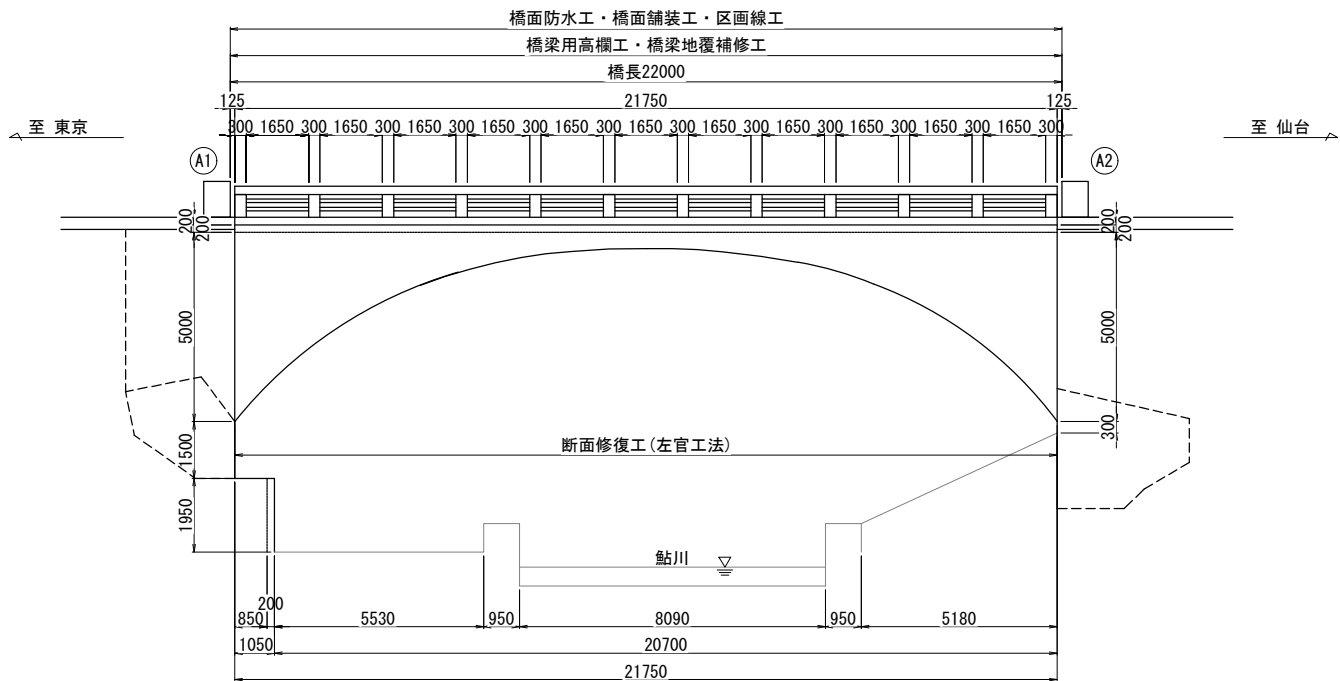
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量						摘要
			橋台	橋脚	通路部	階段部	計	計上値	
橋梁保全工事		式	1				1	1	
舗装工		式	1				1	1	
橋面防水工		式	1				1	1	
橋面防水	塗膜防水	m2			34.5		34.5	34	
薄層カラー舗装工		式	1				1	1	
薄層カラー舗装	樹脂モルタル舗装 舗装厚 10mm	m2			34.5		34.5	34	
セメントモルタル敷設	普通 1：3	m2			34.5		34.5	34	
シール材設置工		式	1				1	1	
シール材設置(通路部)	シーリング系	m			46.1		46.1	46	
シール材充填	シール材 バックアップ材	m			3.0		3.0	3	
橋梁付属物工		式	1				1	1	
橋梁用高欄工		式	1				1	1	
高欄取替		式	1				1	1	
横断歩道橋工		式	1				1	1	
横断歩道橋工		式	1				1	1	
目隠し板撤去・設置【再利用】	ファイロン板 t=3	m2			1.005		1.005	1	
側板撤去・設置【再利用】	ファイロン板 t=3	m2			13.917		13.917	13	
階段取替工		式	1				1	1	
階段撤去		t	6.5				6.5	6.5	
階段設置		t	6.5				6.5	6.5	
橋梁補修工		式	1				1	1	
紫外線硬化型FRPシート工		式	1				1	1	
紫外線硬化型FRPシート	0.15m2以上/枚	m2			2.046		2.046	2	
部分塗装	RC-Ⅱ 素地調整 中塗り 上塗り	m2			2.046		2.046	2	
現場塗装工		式	1				1	1	
橋梁塗装工		式	1				1	1	
塗替塗装	RC-Ⅰ	m2	258.0				258.0	250	
張紙防止塗装		m2		19.2			19.2	19	
塗膜除去工		式	1				1	1	
塗膜除去		m2	258.0				258.0	250	
廃材の回収・積込		m2	516.0				516.0	510	
構造物撤去工		式	1				1	1	
構造物取壊し工		式	1				1	1	
既設舗装剥取り		m2			34.5		34.5	34	

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量						摘要
			橋台	橋脚	通路部	階段部	計	計上値	
仮設工		式	1				1	1	
仮設工		式	1				1	1	
足場(1)【夜間】	吊足場	式			1		1	1	
足場(2)【夜間】	両側朝顔	式			1		1	1	
防護【夜間】	板張防護	式			1		1	1	
ばく露防止対策工		式	1				1	1	
鉛対応環境対策資機材費		式	1				1	1	

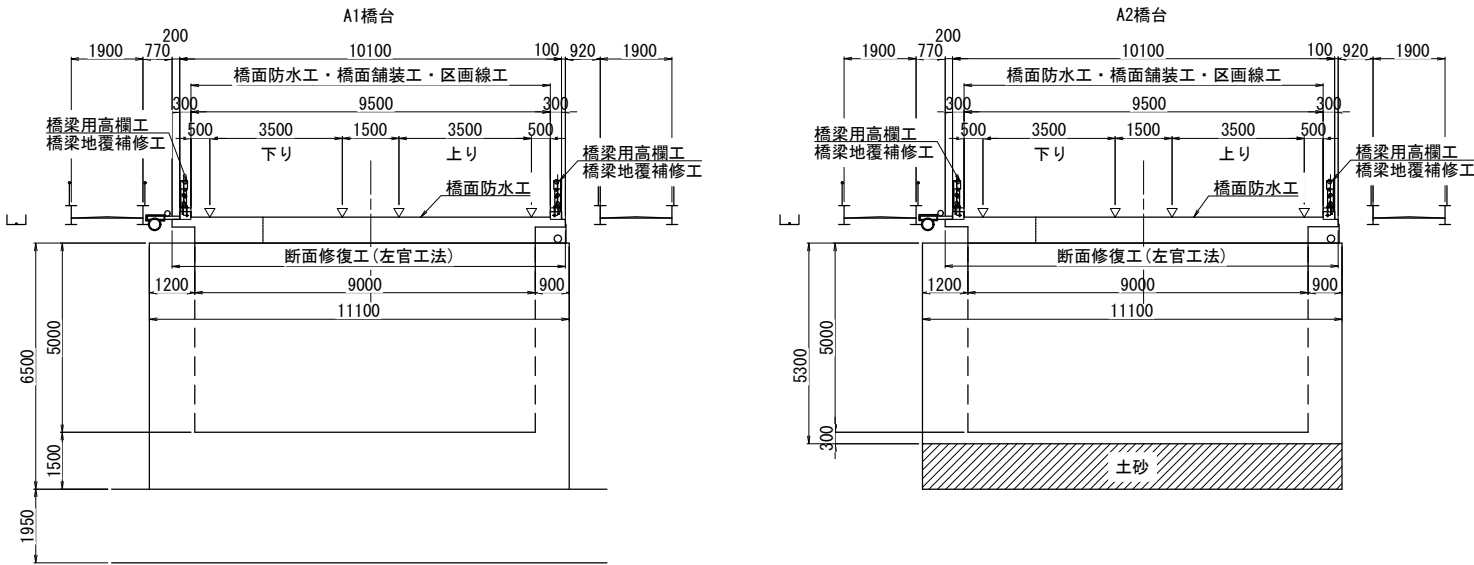
工 事 名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	磯原歩道橋 数量総括表		
縮 尺	—	図面番号	36 の 11
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名			
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

鮎川橋 補修一般図

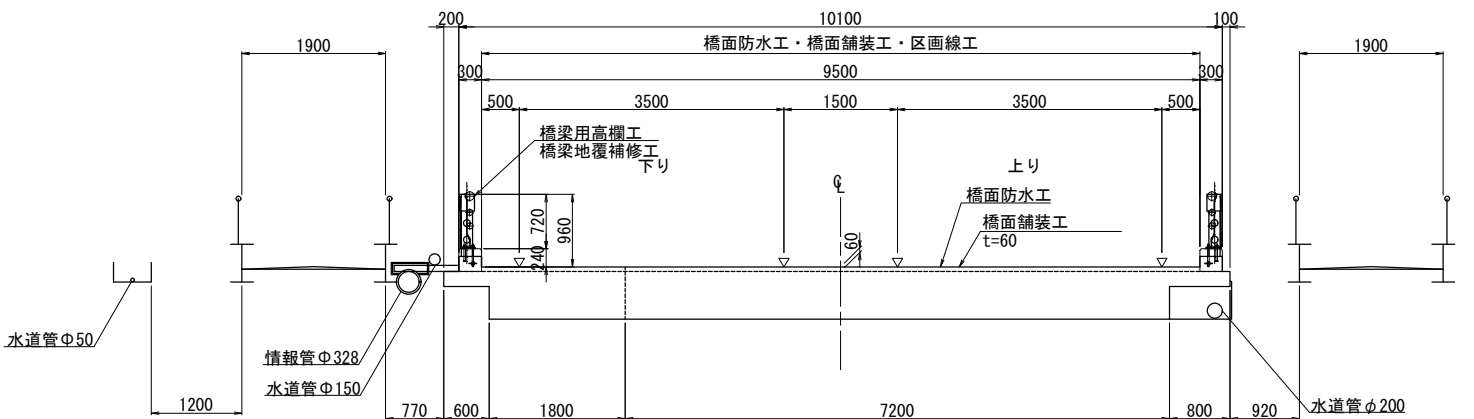
側面図 S=1:100



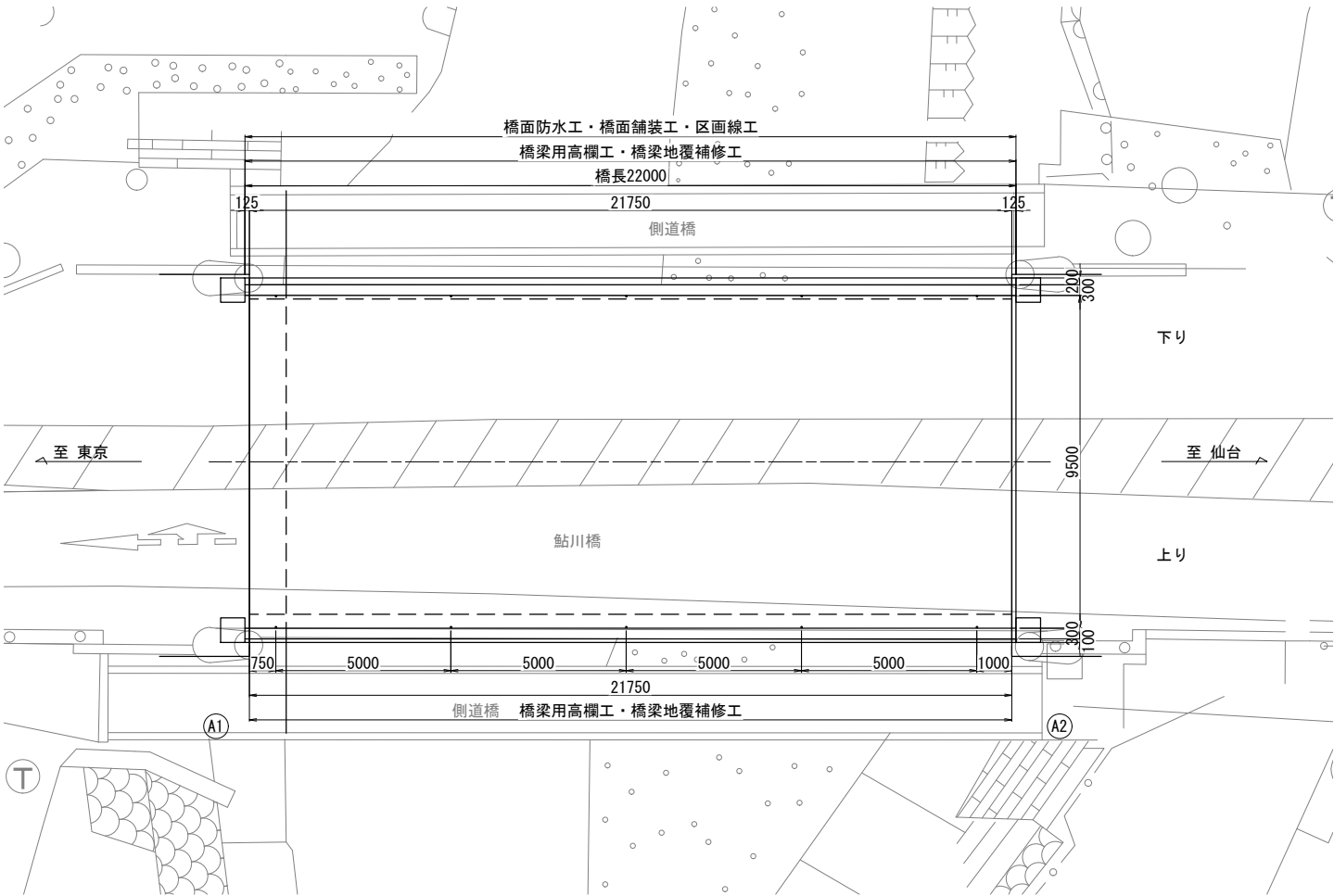
下部工断面図 S=1:100



標準断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



補修工一覧表

補修部材	補修箇所	対象損傷	対策区分		対策工
			点検 R2	本業務 R6	
主桁	第1-1径間	剥離・鉄筋露出、うき	C2	C2	断面修復工、橋面防水工
床版	第1-1径間	剥離・鉄筋露出、うき	C2	C2	断面修復工、橋面防水工、橋面舗装工
防護柵	第1-1径間	剥離・鉄筋露出、うき、腐食	C1	C1	橋梁用高欄工、橋梁地覆補修工

【特記事項】

- ・詳細寸法は現地確認後決定とする。
- ・新たな損傷が発見された場合は、補修の実施について監督員と協議を行い決定すること。

現場制約事項		・関係機関協議：河川(鮎川)、公安委員会[日立警察署] (国道6号) ・地元関係機関：民地借用 ・交通規制：車線規制(夜間：有) ・橋梁添加物：情報管1条、水道管2条 ・支障物件：情報管1条、水道管1条 ・架空線：NTT、東電 ・作業スペース：作業ヤード・資材仮置き場の確保 ・近隣住民：騒音・振動への配慮
有	無	

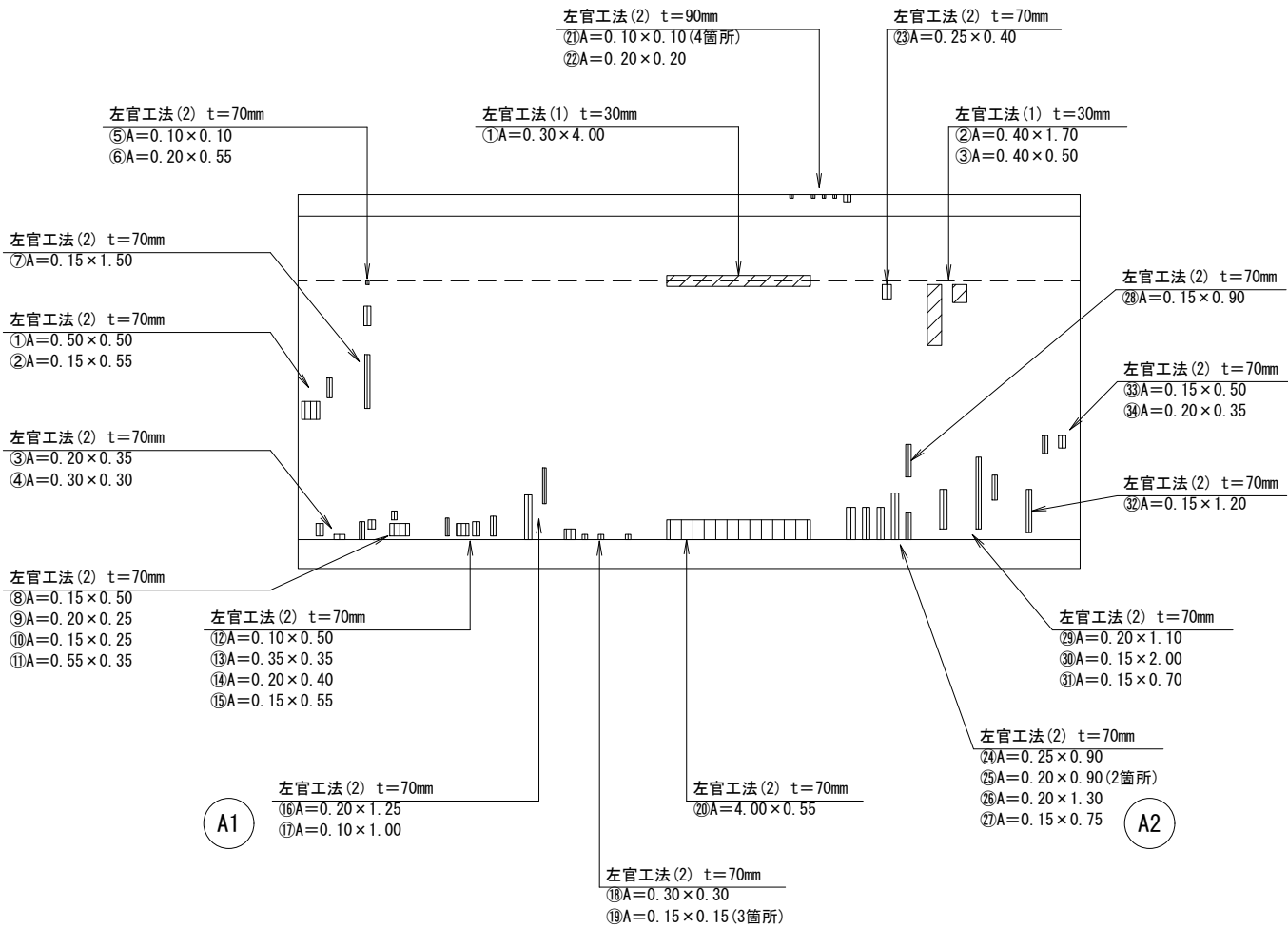
※ 上記、現場制約事項は、施工条件のうち、特に留意すべき事項を記載しているものであり、工事着手にあたり、工事監理連絡会等において受発注者間で厳格に確認する。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	鮎川橋 補修一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	36 の 12
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

鮎川橋 断面修復図

桁下面図



A1

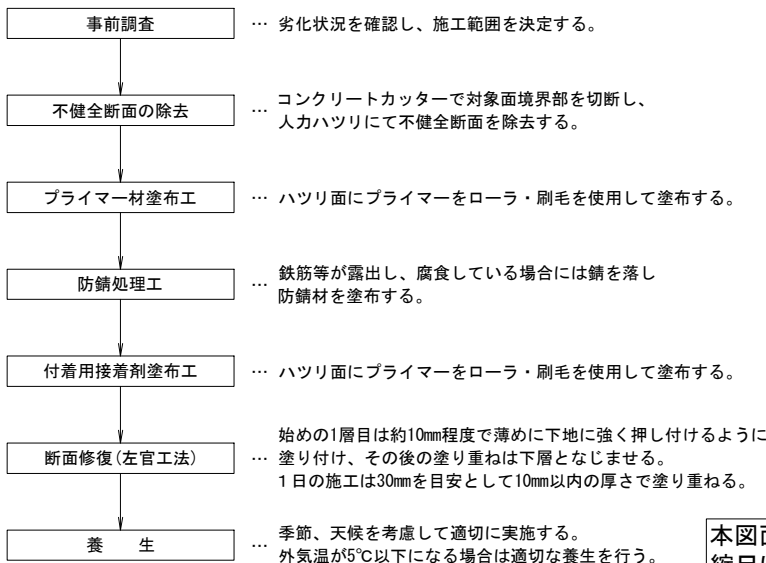
A2

数量表

項目	番号	幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)	箇所	面積 (m ²)	体積 (m ³)
左官工法 (1)	①	0.30	4.00	0.03	1	1.200	0.036
	②	0.40	1.70	0.03	1	0.680	0.020
	③	0.40	0.50	0.03	1	0.200	0.006
	合 計					2.080	0.062
左官工法 (2)	①	0.50	0.50	0.07	1	0.250	0.018
	②	0.15	0.55	0.07	1	0.083	0.006
	③	0.20	0.35	0.07	1	0.070	0.005
	④	0.30	0.30	0.07	1	0.090	0.006
	⑤	0.10	0.10	0.07	1	0.010	0.001
	⑥	0.20	0.55	0.07	1	0.110	0.008
	⑦	0.15	1.50	0.07	1	0.225	0.016
	⑧	0.15	0.50	0.07	1	0.075	0.005
	⑨	0.20	0.25	0.07	1	0.050	0.004
	⑩	0.15	0.25	0.07	1	0.038	0.003
	⑪	0.55	0.35	0.07	1	0.193	0.013
	⑫	0.10	0.50	0.07	1	0.050	0.004
	⑬	0.35	0.35	0.07	1	0.123	0.009
	⑭	0.20	0.40	0.07	1	0.080	0.006
	⑮	0.15	0.55	0.07	1	0.083	0.006
	⑯	0.20	1.25	0.07	1	0.250	0.018
	⑰	0.10	1.00	0.07	1	0.100	0.007
	⑱	0.30	0.30	0.07	1	0.090	0.006
	⑲	0.15	0.15	0.07	3	0.068	0.005
	⑳	4.00	0.55	0.07	1	2.200	0.154
	㉑	0.10	0.10	0.09	4	0.040	0.004
	㉒	0.20	0.20	0.09	1	0.040	0.004
	㉓	0.25	0.40	0.07	1	0.100	0.007
	㉔	0.25	0.90	0.07	1	0.225	0.016
	㉕	0.20	0.90	0.07	2	0.360	0.025
	㉖	0.20	1.30	0.07	1	0.260	0.018
	㉗	0.15	0.75	0.07	1	0.113	0.008
	㉘	0.15	0.90	0.07	1	0.135	0.009
	㉙	0.20	1.10	0.07	1	0.220	0.015
	㉚	0.15	2.00	0.07	1	0.300	0.021
	㉛	0.15	0.70	0.07	1	0.105	0.007
	㉜	0.15	1.20	0.07	1	0.180	0.013
	㉝	0.15	0.50	0.07	1	0.075	0.005
	㉞	0.20	0.35	0.07	1	0.070	0.005
	合 計					8.538	0.457

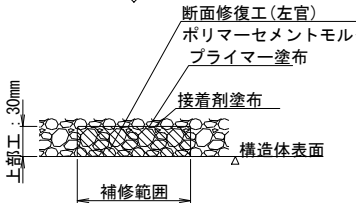
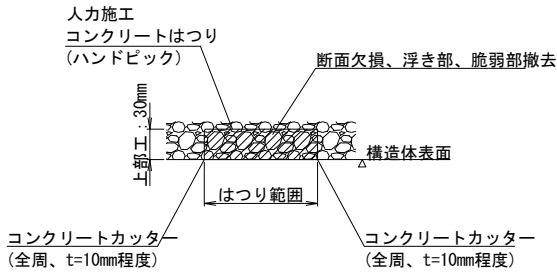
記 号	補修工法
	断面修復工 左官工法 (1) (ケレン、防錆処理なし) ポリマーセメントモルタル
	断面修復工 左官工法 (2) (ケレン、防錆処理あり) ポリマーセメントモルタル

断面修復工(左官工法)施工手順

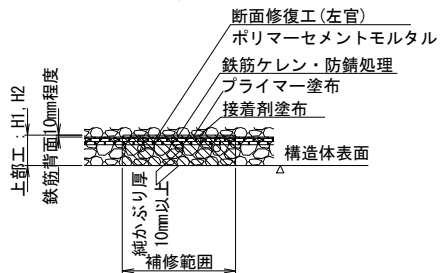
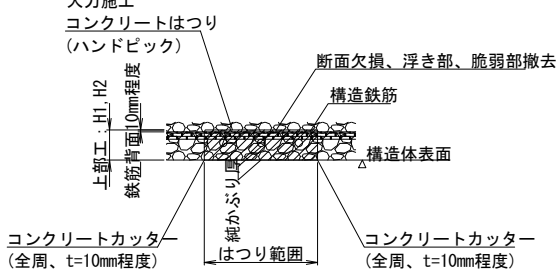


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

左官工法 (1) 詳細図



左官工法 (2)



主桁想定かぶり
H1 (主桁) : 39mm + D16 + 10mm = 65mm ≒ 70mm
H2 (床版) : 57mm + D16 + 10mm = 83mm ≒ 90mm

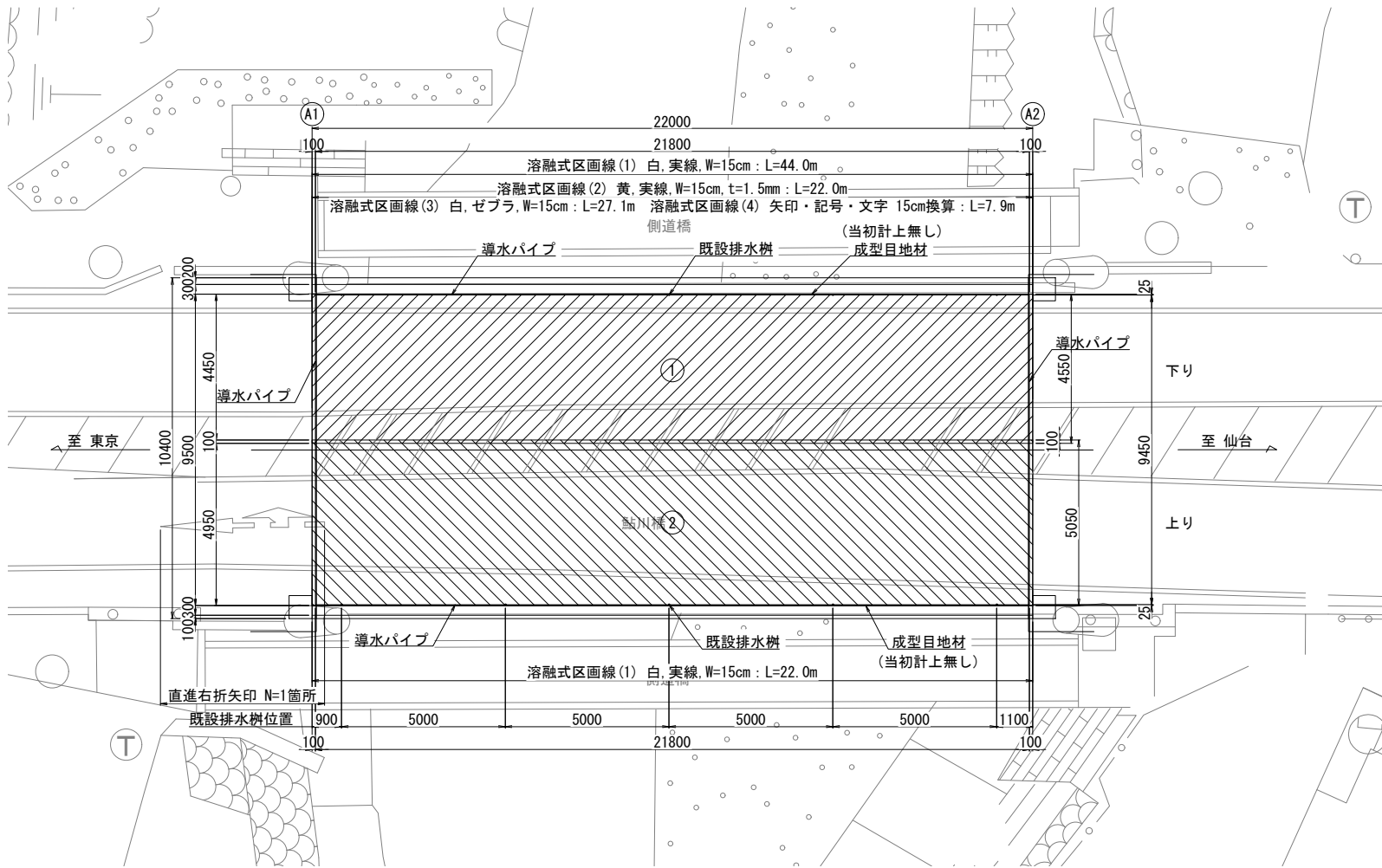
注記)

1. 施工にあたっては現地計測を行い、施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。
2. 施工時に新たな劣化部を発見した場合には、監督員と補修の有無及び補修工法について協議すること。
3. はつりはハンドピックを採用する。なお、ウォータージェットを使う場合には、工事で発生した汚水は適切に処理すること。
4. 補修深さは、既設コンクリートの脆弱部を深さに関わらず撤去すること。ただし、はつり厚が著しく深くなる場合は監督員と協議すること。
5. はつり後、鉄筋が腐食している場合は、鉄筋の背面までコンクリートをはつり、錯落としを行うこと。

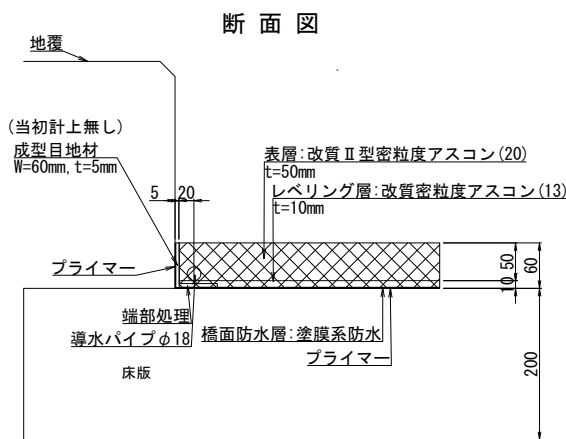
工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事		
図 面 名	鮎川橋 断面修復図		
縮 尺	—	図面番号	36 の 13
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

鮎川橋 橋面防水図

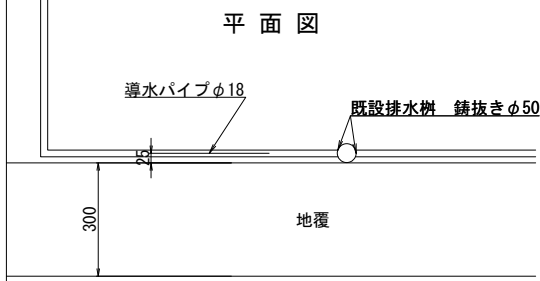
平面図 S=1:100



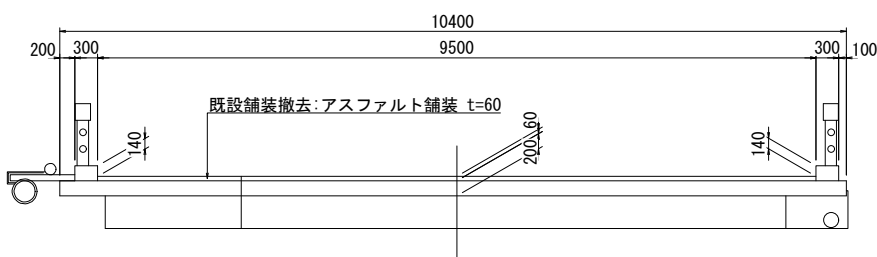
地覆部詳細図 S=1:5



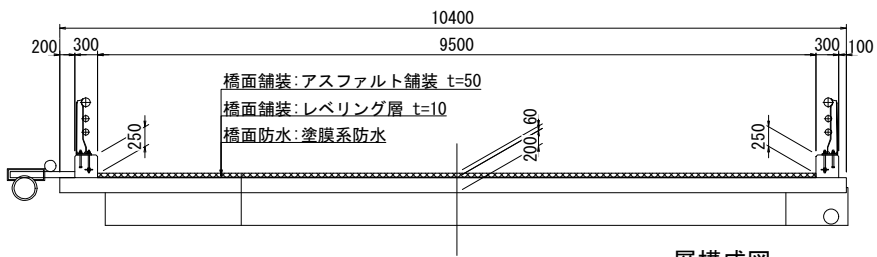
導水パイプ接続詳細図 S=1:10



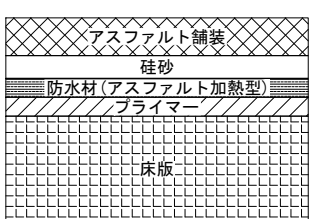
現況断面図 S=1:50



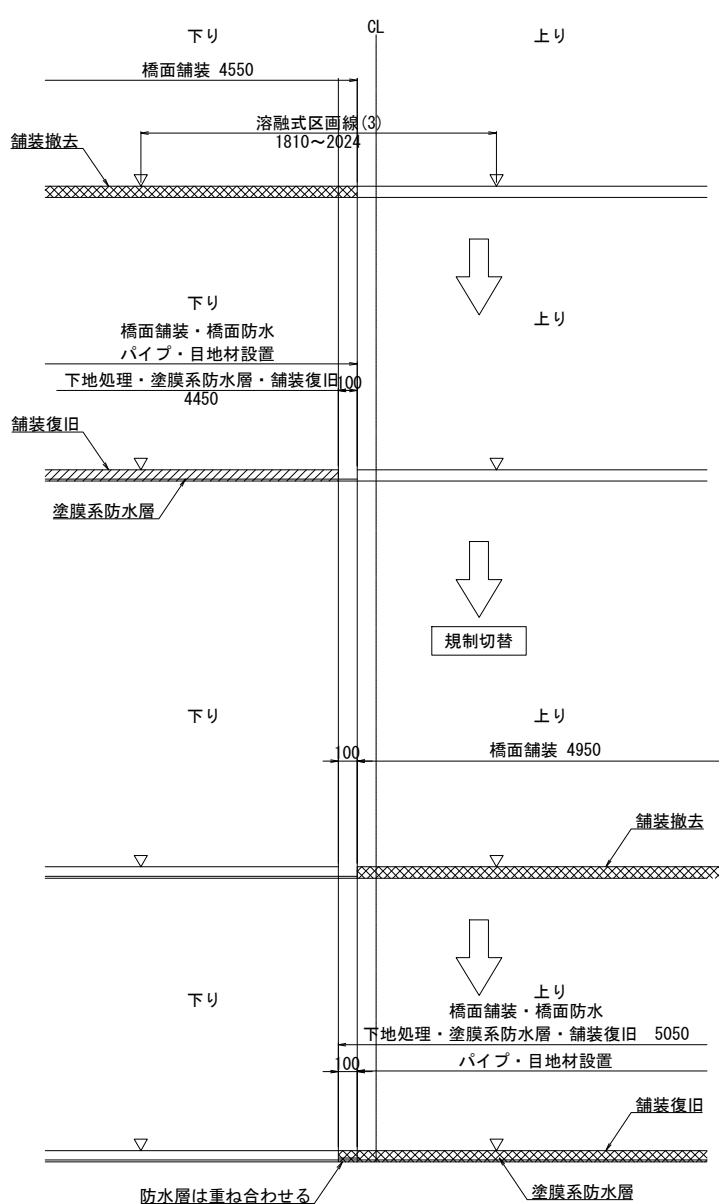
橋面舗装後断面図 S=1:50



層構成図 S=1:10



施工打継部詳細図 S=1:20



橋面防水・橋面舗装 数量表

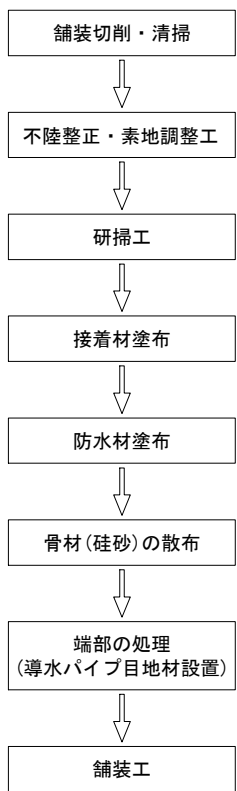
項 目	規格・寸法	単 位	上 り	下 り	合 計	摘 要
橋面舗装	t=6cm	m ²	108.9	100.1	209	路面切削
〃	改質Ⅱ型密粒度アスコン (20), t=50mm	m ²	111.1	97.9	209	表層 (As)
〃	改質Ⅱ型密粒度アスコン (13), t=10mm	m ²	111.1	97.9	209	レベリング層
橋面防水	塗膜系防水	m ²	108.9	100.1	209	
成型目地材	W=60mm, t=5mm	m	33.5	32.7	66	当初計上無し
導水パイプ	φ18	m	33.3	32.5	66	
接着剤		m ²	108.9	100.1	209	
下地処理		m ²	108.9	100.1	209	

区画線 数量表

項 目	規格・寸法	単位	数 量
溶融式区画線 (1)	白, 実線, W=15cm, t=1.5mm	m	66.0
溶融式区画線 (2)	黄, 実線, W=15cm, t=1.5mm	m	22.0
溶融式区画線 (3)	白, ゼブラ, W=15cm, t=1.5mm	m	27.1
溶融式区画線 (4)	矢印・記号・文字, 15cm換算, t=1.5mm	m	7.9

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

施工フロー



- 注記)
1. 施工にあたっては現地計測を行い、施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。
 2. 施工時に新たな劣化部を発見した場合には、監督員と補修の有無及び補修工法について協議すること。
 3. 縦横断勾配による長さの差は、現寸にて決定のこと。
 4. 排水樹寸法及び位置は事前に確認すること。

(1橋当り)

工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事		
図 面 名	鮎川橋 橋面防水図		
縮 尺	図 示	図面番号	36 の 14
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

撤 去

[illegible]

現場打地覆 L=22000
橋梁用高欄 L=21750

125 125

至 東京

至 仙台

防護柵撤去
コンクリート部 : $V=0.432+0.957=1.39\text{m}^3$
鋼材部 : $V=2.178\text{m}^3$

地覆撤去(コンクリートのみ)
 $V=0.30 \times 0.2 \times 22.05=1.32\text{m}^3$

地覆撤去(コンクリートのみ)
 $V=0.30 \times 0.2 \times 22.05=1.32\text{m}^3$

防護柵撤去
コンクリート部 : $V=0.432+0.957=1.39\text{m}^3$
鋼材部 : $V=2.178\text{m}^3$

22000

A1 A2

現場打地覆 数量表

(1橋当り)

項 目	規格・寸法	単位	数 量	摘 要
とりこわし	人力施工、夜間	m3	5.2	地覆・防護柵
鋼材切断	φ 90, ガス切断	m	12.4	

Technical drawing showing a cross-section of a concrete structure with dimensions and labels for removal steps:

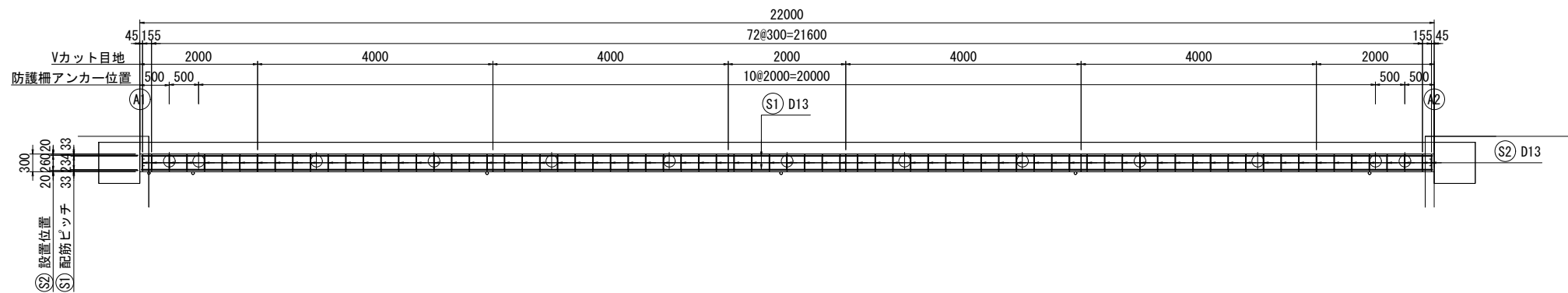
- Dimensions: 200, 300, 200, 220, 160, 220, 220, 820, 960, 600, 140.
- Labels:
 - 防護柵撤去(コンクリート)
 - コンクリート切断
 - 防護柵撤去(鋼材)
 - コンクリート切断
 - 地覆撤去(ハンドブレイカー)
 - 下地処理(チッピング)

1. 施工にあたっては現地計測を行い、施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。
2. 施工時に新たな劣化部を発見した場合には、監督員と補修の有無及び補修工法について協議すること。
3. 地覆コンクリートの撤去は、ハンドピックを採用し、必要な既設鉄筋を切断等しないように行うこと。
4. 地覆コンクリートの撤去後、必要な鉄筋が腐食している場合は、錆を落とし防錆処理を行うこと。
5. 地覆コンクリートの撤去にあたっては、添架物等の仮設設が必要な場合には監督員と協議すること。
また、添架物等に損傷が生じないように行うこと。

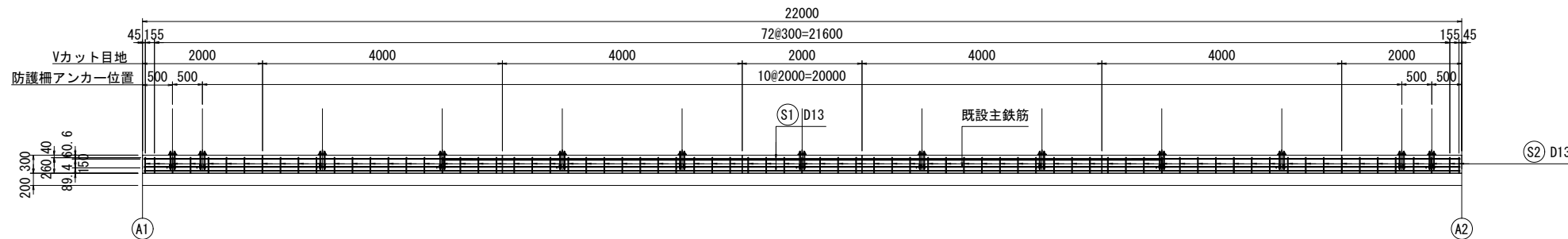
工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁歩道橋補修工事		
図 面 名	鮎川橋 橋梁地覆補修図(1)		
縮 尺	図 示	図面番号	36 の 15
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

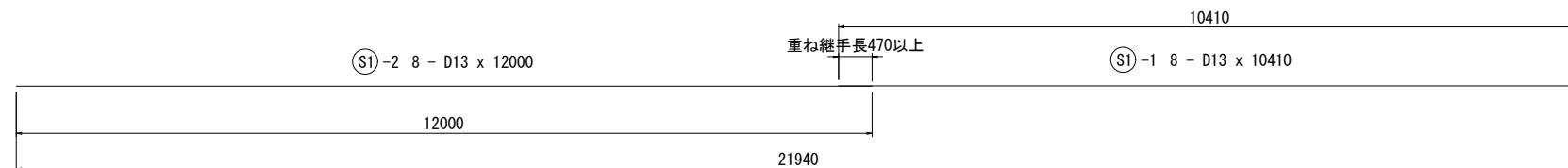
S=1 : 50



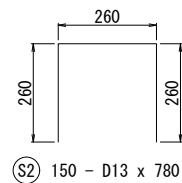
S=1 : 50



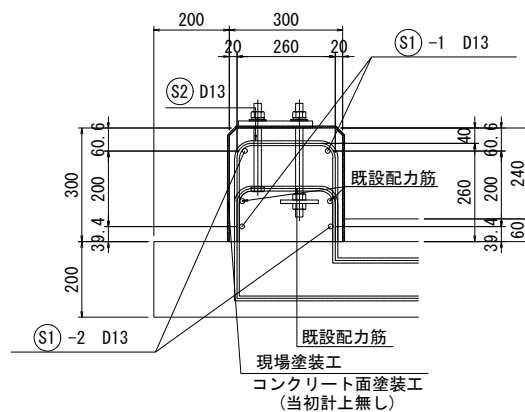
S=1 : 50



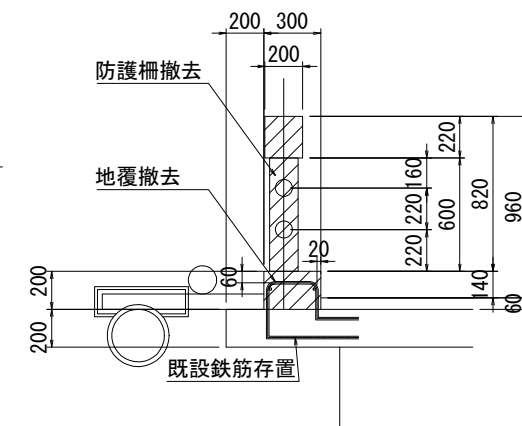
S=1 : 10



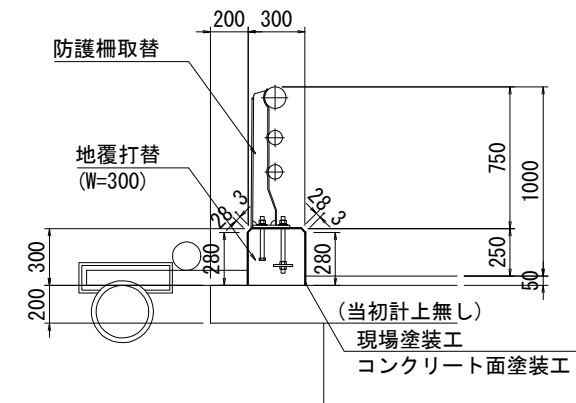
S=1:10



S=1 : 20



S=1:20

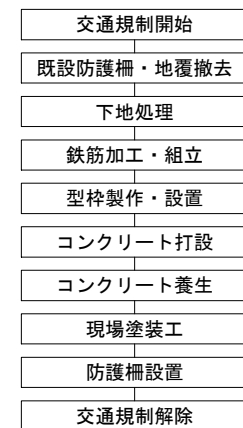


項 目	規格・寸法	単 位	上 り	下 り	合 計	摘 要
とりこわし	地覆・防護柵	m3	2.6	2.6	5.2	
コンクリート	$\sigma=24\text{N/mm}^2$	m3	1.98	1.98	3.96	
鉄筋	SD345 D13	kg	148	148	295	
型枠	普通型枠	式	1	1	1	
現場塗装	コンクリート面塗装工	m2	19.47	19.47	38.9	当初計上無し
	下地処理	m2	19.47	19.47	38.9	〃
	プライマー エポキシ樹脂系プライマー	kg	1.9	1.9	4	〃
	中塗り 厚膜型エポキシ樹脂	kg	23.4	23.4	47	〃
	上塗り ポリウレタン樹脂塗料	kg	22.4	22.4	45	〃

鉄筋重量表

記号	径	長さ	本数			単位重量 (kg/m)	1本当たり質量	質量	摘要
			上り	下り	合計				
①-1	D13	10410	4	4	8	0.995	10.36	82.9	――
①-2	D13	12000	4	4	8	0.995	11.94	95.5	――
②	D13	780	75	75	150	0.995	0.78	117.0	□
							D13	295	kg
							合計	295	kg (SD345)

地覆工施工フロー



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

注記)

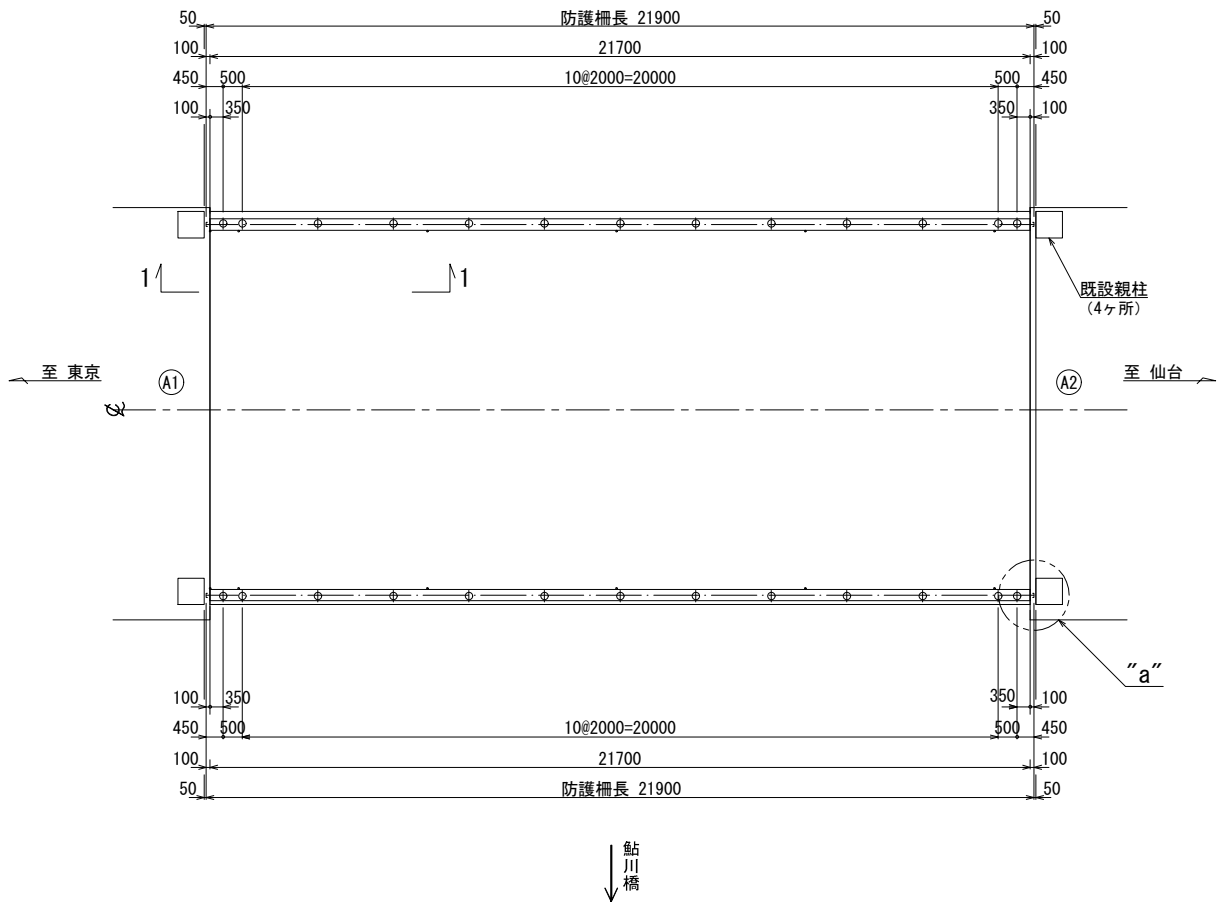
1. 施工にあたっては現地計画を行い、施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。
2. 施工時に新たに欠陥部を発見した場合には、監督員と補修の有無及び補修工法について協議すること。
3. 既設鉄筋位置は2024年度詳細調査時の鉄筋探査から推定したものである。施工にあたっては、鉄筋探査を実施し既設配筋を確認したうえで施工を行うこと。
4. 地覆コンクリートの撤去後、必要な鉄筋が腐食している場合は、錆を落とし防錆処理を行うこと。
5. 地覆コンクリートの撤去にあたっては、添架物等の仮移設が必要な場合には監督員と協議すること。また、添架物等に損傷が生じないように行うこと。

工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	鮎川橋 橋梁地覆補修図(2)		
縮 尺	図 示	図面番号	36 の 16
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

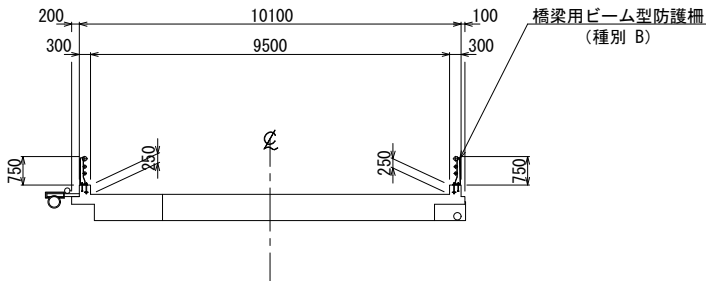
鮎川橋 橋梁高欄詳細図

支柱割付平面図 S=1:100

注. 防護柵長は支柱割付基準位置の実長を示す。



断面図 S=1:100

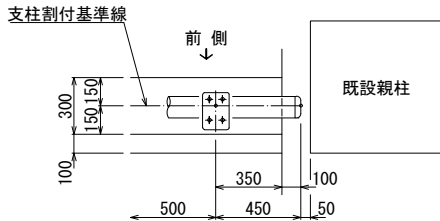


材料表

(種別 B) 塗装仕様						
符号	名 称	寸 法	材 質	単位質量	数 量	質 量
1	支柱	H750×196×125/140	SS400	12.69	26	329.9
2	主要横梁	φ 114.3×4.5t	STK400	12.20	43.570 m	531.6
3	下段横梁	φ 76.3×2.8t	〃	5.08	87.140 m	442.7
4	スリーブ	φ 101.6×4.5t×300	〃	3.23	22	71.1
5	〃	φ 65.0×4.0t×300	〃	1.80	44	79.2
6	取付ボルト	M12×35 (W1, SW1)	強度区分 6.8 以上	0.06	200	12.0
7	アンカーボルト	I-M20×300 (N3, W1, SW1)	〃	0.86	52	44.7
8	〃	M20×220 (N1, W1, SW1)	強度区分 4.6 以上	0.68	52	35.4
9	アンカープレート	9t×100×200	SS400	1.36	26	35.4
10	キャップ	φ 114.3×30	AC4C	0.47	4	1.9
11	〃	φ 76.3×30	〃	0.24	8	1.9
合計						1585.8 kg
防護柵長 43.800 m						
{ 使用支柱 : 支柱 26本 }						

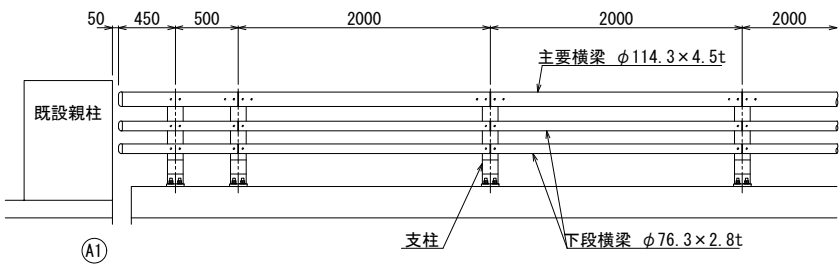
特記) 橋梁用ビーム型防護柵は(一社)全国高欄協会にて認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする。

“a”部端部平面図 S=1:20
(4ヶ所, 同じ)



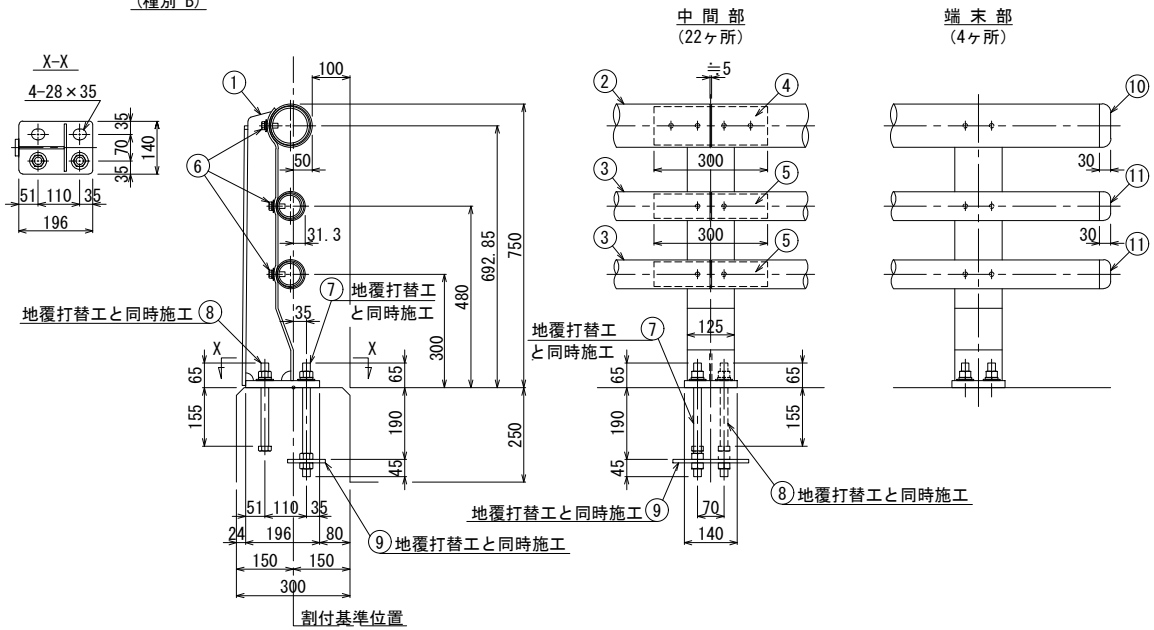
防護柵組立図 S=1:30

1-1 矢視



橋梁用ビーム型防護柵詳細図 S=1:10

(種別 B)



橋梁用高欄 数量表

(1橋当り)

項 目	規格・寸法	単 位	上 り	下 り	合 計	摘 要
橋梁用高欄	アルミ製 B種 H=750	m3	21.9	21.9	43.8	

注記)

- 施工にあたっては現地計測を行い、施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。
- 施工時に新たな劣化部を発見した場合には、監督員と補修の有無及び補修工法について協議すること。
- 本防護柵の設計仕様は「防護柵の設置基準・同解説」(令和3年3月)による。
〈コンクリート強度: $\sigma_{ck} = 21 \text{ N/mm}^2$ 〉
- 表面処理: 溶融亜鉛めっき後、静電粉体塗装仕上げ。
〈ボルト類は溶融亜鉛めっき仕上げとし、アンカープレートは表面処理無し〉
- ⑦⑧⑨は地覆打替工と同時に設置する。

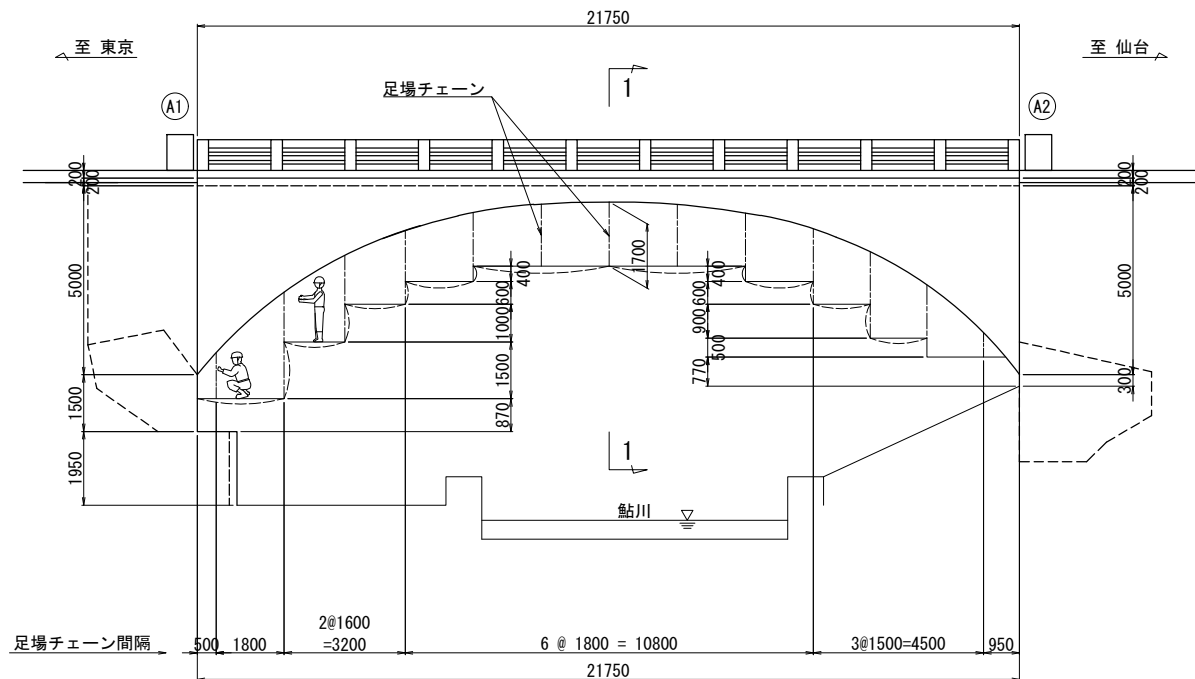
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	鮎川橋 橋梁高欄詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	36 の 17
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

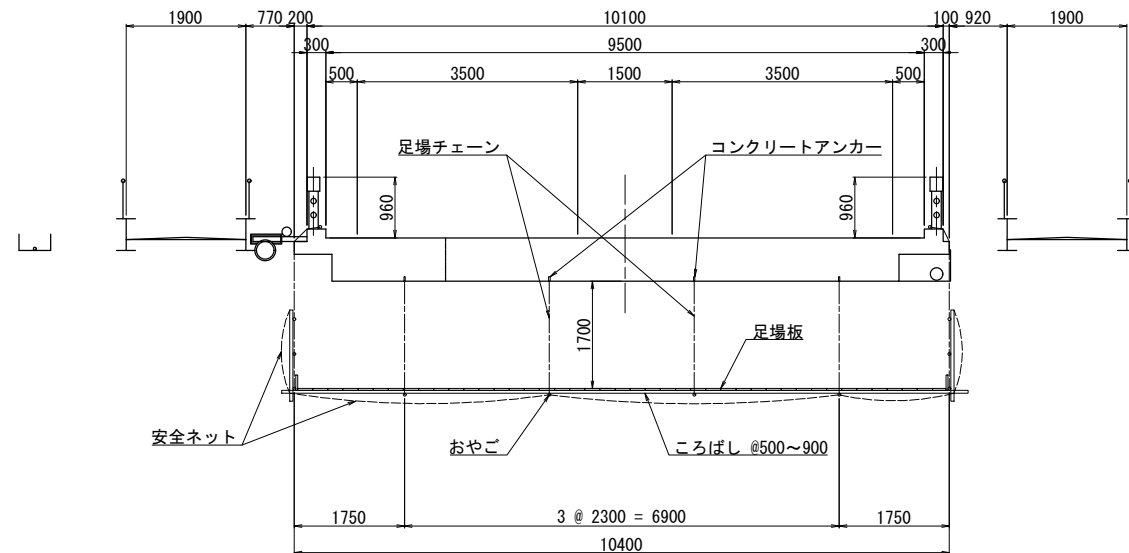
鮎川橋 足場図

桁下面 断面修復工施工時

側面図 S=1:100



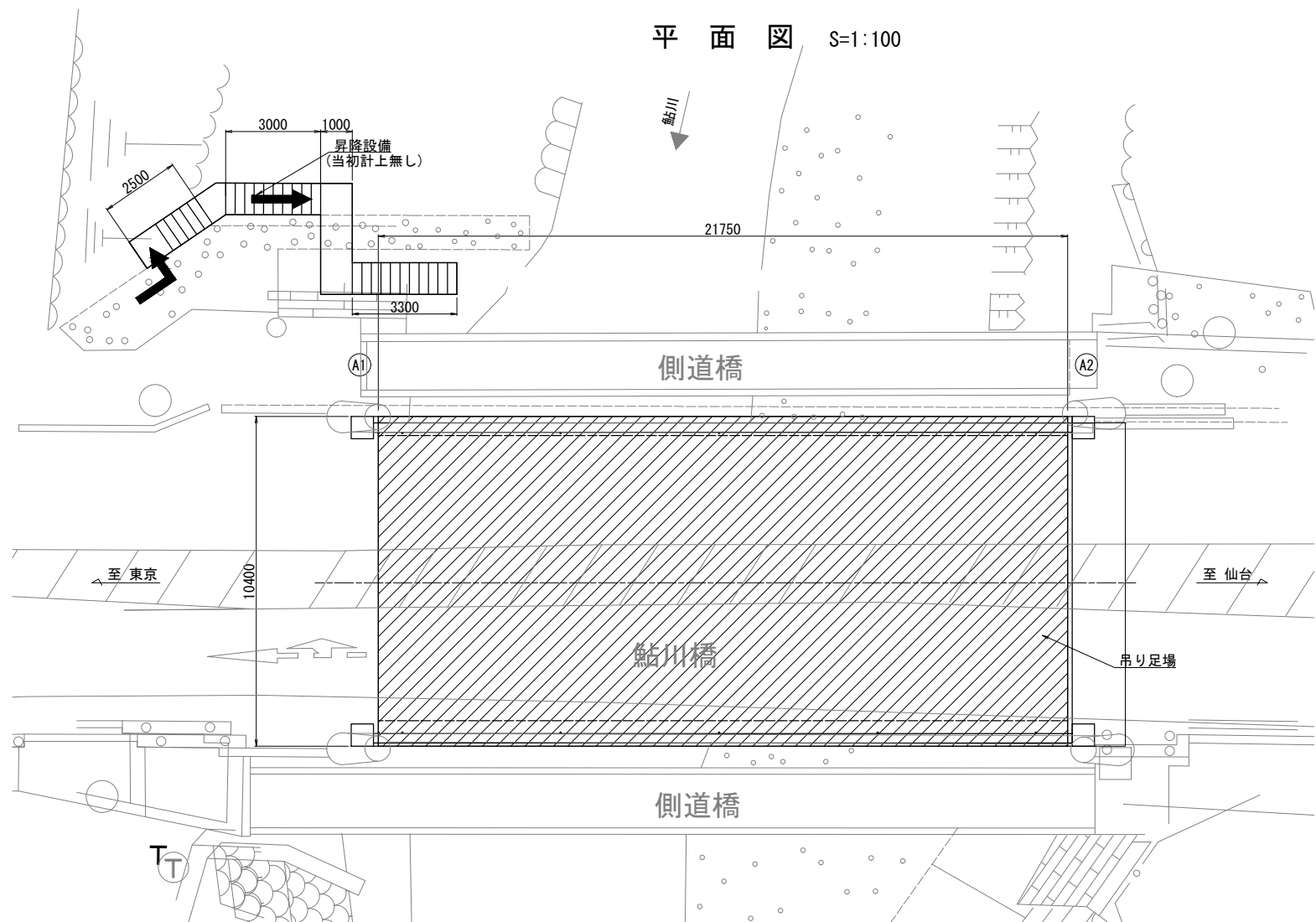
断面図 (1-1) S=1:60



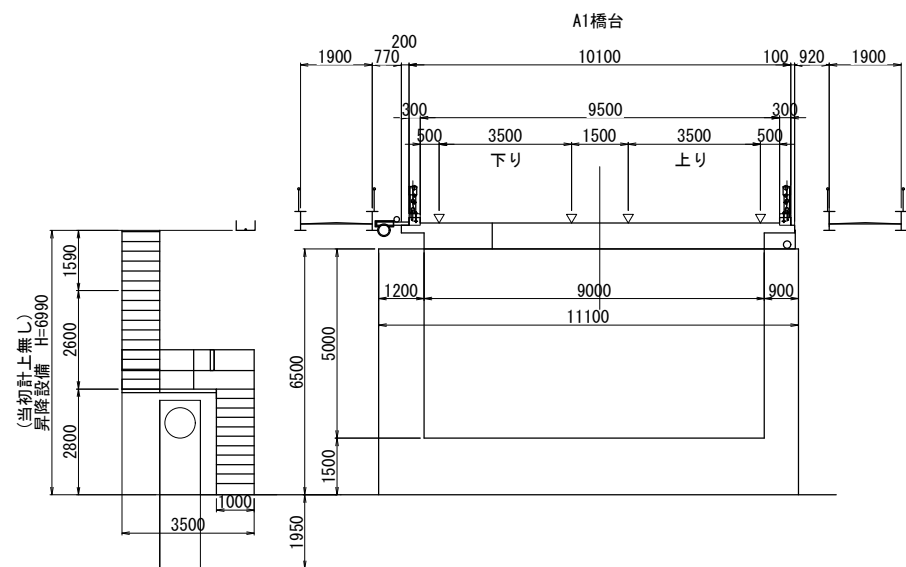
足場 数量表

	規格	単位	数 量	備 考
足場 (1)	吊足場	m2	226.2	
足場 (2)	両側朝顔	m2	226.2	
防護	シート防護	m2	226.2	
昇降設備		m2	13.1	当初計上無し

平面図 S=1:100



A1橋台正面図 S=1:100



注記)

1. 施工にあたっては現地計測を行い、施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。
2. 施工時に新たな劣化部を発見した場合には、監督員と補修の有無及び補修工法について協議すること。
3. コンクリートアンカーは、コンクリートの脆弱部を避けて設置すること。
4. コンクリート削孔の際は、既設鉄筋を切断しないよう、鉄筋探索を行い既設鉄筋位置を確認すること。
5. 足場内には、河川側から進入する。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他		
図 面 名	鮎川橋 足場図		
縮 尺	図 示	図面番号	36 の 18
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

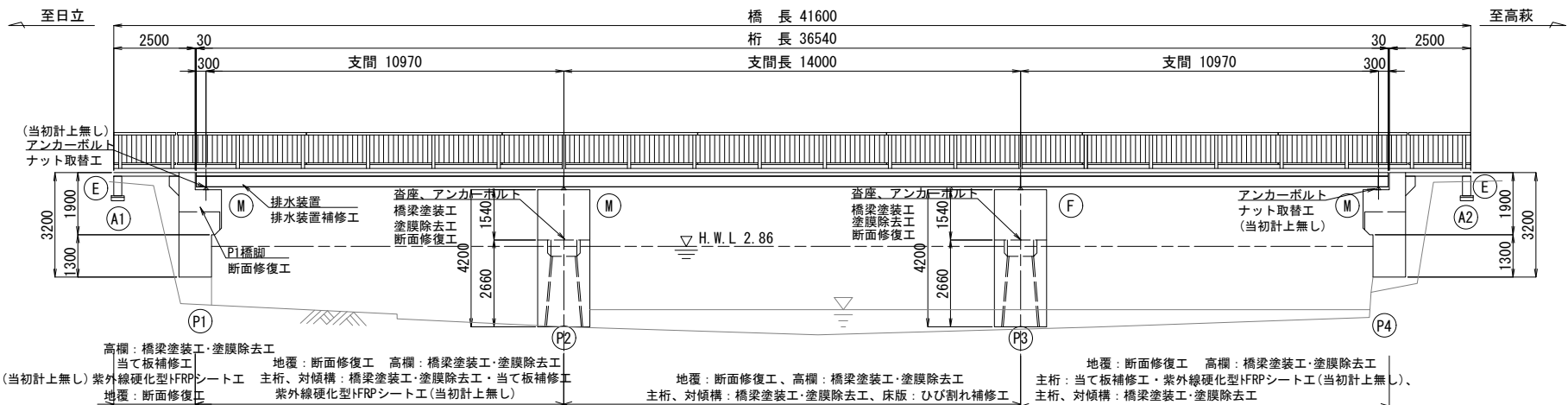
鮎川橋 数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量				摘 要		
			A1		A2			計	計上値
				A1～A2					
橋梁保全工事		式	1			1	1		
舗装工		式	1			1	1		
橋面防水工		式	1			1	1		
橋面防水【夜間】	塗膜防水	m2	209.0			209.0	209		
舗装打換え工		式	1			1	1		
舗装打換え【夜間】	路面切削～橋面防水(除外)～舗装	m2	209.0			209.0	209		
殻運搬(路面切削) 現場→仮置き【夜間】	切削殻	m3	12.5			12.5	12		
積込(ル-')【昼間】	土砂 土量50,000m3未満	m3	12.5			12.5	12		
殻運搬(路面切削) 仮置き→処分場【夜間】	切削殻	m3	12.5			12.5	12		
殻処分【昼間】	アスファルト殻	m3	12.5			12.5	12		
区画線工		式	1			1	1		
区画線工		式	1			1	1		
熔融式区画線(1)	熔融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	66.0			66.0	66		
熔融式区画線(2)	熔融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	22.0			22.0	22		
熔融式区画線(3)	熔融式手動 ゼブラ 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	27.1			27.1	27		
熔融式区画線(4)	熔融式手動 矢印・記号・文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無	m	7.9			7.9	7		
橋梁付属物工		式	1			1	1		
橋梁用高欄工		式	1			1	1		
橋梁用高欄【夜間】	アルミ製 橋梁用高欄(組立式)	m	43.8			43.8	43		
橋梁補修工		式	1			1	1		
橋梁地覆補修工		式	1			1	1		
現場打地覆【夜間】	300×300	m	44.0			44.0	44		
断面修復工		式	1			1	1		
左官工法(1)	1構造物当り修復延べ体積 0.519m3 乾リマセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理無	構造物(m3)		0.062		0.062	1(0.062)		
左官工法(2)	1構造物当り修復延べ体積 0.519m3 乾リマセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有	構造物(m3)		0.457		0.457	1(0.457)		
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)		m3		0.519		0.519	0.5		
殻処分	コンクリート殻(無筋)	m3		0.519		0.519	0.5		
構造物撤去工		式	1			1	1		
運搬処理工		式	1			1	1		
現場発生品運搬 現場～伊師資材置場	鋼管	式 (t)	0.49			0.49	1(0.49)		
仮設工		式	1			1	1		
仮設工		式	1			1	1		
足場(1)【夜間】	吊足場	m2	226.2			226.2	220		
足場(2)【夜間】	両側朝顔	m2	226.2			226.2	220		
防護【夜間】	シート防護	m2	226.2			226.2	220		

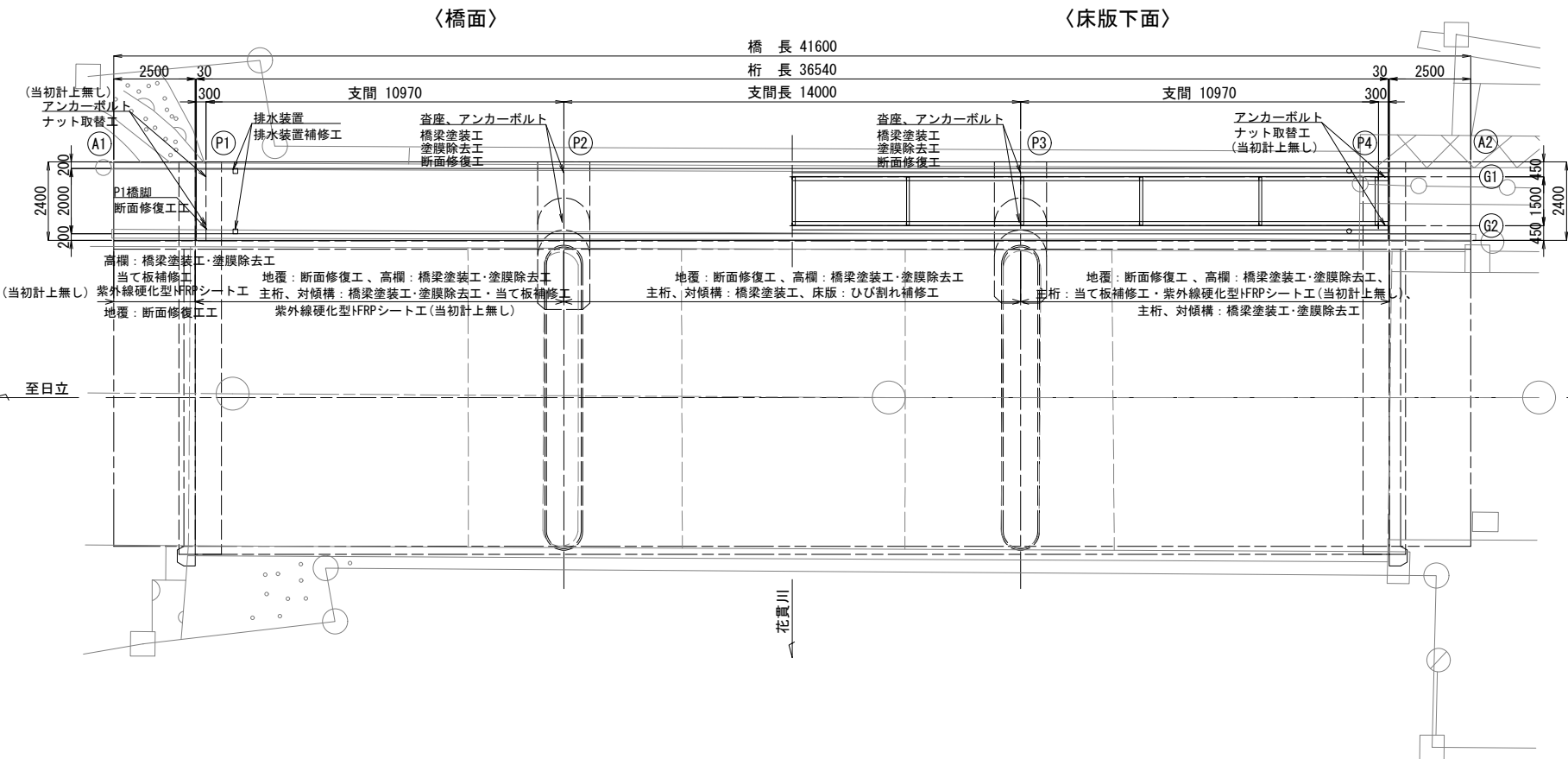
工 事 名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	鮎川橋 数量総括表		
縮 尺	—	図面番号	36 の 19
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名			
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

稲村橋側道橋(下り) 補修一般図 S=1:100

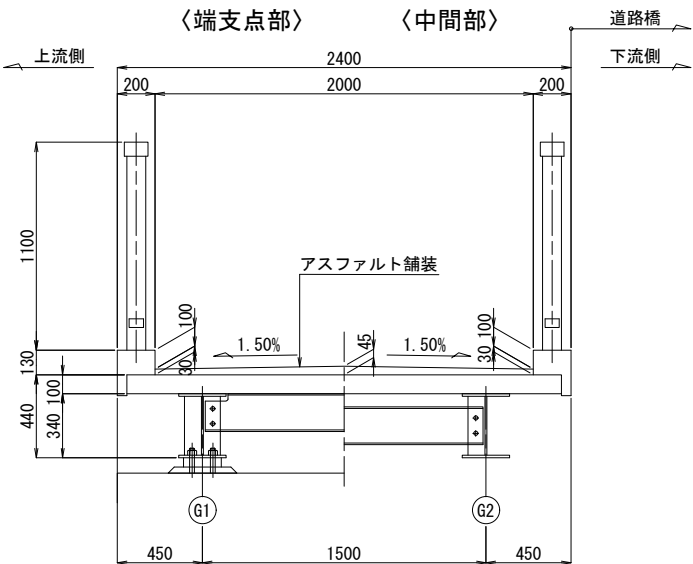
側面図



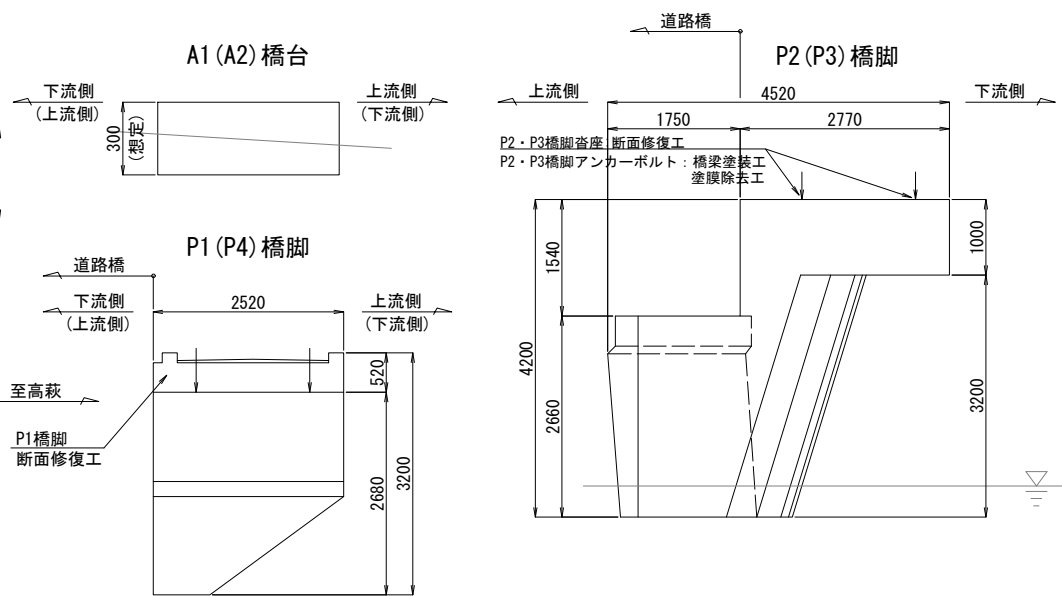
平面図



上部工標準断面図 S=1:20



下部工正面図 S=1:50



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

補修工法一覧			
補修工	補修工法、仕様など	補修対象	摘 要
橋梁塗装工	Rc-I、1種ケレン	主桁、対傾構、高欄、アンカーボルト	
塗膜除去工		主桁、対傾構、高欄、アンカーボルト	
断面修復工	左官工法、ポリマーセメントモルタル	地覆、P1橋脚、沓座	
ひび割れ補修工	ひびわれ注入工、ひびわれ充填工	床版下面	
当て板補修工	当て板補修	主桁、対傾構、高欄	
紫外線硬化型FRPシート工	FRPシート補修	主桁、対傾構、高欄	当初計上無し
ナット取替工		アンカーボルト	〃
排水装置補修工		排水装置	

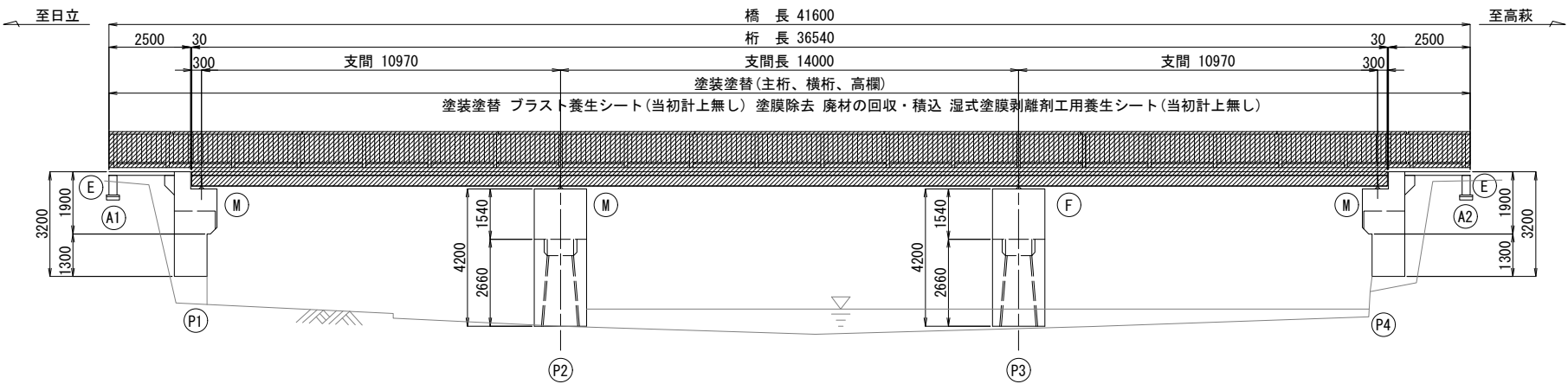
- 注記：
- 本図面は昭和56年度の「S56稲村橋側道橋その他1橋上部」及び「S56花貫歩道設置工下部工」を元に復元した。
 - 本図の地形平面図は平成25年度に調査された管理用平面図である。
 - A1、A2橋台の躯体寸法は情報が無いため、想定寸法とする。
 - 補修箇所は、必ず現場実測確認の上で施工を行うこと。
 - 施工に際しては、必ず現地にて補修箇所及び寸法・数量を確認の上行うこと。
 - 本図に示した箇所以外で同様の損傷が確認された場合、監督職員と協議の上同様の対策を実施すること。

現場制約事項	関係機関協議（河川（花貫川）
有	無
(注) 1. 上記の現場制約事項は、施工条件のうち、特に留意すべき事項を明示しているものであり、工事着手にあたっては、設計審査会等において、受発注者間で厳格に確認する。	
工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事
図 面 名	稲村橋側道橋(下り) 補修一般図
縮 尺	図 示 図面番号 36 の 20
年 月 日	令和 8 年 6 月 日
設計会社名	株式会社 エイト日本技術開発
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

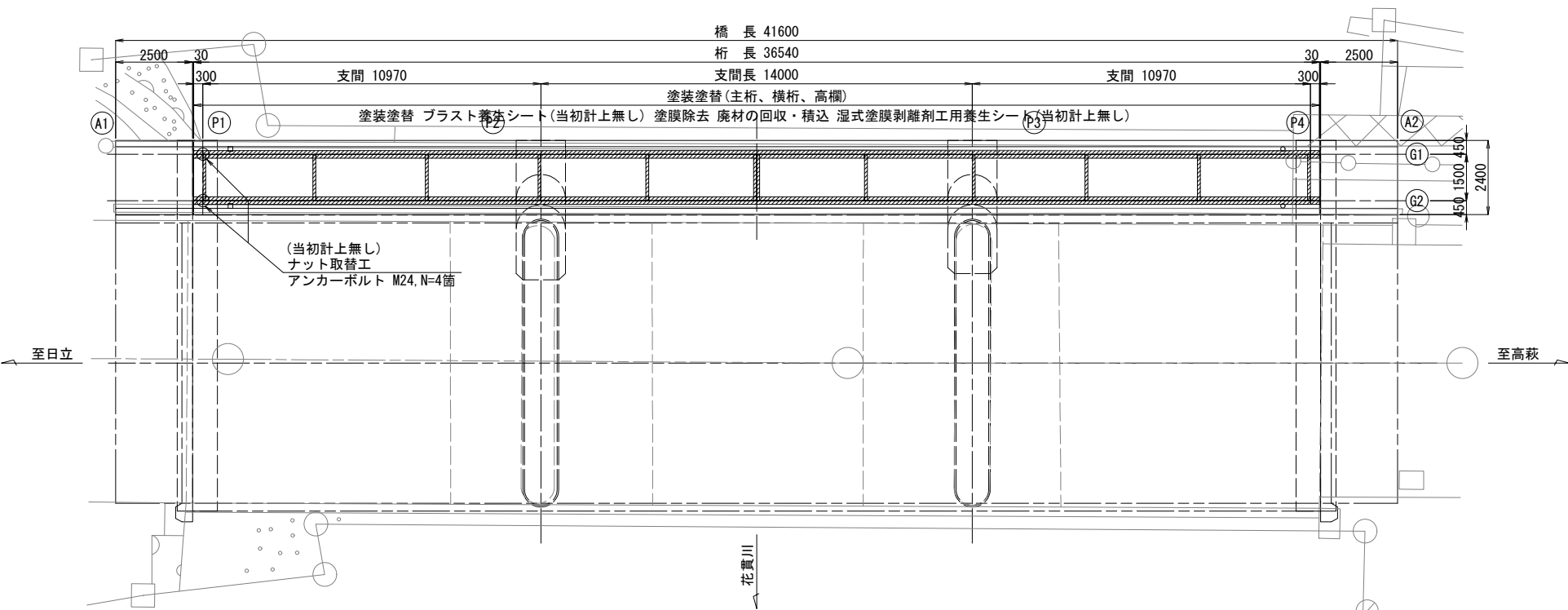
稲村橋側道橋(下り) 橋梁塗装詳細図 S=1:100

橋梁塗装・ナット取替(当初計上無し)

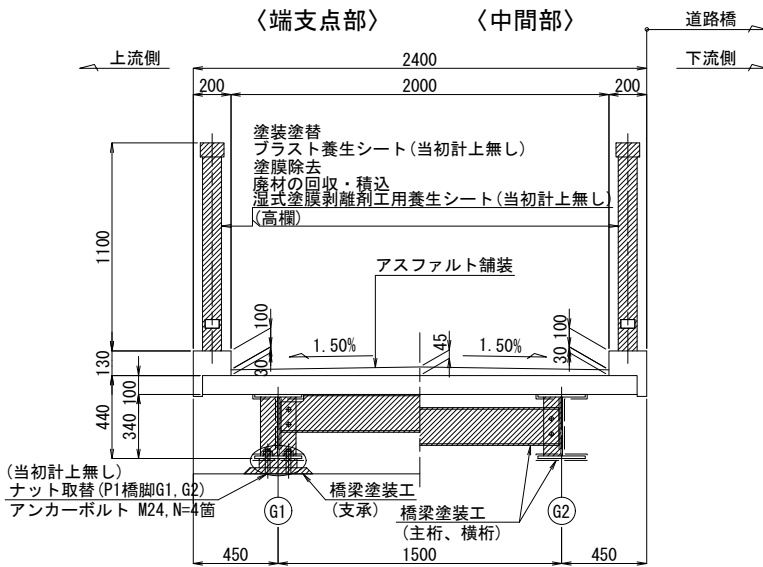
側面図



平面図



上部工標準断面図 S=1:20



- 注記:
1. 施工前に必ず、現地計測を行って補修箇所、範囲形状等を確認し、現地状況と設計図面との整合を確認した上で施工すること。
 2. 塗装系はRc-I (素地調整は1種ケレン)を基本とする。
 3. 塗装施工の際は飛散防止に留意すること。
 4. 塗装面積数量計算について「S56稲村橋側道橋その他1橋上部」を参照のこと。

塗装仕様 鋼桁部, 付属部 (Rc-I系 スプレー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	標準膜厚 (μm)	塗装間隔
素地調整	1種ケレン			4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	75	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	60	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	60	1日~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	30	1日~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	25	
膜厚合計			250	

塗替塗装 数量表

	規格	塗装部位	面積 (m ²)
塗替塗装面積	Rc-I	主桁・横桁・高欄・支承	190.3
素地調整	1種ケレン	主桁・横桁・高欄・支承	190.3

プラスト養生シート 数量表

名称	規格	単位	数量	摘要
建築工用シート	3.6m×5.4m×0.4mm	m ²	132.4	当初計上無し

塗膜除去 数量表

名称	規格	単位	数量	摘要
塗膜除去	塗膜剥離剤塗布(2回)	m ²	190.3	
廃材の回収・積込		m ²	380.6	

湿式塗膜剥離剤工用養生シート 数量表

名称	規格	単位	数量	摘要
建築工用シート	3.6m×5.4m×0.32mm	m ²	132.4	当初計上無し

ナット取替 数量表

名称	箇所	摘要
P1橋脚	4	当初計上無し
合計	4	〃

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

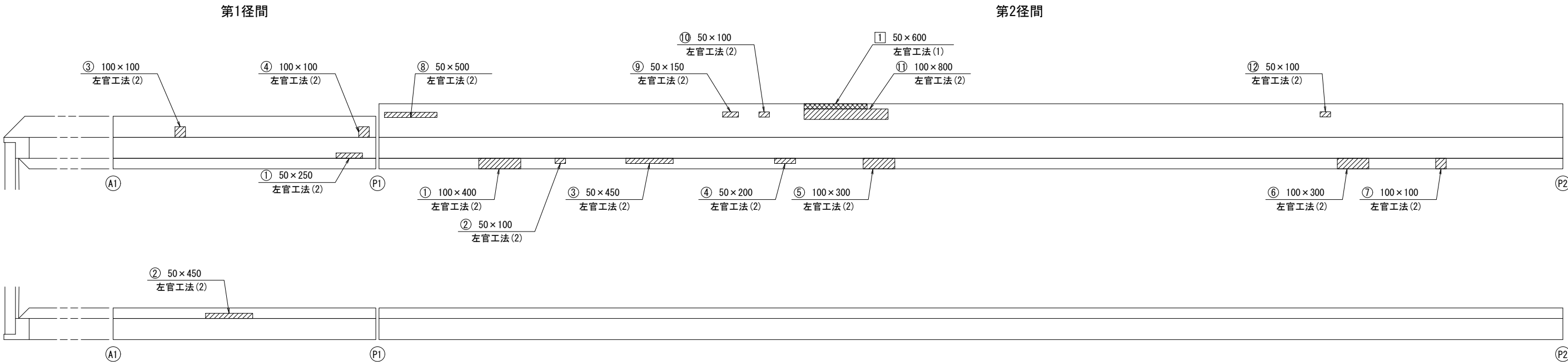
工事名	R7国道6号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図面名	稲村橋側道橋(下り) 橋梁塗装詳細図		
縮尺	図示	図面番号	36の21
年月日	令和8年6月日		
設計会社名	株式会社 エイト日本技術開発		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

稲村橋側道橋（下り） コンクリート補修詳細図(1)

S=1:20

第1,2径間

地覆



左官工法(2) 数量表 [平均深さ80mm]
＜第1径間＞

部材	No.	損傷範囲 (mm)	カッター範囲 W x L (mm)	箇所	V (m3)
地覆	1	50 x 250	100 x 350	1	0.0028
地覆	2	50 x 450	100 x 550	1	0.0044
地覆	3	100 x 100	150 x 200	1	0.0024
地覆	4	100 x 100	150 x 200	1	0.0024
合 計					0.0120

左官工法(2) 数量表 [平均深さ80mm]
＜第2径間＞

部材	No.	損傷範囲 (mm)	カッター範囲 W x L (mm)	箇所	V (m3)
地覆	1	100 x 400	100 x 500	1	0.0040
地覆	2	50 x 100	100 x 200	1	0.0016
地覆	3	50 x 450	100 x 550	1	0.0044
地覆	4	50 x 200	100 x 300	1	0.0024
地覆	5	100 x 300	100 x 400	1	0.0032
地覆	6	100 x 300	100 x 400	1	0.0032
地覆	7	100 x 100	100 x 200	1	0.0016
地覆	8	50 x 500	150 x 600	1	0.0072
地覆	9	50 x 150	150 x 250	1	0.0030
地覆	10	50 x 100	150 x 200	1	0.0024
地覆	11	100 x 800	150 x 900 50 x 200	1	0.0116
地覆	12	50 x 100	150 x 200	1	0.0024
合 計					0.0470

左官工法(1) 数量表 [平均深さ30mm]
＜第2径間＞

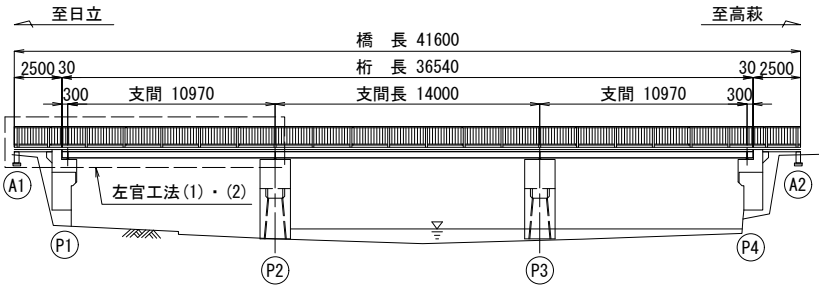
部材	No.	損傷範囲 (mm)	カッター範囲 W x L (mm)	箇所	V (m3)
地覆	1	50 x 600	50 x 700	1	0.0011
合 計					0.0011

凡 例

補修の種類	表 示
左官工法(1)	
左官工法(2)	

- 注記：
- 補修箇所は、必ず現場実測確認の上で施工を行うこと。
 - 施工に際しては、必ず現地にて補修箇所及び寸法・数量を確認の上行うこと。
 - 本図に示した箇所以外で同様の損傷が確認された場合、監督職員と協議の上同様の対策を実施すること。
 - 脆弱部は、はつり落とすこと。
 - カッター工、はつり工の施工に際しては既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。

配置図 S=1:200



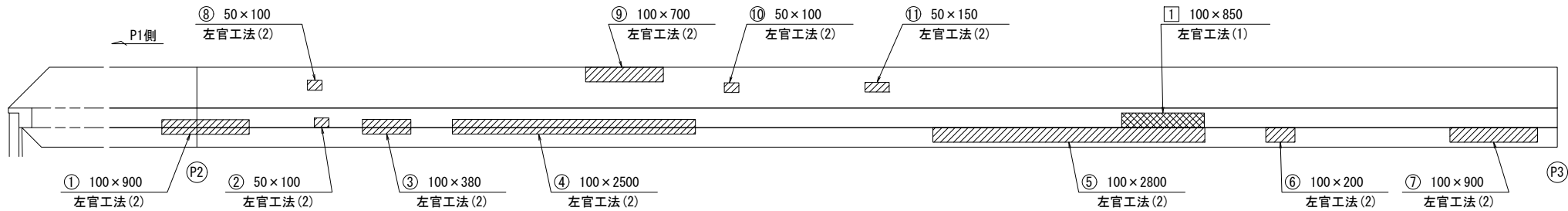
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	稲村橋側道橋（下り）コンクリート補修詳細図(1)		
縮 尺	図 示	図面番号	36 の 22
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 エイト日本技術開発		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

稲村橋側道橋（下り） コンクリート補修詳細図（2） S=1:30

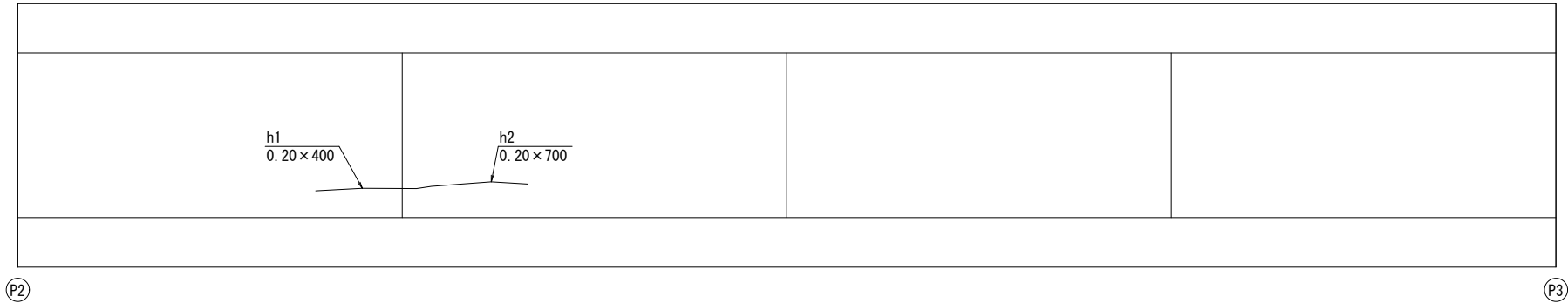
第3, 4径間

第3径間 地覆

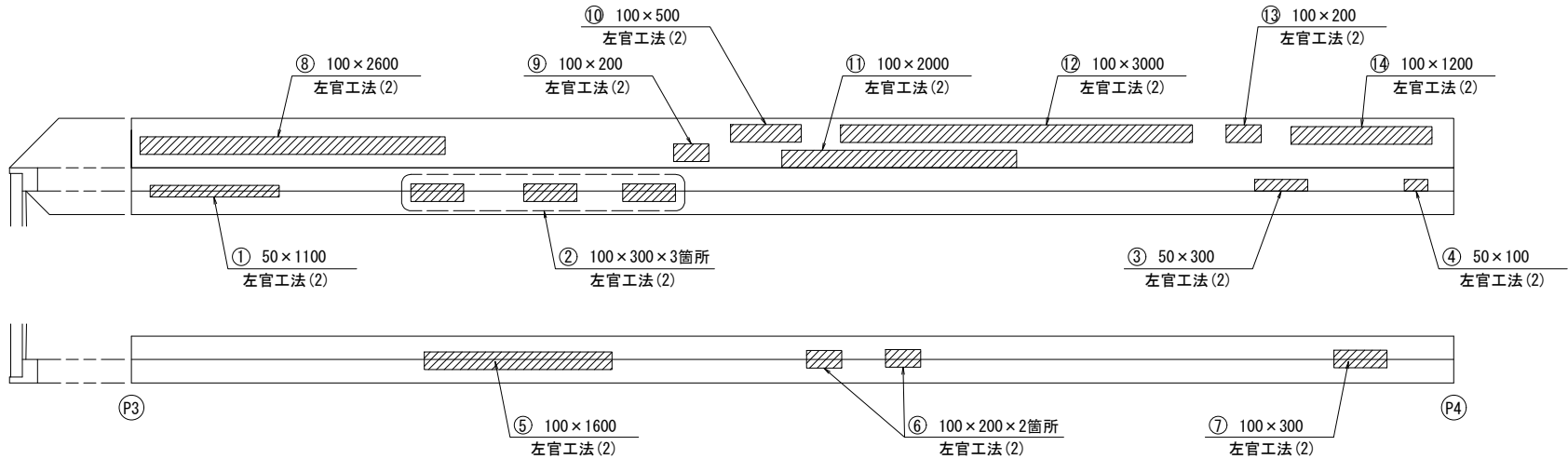


平面図

桁下面



第4径間 地覆



ひびわれ注入工
(0.2~1.0mm未満) 数量表
＜第3径間＞

No.	幅 (mm)	本数	延長 (mm)
床版			
h1	0.2	1	400
h2	0.2	1	700
合 計			1100

左官工法 (2) 数量表 [平均深さ80mm]
＜第3径間＞

部材	No.	損傷範囲 (mm)	カッター範囲 W x L (mm)	箇所	V (m3)
地覆	1	100 x 900	200 x 1000	1	0.0160
地覆	2	50 x 100	100 x 200	1	0.0016
地覆	3	100 x 380	200 x 480	1	0.0077
地覆	4	100 x 2500	200 x 2600	1	0.0416
地覆	5	100 x 2800	150 x 2900	1	0.0348
地覆	6	100 x 200	150 x 300	1	0.0036
地覆	7	100 x 900	150 x 1000	1	0.0120
地覆	8	50 x 100	150 x 200	1	0.0024
地覆	9	100 x 700	150 x 800	1	0.0096
地覆	10	50 x 100	150 x 200	1	0.0024
地覆	11	50 x 150	150 x 250	1	0.0030
合 計					0.1347

左官工法 (1) 数量表 [平均深さ30mm]
＜第3径間＞

部材	No.	損傷範囲 (mm)	カッター範囲 W x L (mm)	箇所	V (m3)
地覆	1	100 x 850	150 x 950	1	0.0043
合 計					0.0043

左官工法 (2) 数量表 [平均深さ80mm]
＜第4径間＞

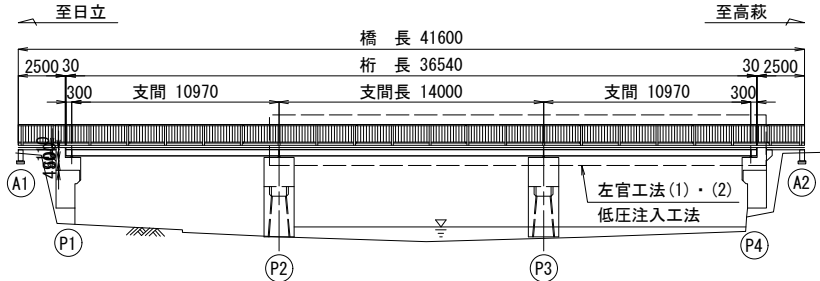
部材	No.	損傷範囲 (mm)	カッター範囲 W x L (mm)	箇所	V (m3)
地覆	1	50 x 1100	150 x 1200	1	0.0144
地覆	2	100 x 300	200 x 400	3	0.0192
地覆	3	50 x 300	100 x 400	1	0.0032
地覆	4	50 x 100	100 x 200	1	0.0016
地覆	5	100 x 1600	200 x 1700	1	0.0272
地覆	6	100 x 200	200 x 300	2	0.0096
地覆	7	100 x 300	200 x 400	1	0.0064
地覆	8	100 x 2600	200 x 2700	1	0.0432
地覆	9	100 x 200	200 x 300	1	0.0048
地覆	10	100 x 500	200 x 600	1	0.0096
地覆	11	100 x 2000	150 x 2100	1	0.0252
地覆	12	100 x 3000	200 x 3100	1	0.0496
地覆	13	100 x 200	200 x 300	1	0.0048
地覆	14	100 x 1200	200 x 1300	1	0.0208
合 計					0.2396

凡 例

補修の種類	表 示
左官工法 (1)	
左官工法 (2)	
ひびわれ	

- 注記：
- 補修箇所は、必ず現場実測確認の上で施工を行うこと。
 - 施工に際しては、必ず現地にて補修箇所及び寸法・数量を確認の上行うこと。
 - 本図に示した箇所以外で同様の損傷が確認された場合、監督職員と協議の上同様の対策を実施すること。
 - 脆弱部は、はつり落とすこと。
 - カッター工、はつり工の施工に際しては既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。

配置図 S=1:200

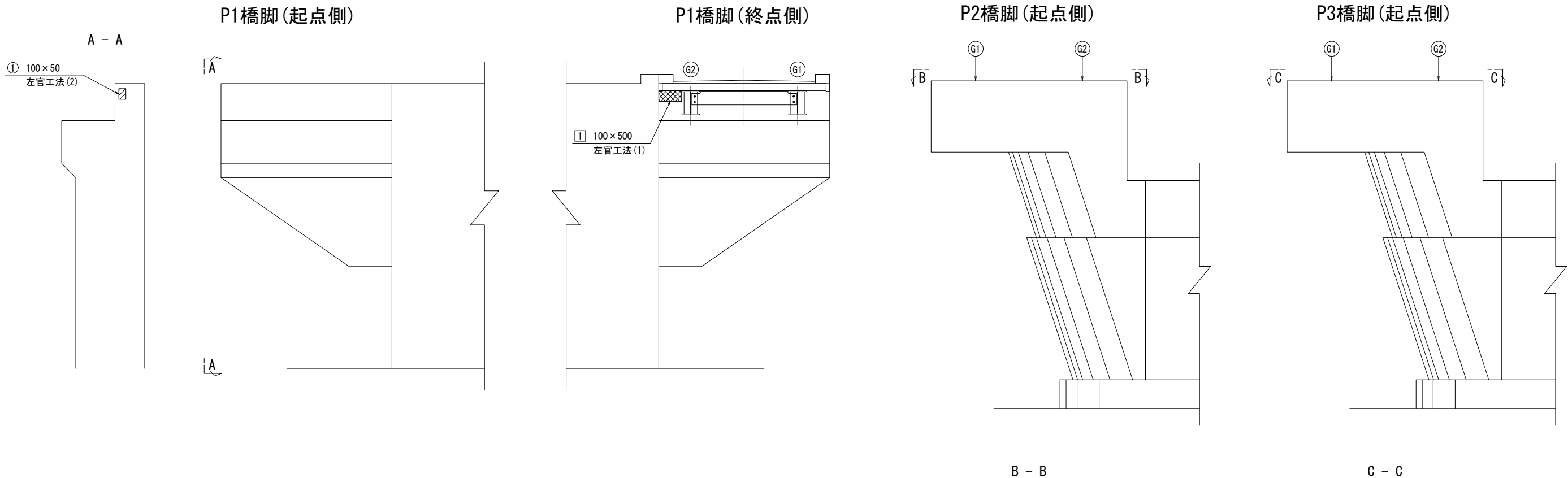


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	稲村橋側道橋（下り） コンクリート補修詳細図（2）		
縮 尺	図 示	図面番号	36 の 23
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 エイト日本技術開発		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

稲村橋側道橋(下り) コンクリート補修詳細図(3) S=1:30

下部工



左官工法(2) 数量表 [平均深さ80mm]
＜P1橋脚＞

部材	No.	損傷範囲(mm)	カッター範囲 W x L (mm)	箇所	V(m3)
柱部・壁部	1	100×50	200×150	1	0.0024
合 計					0.0024

左官工法(1) 数量表 [平均深さ30mm]
＜P1橋脚＞

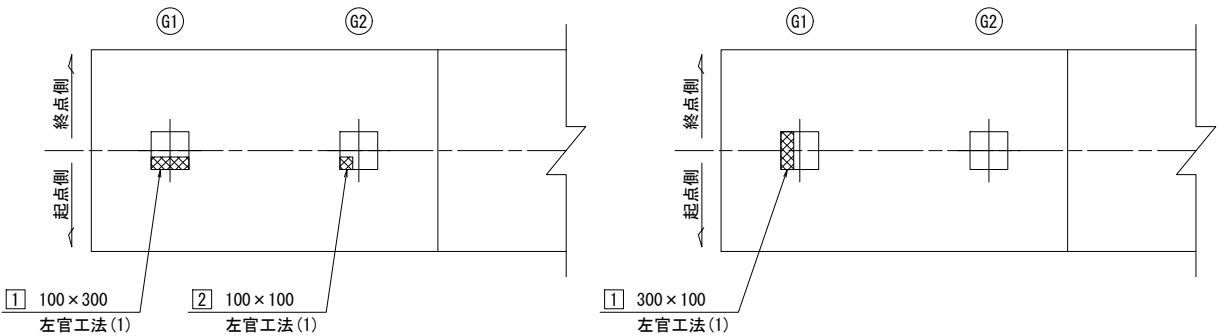
部材	No.	損傷範囲(mm)	カッター範囲 W x L (mm)	箇所	V(m3)
柱部・壁部	1	100×500	150×550	1	0.0025
合 計					0.0025

左官工法(1) 数量表 [平均深さ30mm]
＜P2橋脚＞

部材	No.	損傷範囲(mm)	カッター範囲 W x L (mm)	箇所	V(m3)
沓座	1	100×300	150×300	1	0.0014
沓座	2	100×100	150×150	1	0.0007
合 計					0.0021

左官工法(1) 数量表 [平均深さ30mm]
＜P3橋脚＞

部材	No.	損傷範囲(mm)	カッター範囲 W x L (mm)	箇所	V(m3)
沓座	1	300×100	300×150	1	0.0014
合 計					0.0014

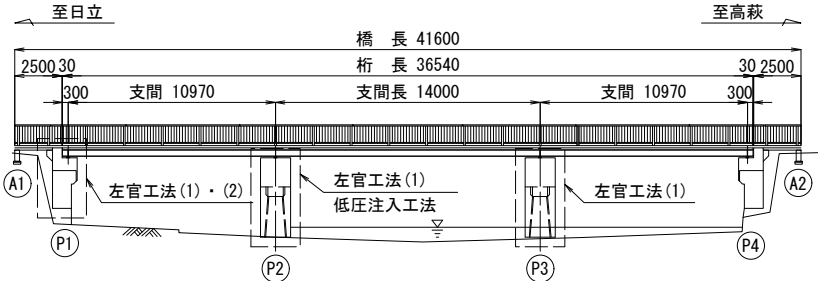


凡 例

補修の種類	表 示
左官工法(1)	
左官工法(2)	

- 注記：
- 補修箇所は、必ず現場実測確認の上で施工を行うこと。
 - 施工に際しては、必ず現地にて補修箇所及び寸法・数量を確認の上行うこと。
 - 本図に示した箇所以外で同様の損傷が確認された場合、監督職員と協議の上同様の対策を実施すること。
 - 脆弱部は、はつり落とすこと。
 - カッター工、はつり工の施工に際しては既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。

配置図 S=1:200

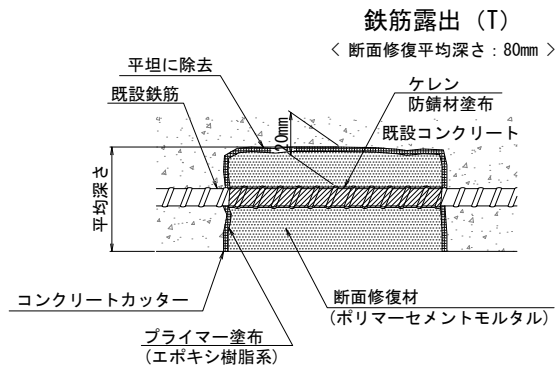


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	稲村橋側道橋(下り) コンクリート補修詳細図(3)		
縮 尺	図 示	図面番号	36 の 24
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 エイト日本技術開発		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

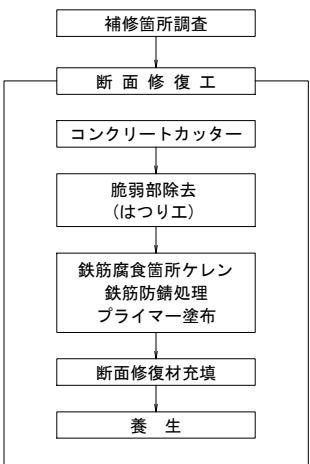
稲村橋側道橋(下り) コンクリート補修詳細図(4) S=1:30

左官工法(2) 詳細図



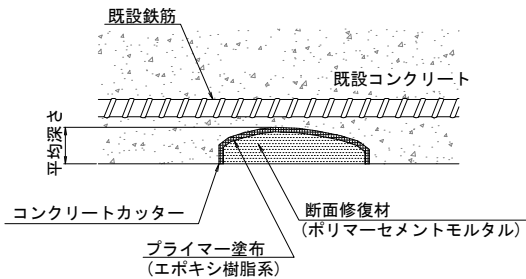
- ※ コンクリートのはつりは、損傷部を囲む長方形の範囲に対して深さ10mm程度コンクリートカッターにより切込みを入れる。
- ※ 脆弱部および鋼材の裏側までコンクリートをはつり取る。
- ※ 腐食した鋼材の錆を完全に除去する。

施工手順



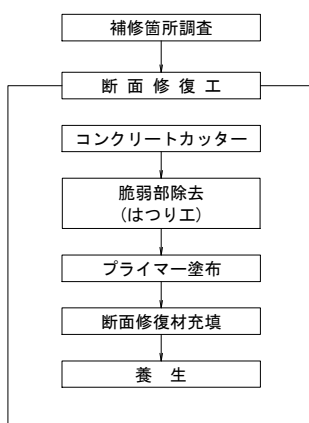
左官工法(1) 詳細図

変形・欠損 (K), 剥離 (H), うき (U)
＜断面修復平均深さ：30mm＞



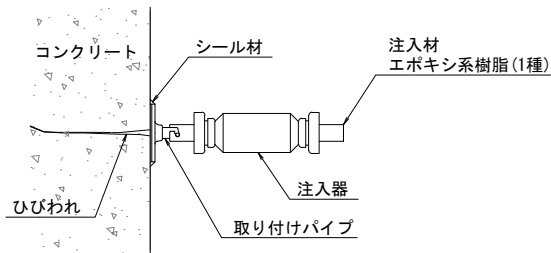
- ※ コンクリートのはつりは、損傷部を囲む長方形の範囲に対して深さ10mm程度コンクリートカッターにより切込みを入れる。

施工手順

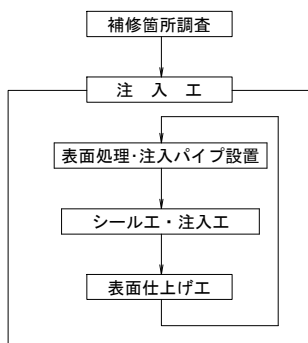


低圧注入工法詳細図

(ひびわれ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満)
(低圧樹脂注入工法)



施工手順



左官工法(2) 数量表(鉄筋ケレン・防錆処理含む)

(1橋当り)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
コンクリート殻処理	無筋	m3	0.43	殻運搬含む 参考重量 1.01t
断面修復材	ポリマーセメントモルタル	m3	0.43	

左官工法(1) 数量表(鉄筋ケレン・防錆処理含まない)

(1橋当り)

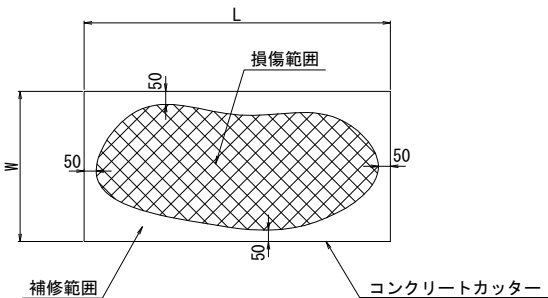
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
コンクリート殻処理	無筋	m3	0.01	殻運搬含む 参考重量 0.02t
断面修復材	ポリマーセメントモルタル	m3	0.01	

低圧注入工法 数量表

(1橋当り)

工 法	名 称	単位	数 量	備 考
低圧樹脂注入工法	施工延長	m	1.10	
	シール材	kg	0.168	エポキシ系 ロス率37%含む
	注入材	kg	0.198	エポキシ系樹脂(1種) ロス率15%含む
	注入器具	本	4	0.30m当り1本

断面修復範囲図



- ※ 損傷部より50mm程度の余裕を確保し、50mmラウンドの長方形の範囲に対して断面修復を行う。

注記：

- 補修箇所は、必ず現場実測確認の上で施工を行うこと。
- 施工に際しては、必ず現地にて補修箇所及び寸法・数量を確認の上行うこと。
- 本図に示した箇所以外で同様の損傷が確認された場合、監督職員と協議の上同様の対策を実施すること。
- 脆弱部は、はつり落とすこと。
- カッター工、はつり工の施工に際しては既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。

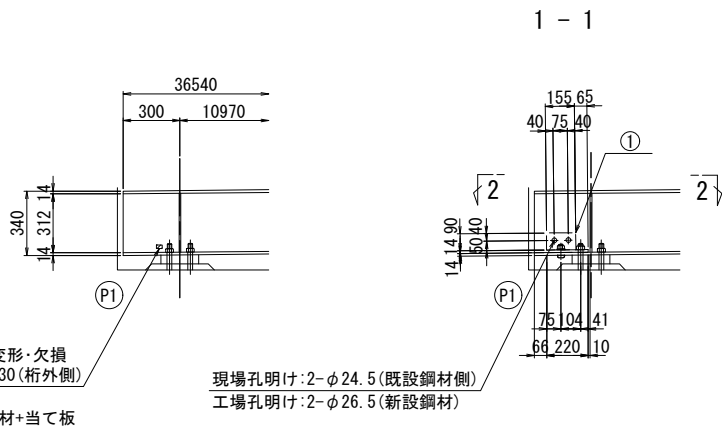
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	稲村橋側道橋(下り) コンクリート補修詳細図(4)		
縮 尺	図 示	図面番号	36 の 25
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 エイト日本技術開発		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

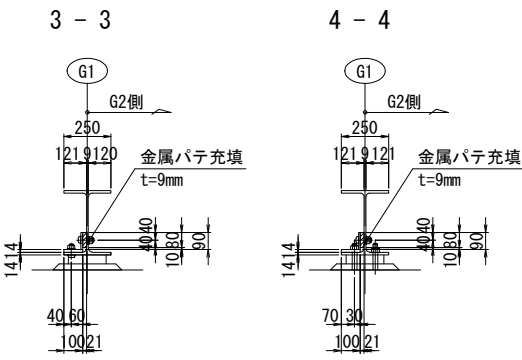
稲村橋側道橋(下り) 当て板補修詳細図 S=1:20

当て板補修

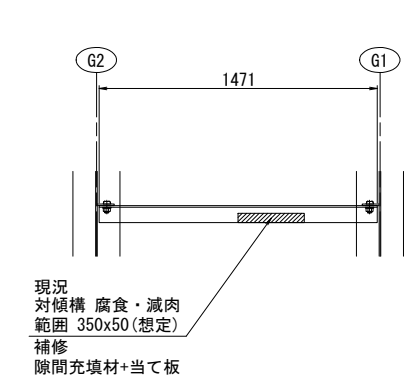
現況



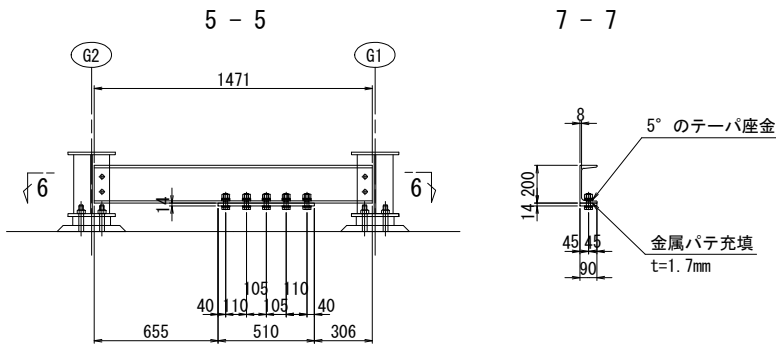
当て板補修(1)



現況

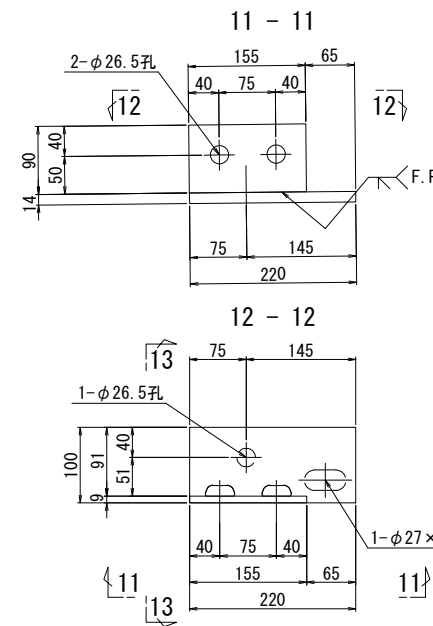


当て板補修(2)



① 新設鋼材詳細図 S=1:5

13 - 13

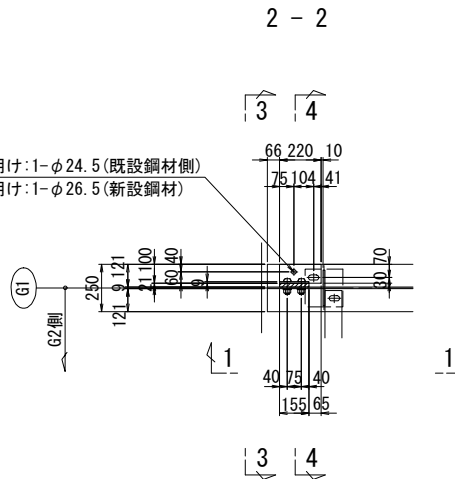


新設材料(1基当り)

製作数: 1基

- 1-PL 90×9×155
- 1-PL 100×14×220
- 1-FILL PL 80×21×155 (SS400)
- 1-TCB M22×65 (S10T)
- 2-TCB M22×75 (S10T)
- 現場孔明箇所数 (φ24.5孔)
Web側 2箇所
Flg側 1箇所

現場孔明け: 1-φ24.5 (既設鋼材側)
工場孔明け: 1-φ26.5 (新設鋼材)

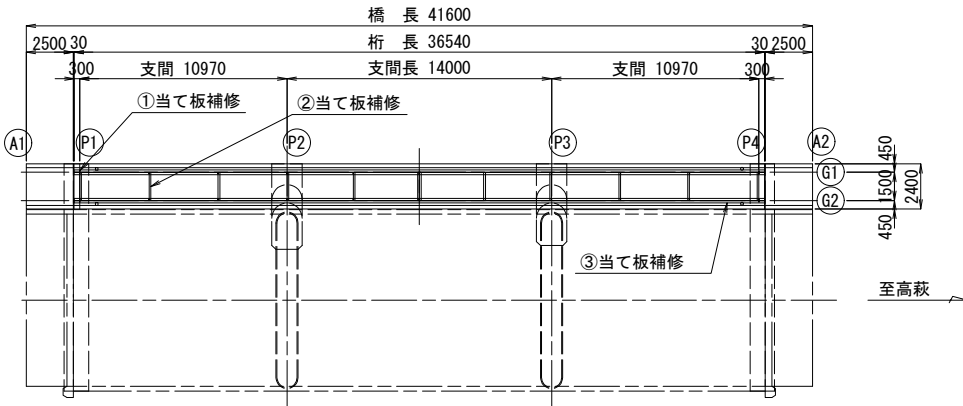


新設材料(1基当り)

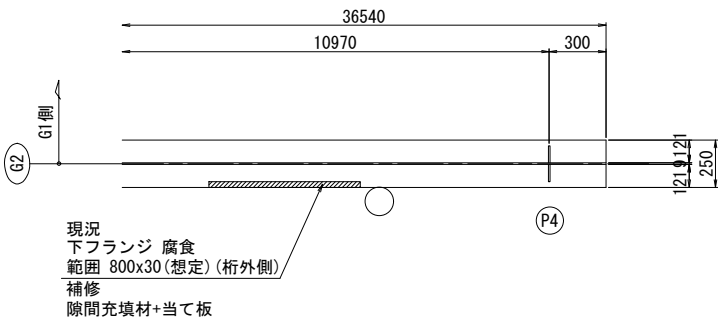
製作数: 1基

- 1-PL 90×14×510 (SS400)
- 5-HTB M22×75 (F10T)
- 現場孔明箇所数 (φ24.5孔)
Flg側 5箇所

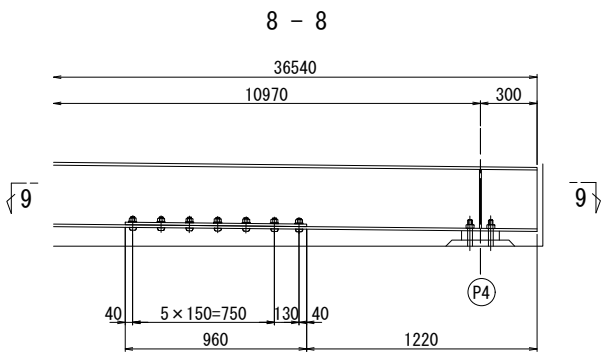
配置図 S=1:200



現況



当て板補修(3)

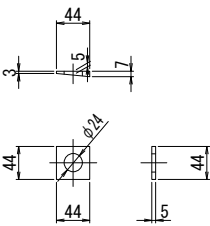


新設材料(1基当り)

製作数: 1基

- 1-PL 80×14×960 (SS400)
- 7-TCB M22×65 (S10T)
- 現場孔明箇所数 (φ24.5孔)
Flg側 7箇所

テーパ座金詳細図 S=1:5



1基当り (製作数: 1)
5-PL 44×9×44 (SS400) (テーパ座金)

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

当て板補修(塗装塗替)数量表

	規格	塗装部位	(1橋当り) 面積 (㎡)
素地調整面積	2種ケレン	主桁Web, Flg, 対傾構	0.4
連結部塗装面積	F-11	主桁Web, Flg, 対傾構	0.3
現場塗装面積	Rc-II	主桁Web, Flg, 対傾構	0.1

- 注記:
- 補修箇所は、必ず現場実測確認の上で施工を行うこと。
 - 施工に際しては、必ず現地に補修箇所及び寸法・数量を確認の上行うこと。
 - 本図に示した箇所以外で同様の損傷が確認された場合、監督職員と協議の上同様の対策を実施すること。
 - 塗装施工の際は飛散防止に留意すること。
 - 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 - 本補修設計上に示す金属パテ製品は「ラスタップ1100 (NETIS登録 No. KT-120003-A)」を想定しているが、同等品以上の性能であれば監督員との協議の上、施工承諾できるものとする。
 - 施工前に既設アンカーボルトの余長を確認のこと。当板鋼材設置後、ねじ切り部の長さが不足になる可能性がある場合、現場監督員と協議の事。

工事名	R7国道6号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図面名	稲村橋側道橋(下り) 当て板補修詳細図		
縮尺	図示	図面番号	36の26
年月日	令和8年6月日		
設計会社名	株式会社 エイト日本技術開発		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

稲村橋側道橋（下り） 当て板補修数量表

当て板補修

当て板補修(1)数量表

1.0箇所当り

名称	規格	単位	数量	摘要
当て板	SM400A	kg	3	
当て板	SS400	kg	2	
TCB	M22×65	組	1	
TCB	M22×75	組	2	
下塗り材	有機ジンクリッチペイント	kg	0.007	
下塗り材	弱溶剤形変性エポキシ樹脂下塗	kg	0.012	
中塗り材	弱溶剤形ふっ素樹脂用塗料中塗り	kg	0.004	
上塗り材	弱溶剤形ふっ素樹脂用塗料上塗り	kg	0.003	
芯出し調整工		m2	0.101	
補修塗装工(素地調整)		m2	0.101	
鋼桁孔明工		本	3	
補強部材取付工		部材	1	
高力ボルト本締め工		本	3	
下塗り	ミストコート 変性エポキシ樹脂塗料(1層)	m2	0.069	
下塗り	超厚膜形エポキシ樹脂塗料(2回)	m2	0.069	
中塗り	ふっ素樹脂塗料用 淡彩	m2	0.069	
上塗り	ふっ素樹脂塗料用 淡彩	m2	0.069	
現場塗装	RC-Ⅱ	m2	0.031	
金属パテ	セラミック系金属補修材	m2	0.001	当初計上無し

当て板補修(2)数量表

1.0箇所当り

名称	規格	単位	数量	摘要
当て板	SS400	kg	5	
HTB	M22×75	組	5	
下塗り材	有機ジンクリッチペイント	kg	0.001	
下塗り材	弱溶剤形変性エポキシ樹脂下塗	kg	0.003	
中塗り材	弱溶剤形ふっ素樹脂用塗料中塗り	kg	0.001	
上塗り材	弱溶剤形ふっ素樹脂用塗料上塗り	kg	0.001	
芯出し調整工		m2	0.099	
補修塗装工(素地調整)		m2	0.099	
鋼桁孔明工		本	5	
補強部材取付工		部材	1	
高力ボルト本締め工		本	5	
下塗り	ミストコート 変性エポキシ樹脂塗料(1層)	m2	0.091	
下塗り	超厚膜形エポキシ樹脂塗料(2回)	m2	0.091	
中塗り	ふっ素樹脂塗料用 淡彩	m2	0.091	
上塗り	ふっ素樹脂塗料用 淡彩	m2	0.091	
現場塗装	RC-Ⅱ	m2	0.008	
金属パテ	セラミック系金属補修材	m2	0.018	当初計上無し

当て板補修(3)数量表

1.0箇所当り

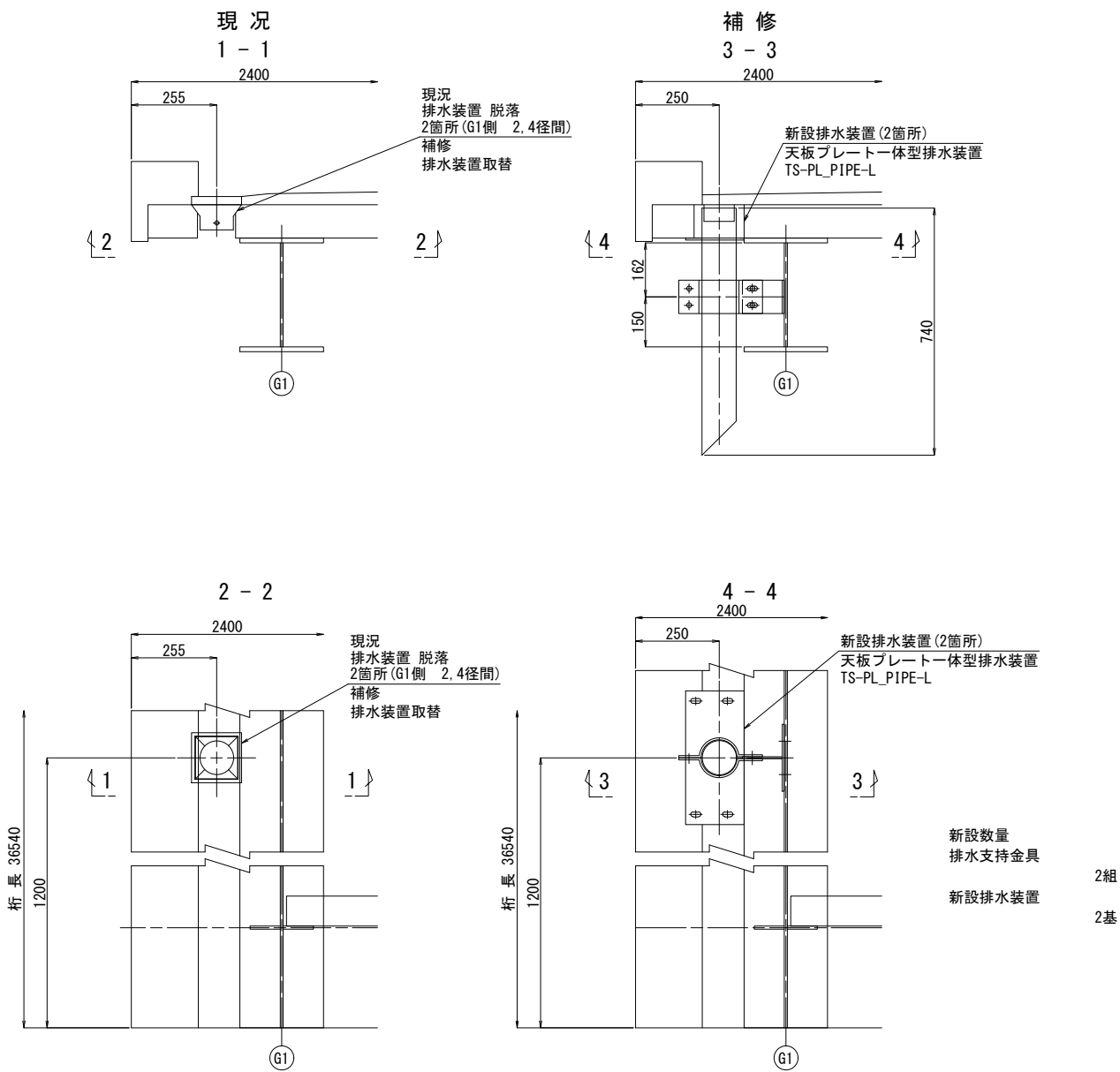
名称	規格	単位	数量	摘要
当て板	SS400	kg	8	
TCB	M22×65	組	7	
下塗り材	有機ジンクリッチペイント	kg	0.012	
下塗り材	弱溶剤形変性エポキシ樹脂下塗	kg	0.020	
中塗り材	弱溶剤形ふっ素樹脂用塗料中塗り	kg	0.007	
上塗り材	弱溶剤形ふっ素樹脂用塗料上塗り	kg	0.006	
芯出し調整工		m2	0.204	
補修塗装工(素地調整)		m2	0.204	
鋼桁孔明工		本	7	
補強部材取付工		部材	1	
高力ボルト本締め工		本	7	
下塗り	ミストコート 変性エポキシ樹脂塗料(1層)	m2	0.153	
下塗り	超厚膜形エポキシ樹脂塗料(2回)	m2	0.153	
中塗り	ふっ素樹脂塗料用 淡彩	m2	0.153	
上塗り	ふっ素樹脂塗料用 淡彩	m2	0.153	
現場塗装	RC-Ⅱ	m2	0.051	
金属パテ	セラミック系金属補修材	m2	0.024	当初計上無し

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	稲村橋側道橋(下り) 当て板補修数量表		
縮 尺	---	図面番号	36 の 27
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 エイト日本技術開発		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

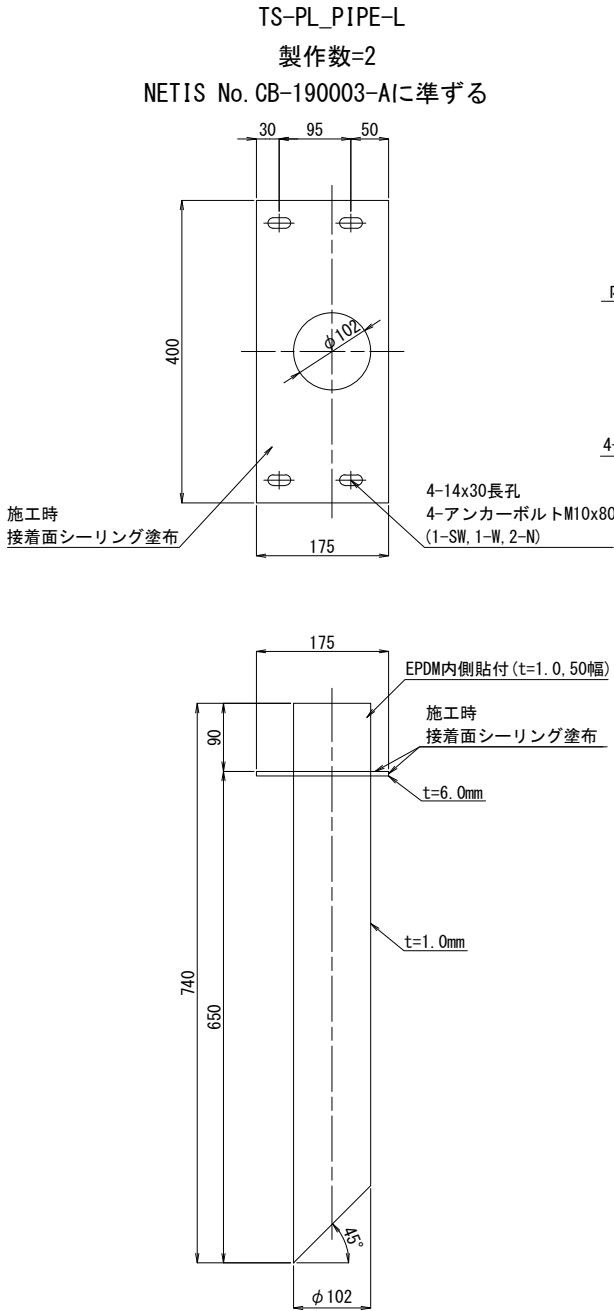
稲村橋側道橋(下り) 排水装置補修詳細図 S=1:10

排水装置取替

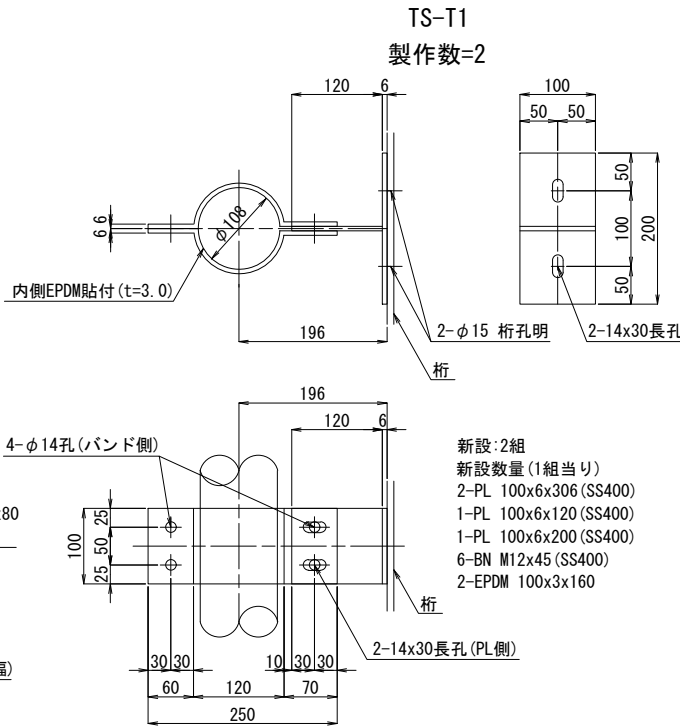


排水装置補修 数量表 (1橋当り)				
項目	規格	単位	数量	備考
排水装置取替	天板プレート一体型排水装置	基	2	

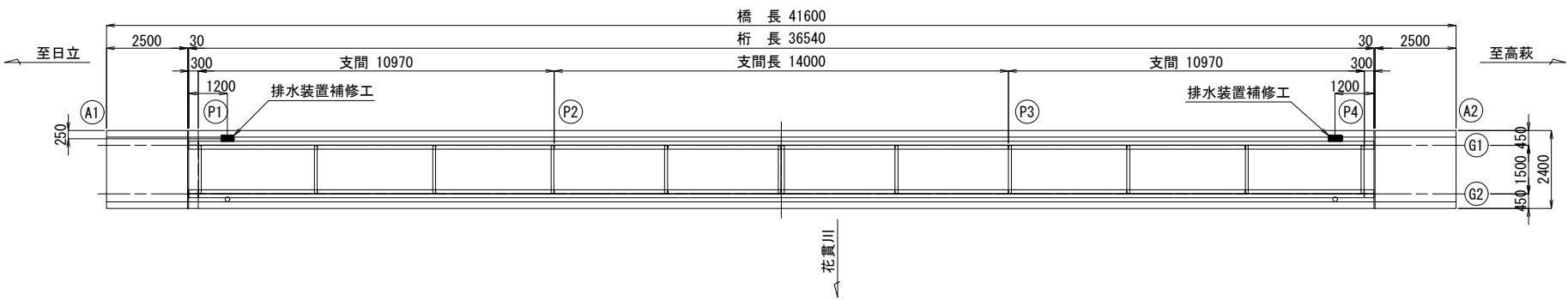
天板プレート一体型排水装置詳細図 S=1:5



取付金具詳細図 S=1:5



配置図 S=1:100



- 注記:
1. 施工前に必ず、現地計測を行って補修箇所、範囲形状等を確認し、現地状況と設計図面との整合を確認した上で施工すること。
 2. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
 3. 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
 4. 天板プレート一体型排水装置は、NETIS No. CB-190003-AIに準ずる。
 5. t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し耐食性向上の措置を講じる。

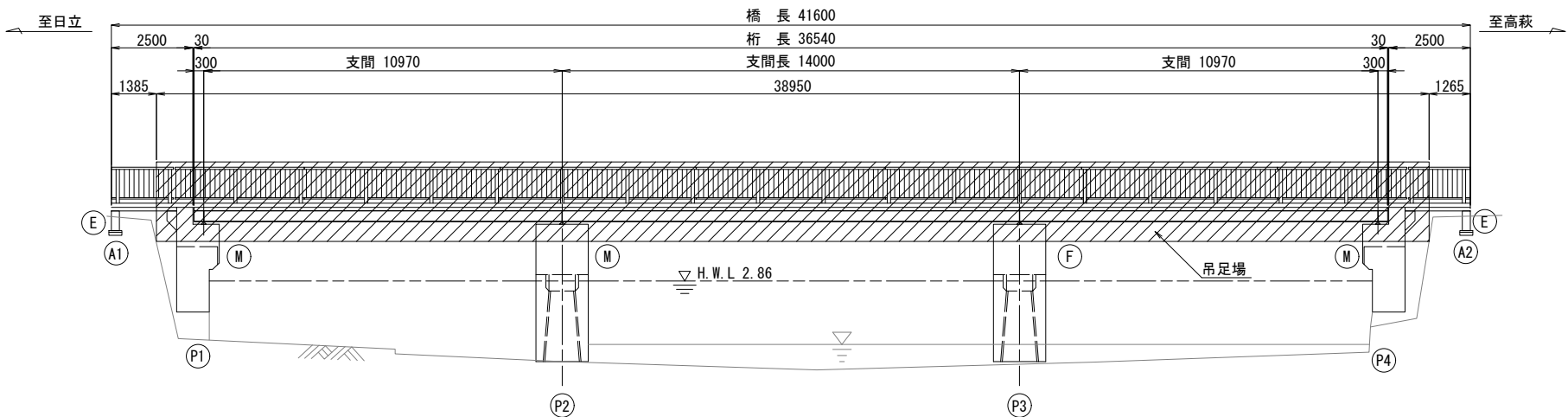
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道6号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事		
図面名	稲村橋側道橋(下り) 排水装置補修詳細図		
縮尺	図示	図面番号	36の28
年月日	令和8年6月日		
設計会社名	株式会社 エイト日本技術開発		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

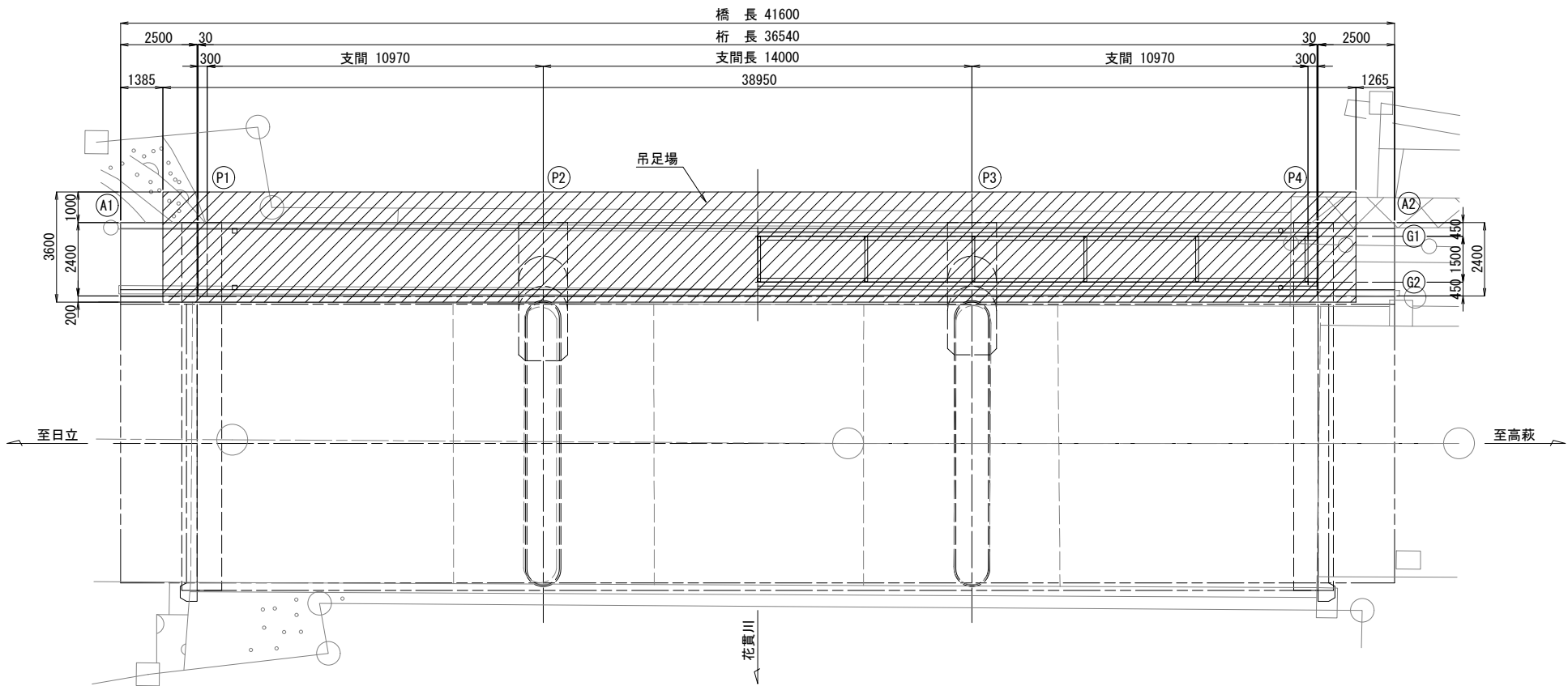
稲村橋側道橋(下り) 足場図

S=1:100

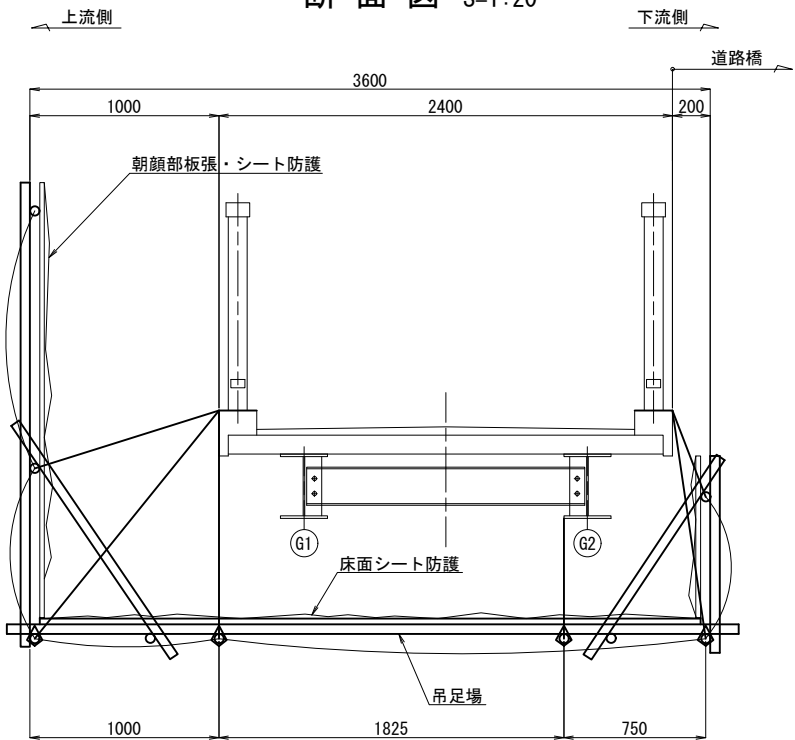
側面図



平面図



断面図 S=1:20



足場 数量表

	規格	単位	数 量	備 考
足場(1)	吊足場	m2	132.4	
足場(2)	両側朝顔	m2	132.4	
防護	シート防護	m2	132.4	

注記：
1. H.W.Lは、H28.6、二級河川花貫川水系河川整備基本方針に示される、花貫川の石滝地点（河口から0.32km）の計画高水位を示す。

現場制約事項	関係機関協議（河川（花貫川））
有	無

(注)
1. 上記の現場制約事項は、施工条件のうち、特に留意すべき事項を明示しているものであり、工事着手にあたっては、設計審査会等において、受発注者間で厳格に確認する。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	稲村橋側道橋(下り) 足場図		
縮 尺	図 示	図面番号	36 の 29
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 エイト日本技術開発		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

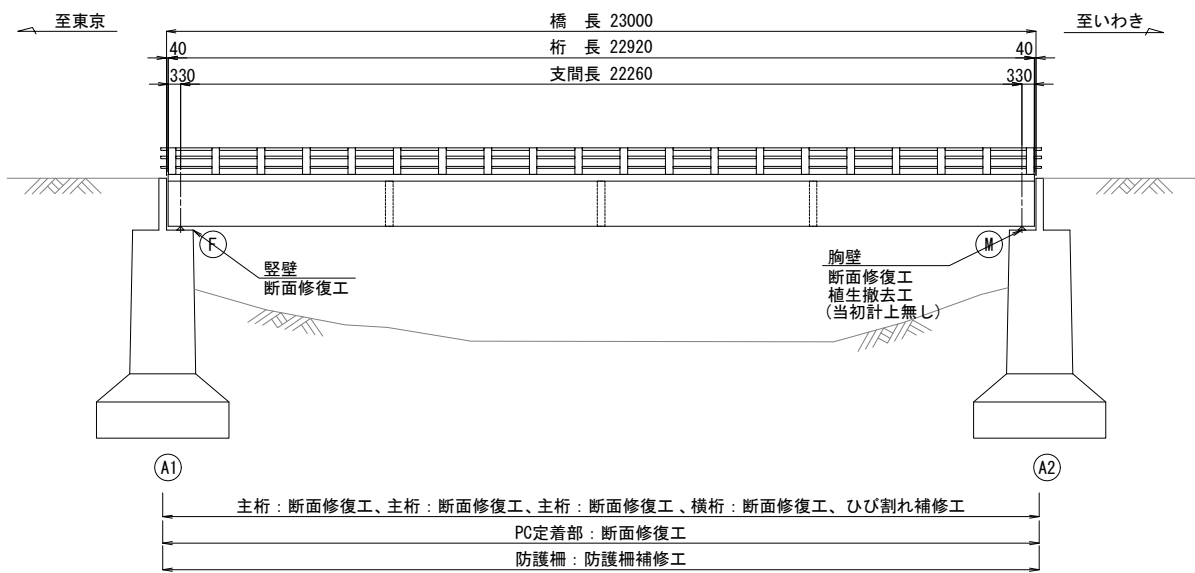
稲村橋側道橋（下り） 数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量								計	計上値	摘要
			A1	P1	P2	P3	P4	A2					
			A1～P1	P1～P2	P2～P3	P3～P4	P4～A2						
橋梁保全工事		式	1								1	1	
橋梁付属物工		式	1								1	1	
排水装置補修工		式	1								1	1	
排水装置取替		基		1		1				2	2		
橋梁補修工		式	1								1	1	
当て板補修工		式	1								1	1	
当て板補修(1)	SS400A,SS400	箇所		1						1	1		
当て板補修(2)	SS400	箇所		1						1	1		
当て板補修(3)	SS400	箇所				1				1	1		
ひび割れ補修工		式	1								1	1	
低圧注入工法	25m未満 エポキシ	構造物(m)	1.1								1.1	1(1.1)	
断面修復工		式	1								1	1	
左官工法(1)	1構造物当り修復延べ体積 0.445m3 ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理無	構造物(m3)	0.003	0.002	0.001				0.011	1(0.011)			
			0.001	0.004									
左官工法(2)	1構造物当り修復延べ体積 0.445m3 ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有	構造物(m3)	0.002						0.434	1(0.434)			
			0.012	0.047	0.134	0.239							
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	コンクリート殻(無筋)	m3	0.445								0.445	0.4	
殻処分	コンクリート殻(無筋)	m3	0.445								0.445	0.4	
現場塗装工		式	1								1	1	
橋梁塗装工		式	1								1	1	
塗替塗装	RC-Ⅰ	m2	190.3								190.3	190	
塗膜除去工		式	1								1	1	
塗膜除去	塗膜剥離剤塗布(2回)塗膜除去	m2	190.3								190.3	190	
廃材の回収・積込		m2	380.6								380.6	380	
仮設工		式	1								1	1	
仮設工		式	1								1	1	
足場(1)【夜間】	吊足場	m2	132.4								132.4	130	
足場(2)【夜間】	両側朝顔	m2	132.4								132.4	130	
防護【夜間】	シート防護	m2	132.4								132.4	130	
ばく露防止対策工		式	1								1	1	
鉛対応環境対策資機材費		式	1								1	1	

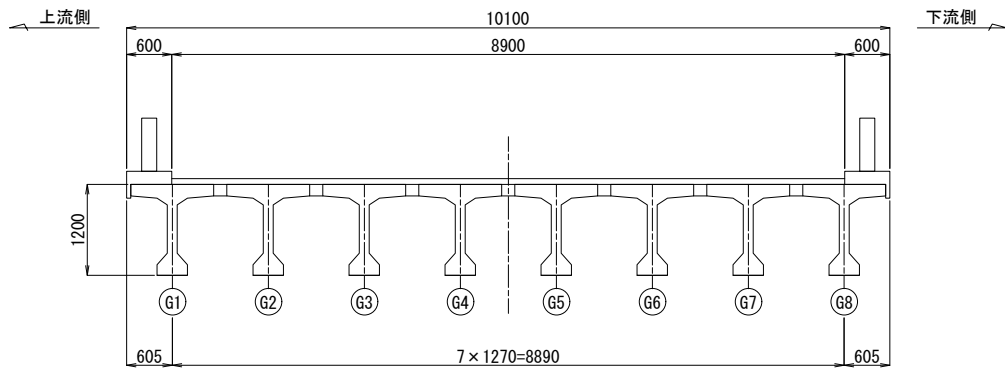
工 事 名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	稲村橋側道橋(下り) 数量総括表		
縮 尺	—	図面番号	36 の 30
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名			
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

細田橋 補修一般図 S=1:100

側面図

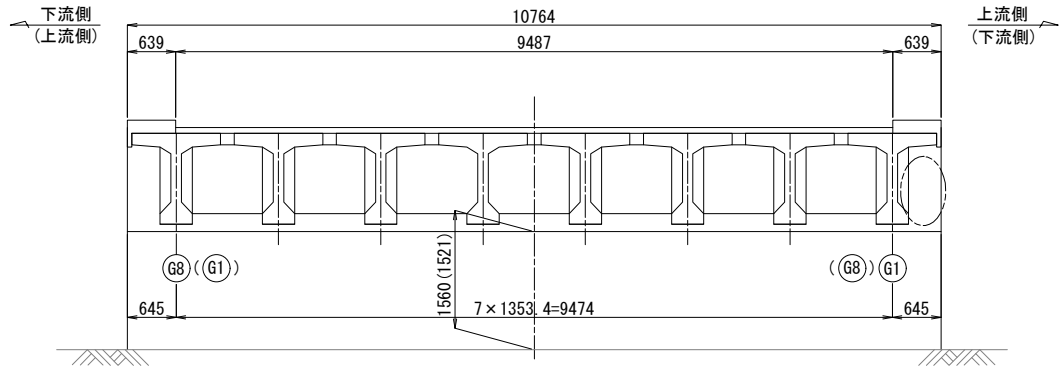


上部工標準断面図 S=1:50

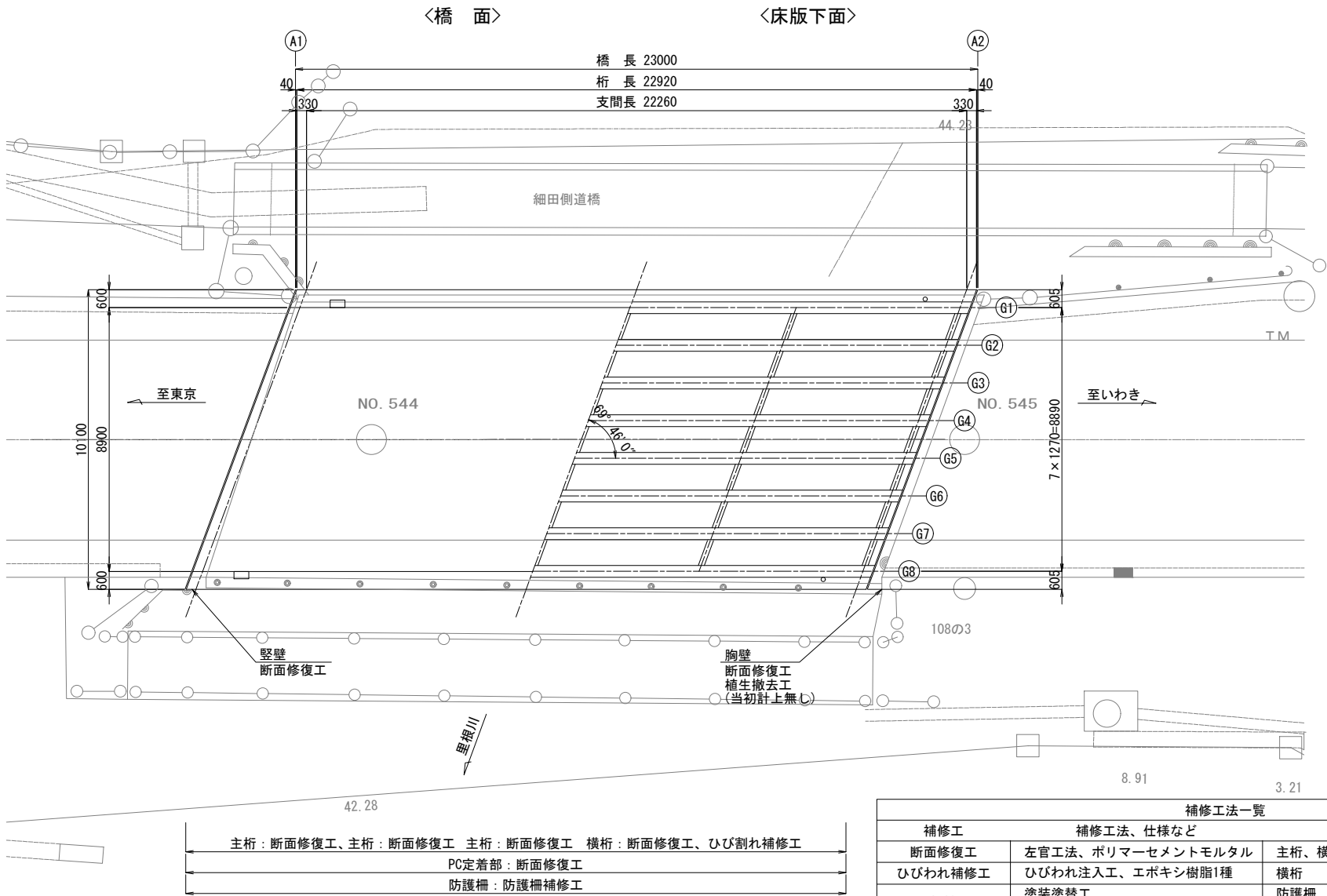


下部工正面図 S=1:50

A1 (A2) 橋台



平面図



- 注記：
- 本図面は昭和33年度の「S33細田橋(上部)」と「R1常陸管内橋梁他歩道橋補修工事」を元に復元した。
 - 本図の地形平面図は平成25年度に調査された管理用平面図である。

現場制約事項	関係機関協議 (河川 (里根川))
(有)	無

(注)
1. 上記の現場制約事項は、施工条件のうち、特に留意すべき事項を明示しているものであり、工事着手にあたっては、設計審査会等において、受発注者間で厳格に確認する。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

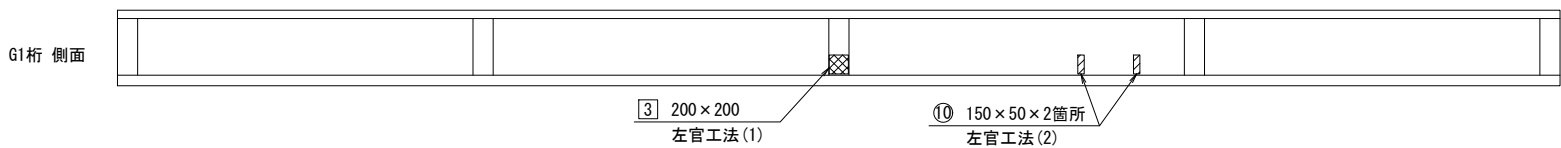
補修工法一覧			
補修工	補修工法、仕様など	補修対象	摘要
断面修復工	左官工法、ポリマーセメントモルタル	主桁、横桁、PC定着部、A1堅壁、A2胸壁	
ひびわれ補修工	ひびわれ注入工、エポキシ樹脂1種	横桁	
防護柵補修工	塗装塗替工	防護柵	
	ボルト締付工	防護柵	当初計上無し
植生撤去工	植生撤去	A2橋台橋座	"
グラウト充填工		主桁	"

工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事		
図 面 名	細田橋 補修一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	36 の 31
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 エイト日本技術開発		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

細田橋 コンクリート補修詳細図(1)

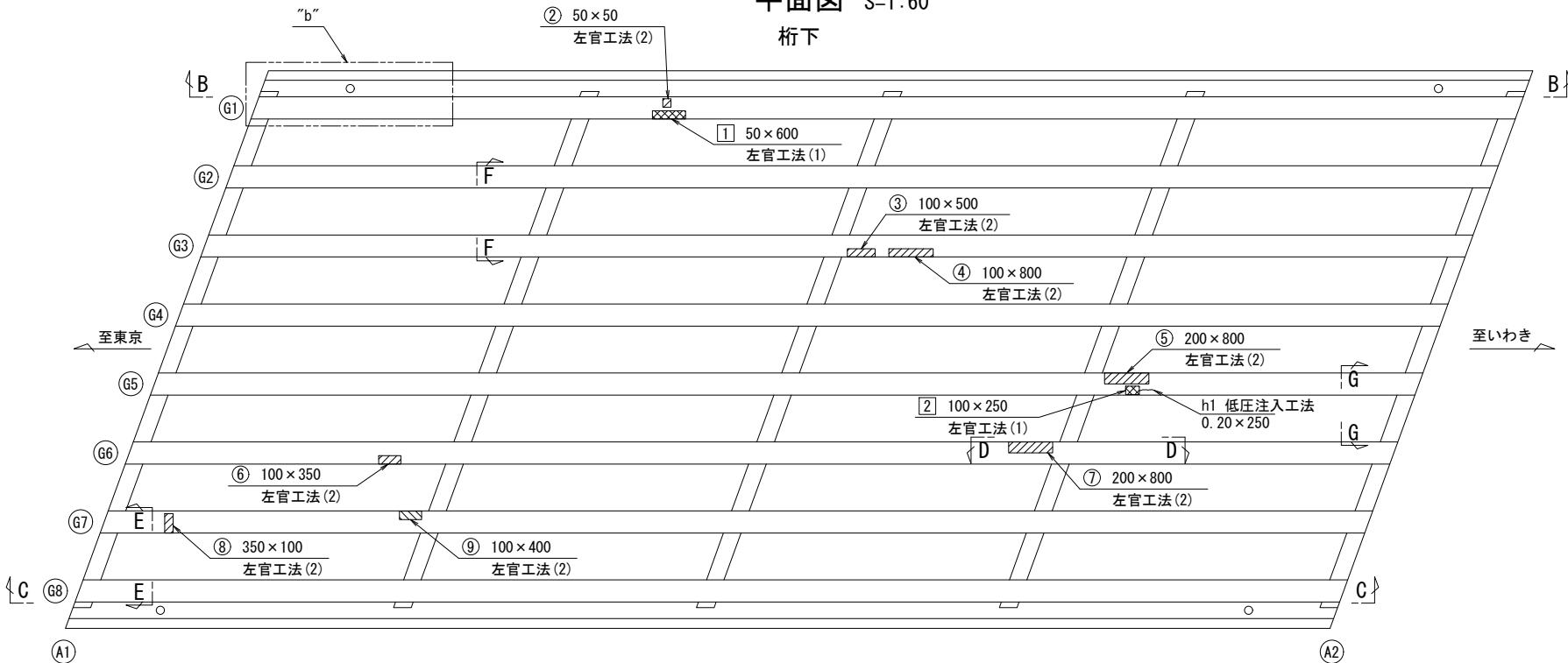
側面図 S=1:60

B - B



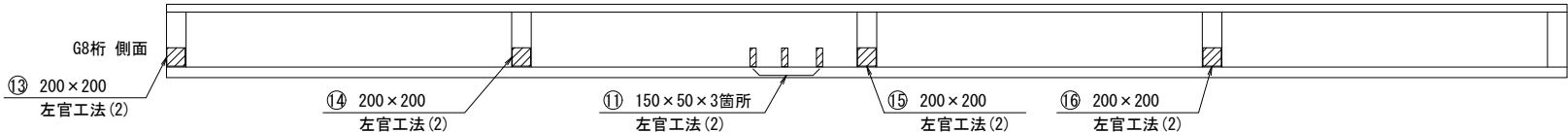
平面図 S=1:60

桁下

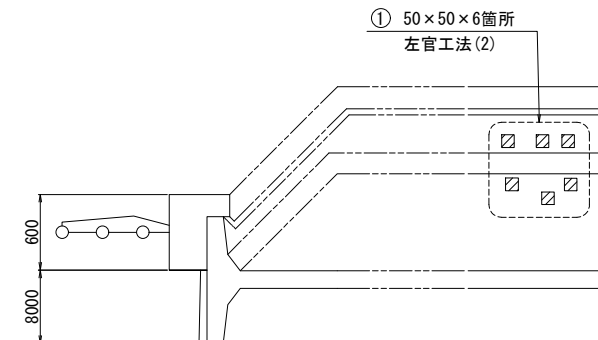


側面図 S=1:60

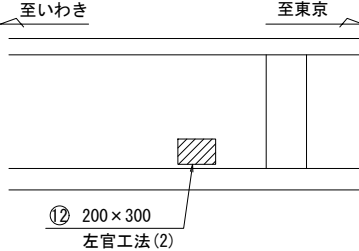
C - C



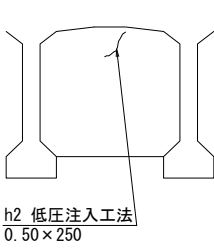
“b”部詳細図



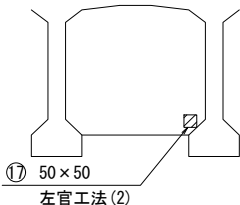
D - D



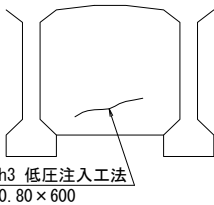
E - E



F - F



G - G



低圧注入工法
(0.2~1.0mm未満) 数量表
第1径間

No.	幅(mm)	本数	延長(mm)
主桁			
h1	0.2	1	250
横桁			
h2	0.5	1	250
h3	0.8	1	600
合 計			1100

左官工法(1) 数量表 [平均深さ30mm]
<第1径間>

部材	No.	損傷範囲(mm)	カッター範囲 W x L (mm)	箇所	V(m3)
主桁	1	50 x 600	150 x 700	1	0.0032
主桁	2	100 x 250	200 x 350	1	0.0021
PC定着部	3	200 x 200	300 x 300	1	0.0027
合 計					0.0080

左官工法(2) 数量表 [平均深さ80mm]
<第1径間>

部材	No.	損傷範囲(mm)	カッター範囲 W x L (mm)	箇所	V(m3)
主桁	1	50 x 50	150 x 150	6	0.0108
主桁	2	50 x 50	150 x 150	1	0.0018
主桁	3	100 x 500	200 x 600	1	0.0096
主桁	4	100 x 800	200 x 900	1	0.0144
主桁	5	200 x 800	300 x 900	1	0.0216
主桁	6	100 x 350	200 x 450	1	0.0072
主桁	7	200 x 800	300 x 900	1	0.0216
主桁	8	350 x 100	450 x 200	1	0.0072
主桁	9	100 x 400	200 x 500	1	0.0080
主桁	10	150 x 50	250 x 150	2	0.0060
主桁	11	150 x 50	250 x 150	3	0.0090
主桁	12	200 x 300	300 x 400	1	0.0096
PC定着部	13	200 x 200	300 x 300	1	0.0072
PC定着部	14	200 x 200	300 x 300	1	0.0072
PC定着部	15	200 x 200	300 x 300	1	0.0072
PC定着部	16	200 x 200	300 x 300	1	0.0072
横桁	17	50 x 50	150 x 150	1	0.0018
合 計					0.1574

凡 例

補修の種類	表 示
左官工法(1)	
左官工法(2)	
ひびわれ	

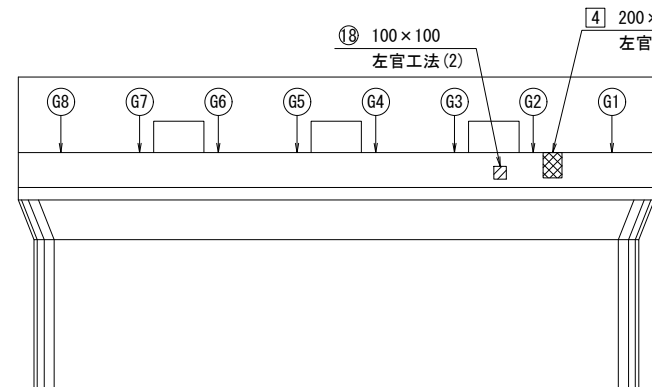
- 注記：
- 補修箇所は、必ず現場実測確認の上で施工を行うこと。
 - 施工に際しては、必ず現地にて補修箇所及び寸法・数量を確認の上行うこと。
 - 本図に示した箇所以外で同様の損傷が確認された場合、監督職員と協議の上同様の対策を実施すること。
 - 脆弱部は、はつり落とすこと。
 - カッター工、はつり工の施工に際しては既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	細田橋 コンクリート補修詳細図(1)		
縮 尺	図 示	図面番号	36 の 32
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 エイト日本技術開発		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

細田橋 コンクリート補修詳細図(2) S=1:60

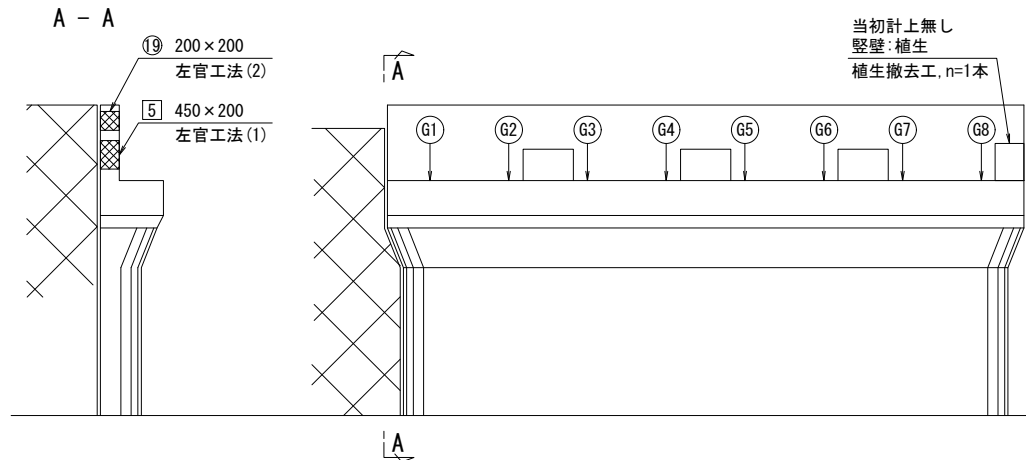
A1橋台



左官工法(1) 数量表 [平均深さ30mm]
＜A1橋台＞

部材	No.	損傷範囲 (mm)	カッター範囲 W x L (mm)	箇所	V (m3)
縦壁	4	200×150	300×250	1	0.0023
合 計					0.0023

A2橋台



左官工法(1) 数量表 [平均深さ30mm]
＜A2橋台＞

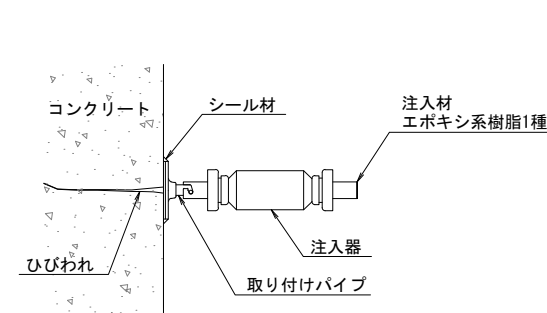
部材	No.	損傷範囲 (mm)	カッター範囲 W x L (mm)	箇所	V (m3)
胸壁	5	450×200	550×200	1	0.0033
合 計					0.0033

左官工法(2) 数量表 [平均深さ80mm]
＜A1橋台＞

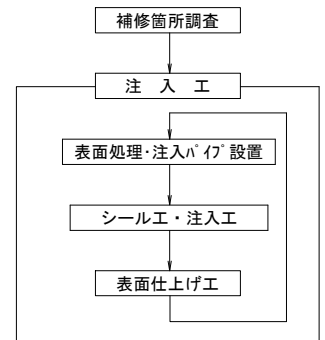
部材	No.	損傷範囲 (mm)	カッター範囲 W x L (mm)	箇所	V (m3)
縦壁	18	100×100	200×200	1	0.0032
合 計					0.0032

低圧注入工法詳細図

(ひびわれ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満)



施工手順



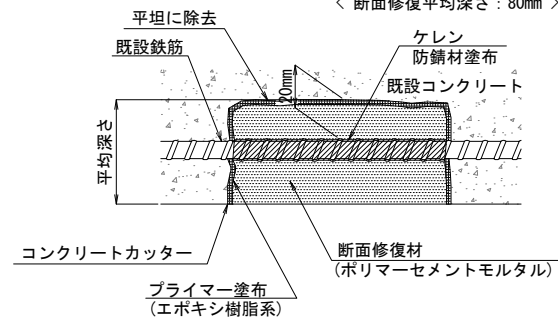
左官工法(2) 数量表 [平均深さ80mm]
＜A2橋台＞

部材	No.	損傷範囲 (mm)	カッター範囲 W x L (mm)	箇所	V (m3)
胸壁	19	200×200	300×200	1	0.0048
合 計					0.0048

左官工法(2) 詳細図

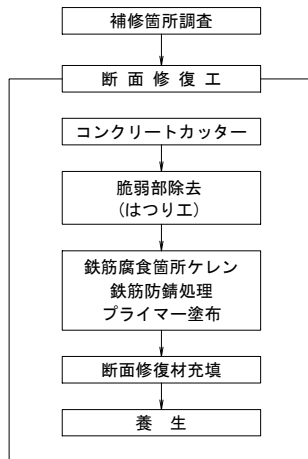
鉄筋露出 (T)

＜断面修復平均深さ：80mm＞



- ※ コンクリートのはつりは、損傷部を囲む長方形の範囲に対して深さ10mm程度コンクリートカッターにより切込みを入れる。
- ※ 脆弱部および鋼材の裏側までコンクリートをはつり取る。
- ※ 腐食した鋼材の錆を完全に除去する。

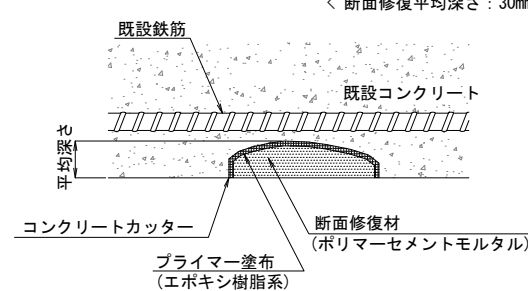
施工手順



左官工法(1) 詳細図

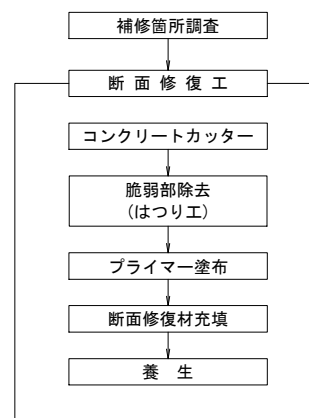
変形・欠損 (K), 剥離 (H), うき (U)

＜断面修復平均深さ：30mm＞

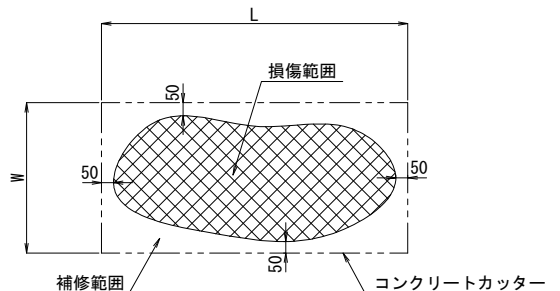


- ※ コンクリートのはつりは、損傷部を囲む長方形の範囲に対して深さ10mm程度コンクリートカッターにより切込みを入れる。

施工手順



断面修復範囲図



- ※ 損傷部より25mm程度の余裕を確保し、5cmラウンドの長方形の範囲に対して断面修復を行う。

低圧注入工法 数量表

(1橋当たり)

工 法	名 称	単 位	数 量	備 考
低圧樹脂注入工法	施工延長	m	1.10	
	シール材	kg	0.168	エポキシ系 ロス率37%含む
	注入材	kg	0.198	エポキシ系樹脂1種 ロス率15%含む
	注入器具	本	4	0.30m当り1本

左官工法(2) 数量表(鉄筋ケレン・防錆処理含む)

(1橋当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
コンクリート殻処理	無筋	m3	0.165	殻運搬含む 参考重量 0.38t
断面修復材	ポリマーセメントモルタル	m3	0.165	

植生撤去工 数量表

(1橋当たり)

工 法	規 格	単 位	数 量	備 考
植生撤去	A2橋台橋座面	本	1	当初計上無し

左官工法(1) 数量表(鉄筋ケレン・防錆処理含まない)

(1橋当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
コンクリート殻処理	無筋	m3	0.013	殻運搬含む 参考重量 0.03t
断面修復材	ポリマーセメントモルタル	m3	0.013	

凡 例

補修の種類	表 示
左官工法(1)	
左官工法(2)	

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

注記：

- 補修箇所は、必ず現場実測確認の上で施工を行うこと。
- 施工に際しては、必ず現地にて補修箇所及び寸法・数量を確認の上行うこと。
- 本図に示した箇所以外で同様の損傷が確認された場合、監督職員と協議の上同様の対策を実施すること。
- 脆弱部は、はつり落とすこと。
- カッター工、はつり工の施工に際しては既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。

工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	細田橋 コンクリート補修詳細図(2)		
縮 尺	S=1:60	図面番号	36 の 33
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 エイト日本技術開発		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

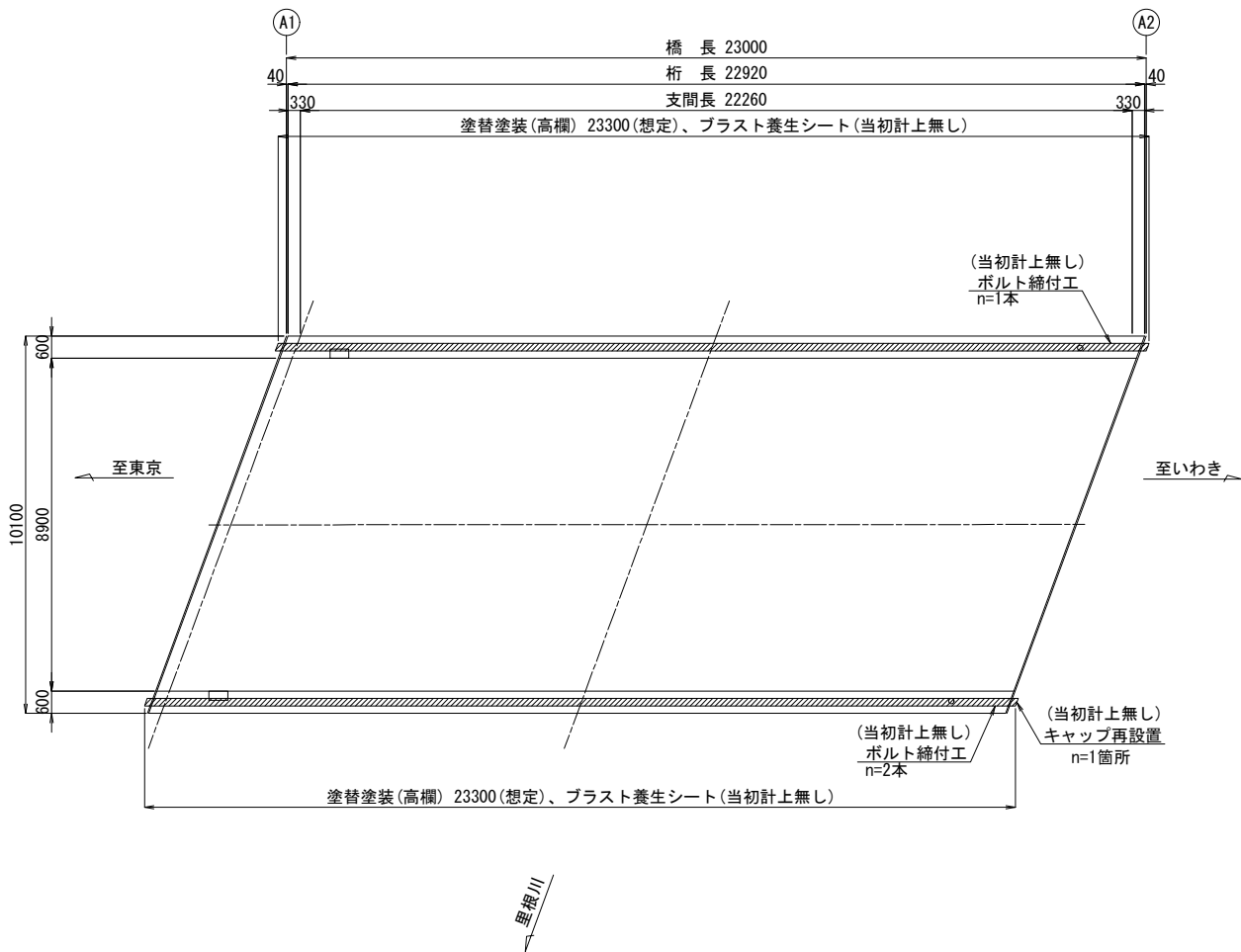
細田橋 防護柵補修詳細図 S=1:100

全体塗装塗替・ボルト締付

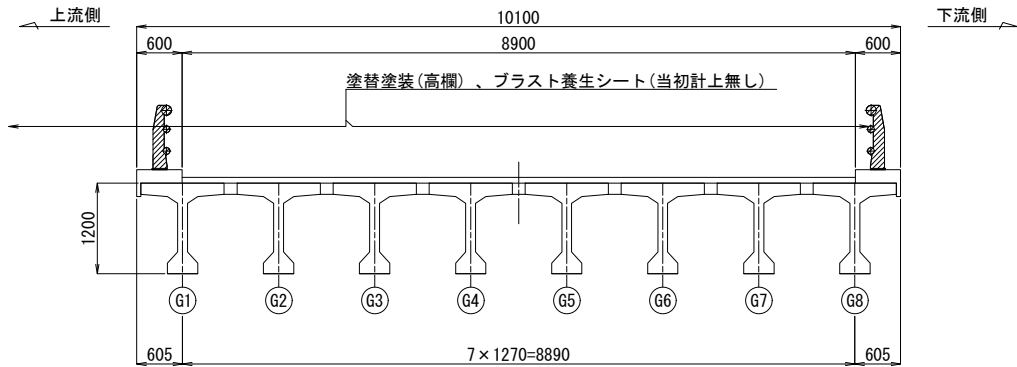
側面図



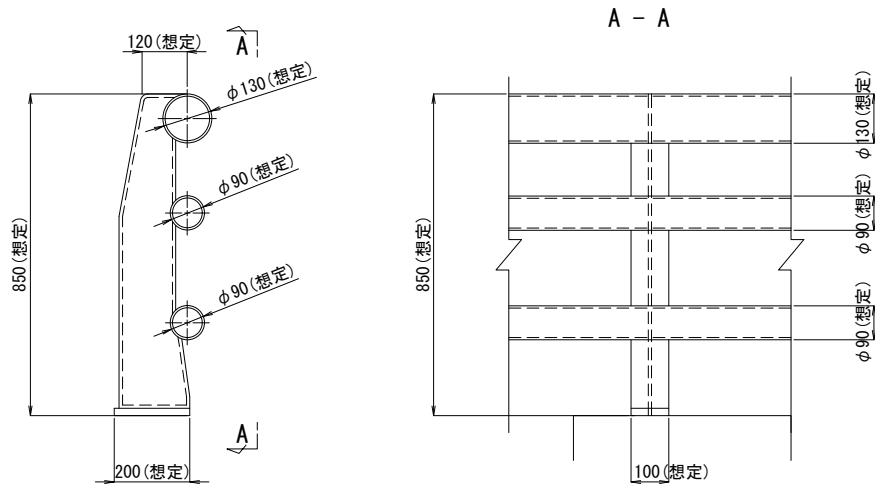
平面図



上部工標準断面図 S=1:50



高欄詳細図 S=1:10



塗装仕様 鋼桁部, 付属部 (Rc- I 系 スプレー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	標準膜厚 (μm)	塗装間隔
素地調整	1種ケレン			4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	75	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	60	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	60	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	30	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	25	1日～10日
膜厚合計			250	

塗替塗装 数量表 (1式当り)

	規格	塗装部位	面積(m ²)
塗装塗替面積	Rc- I	高欄	58.4
素地調整	1種ケレン	高欄	58.4

ボルト再設置 数量表 (1式当り)

補修工	規格	単位	数量	備考
ボルト締付工	M18×35(1W, 1SW) (想定)	本	3	当初計上無し
キャップ再設置工	φ90, t=6mm (想定)	箇所	1	〃

プラスト養生シート 数量表 (1式当り)

	規格	単位	数量	備考
建築工事用シート	3.6m×5.4m×0.4mm	m ²	231.4	当初計上無し

- 注記:
- 施工前に必ず、現地計測を行って補修箇所、範囲形状等を確認し、現地状況と設計図面との整合を確認した上で施工すること。
 - 塗装系はRc- I (素地調整は1種ケレン) を基本とする。
 - 塗装施工の際は飛散防止に留意すること。

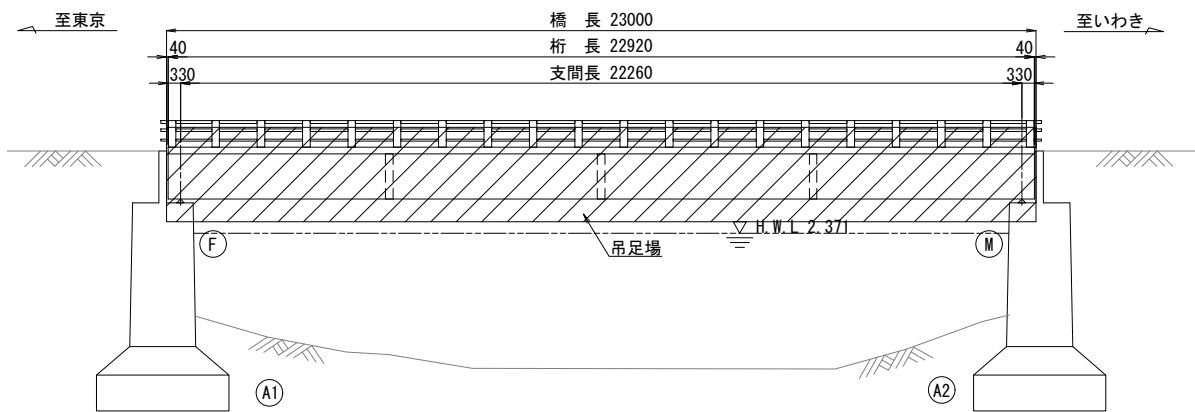
工事名	R7国道6号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事		
図面名	細田橋 防護柵補修詳細図		
縮尺	図示	図面番号	36 の 34
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 エイト日本技術開発		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

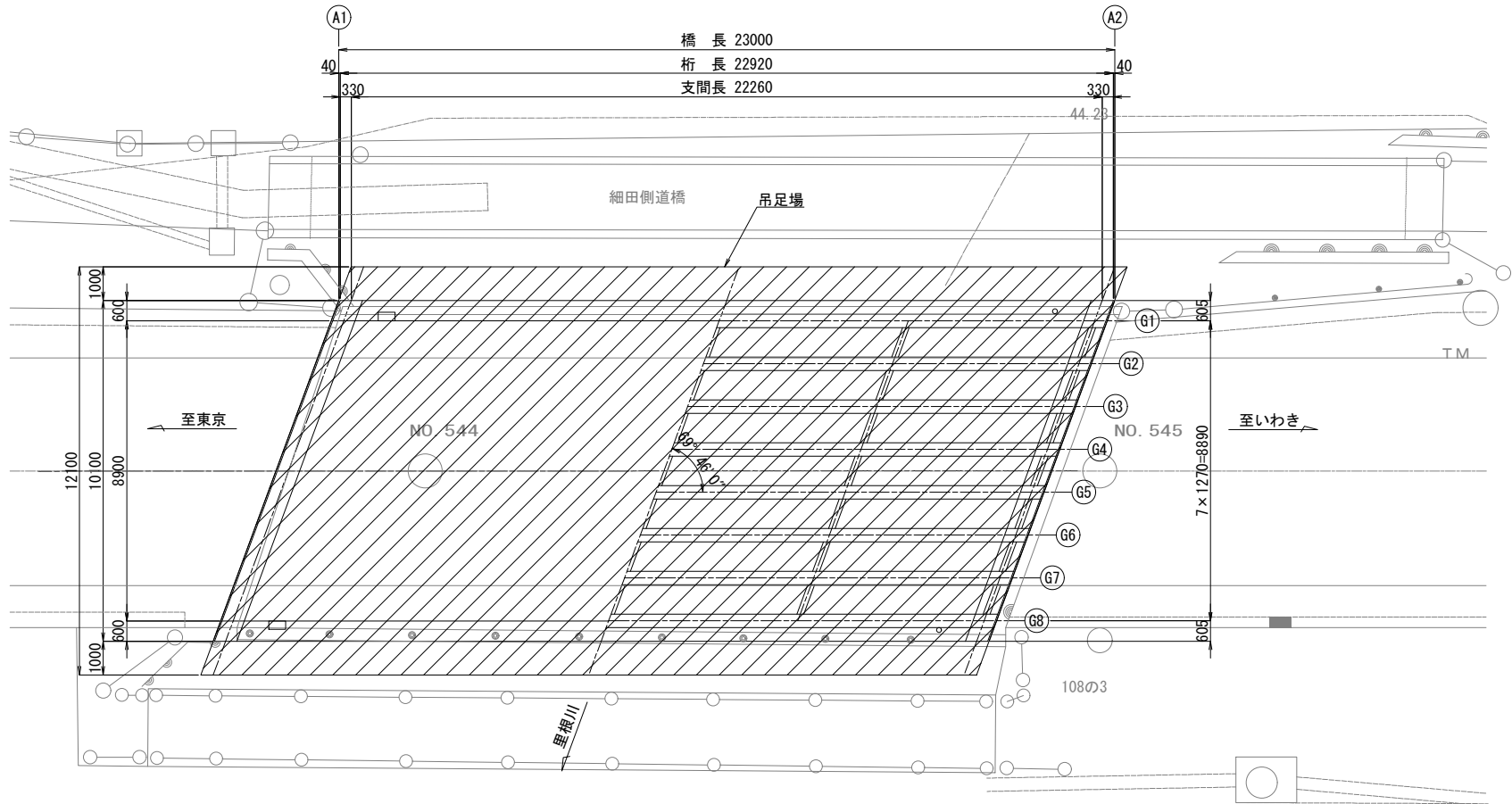
細田橋 足場図

S=1:100

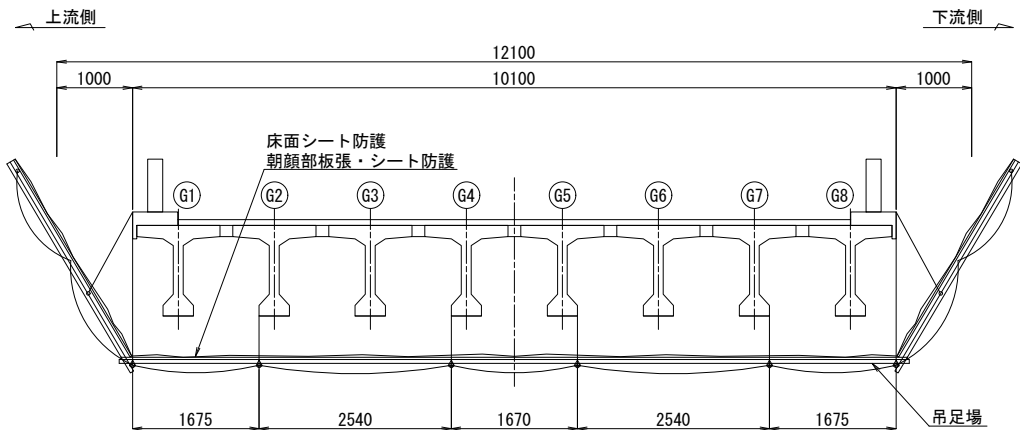
側面図



平面図



断面図 S=1:50



注記：
1. H. W. Lは、隣接する細田橋橋側歩道橋（上り）のH23年度の工事資料（H23年度 国道6号旭高架橋他補修工事）の計画高水位を示す。

足場 数量表

	規格	単位	数 量	備 考
足場(1)	吊足場	m2	231.4	
足場(2)	両側朝顔	m2	231.4	
防護	シート防護	m2	231.4	

現場制約事項	関係機関協議（河川（花貫川））
(有)	無

(注)
1. 上記の現場制約事項は、施工条件のうち、特に留意すべき事項を明示しているものであり、工事着手にあたっては、設計審査会等において、受発注者間で厳格に確認する。

工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事		
図 面 名	細田橋 足場図		
縮 尺	図 示	図面番号	36 の 35
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 エイト日本技術開発		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

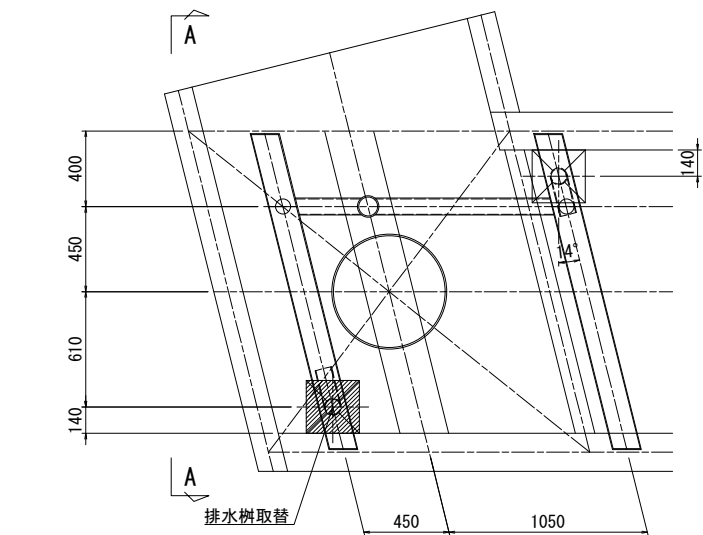
細田橋 数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量				摘要		
			A1		A2			計	計上値
				A1～A2					
橋梁保全工事		式	1			1	1		
橋梁補修工		式	1			1	1		
ひび割れ補修工		式	1			1	1		
低圧注入工法	25m未満 エポキシ	構造物(m)		1.1		1.1	1(1.1)		
断面修復工		式	1			1	1		
左官工法(1)	1構造物当り修復延べ体積 0.178m3 ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理無	構造物(m3)	0.0023	0.0033		0.0136	1(0.013)		
				0.008					
左官工法(2)	1構造物当り修復延べ体積 0.178m3 ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有	構造物(m3)	0.0032	0.0048		0.1654	1(0.165)		
				0.1574					
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	コンクリート殻(無筋)	m3	0.178			0.178	0.1		
殻処分	コンクリート殻(無筋)	m3	0.178			0.178	0.1		
防護柵補修工		式	1			1	1		
橋梁塗装工		式	1			1	1		
塗替塗装	RC-Ⅰ	m2	58.4			58.4	58		
仮設工		式	1			1	1		
仮設工		式	1			1	1		
足場(1)【夜間】	吊足場	m2	231.4			231.4	230		
足場(2)【夜間】	両側朝顔	m2	231.4			231.4	230		
防護【夜間】	シート防護	m2	231.4			231.4	230		

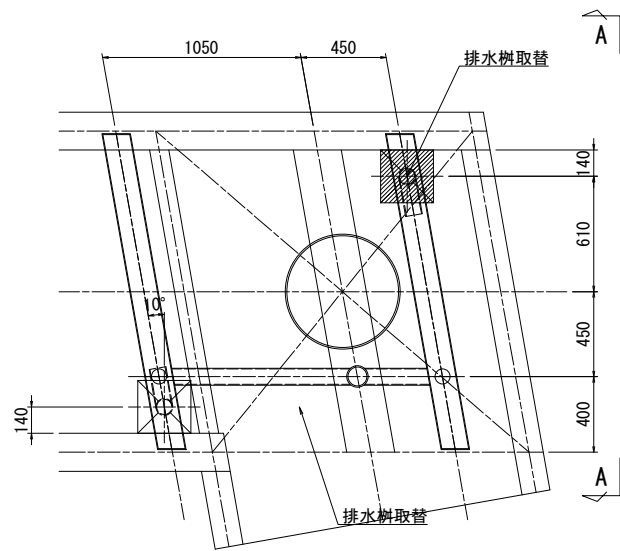
工 事 名	R 7 国道 6 号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	細田橋 数量総括表		
縮 尺	—	図面番号	36 の 36
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名			
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

磯原歩道橋 排水装置取替図(参考図) S=1:20

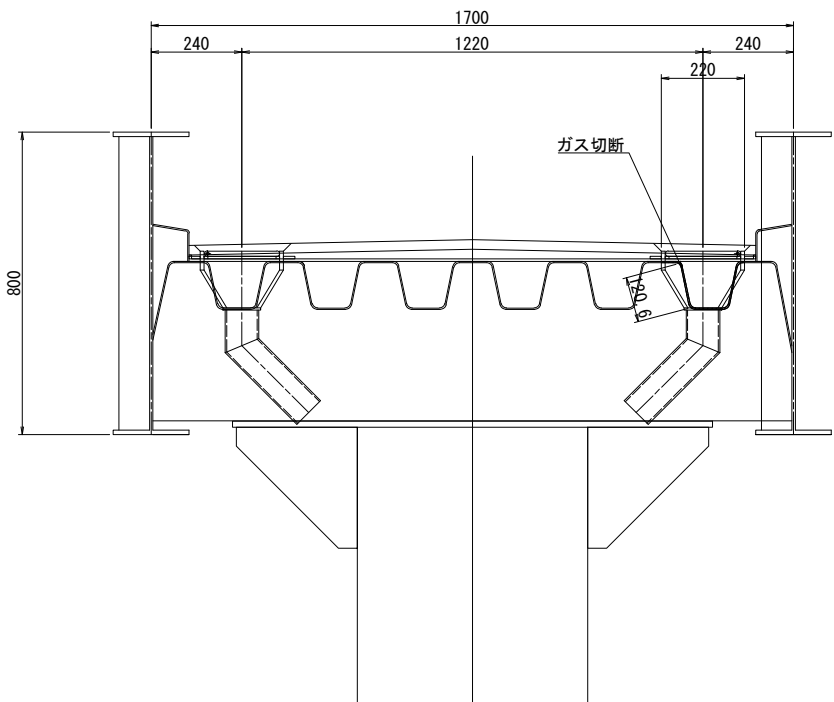
P1橋脚 - D1
平面図



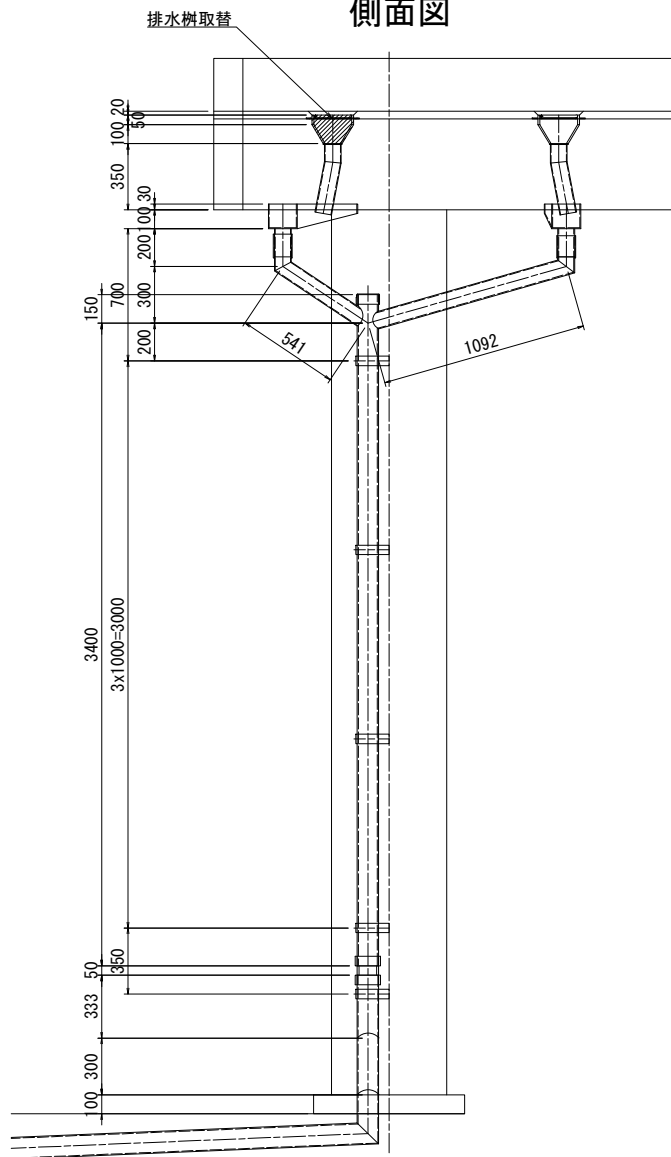
P2橋脚 - D2
平面図



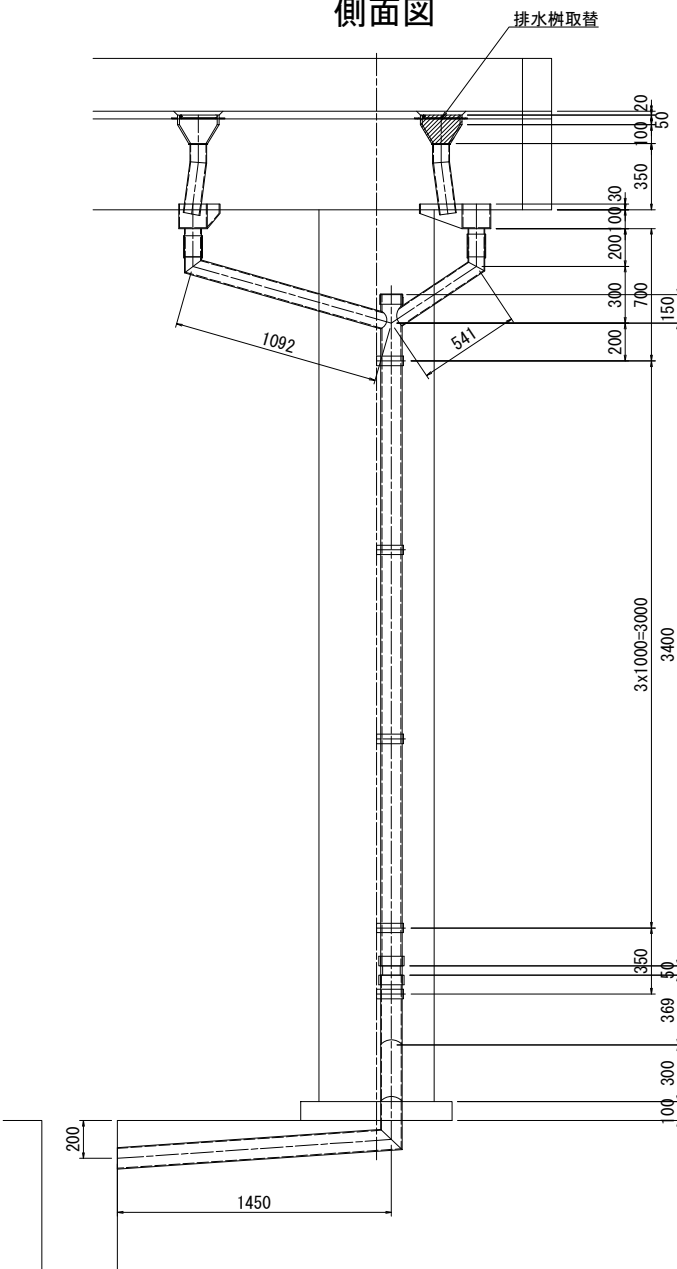
断面図
A - A



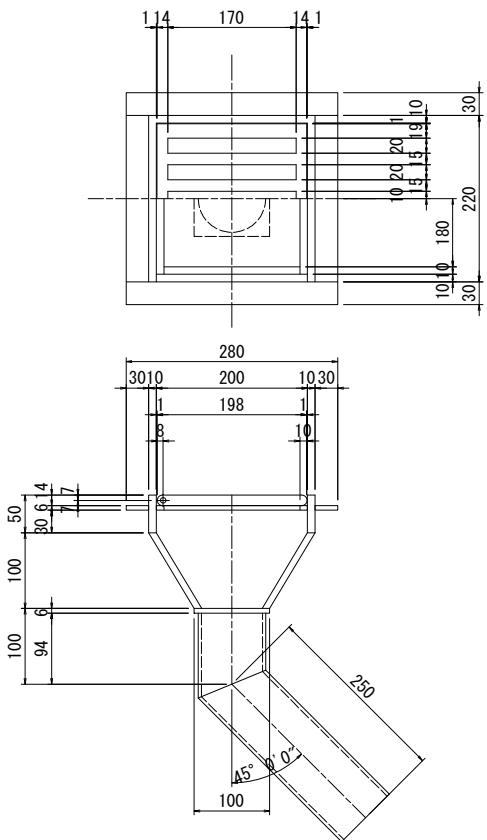
側面図



側面図



集水樹詳細 S=1:5



- 排水樹1基当り (製作数: 2基)
- 2-PL 50x10x220
 - 2-PL 50x10x200
 - 1-PL 198x14x198
 - 2-PL 10x 6x200
 - 2-PL 10x 6x180
 - 4-PL 117x10x220
 - 1-PL 100x 6x100
 - 2-PL 30x 6x280
 - 2-PL 30x 6x220
 - 2-Tap Bolt M6x25

この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

注記)
1. 施工にあたっては現地計測を行い、
施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。

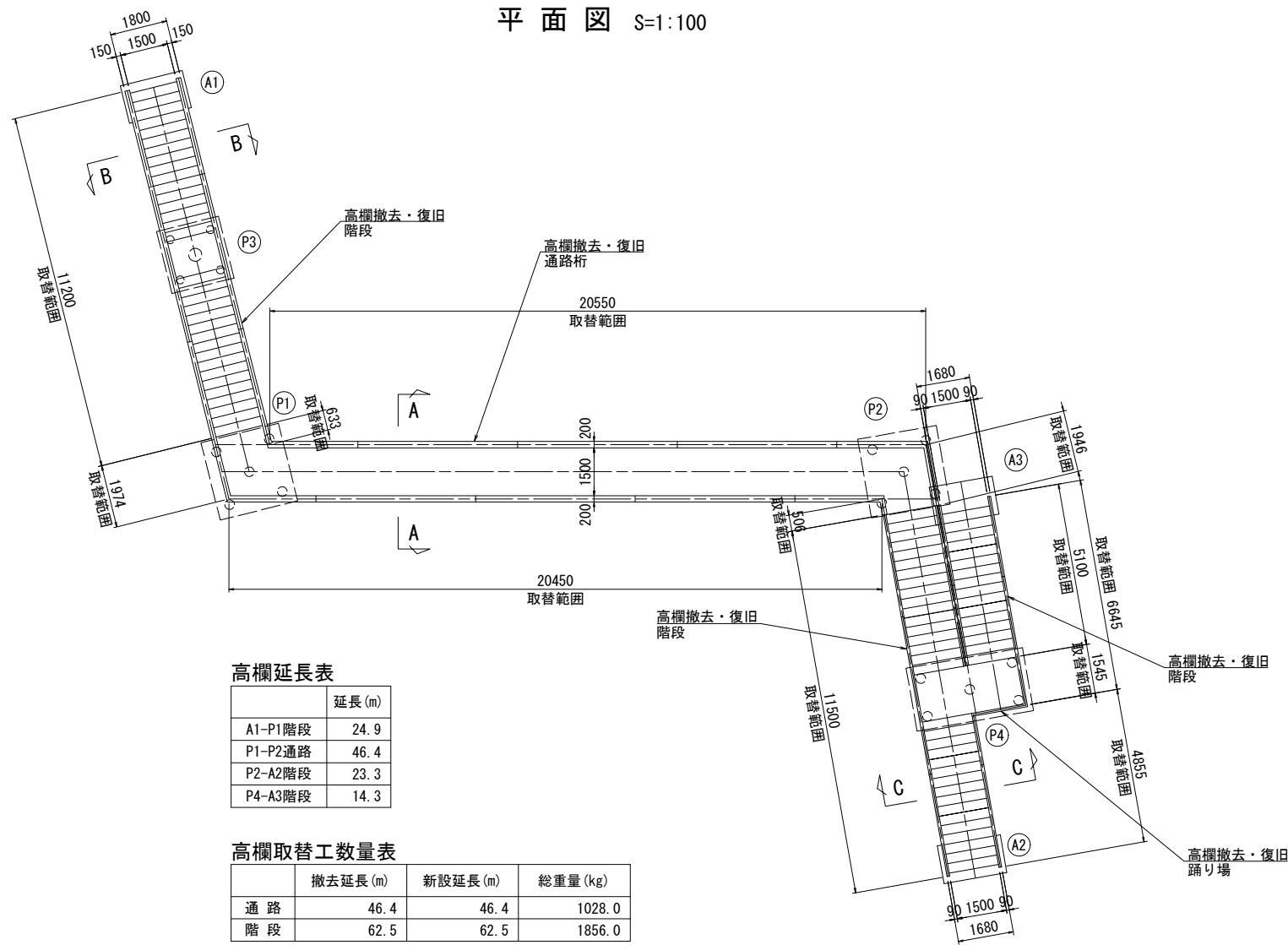
(参考図)

工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	磯原歩道橋 排水装置取替図(参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	参 の 1
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

磯原歩道橋 高欄取替図(1)(参考図)

平面図 S=1:100



高欄延長表

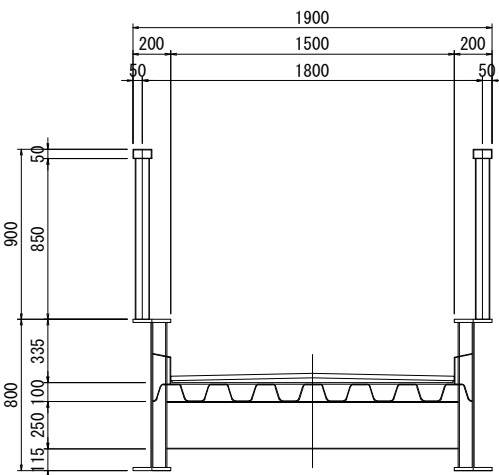
	延長 (m)
A1-P1階段	24.9
P1-P2通路	46.4
P2-A2階段	23.3
P4-A3階段	14.3

高欄取替工数量表

	撤去延長 (m)	新設延長 (m)	総重量 (kg)
通路	46.4	46.4	1028.0
階段	62.5	62.5	1856.0

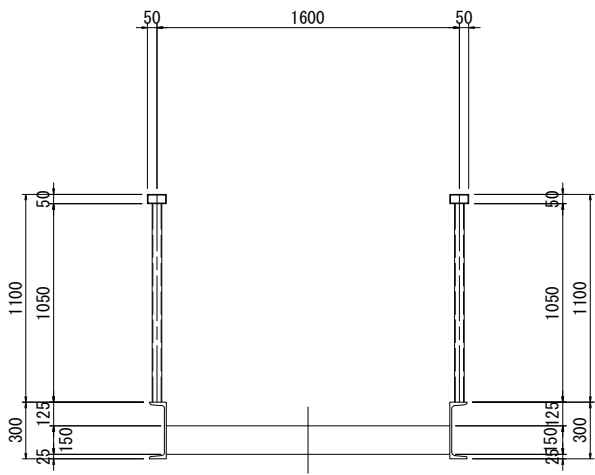
断面図 S=1:20

A - A



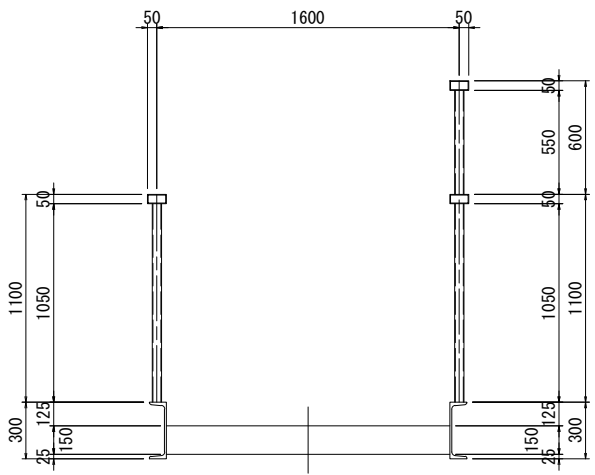
断面図 S=1:20

B - B

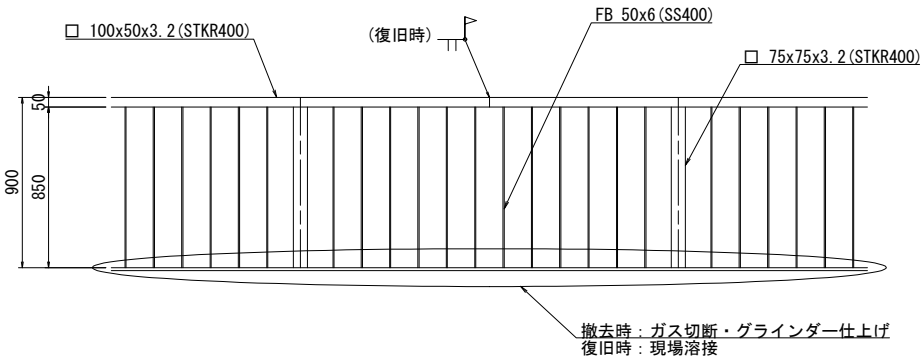


断面図 S=1:20

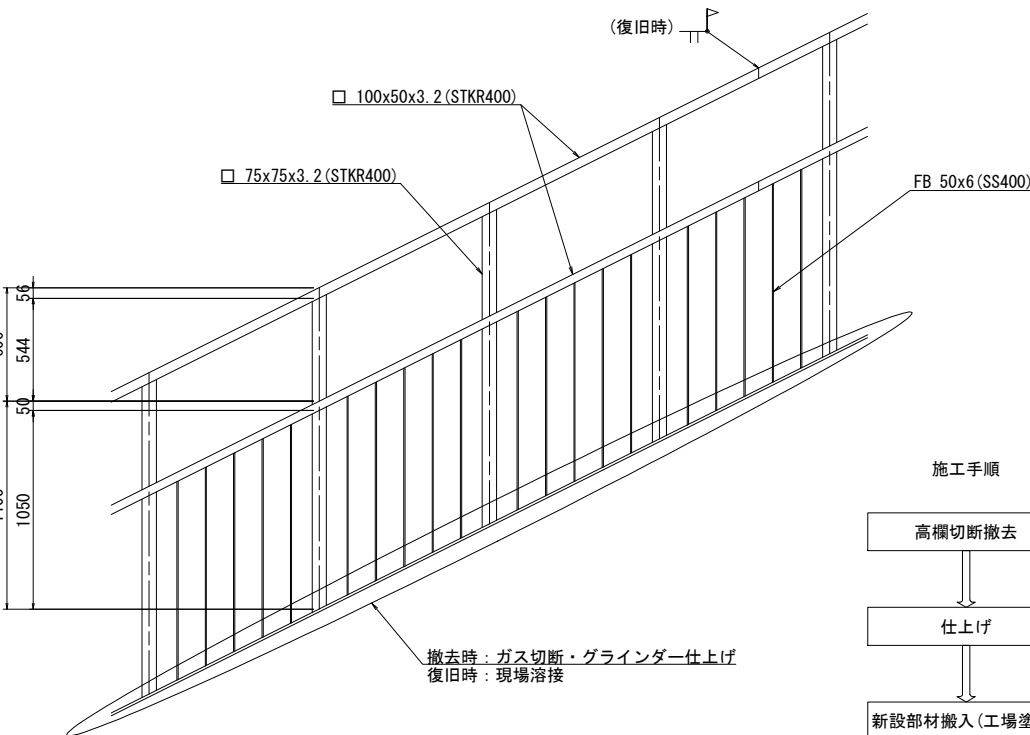
C - C



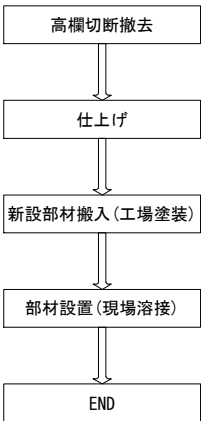
通路桁高欄撤去・復旧詳細 S=1:20



通路桁高欄撤去・復旧詳細 S=1:20



施工手順



注記)
1. 施工にあたっては現地計測を行い、
施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。

(参考図)			
工事名	R7国道6号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図面名	磯原歩道橋 高欄取替図(1)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参の2
年月日	令和8年6月日		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、
契約書第1条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施
工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を
完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。なお、
この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

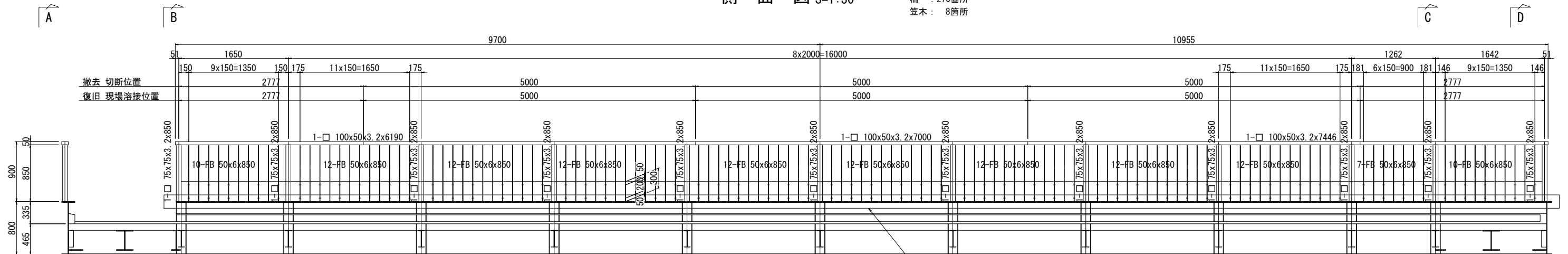
S=1 : 30

側 面 図 S=1:30

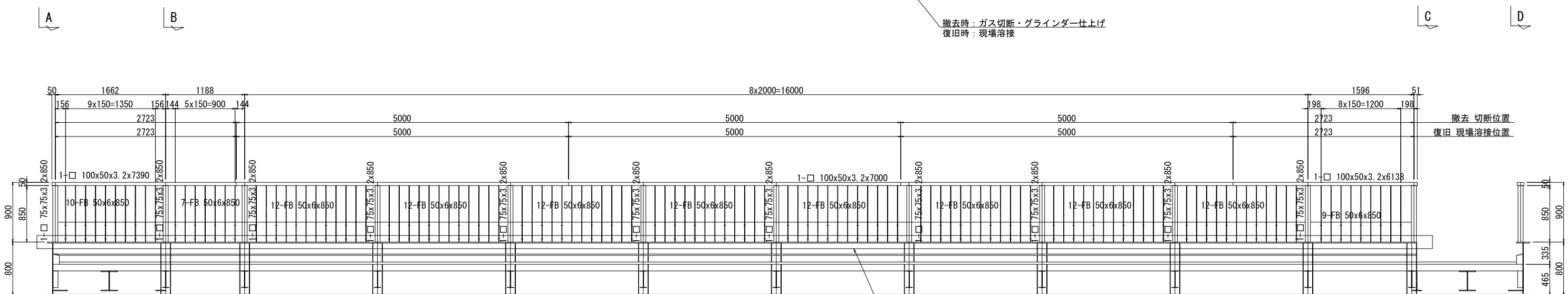
P1-P2間

支柱：30箇所

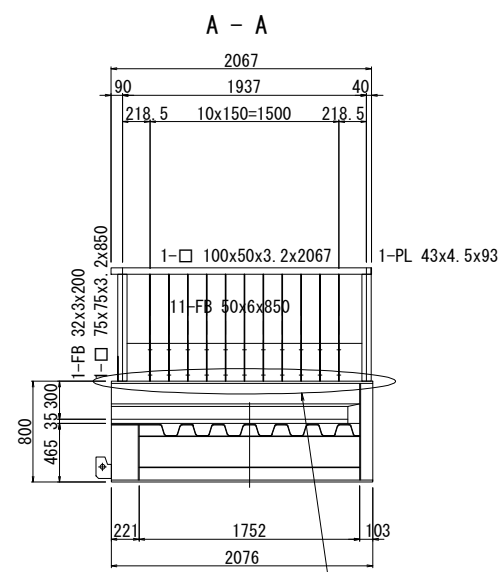
等木： 8箇所



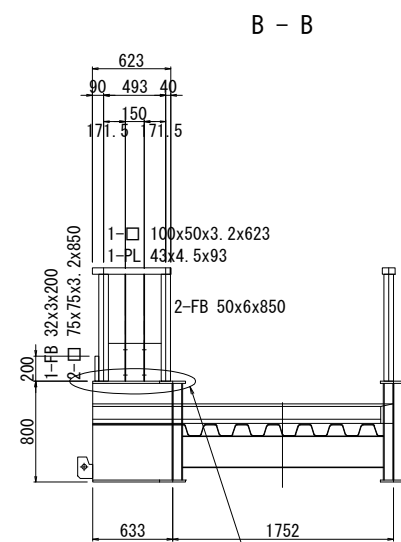
撤去時：ガス切断・グラインダー仕上げ



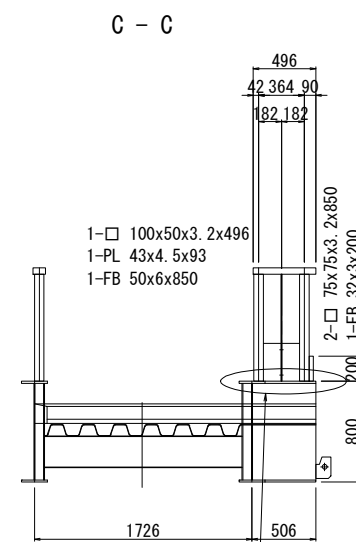
撤去時：ガス切断・グラインダー仕上げ



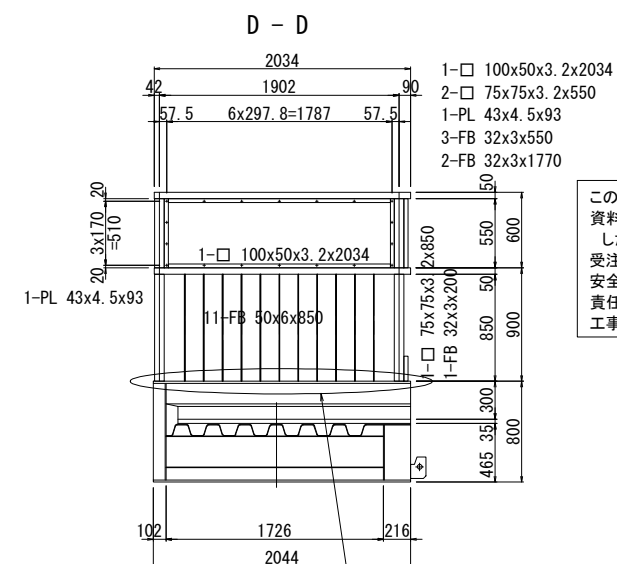
撤去時：ガス切断・グラインダー仕上げ



撤去時：ガス切断・グラインダー仕上り



撤去時：ガス切断・グラインダー仕上げ



撤去時：ガス切断・グラインダー仕上

本図面は縮小図のため

この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。

したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段・手段について受注者の責任において定めるものとする。なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の礼日までとする。

注記)

1. 施工にあたっては現地計測を行い、施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。
2. 高欄支柱および柵の数量は、撤去と復旧で同じものとする。

(参考図)

工事名	R7国道6号日立国道管内橋梁歩道橋補修工事		
図面名	磯原歩道橋 高欄取替図(2) (参考図)		
縮尺	1:30	図面番号	参 の 3
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

磯原歩道橋 高欄取替図(3) (参考図)

側 面 図 S=1:30

A 階段 (P2-A2)

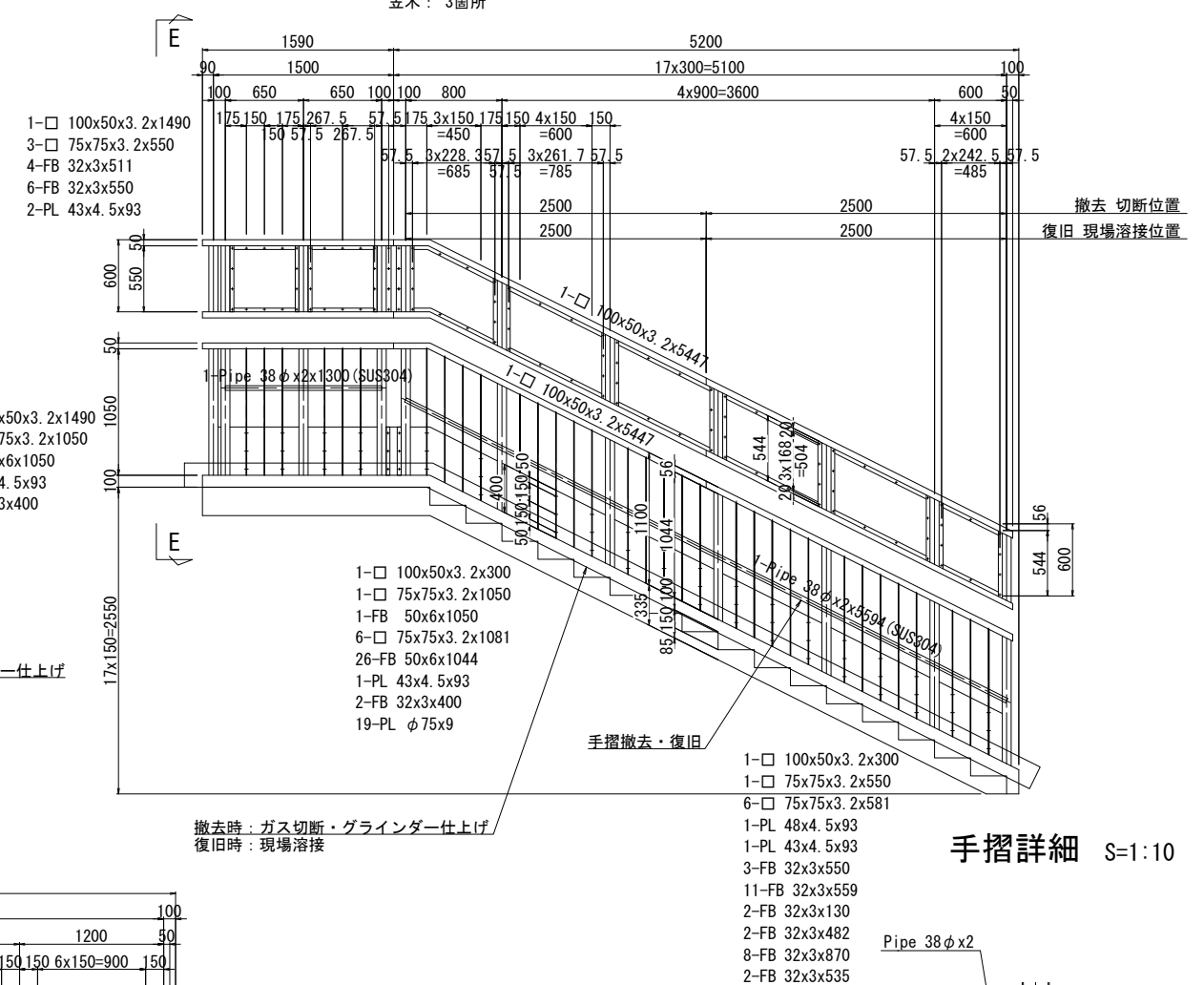
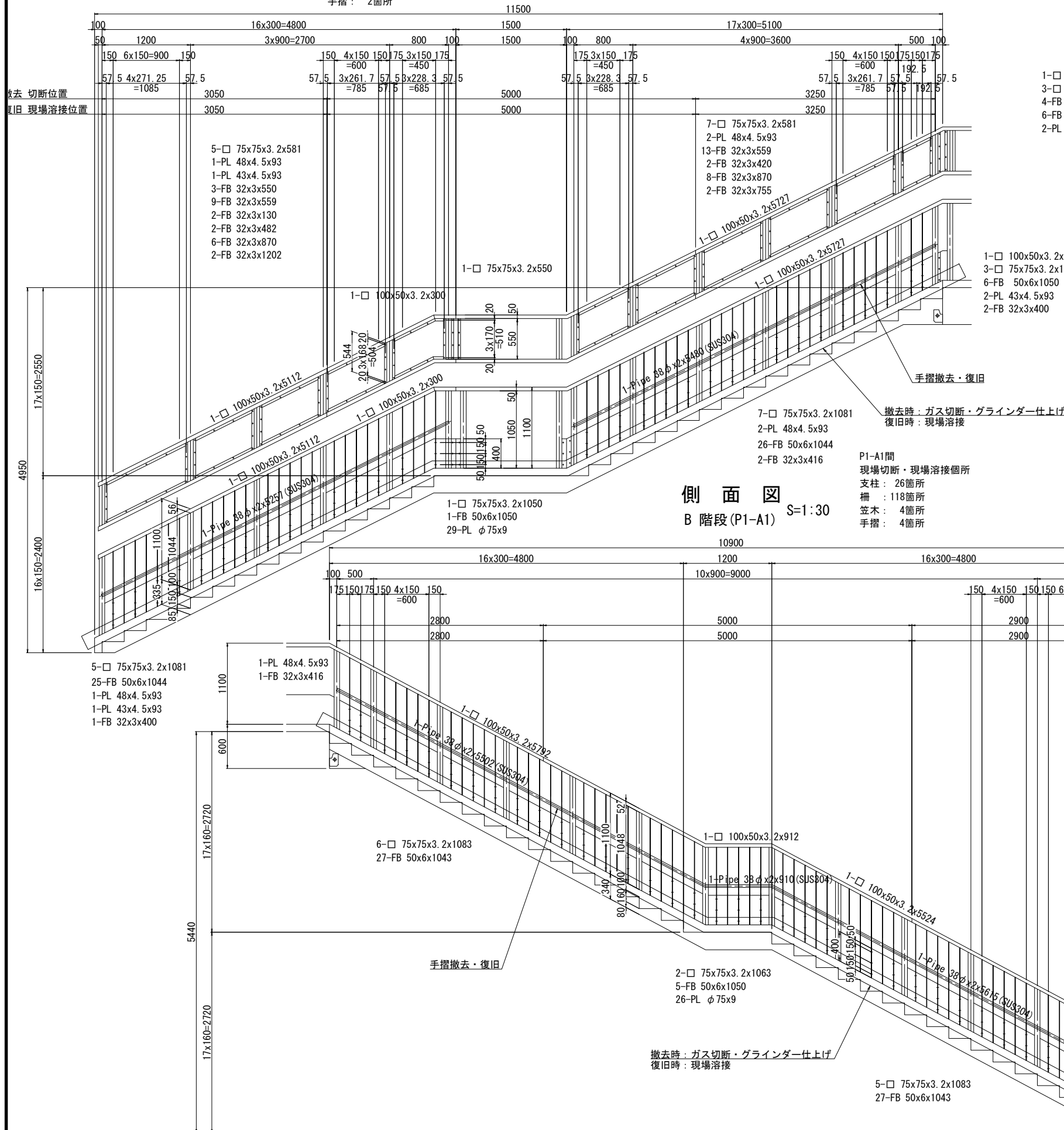
P2-A2間
現場切斷・現場溶接箇所
支柱：29箇所
柵：108箇所
笠木：6箇所
手摺：2箇所

階段

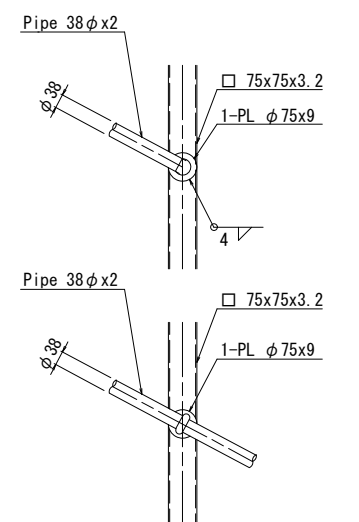
側 面 図 S=1:30

A 階段 (P4-A3)

P4-A3間
現場切断・現場溶接箇所
支柱：19箇所
柵：69箇所
笠木：3箇所



手摺詳細 S=1:10



注記)

1. 施工にあたっては現地計測を行い、施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。
2. 高欄支柱および柵の数量は、撤去と復旧で同じものとする。

(参考図)

工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	磯原歩道橋 高欄取替図(3)(参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	参 の 4
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

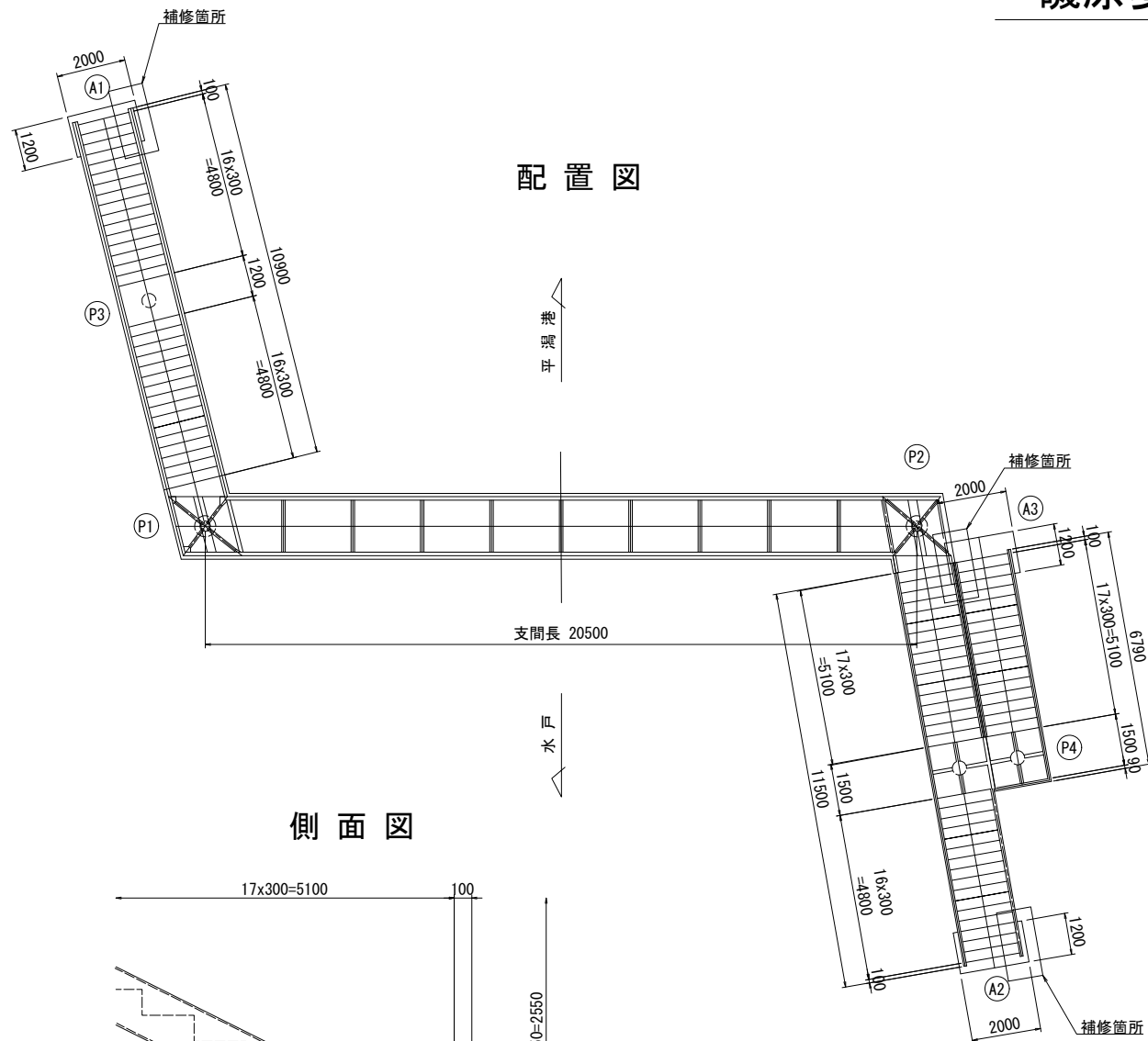
この「参考図」は入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。

したがって、「参考図」は請負入札上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手配・施工について受注者の責任において定めるものとする。なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

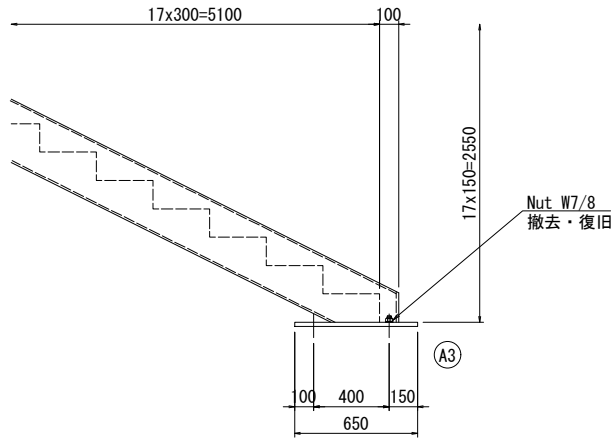
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

磯原歩道橋 ナット取替図(参考図) S=1:20

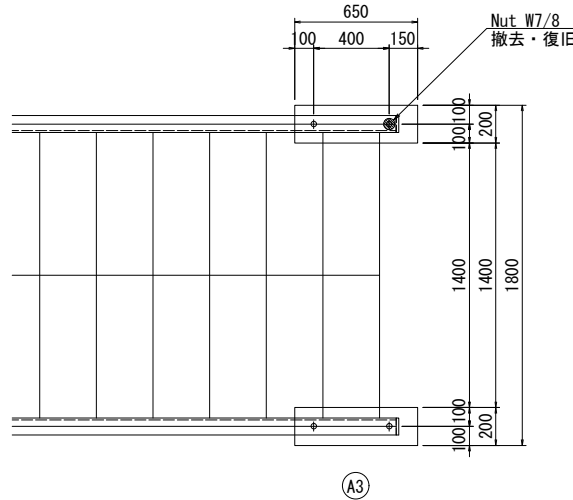
配置図



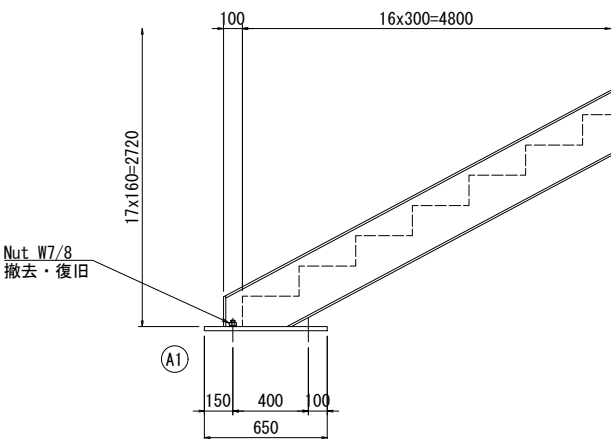
側面図



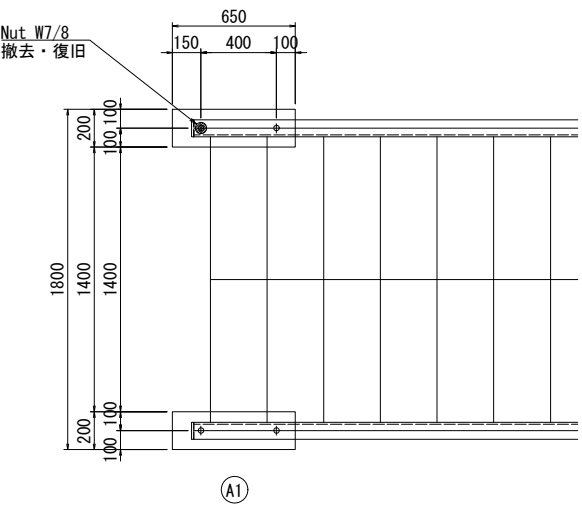
平面図



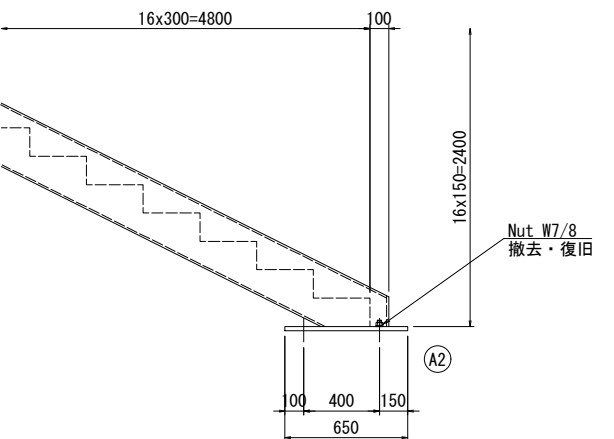
側面図



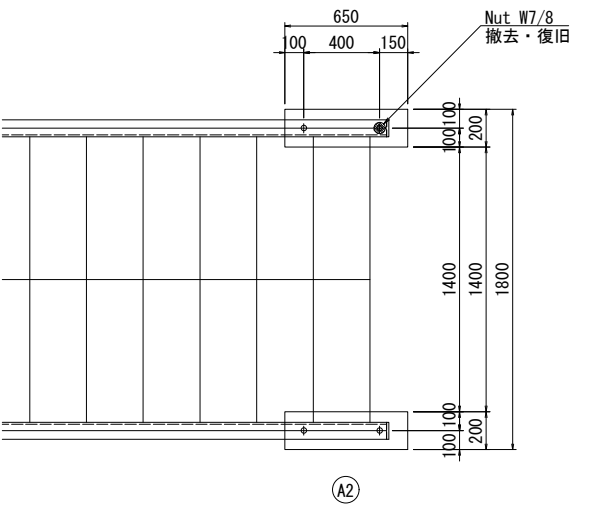
平面図



側面図



平面図



この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物の完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

注記)
1. 施工にあたっては現地計測を行い、
施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。

(参考図)			
工 事 名	R 7 国道 6 号 日 立 国 道 管 内 橋 梁 他 歩 道 橋 補 修 工 事		
図 面 名	磯原歩道橋 ナット取替図(参考図)		
縮 尺	S=1:20	図面番号	参 の 5
年 月 日	令 和 8 年 6 月 日		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

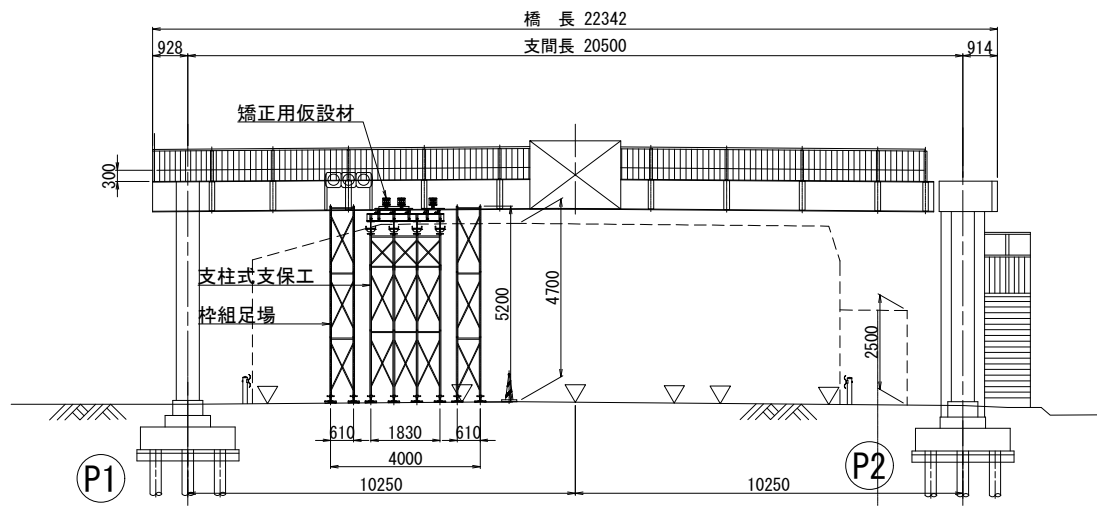
磯原歩道橋 矯正補修図(参考図)

この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。

したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の工事日より。

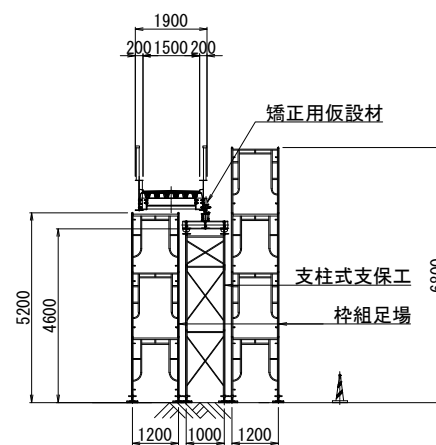
側面図 S=1:100

A - A

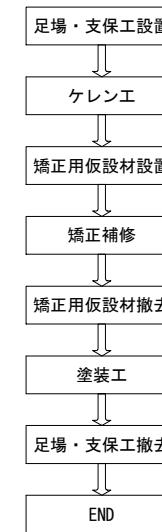


断面図 S=1:100

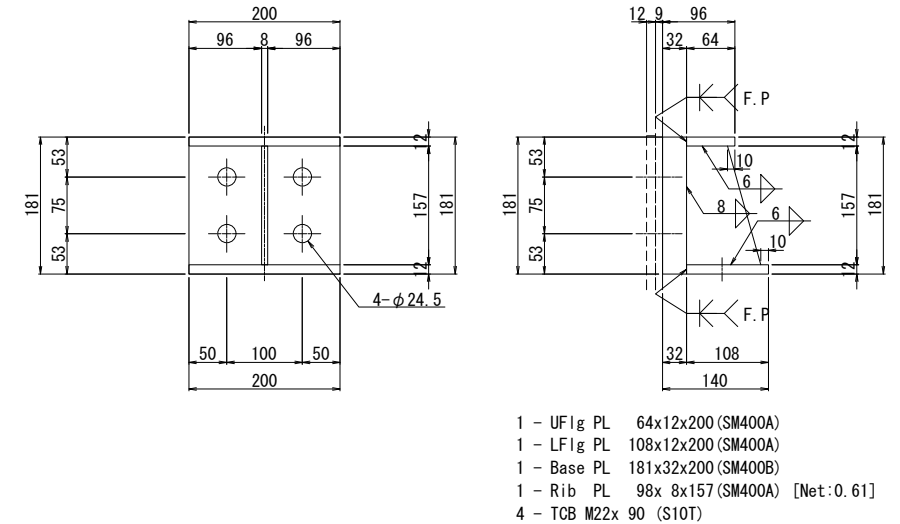
B - B



施工手順

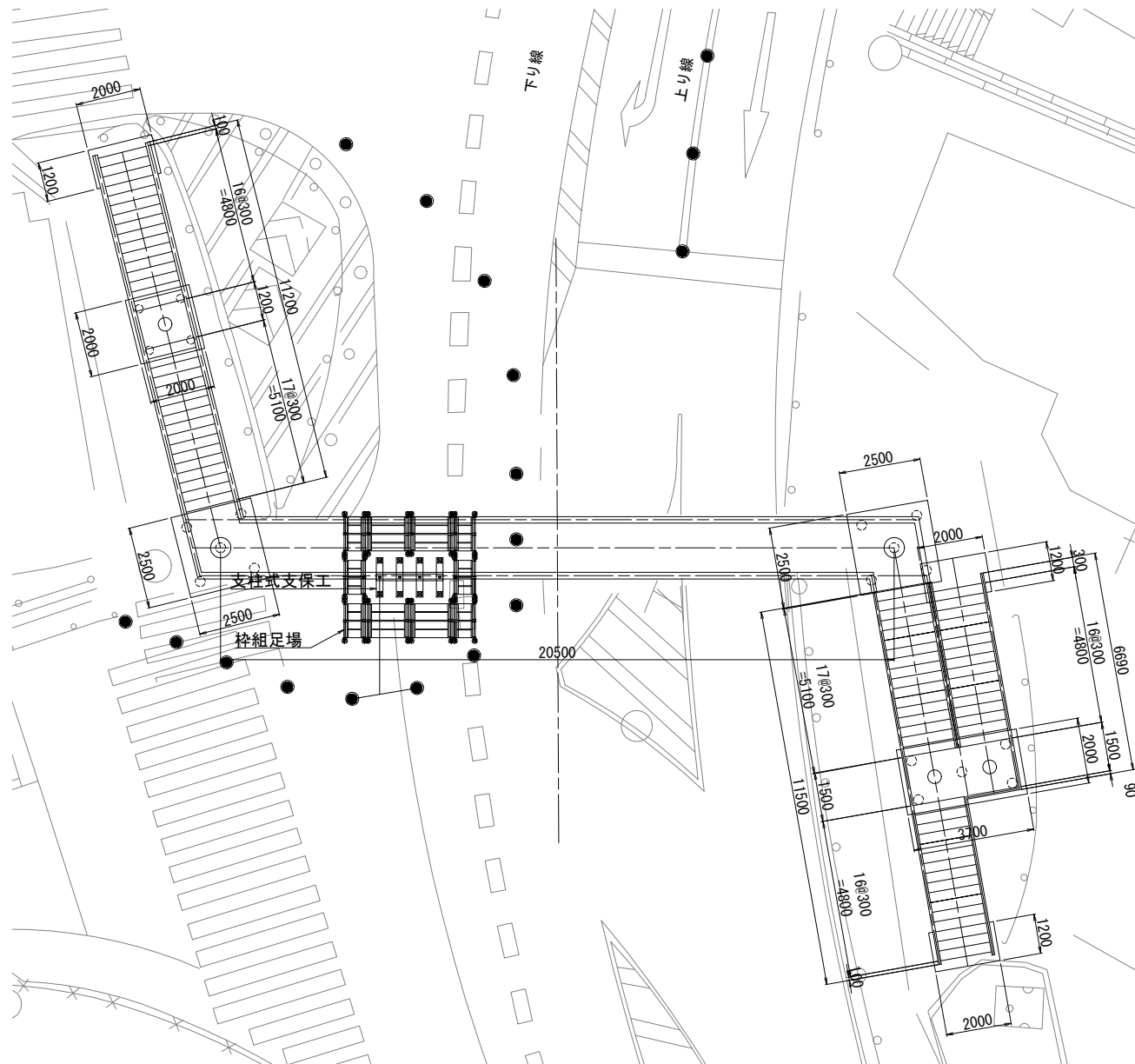


ジャッキ受けブラケット図 S=1:5



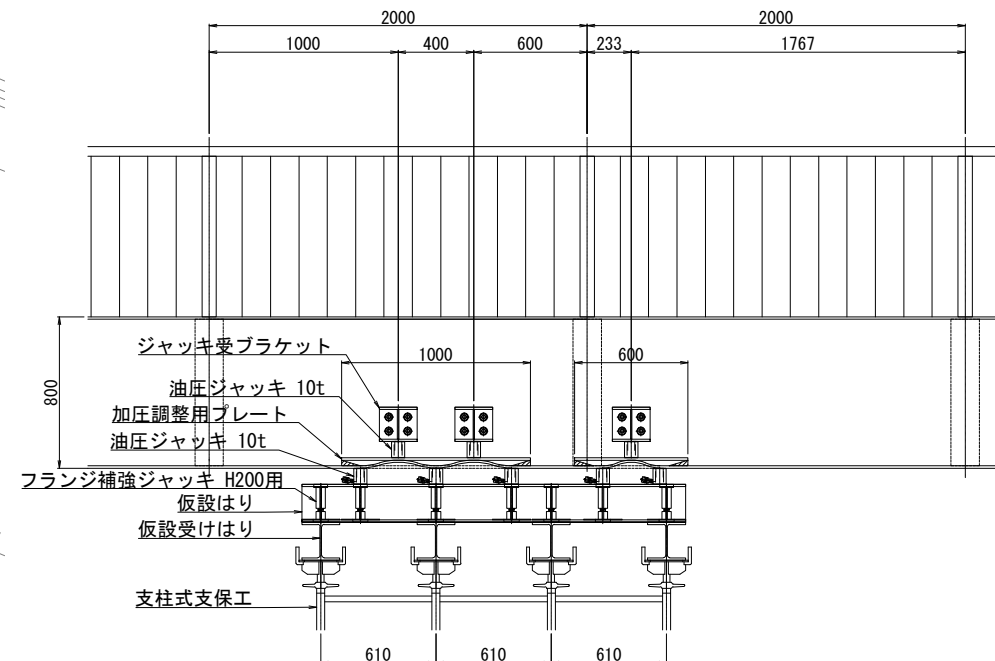
平面图 S=1:100

S=1 : 100

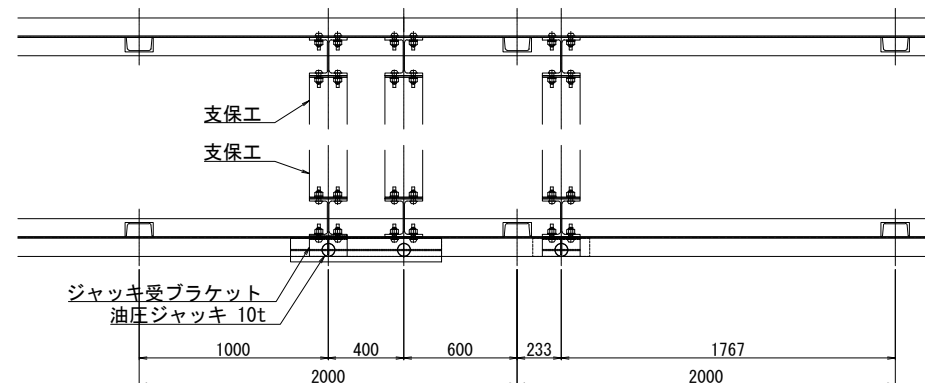


矯正用仮設図 S=1:20

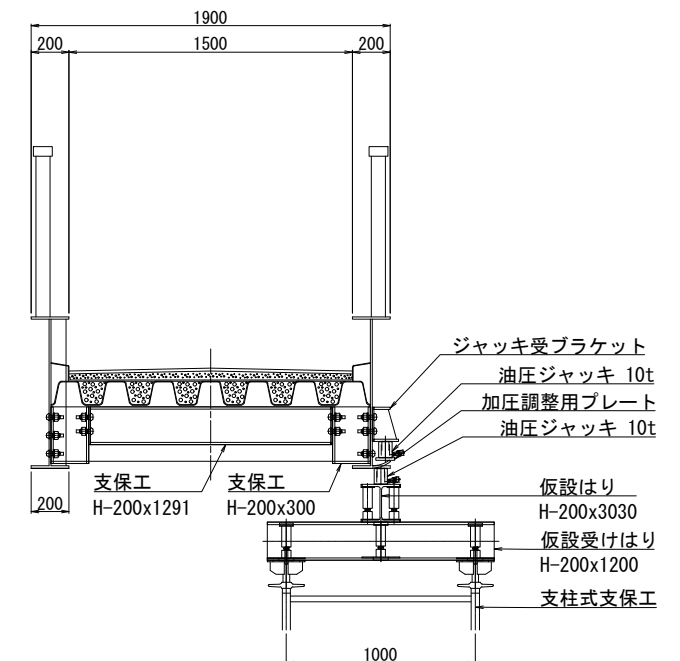
正面図



平面图



断面図



注記)

1. 詳細寸法は現地確認後決定とする。
2. 新たな損傷が発見された場合は、補修の実施について監督員と協議を行い決定すること。
3. 工場製作は実測確認の上、行うものとする。
4. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
5. 既設部材のボルト孔明けは、M22の場合は24.5φ、M24の場合はφ26.5とする。
6. 既設ボルト箇所は、仮設材撤去後、ストップボルト(M22)にて仮ぐものとする。

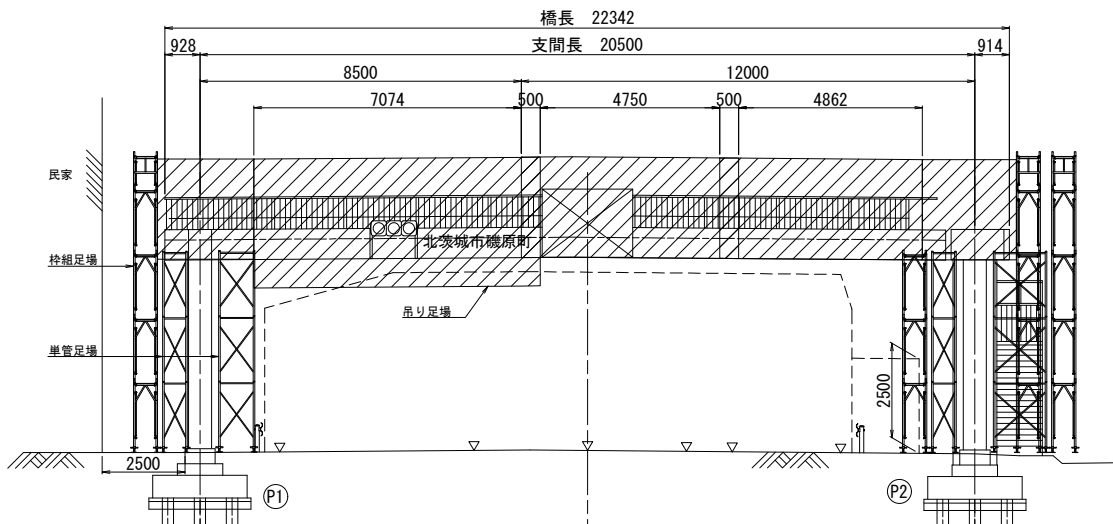
(参考図)

工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	磯原歩道橋 矯正補修図(参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	参 の 6
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

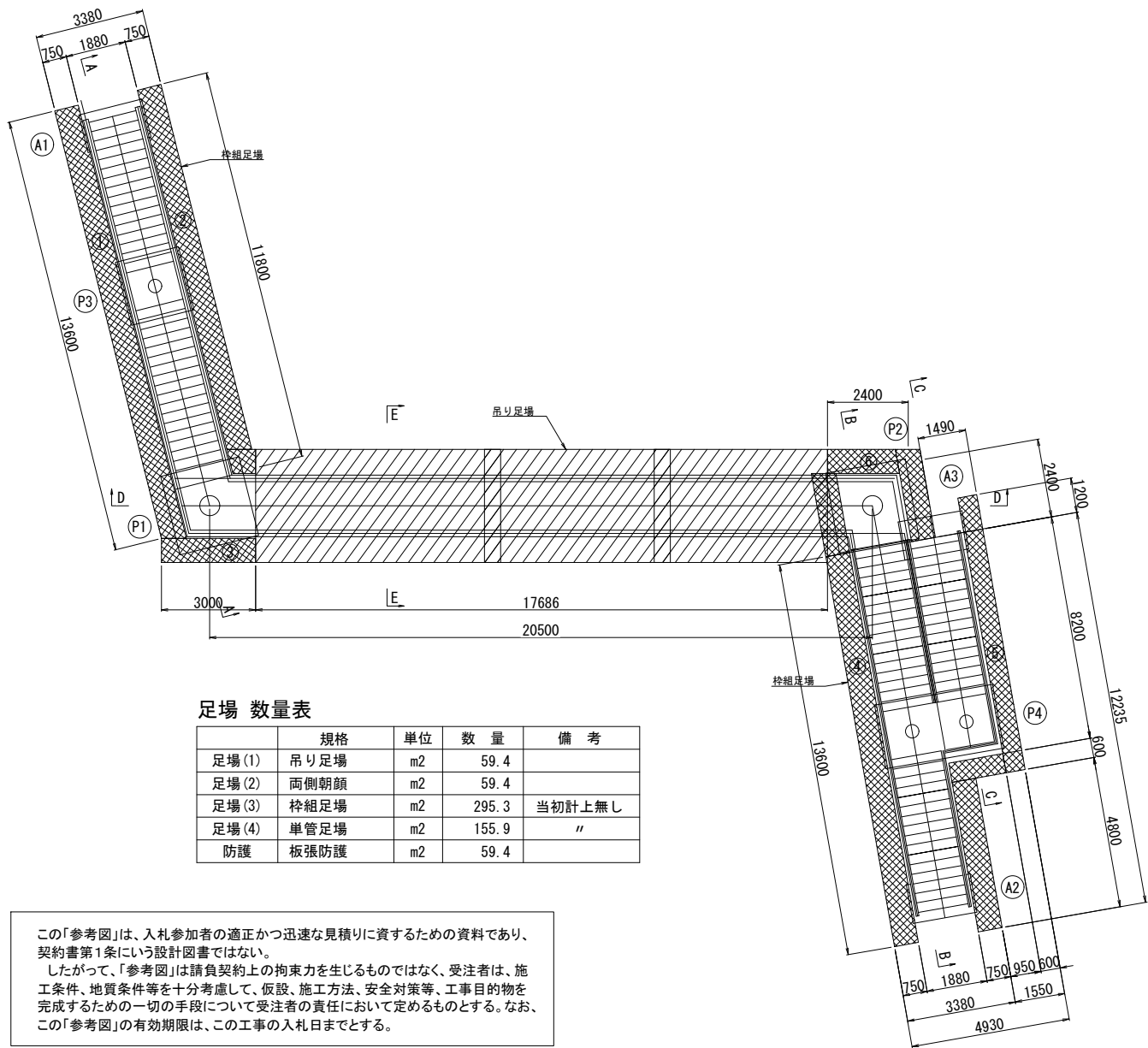
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

磯原歩道橋 足場図(参考図)

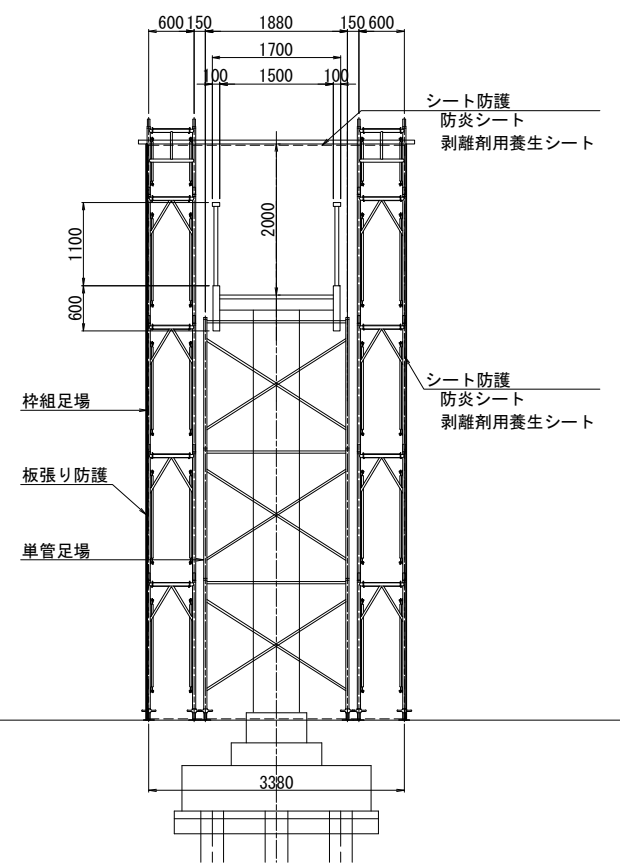
側面図 S=1:100



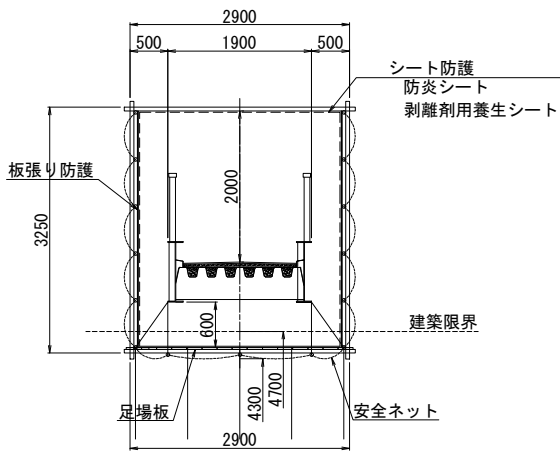
平面図 S=1:200



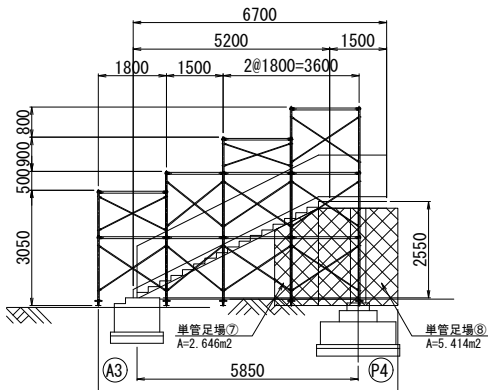
断面図 S=1:100



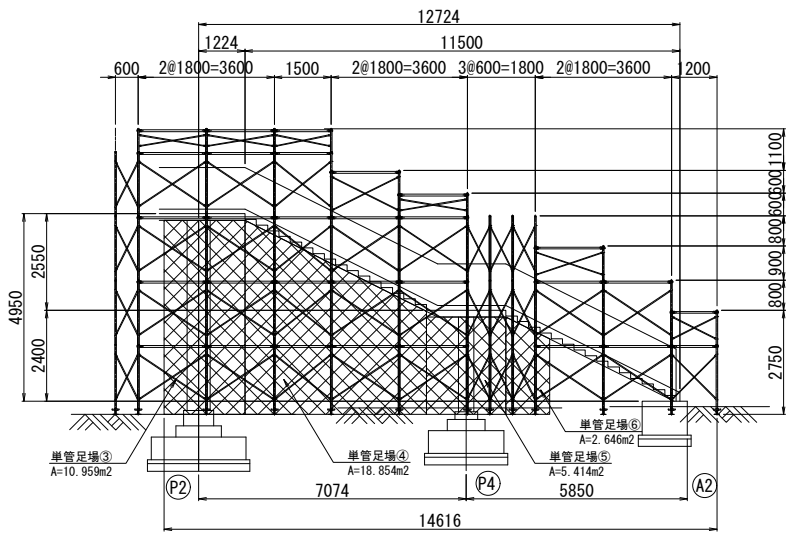
吊り足場 (E-E) S=1:50



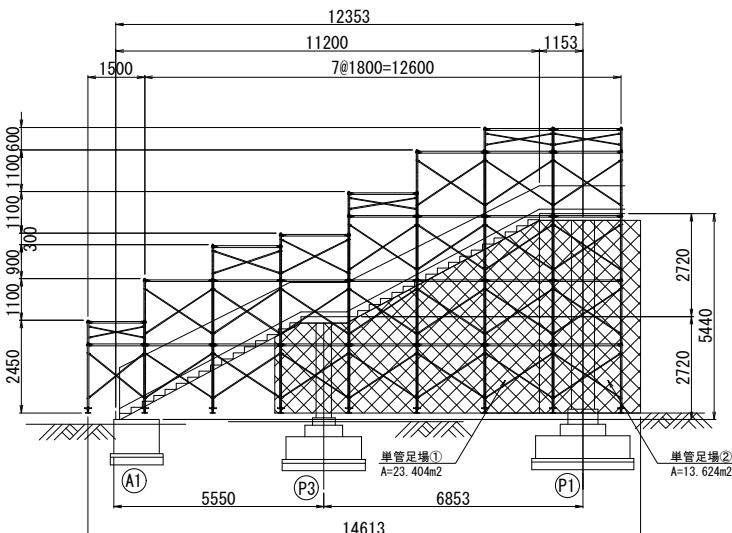
階段部 (C-C) S=1:100



階段部 (B-B) S=1:100



階段部 (A-A) S=1:100

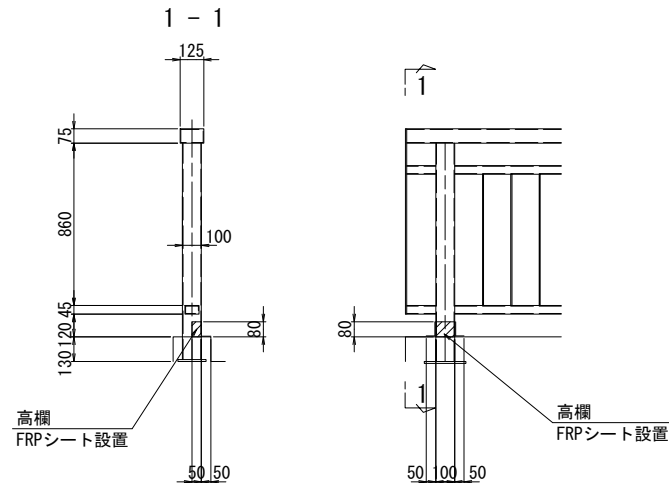


- 注記
1. 施工にあたっては現地計測を行い、施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。
 2. 足場計画は、現場の諸条件（昼間施工、夜間施工、通行規制、歩行者横断方法等）により変更となるため、施工の際には、地元住民への説明会等を実施し、安全に配慮した施工計画を立案すること。
 3. 既存塗膜から鉛の含有が確認されたため、飛散防止対策（板張り防護、シート防護等）、作業員の健康被害対策（防護服の着用等）を実施すること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

(参考図)			
工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他歩道橋補修工事		
図 面 名	磯原歩道橋 足場図(参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	参 の 7
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

FRPシート設置工

$$n=1$$


Technical drawing of a rectangular plate. The overall width is 200, divided into three sections of 50, 100, and 50. The overall height is 130, divided into two sections of 50 and 80. The label 'K.L.' is placed vertically in the 50-unit wide sections and horizontally in the 100-unit wide section. The label 'K.L.' is also placed horizontally on the left side of the plate.

透明フィルム

ガラス繊維マット

不飽和ポリエステル樹脂

貼付け面

ガラス繊維

水色フィルム

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	標準膜厚 (μm)	塗装間隔
素地調整	2種ケレン			4時間以内 1日～10日 1日～10日 1日～10日 1日～10日
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	75	
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	60	
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	60	
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	30	
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	25	
	膜厚合計		250	

(1橋当り)

	規 格	塗 装 部 位	面積 (㎡)
素地調整	2種ケレン	高欄	0.1
塗装塗替面積	Rc-II	高欄	0.1

(1橋当り)

使用箇所		設置寸法L×B(mm)	設置数	m
高欄	1径間	130×200	1	0.0260
区分A 0.01m以上0.07m未満／箇所			合計	0.0260
区分B 0.07m以上0.15m未満／箇所			合計	-
区分C 0.15m以上／箇所			合計	-

6層目：弱溶剤型ふっ素樹脂塗料上塗

5層目：弱溶剤型ふっ素樹脂塗料用中塗

4層目：紫外線硬化型樹脂

3層目：紫外線硬化型ポリエステル樹脂製FRPシート

2層目：ガラス繊維入りポリエステル樹脂製パテ

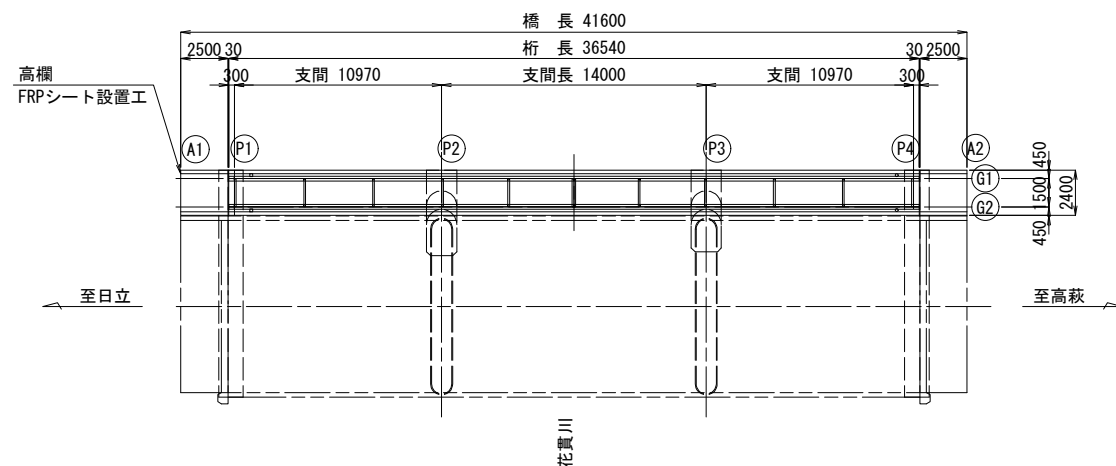
1層目：1液湿潤硬化型ウレタン系プライマー

鋼材及びコンクリート

※特記仕様
紫外線硬化型ポリエステル樹脂製FRPシート UL94燃焼試験 規格V-0以上
JIS A 1322 防炎1級以上

ケレン	素地調整2種
プライマー塗布	1回目：ケレン後4時間以内 2回目：不陸調整施工前日
不陸調整	ガラス繊維入りポリエスチ樹脂製パテを使用し不陸調整をおこなう
FRPシート貼付け	転圧ローラー等を用いて端部の浮きが出ないように貼付けする
端部処理	紫外線硬化樹脂を使用し、端部及び接合部に指やスパチュラ等を用いて隙間を埋める
FRPシート硬化	直射日光が当たらない場所は、紫外線照射装置を用いて硬化させる
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗り g/140㎡
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り g/120㎡

S=1 : 200



この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条における設計図書ではない。

したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一助の手段について受注者の責任において定めるものとする。なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の礼日までに於いて定まるものとする。

注記：

1. 補修箇所は、必ず現場実測確認の上で施工を行うこと。
2. 施工に際しては、必ず現地にて補修箇所及び寸法・数量を確認の上行うこと。
3. 本図に示した箇所以外で同様の損傷が確認された場合、監督職員と協議の上同様の対策を実施すること。
4. 塗装施工の際は飛散防止に留意すること。

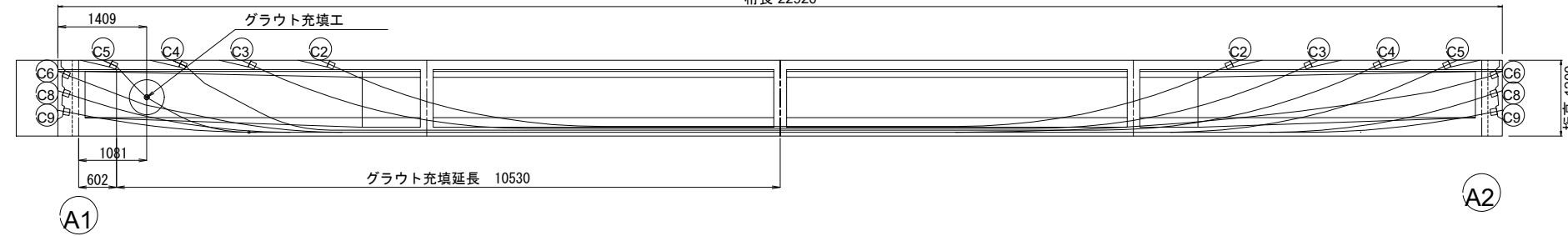
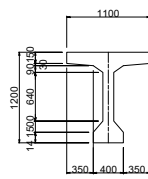
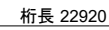
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

(参考図)			
工 事 名	R7国道6号日立国道管内橋梁他 歩道橋補修工事		
図 面 名	稲村橋側道橋(下り) 紫外線硬化型PPシート面(参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	参 の 8
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株式会社 エイト日本技術開発		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

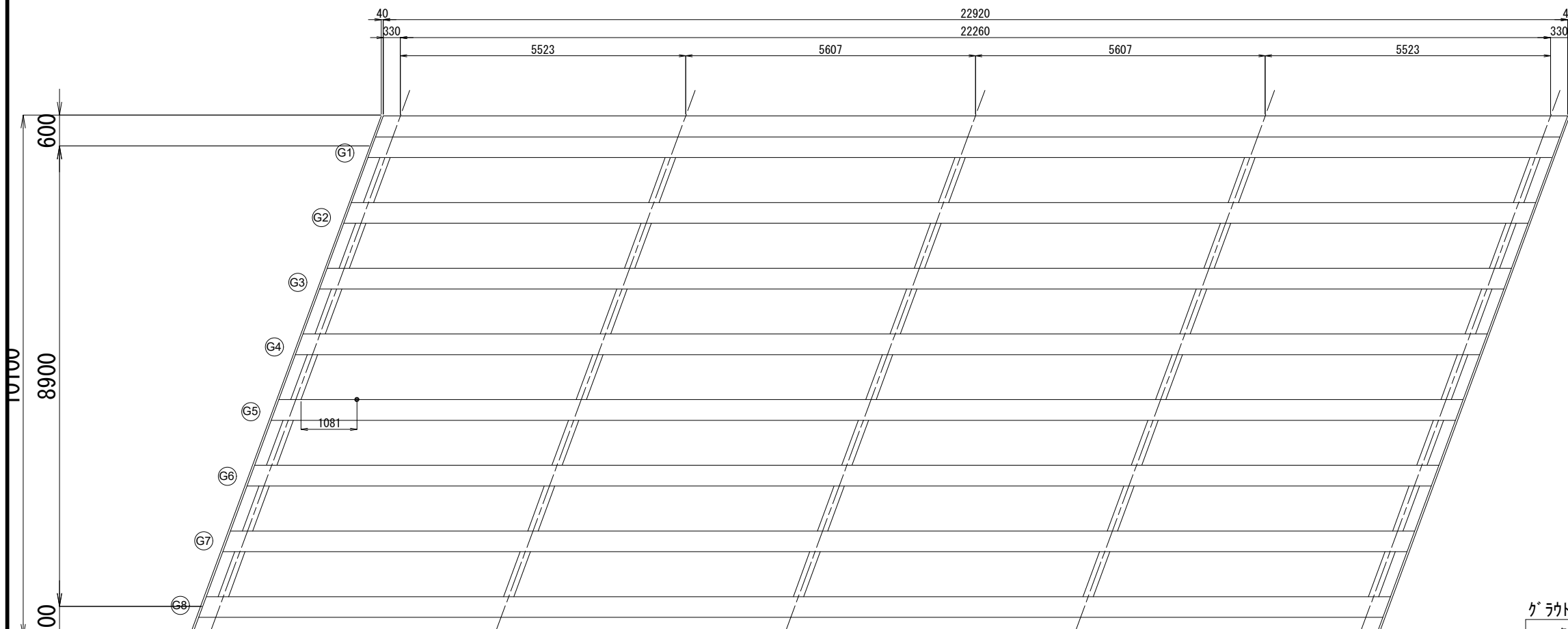
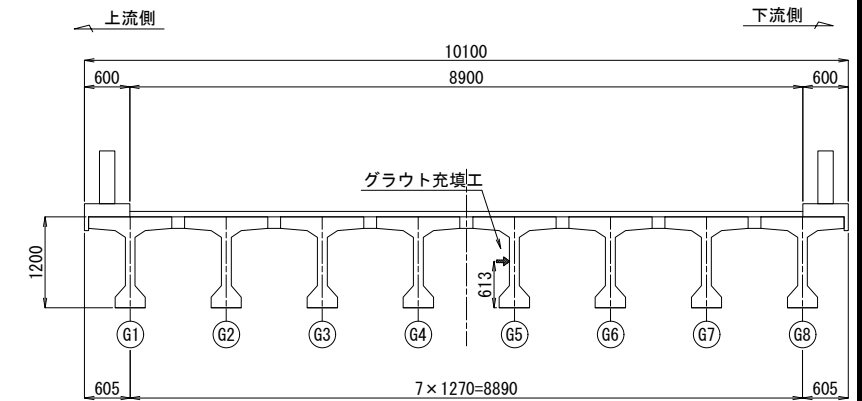
細田橋 グラウト充填図(参考図)

上部工標準断面図 S=1:50

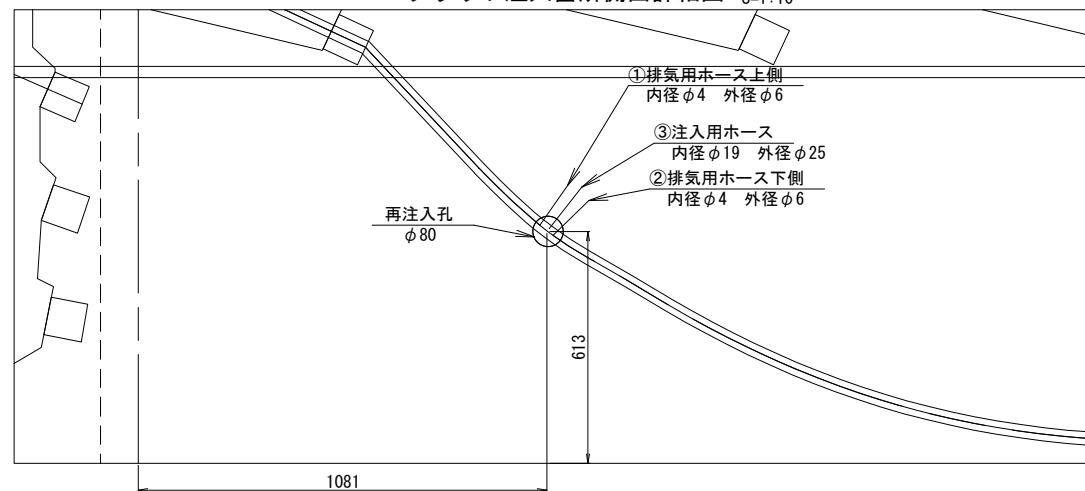
上部工側面図(G5桁) S=1:50



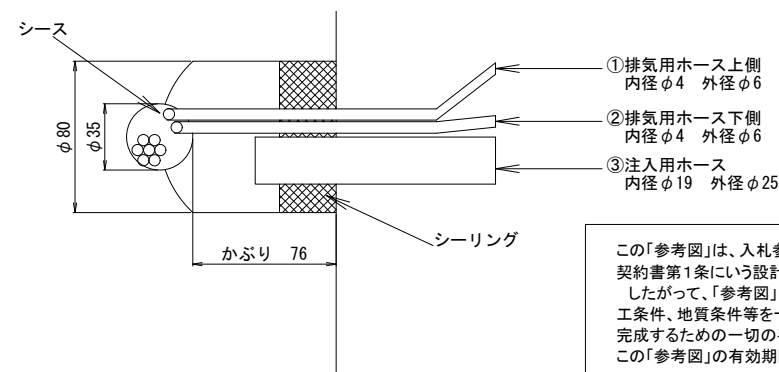
上部工平面図 S=1:50



グラウト注入箇所側面詳細図 S=1:10



グラウト注入箇所側面詳細図 S=1:5



この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条について設計図書ではない。

したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一助の手段として受注者の責任において定めるものとする。なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

グラウト充填 数量表

名 称	規 格	単位	数量	摘要
注入器具	ｸﾞﾗﾝﾄﾞ注入器	基	1	
注入材	PCｸﾞﾗﾝﾄﾞ	ℓ	3.5	

(1橋当り)

注記：

1. 本図面は昭和33年度の「S33細田橋(上部)」と「R1常陸管内橋梁補修設計業務」を元に復元した。
2. 本図の地形平面図は平成25年度に調査された管理用平面図である。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

(参考図)			
工 事 名	R 7 国道 6 号 日 立 国 道 管 内 橋 梁 他 歩 道 橋 補 修 工 事		
図 面 名	細 田 橋 グラウト 充 填 図 (参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	参 の 9
年 月 日	令 和 8 年 6 月 日		
設計会社名	株 式 会 社 エ イ ト 日 本 技 術 開 発		
事務所名	国 土 交 通 省 常 陸 河 川 国 道 事 務 所		